S054



施工マニュアル

パティオTYPE

エクシオール普及協会

東洋エクステリア株式会社

INDEX

■基本寸法図……1

■ウッドデッキ仕様の床施工方法……22
水盛遣方・水糸張り、基礎石位置出し、基礎施工・束柱仕様……23
束柱の建て込み、根太及びエクシオール面デッキ根太⑶の取付……24
大引仕様・基礎石、金具及び大引の施工……25
束調整金具の使用方法……26
調整根太の取付け……27
床板の貼り方……28
エクシオール面の床板貼り……29
ウッドデッキの塗装方法……30

■ウッドデッキ基礎伏図……31

■テラス仕様の床施工方法……39
土間コンクリート下打ち、柱位置出し、柱位置出し寸法……40
テラス面仕上げ……41

■本体の施工方法……42
垂木掛・上部方立の取付け……43
柱の建て込み……44
妻梁・桁の取付け……46
桁底面の穴あけ加工、桁の連結……47
垂木・妻垂木及び中骨・屋根材受けの取付け、中骨の取付け……48
雨樋の取付け、雨樋の連結……49
幕板の取付け……50
幕板コーナー部取付図、前面幕板の連結……51
前面格子のない場合の竪樋の取付け……52
前面格子を取付ける場合の竪樋及び前面格子の取付け……53
上・下レールと戸袋の取り付け……55
桁部上レールの取付け、連結部詳細……56
妻梁上レールBの取付け、桁延長上レールの取付け……57
下レールの位置出し、戸袋下レールとコーナー下レールの取付け……58
戸袋Fixの取付け……59
70角戸当り柱の取付け……60
サイドFixの取付け……61
折戸の取付け……63
屋根材の取付け……66
パネル釣り込みと連結……67
Fix隙間塞ぎ材と隙間隠し材の取付け……69
パネル部の作動性の調整……71
入隅用水切りの取付け……72

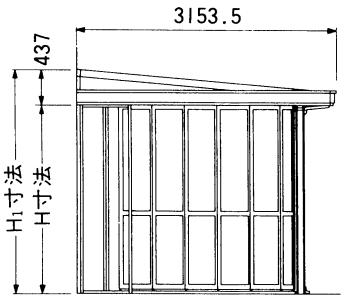
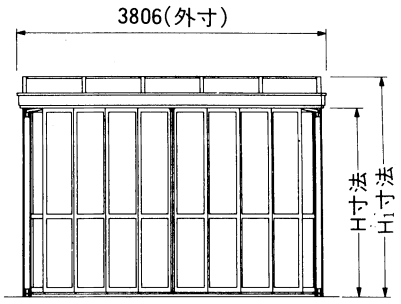
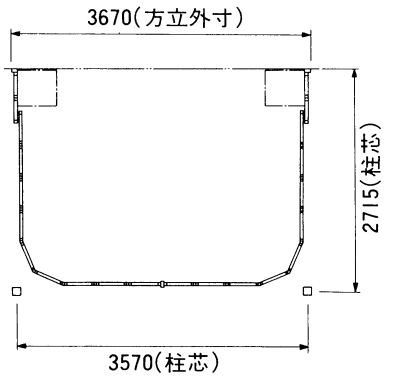
■その他のオプション施工方法……73
日除けの取付け……74
垂木掛カバーの取付け、戸袋吊り金具Cの取付け……76
下レール調整金具の取付け……77
サイディング用ライナー材の取付け……78

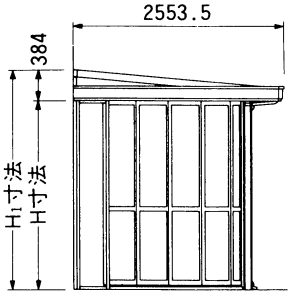
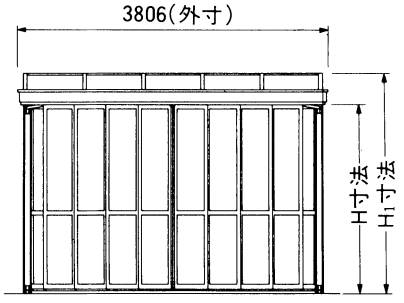
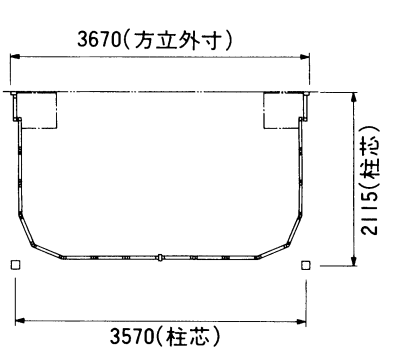
■パティオFタイプをバルコニーに設置する場合の施工上の確認と注意事項……79
■パティオタイプ積雪対応型　タイプ1……81
パティオタイプ積雪対応型　タイプ2……82

■型材一覧表……84
■使用工具一覧表……88
■使用ネジ一覧表……89
■パティオタイプ・パティオFタイプ取付寸法図……92
■パティオタイプ出幅断面納まり図……93
■パティオタイプ間口断面納まり図……94

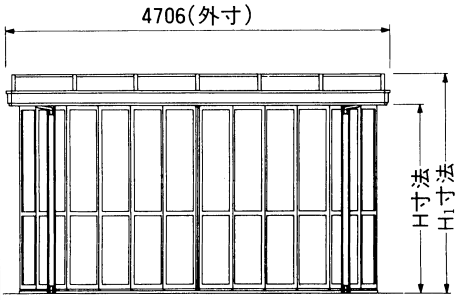
パティオタイプ 基本寸法図

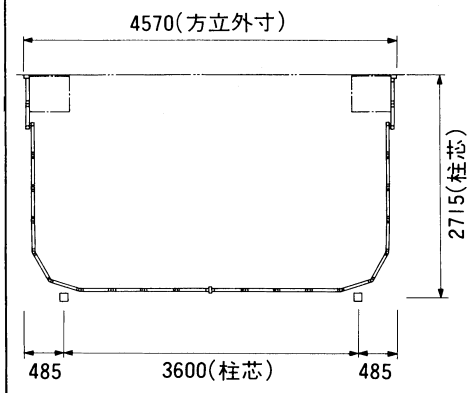
標準型（両開き）

タイプ	間口×出幅	出幅9尺左側面図	2間×9尺
出幅9尺	立面図 H：2,300 （H_1＝2,737） H：2,100 （H_1＝2,537） H：1,900 （H_1＝2,337）	 ※2間×9尺を示す	
	平面図		

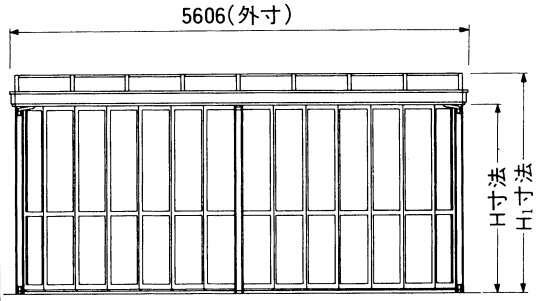
タイプ	間口×出幅	出幅7尺左側面図	2間×7尺
出幅7尺	立面図 H：2,300 （H_1＝2,684） H：2,100 （H_1＝2,484） H：1,900 （H_1＝2,284）	 ※2.5間×7尺を示す	
	平面図		

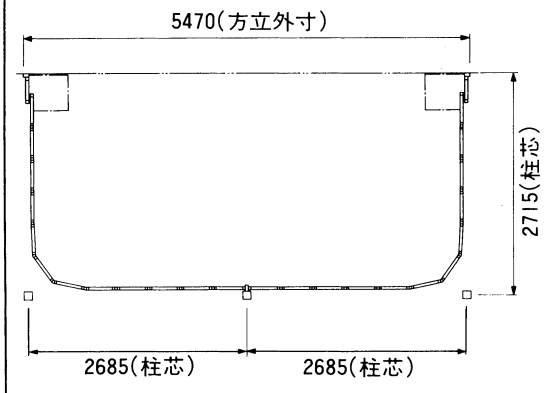
2.5間×９尺



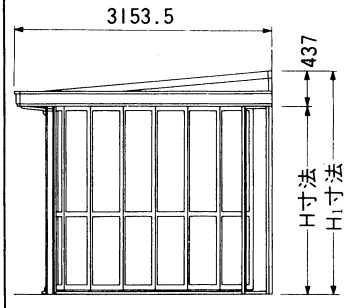


３間×９尺



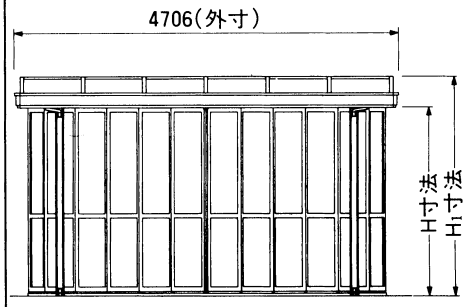


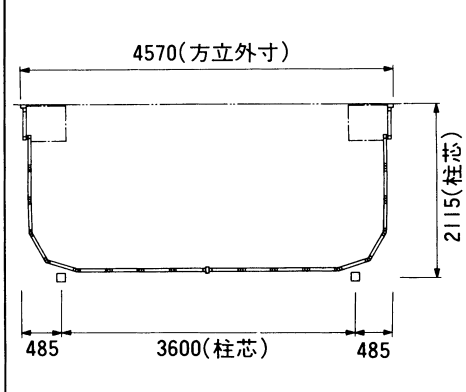
出幅９尺右側面図



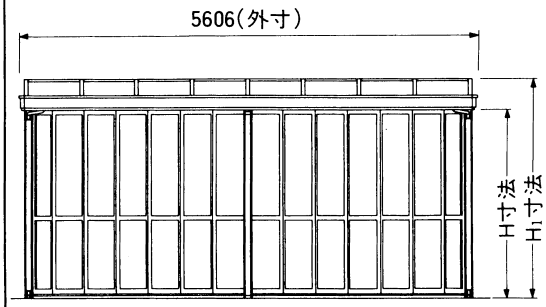
※３間×９尺を示す

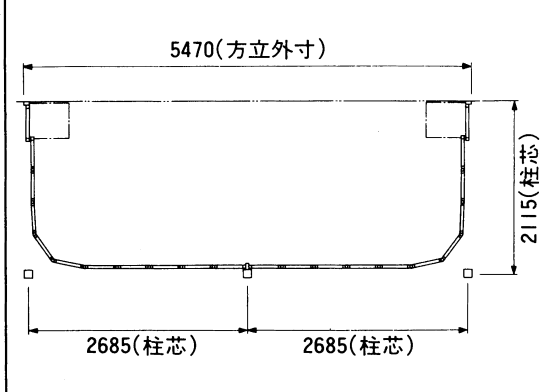
2.5間×７尺



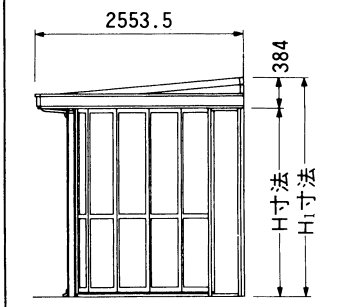


３間×７尺



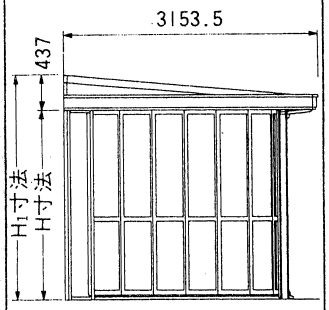
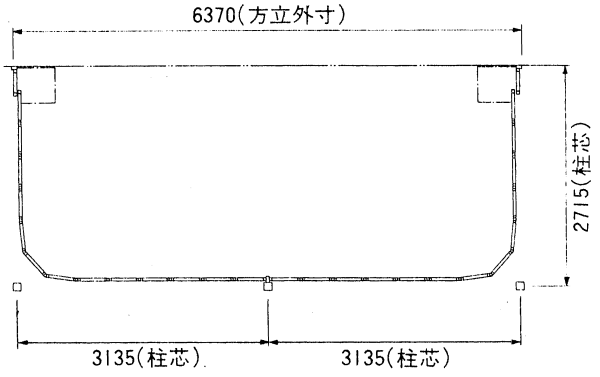


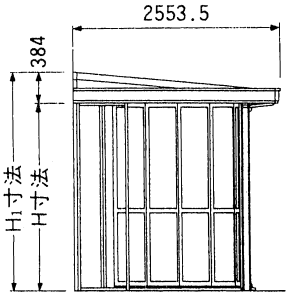
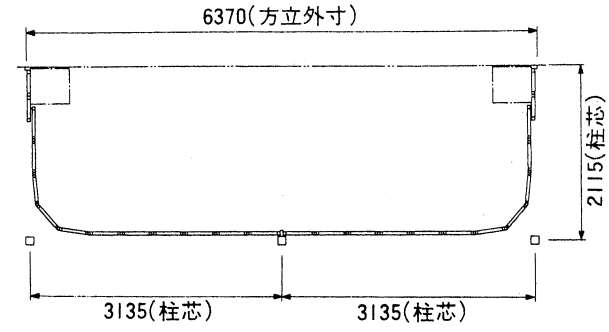
出幅７尺右側面図



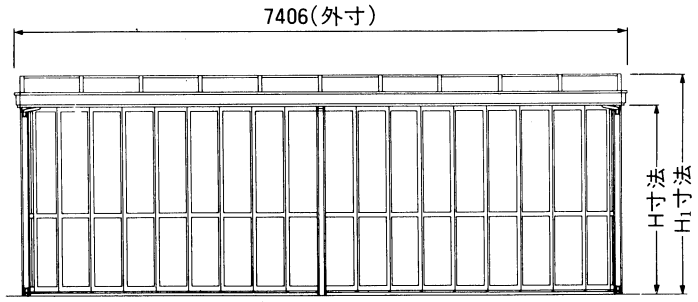
※2.5間×７尺を示す

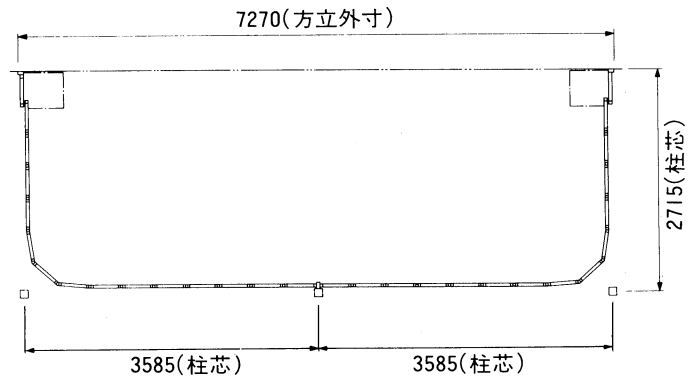
パティオタイプ 基本寸法図

タイプ	間口×出幅	出幅9尺左側面図	3.5間×9尺
標準型（両開き）	出幅9尺	立面図 H：2,300 （H_1＝2,737 ） H：2,100 （H_1＝2,537 ） H＝1,900 （H_1＝2,337 ）	 ※3.5間×9尺を示す
		平面図	

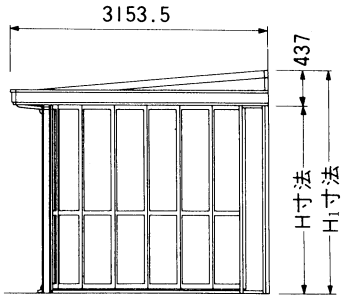
タイプ	間口×出幅	出幅7尺左側面図	3.5間×7尺
標準型（両開き）	出幅7尺	立面図 H：2,300 （H_1＝2,684 ） H：2,100 （H_1＝2,484 ） H：1,900 （H_1＝2,284 ）	 ※3.5間×7尺を示す
		平面図	

4間×9尺



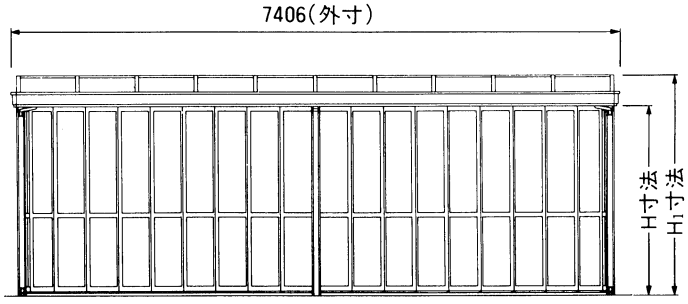


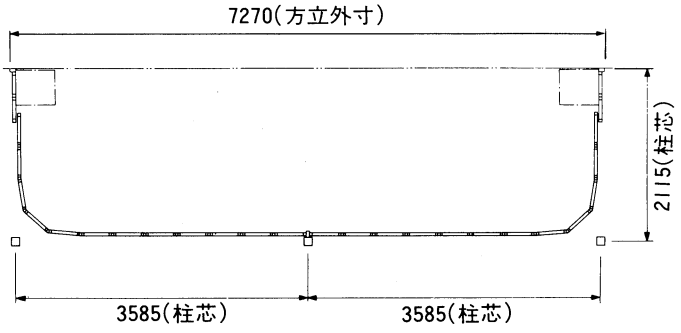
出幅9尺右側面図



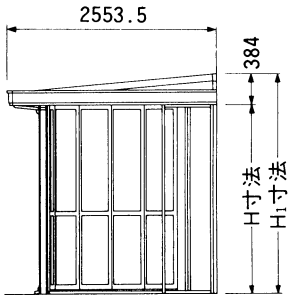
※3.5間×9尺を示す

4間×7尺



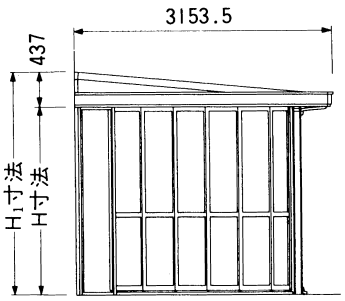
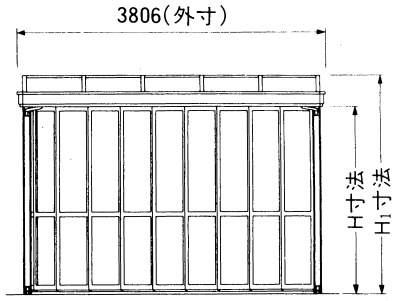
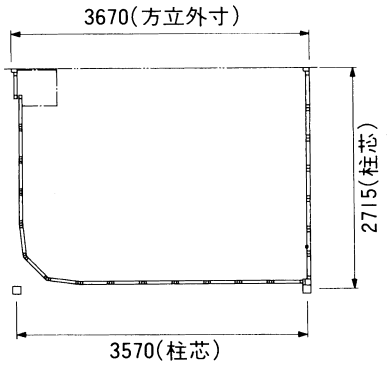


出幅7尺右側面図

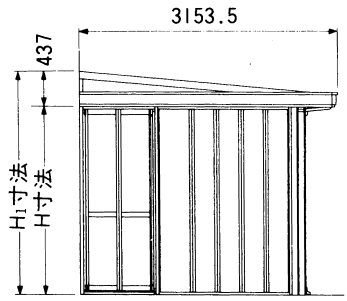
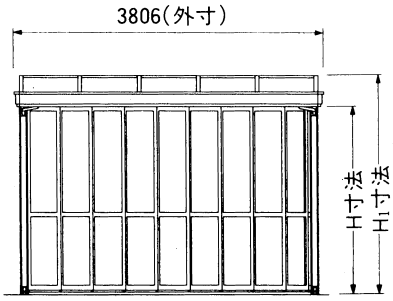
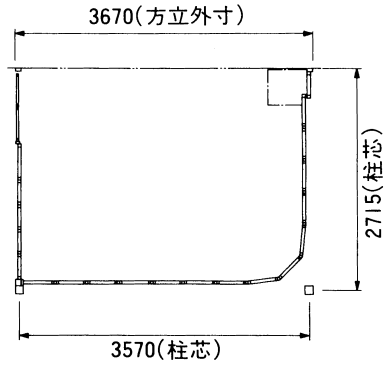


※3.5間×7尺を示す

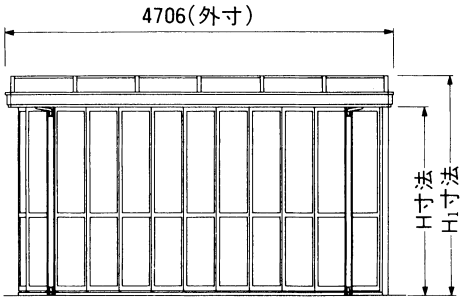
パティオタイプ 基本寸法図

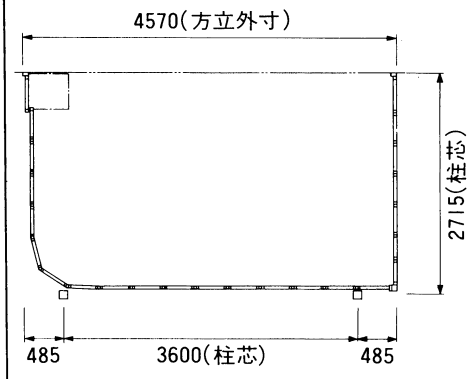
タイプ	間口×出幅	出幅9尺左側面図	2.0間×9尺（FIX）
納め(1)左収納	立面図 H：2,300 (H1＝ 2,737) H：2,100 (H1＝ 2,537) H：1,900 (H1＝ 2,337)	 ※2.5間×9尺を示す	
	平面図		

納め(1)(出幅9尺)

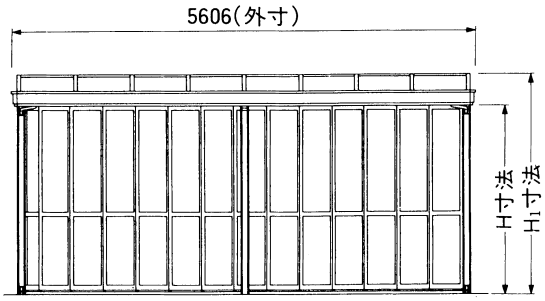
タイプ	間口×出幅	出幅9尺左側面図	2間×9尺（外折戸）
納め(1)右収納	立面図 H：2,300 (H1＝ 2,737) H：2,100 (H1＝ 2,537) H：1,900 (H1＝ 2,337)	 ※側面部材は折戸仕様を示す	
	平面図	※入隅仕様の場合、左側面部材は必要ありません。	

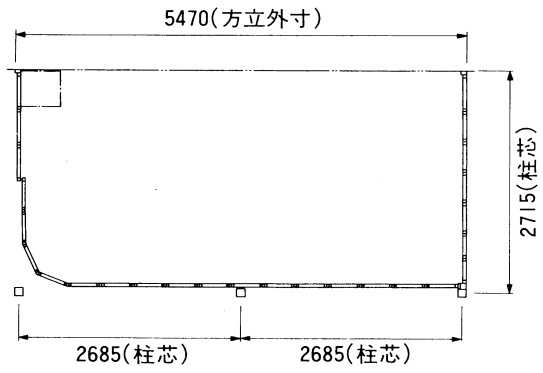
2.5間×９尺（FIX）



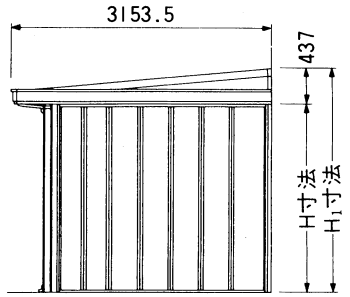


3間×９尺（FIX）





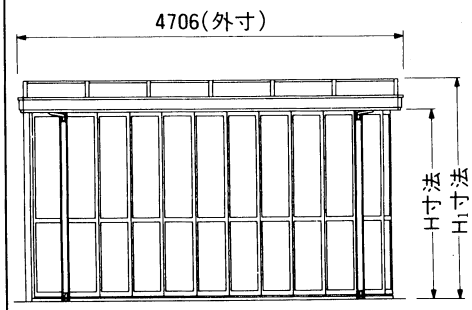
出幅９尺右側面図

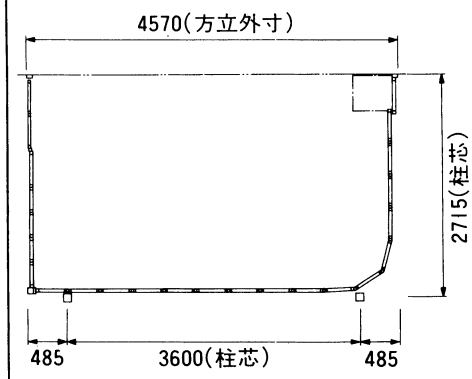


※側面部材はFIX仕様を示す

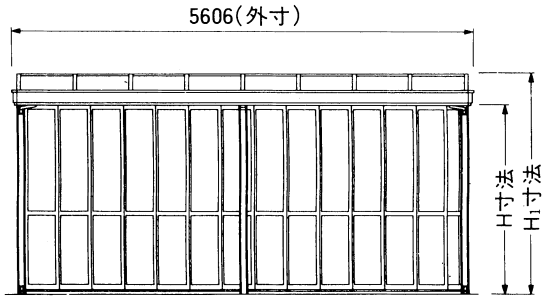
※入隅仕様の場合、右側面部材は必要ありません。

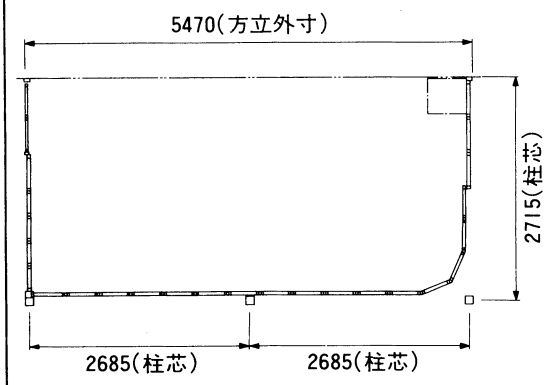
2.5間×９尺（外折戸）



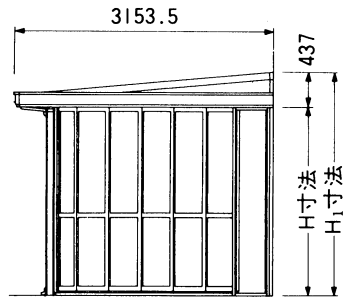


3間×９尺（外折戸）





出幅９尺側面図

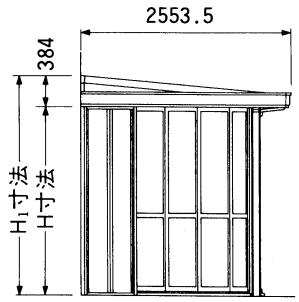
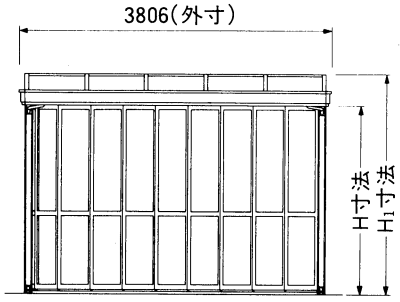
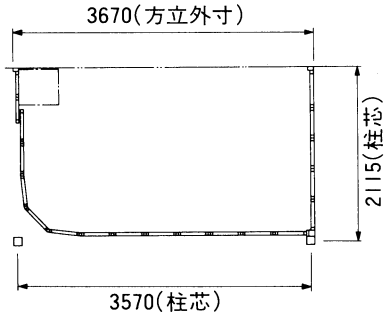


※2.5間×９尺を示す

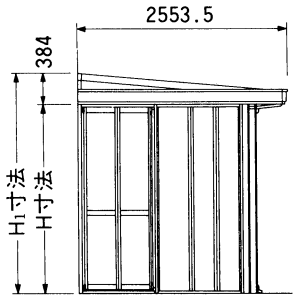
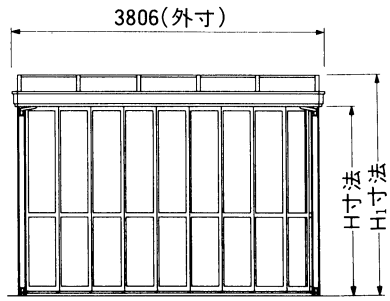
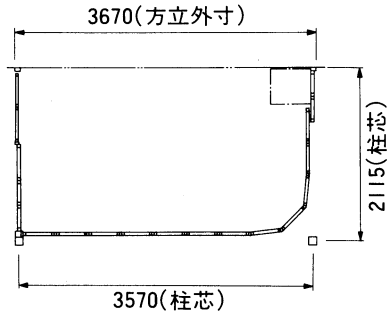
パティオタイプ 基本寸法図

納め(I)（出幅7尺）

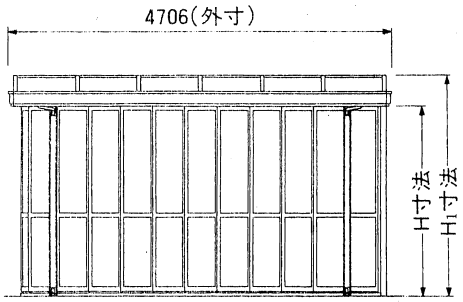
納め(I)左収納

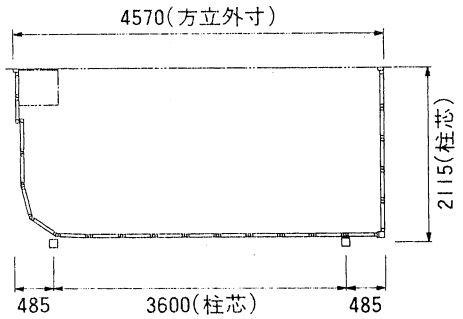
タイプ	間口×出幅	出幅7尺左側面図	2間×7尺（FIX）
	立面図 H：2,300 (H1＝ 2,684) H：2,100 (H1＝ 2,484) H：1,900 (H1＝ 2,284)	 ※2.5間×7尺を示す	
	平面図		

納め(I)右収納

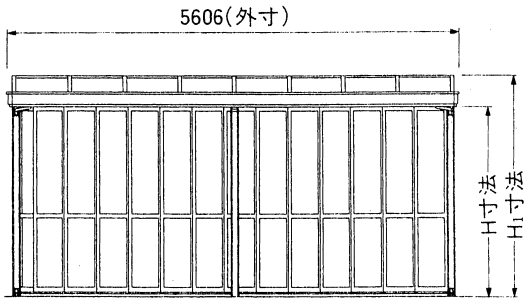
タイプ	間口×出幅	出幅7尺左側面図	2間×7尺（外折戸）
	立面図 H：2,300 (H1＝ 2,684) H：2,100 (H1＝ 2,484) H：1,900 (H1＝ 2,284)	 ※側面部材は折戸仕様を示す	
	平面図	※入隅仕様の場合、左側面部材は必要ありません。	

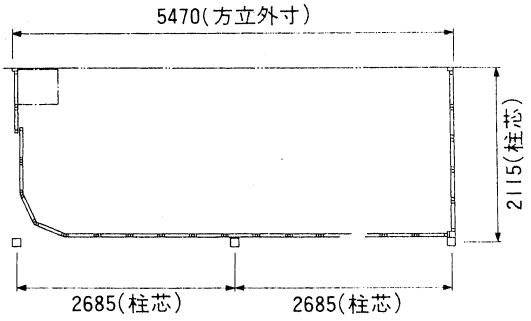
2.5間×７尺（FIX）



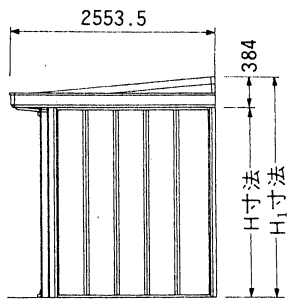


3間×７尺（FIX）





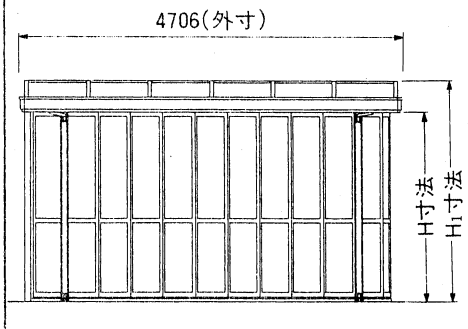
出幅７尺右側面図

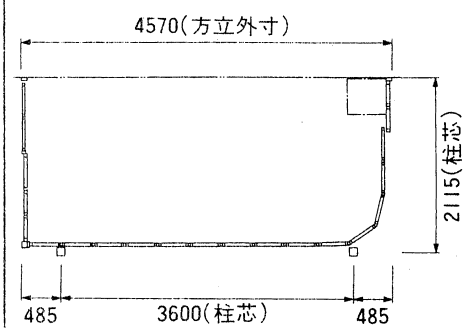


※側面部材はFIX仕様を示す

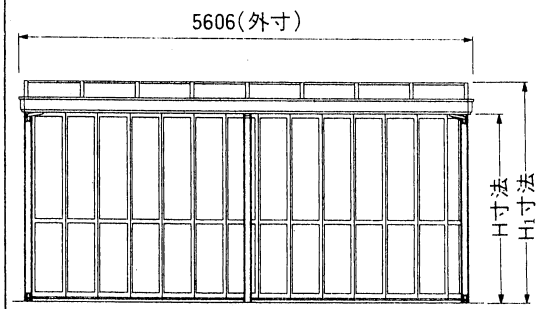
※入隅仕様の場合、右側面部材は必要ありません。

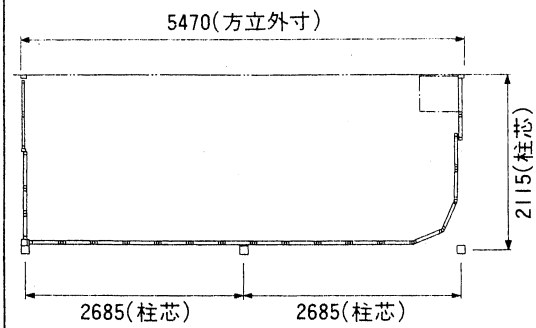
2.5間×７尺（外折戸）



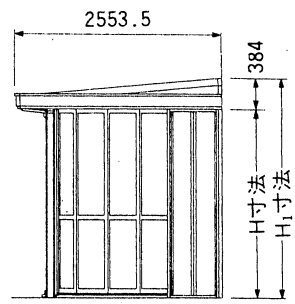


3間×７尺（外折戸）





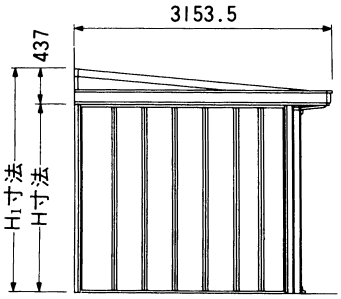
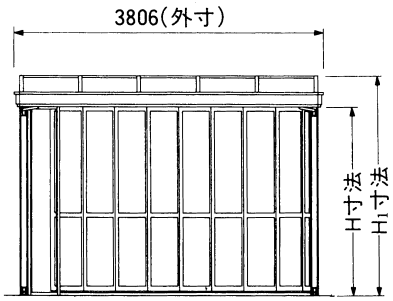
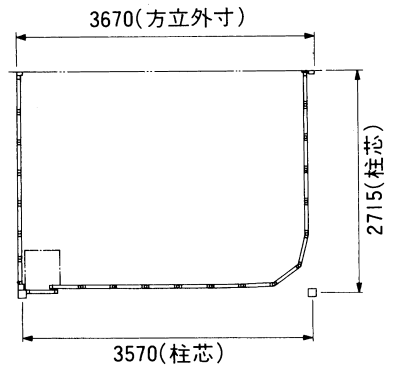
出幅７尺右側面図

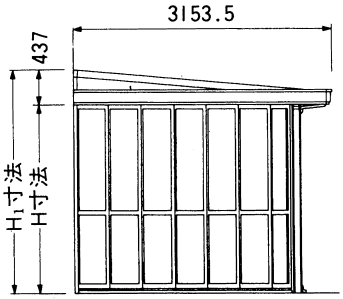
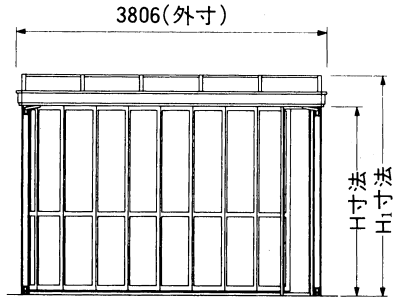
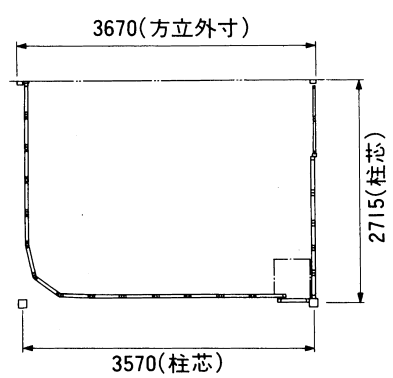


※２.５間×７尺を示す

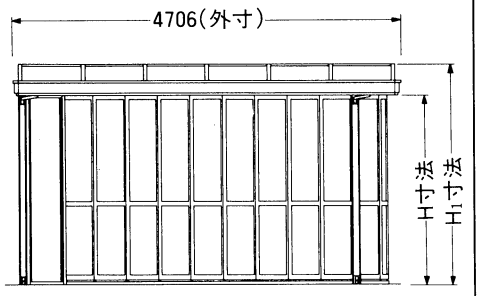
パティオタイプ 基本寸法図

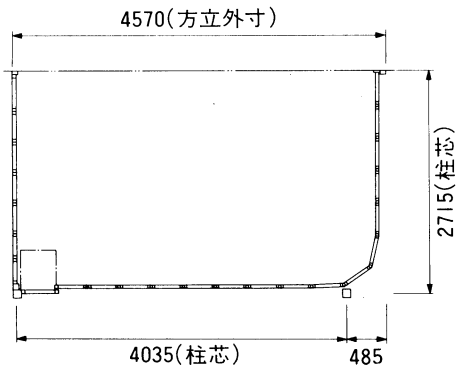
納め(2)(出幅9尺)

タイプ	間口×出幅	出幅9尺左側面図	2間×9尺（FIX）
納め(2)左収納	立面図 H：2,300 (H1＝ 2,737) H：2,100 (H1＝ 2,537) H：1,900 (H1＝ 2,337)	 ※側面部材はFIX仕様を示す	
	平面図	※入隅仕様の場合、左側面部材は必要ありません。	

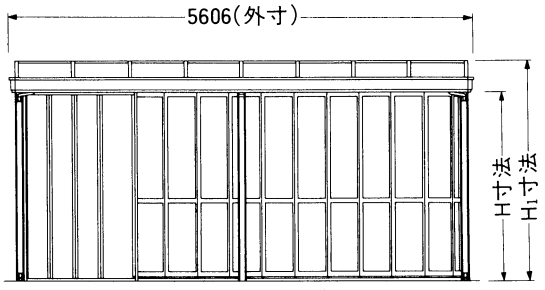
タイプ	間口×出幅	出幅9尺左側面図	2間×9尺（外折戸）
納め(2)右収納	立面図 H：2,300 (H1＝ 2,737) H：2,100 (H1＝ 2,537) H：1,900 (H1＝ 2,337)		
	平面図		

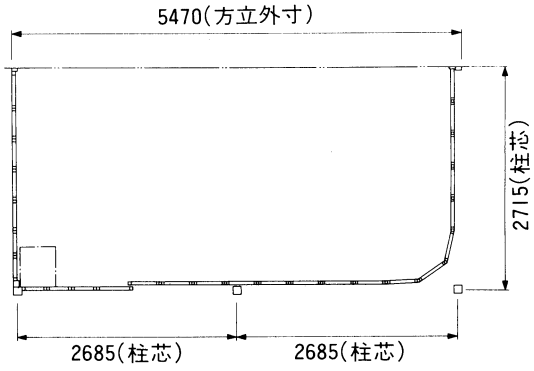
2.5間×９尺（FIX）



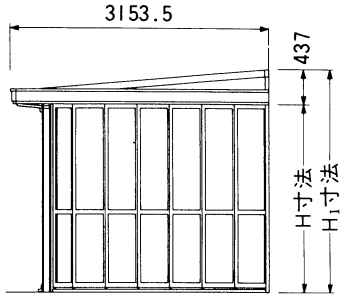


３間×９尺（FIX）

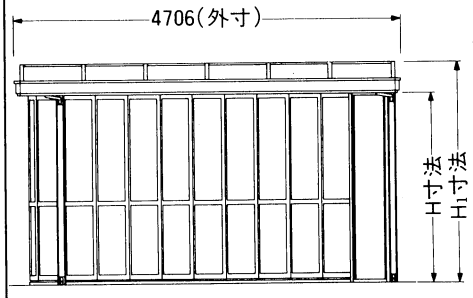


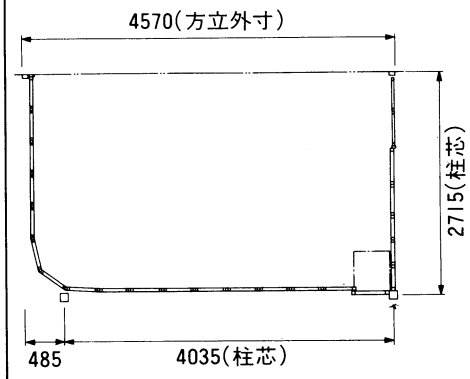


出幅９尺右側面図

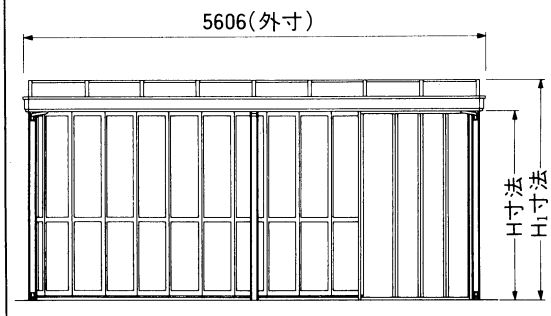


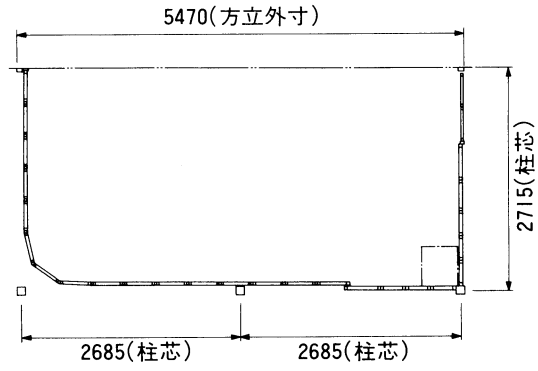
2.5間×９尺（外折戸）



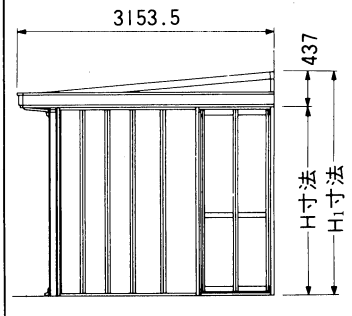


３間×９尺（外折戸）





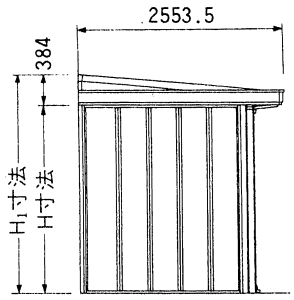
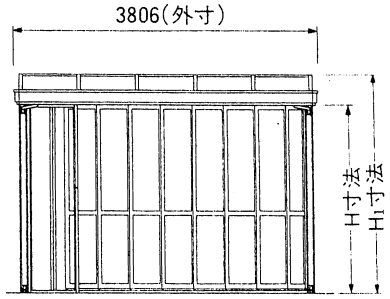
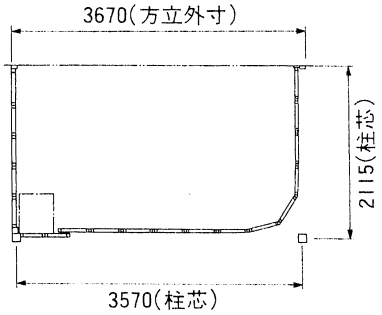
出幅９尺右側面図

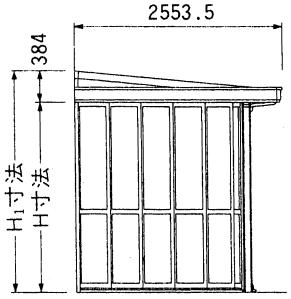
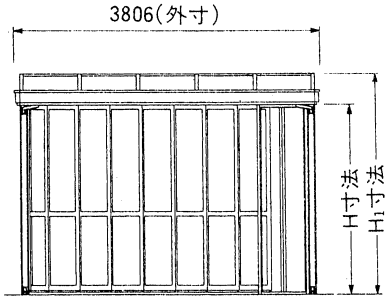
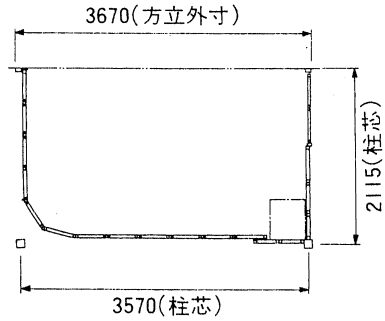


※側面部材は折戸仕様を示す

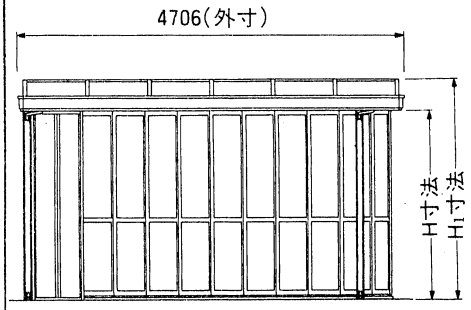
※入隅仕様の場合、右側面部材は必要ありません。

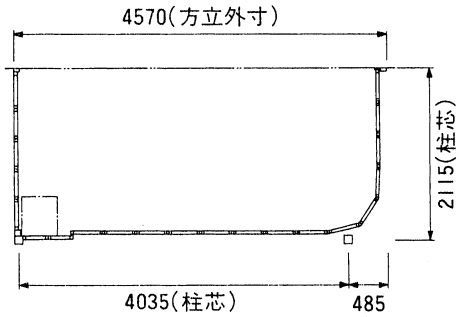
パティオタイプ 基本寸法図

タイプ	間口×出幅	出幅7尺左側面図	2間×7尺（FIX）
納め(2)（出幅7尺） 納め(2)左収納	立面図 H：2,300 （H_1＝ 2,684 ） H：2,100 （H_1＝ 2,484 ） H：1,900 （H_1＝ 2,284 ）	 ※側面部材はFIX仕様を示す	
	平面図	※入隅仕様の場合、左側面部材は必要ありません。	

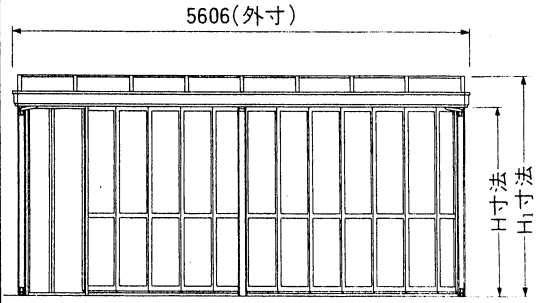
タイプ	間口×出幅	出幅7尺左側面図	2間×7尺（外折戸）
納め(2)右収納	立面図 H：2,300 （H_1＝ 2,684 ） H：2,100 （H_1＝ 2,484 ） H：1,900 （H_1＝ 2,284 ）		
	平面図		

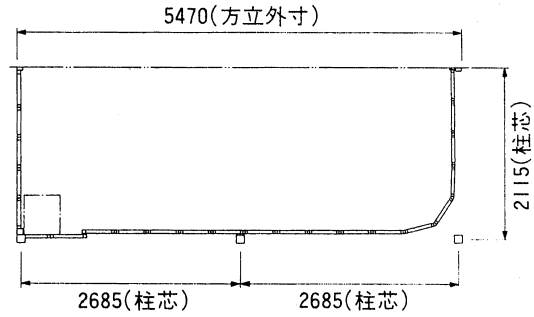
2.5間×７尺（FIX）



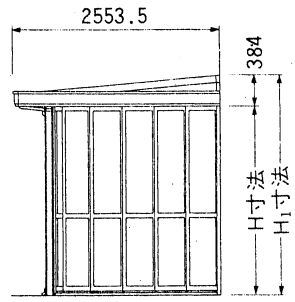


3間×７尺（FIX）

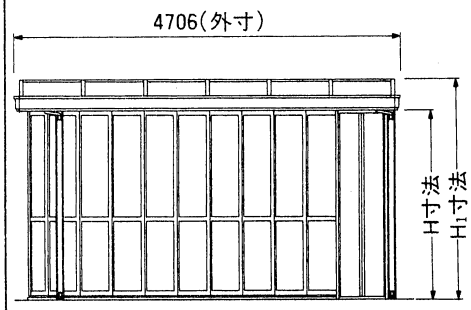


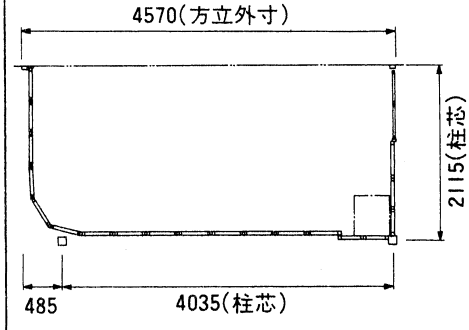


出幅７尺右側面図

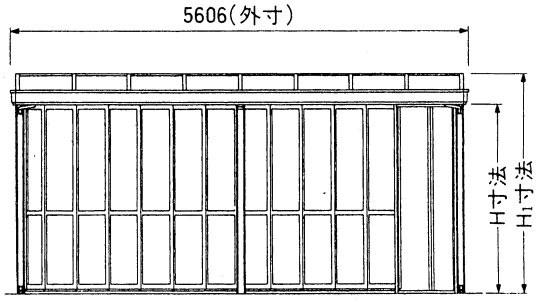


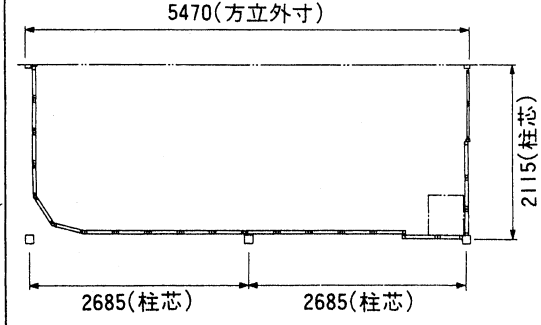
2.5間×７尺（外折戸）



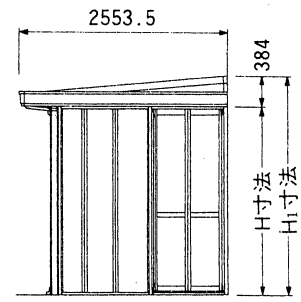


3間×７尺（外折戸）





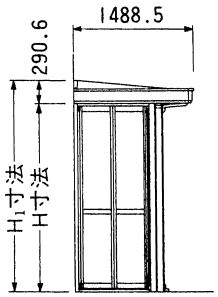
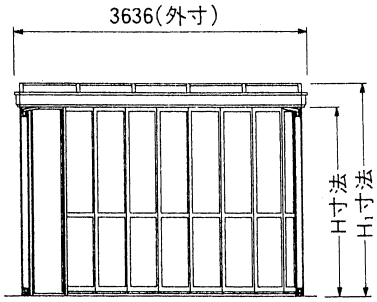
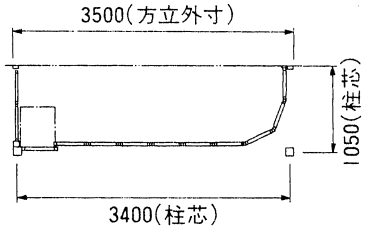
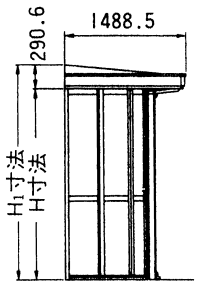
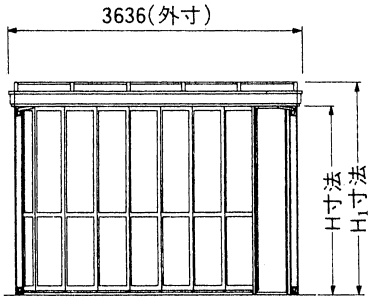
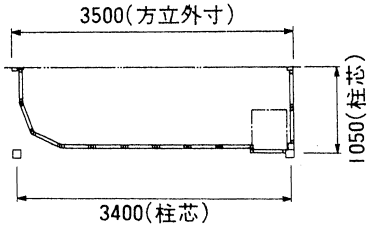
出幅７尺右側面図



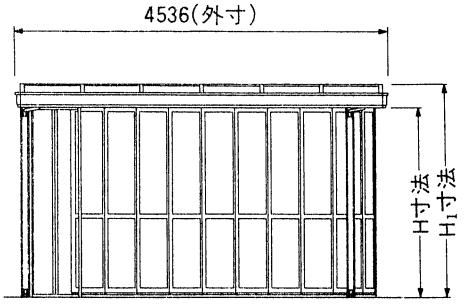
※側面部材は折戸仕様を示す

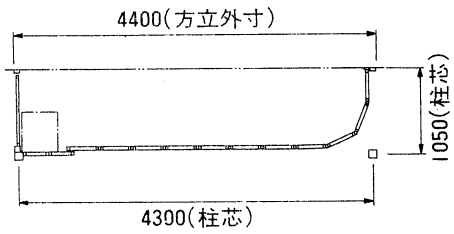
※入隅仕様の場合、右側面部材は必要ありません。

パティオタイプ 基本寸法図

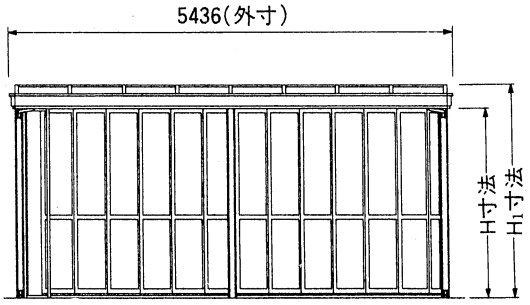
タイプ	間口×出幅	出幅4尺左側面図	2間×4尺（内折戸）
納め(2)左収納（出幅4尺）	立面図 H：2,300 (H1＝2,590.6) H：2,100 (H1＝2,390.6) H：1,900 (H1＝2,190.6)	 ※側面部材は折戸仕様を示す	
	平面図	※入隅仕様の場合、左側面部材は必要ありません。	
タイプ	間口×出幅	出幅4尺左側面図	2間×4尺（FIX）
納め(2)右収納（出幅4尺）	立面図 H：2,300 (H1＝2,590.6) H：2,100 (H1＝2,390.6) H：1,900 (H1＝2,190.6)		
	平面図		

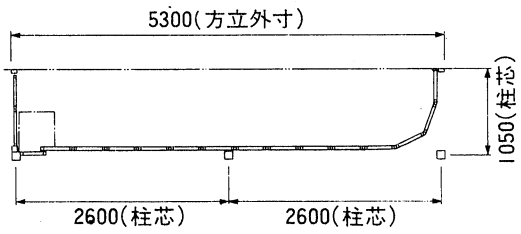
2.5間×4尺（内折戸）



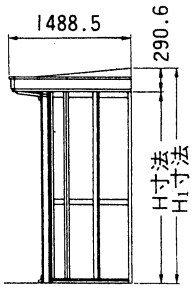


3間×4尺（内折戸）

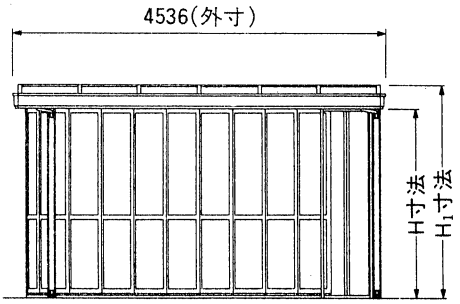


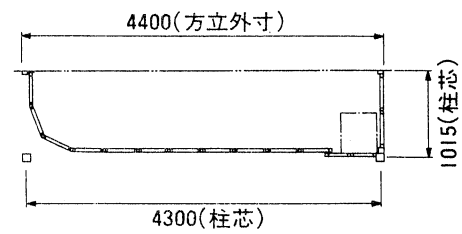


出幅4尺右側面図

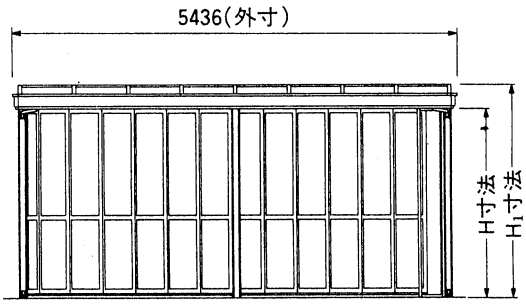


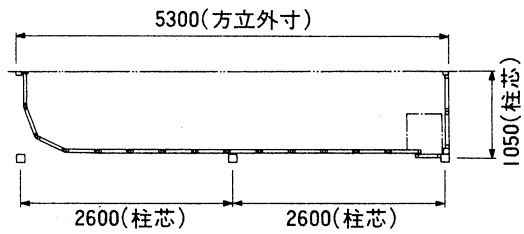
2.5間×4尺（FIX）



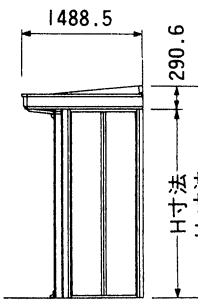


3間×4尺（FIX）





出幅4尺右側面図



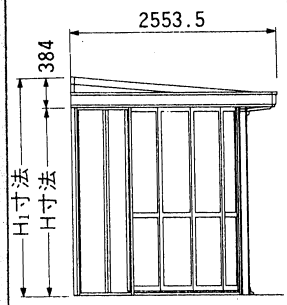
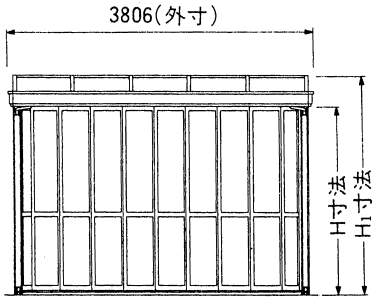
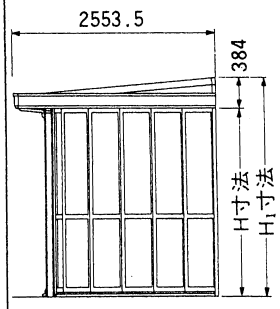
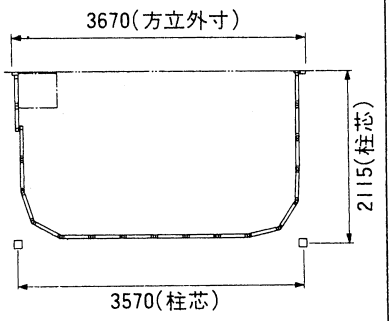
※側面部材はFIX仕様を示す

※入隅仕様の場合、右側面部材は必要ありません。

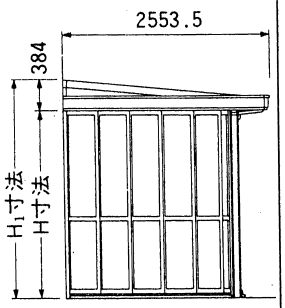
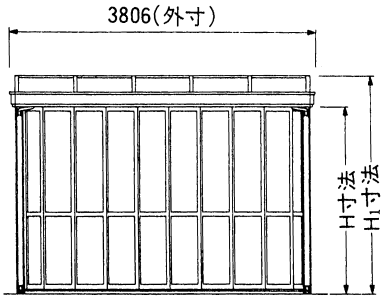
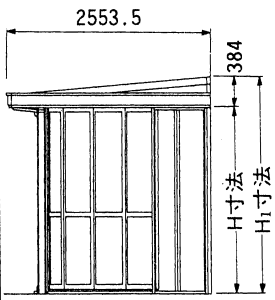
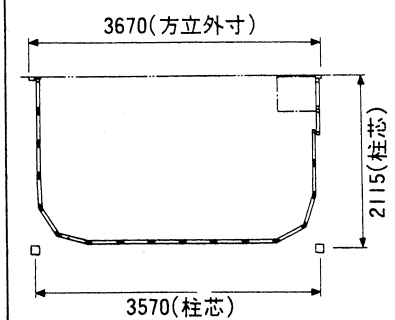
パティオタイプ 基本寸法図

納め(3)

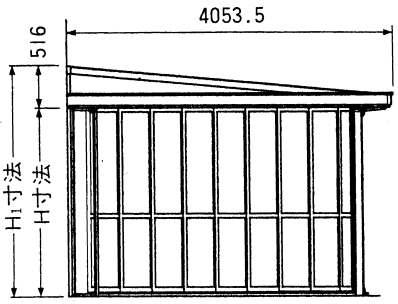
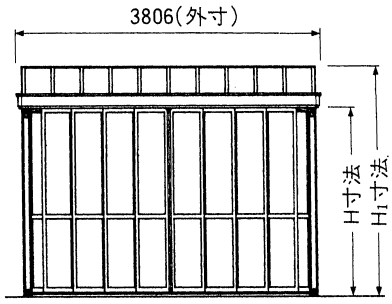
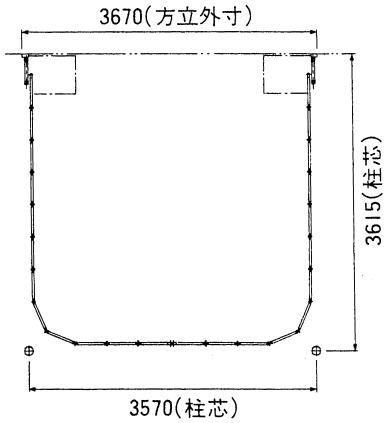
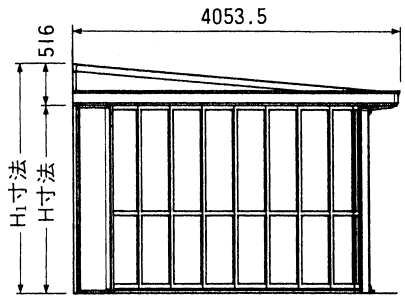
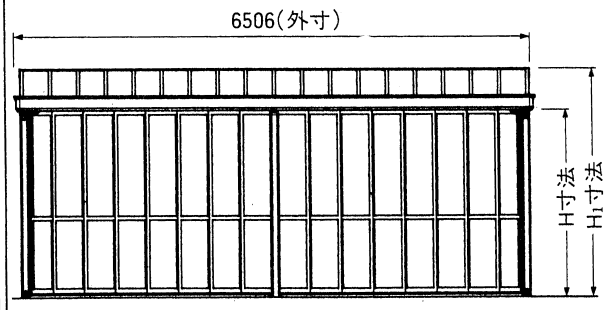
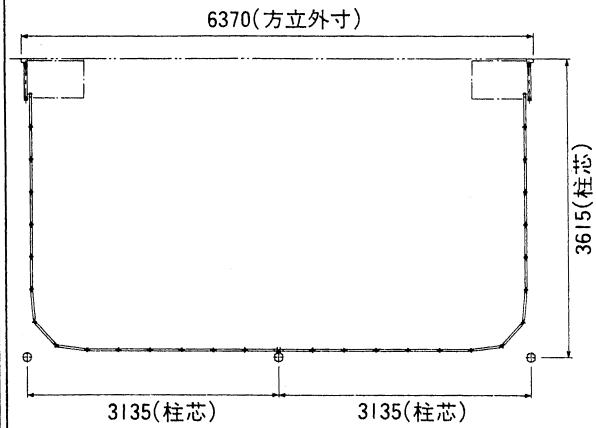
納め(3)左収納

タイプ ＼ 間口×出幅	出幅7尺左側面図	2間×7尺	出幅7尺右側面図
立面図 H：2,300 (H1＝2,684) H：2,100 (H1＝2,484) H：1,900 (H1＝2,284)			
平面図			

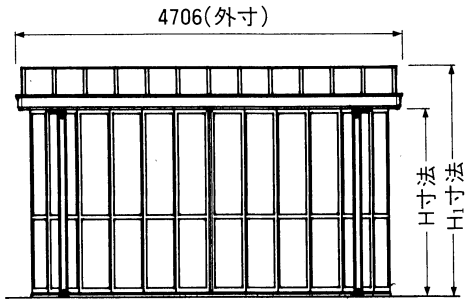
納め(3)右収納

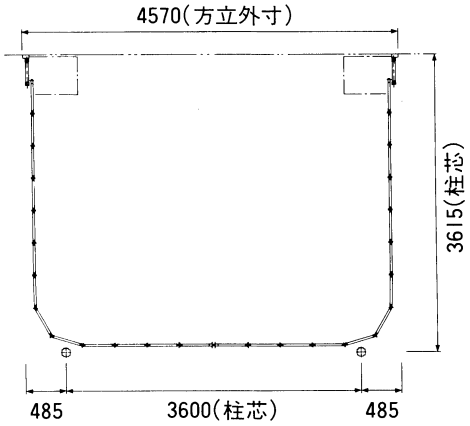
タイプ ＼ 間口×出幅	出幅7尺左側面図	2間×7尺	出幅7尺右側面図
立面図 H：2,300 (H1＝2,684) H：2,100 (H1＝2,484) H：1,900 (H1＝2,284)			
平面図			

パティオタイプ 基本寸法図

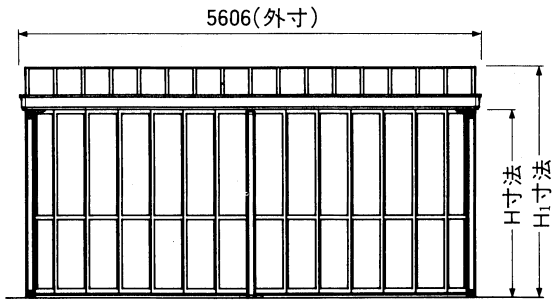
タイプ	間口×出幅	出幅12尺左側面図	2間×12尺
標準型（両開き） 出幅12尺	平面図 H：2,300 (H1＝2,816) H：2,100 (H1＝2,616) H：1,900 (H1＝2,416)		
	平面図		
	間口×出幅	出幅12尺左側面図	3.5間×12尺
	立面図 H：2,300 (H1＝2,816) H：2,100 (H1＝2,616) H：1,900 (H1＝2,416)		
	平面図		

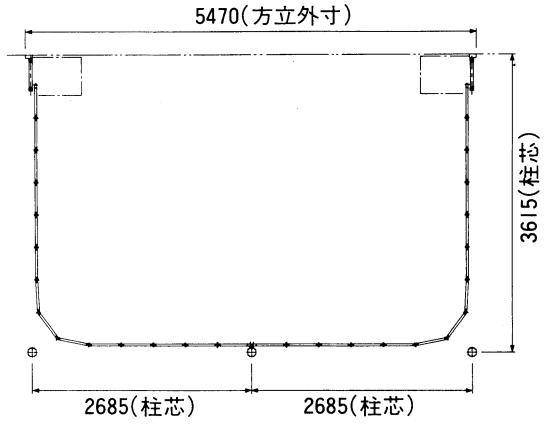
2.5間×12尺



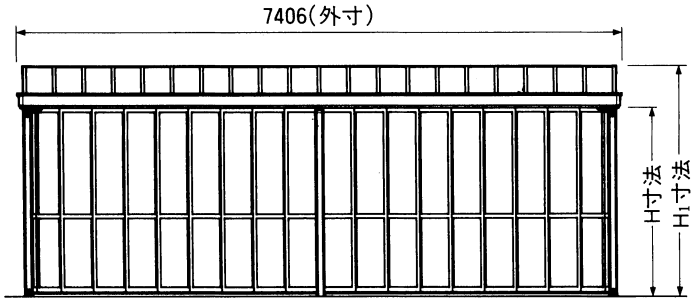


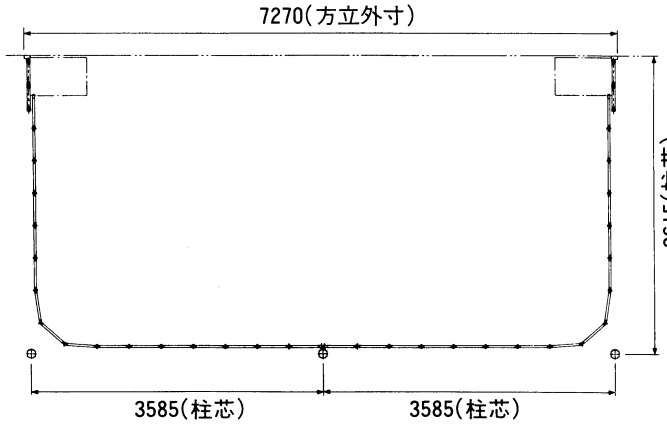
3間×12尺



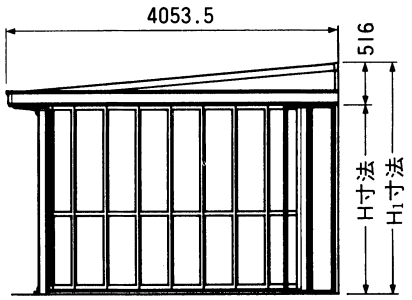


4間×12尺

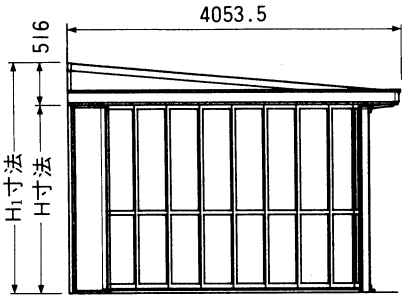
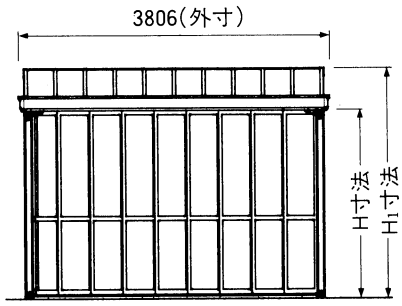
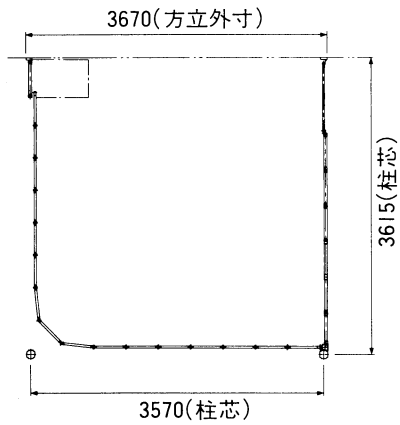
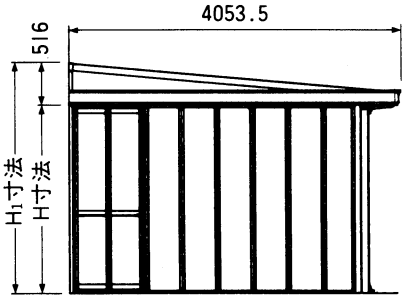
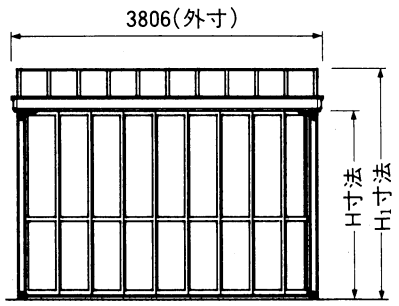
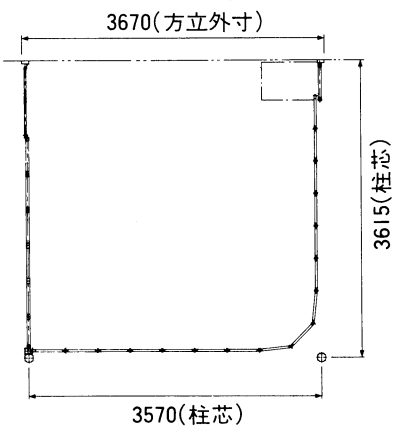


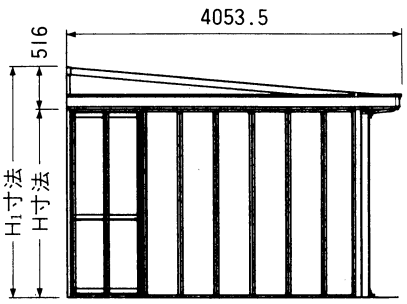
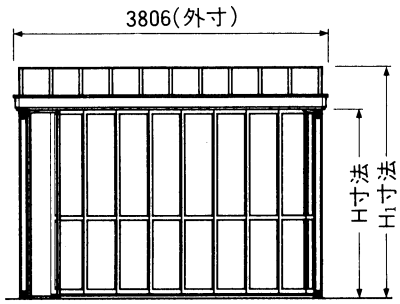
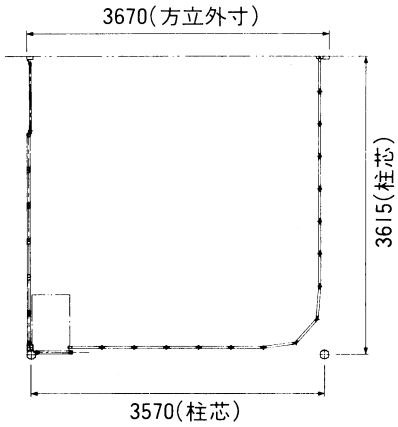
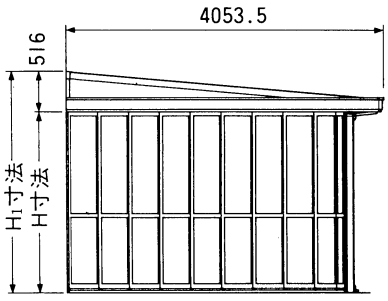
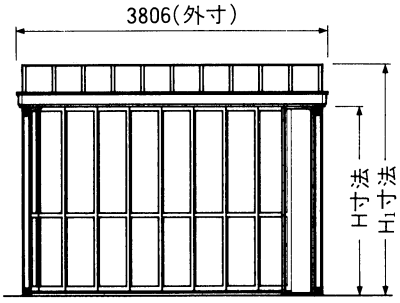
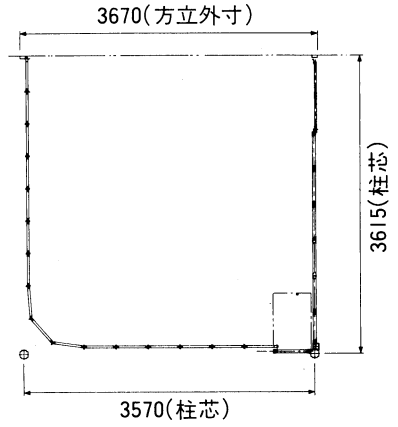


出幅12尺右側面図



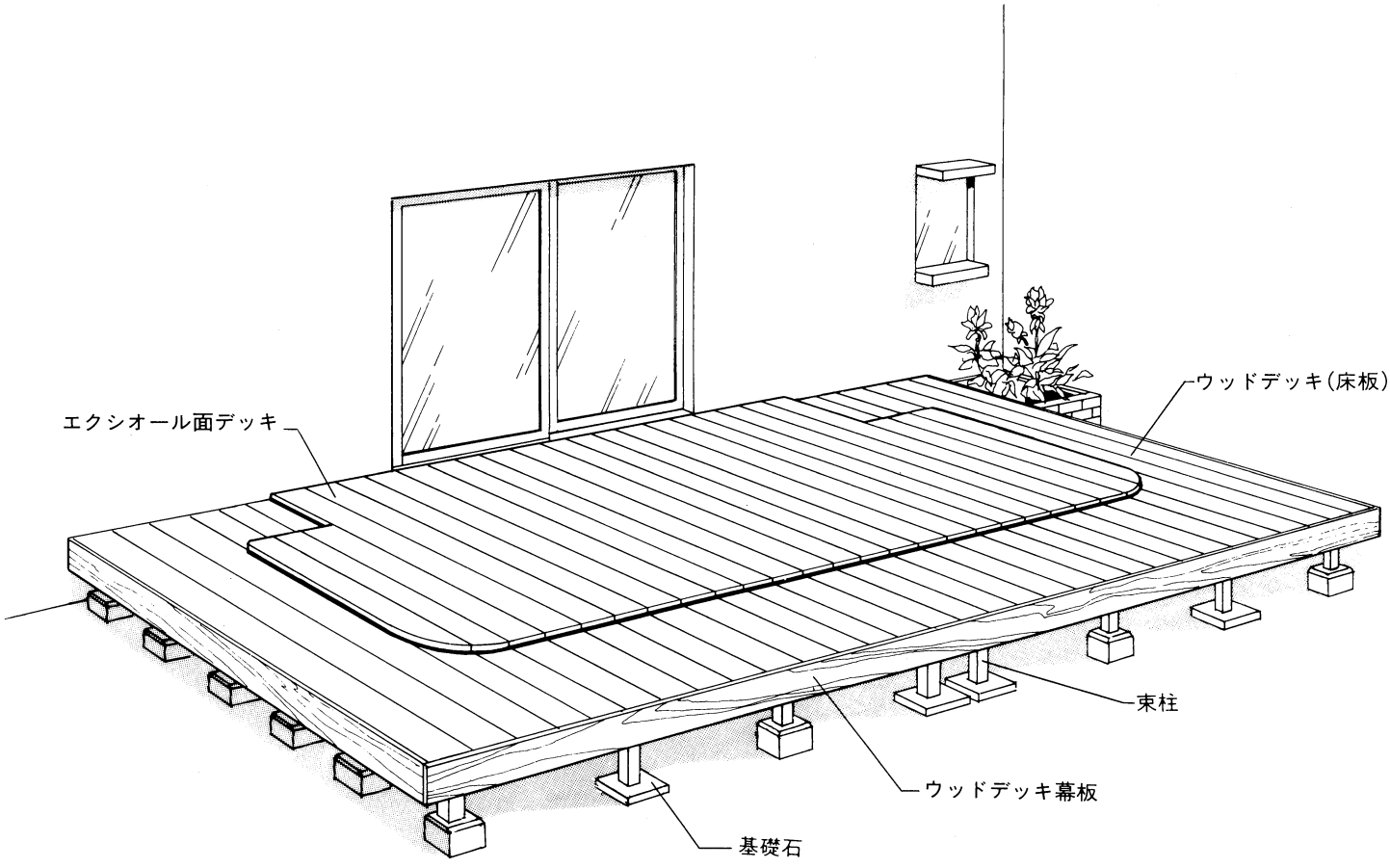
パティオタイプ 基本寸法図

タイプ	間口×出幅	出幅12尺左側面図	2間×12尺
納め(1)(出幅12尺) 納め(1)左収納	立面図 H：2,300 (H1＝ 2,816) H：2,100 (H1＝ 2,616) H：1,900 (H1＝ 2,416)		
	平面図		
間口×出幅		出幅12尺左側面図	2間×12尺
納め(1)右収納	立面図 H：2,300 (H1＝ 2,816) H：2,100 (H1＝ 2,616) H：1,900 (H1＝ 2,416)		
	平面図		

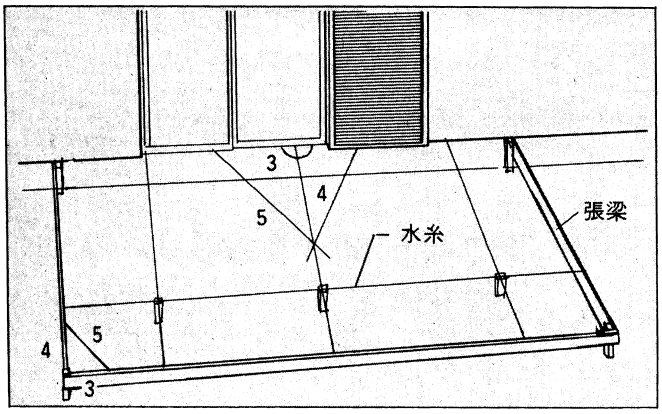
タイプ		間口×出幅	出幅12尺左側面図	2間×12尺
納め(2)(出幅12尺)	納め(2)左収納	立面図 H：2,300 (H1＝ 2,816) H：2,100 (H1＝ 2,616) H：1,900 (H1＝ 2,416)		
		平面図		
	間口×出幅		出幅12尺左側面図	2間×12尺
	納め(2)右収納	立面図 H：2,300 (H1＝ 2,816) H：2,100 (H1＝ 2,616) H=1,900 (H1＝ 2,416)		
		平面図		

EXSHOR

パティオ TYPE ウッドデッキ仕様の床施工方法



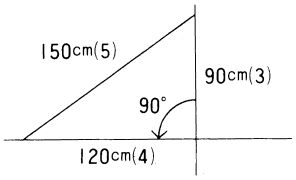
1 水盛遣方・水糸張り



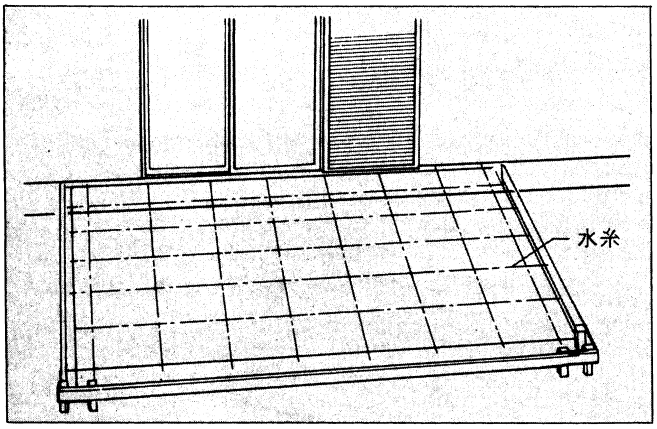
●P.92を参照してエクシオール本体の取付け位置及びエクシオール面床レベルを決めて下さい。
●前面・両側面に張梁を組んで下さい。
●軀体に柱寸法の印をつけ、3、4、5方法で直角を出し中間柱の位置出しをして下さい。
●中間柱の位置から、両側の端柱位置を決めて下さい。

1.張梁の位置はデッキ面より正面・両側面ともやや大きめに決めて下さい。
2.張梁は水平器etcで水平を取って下さい。
3.各コーナーの直角を定規・345方法等で割り出して下さい。

直角出し寸法



2 基礎石位置出し



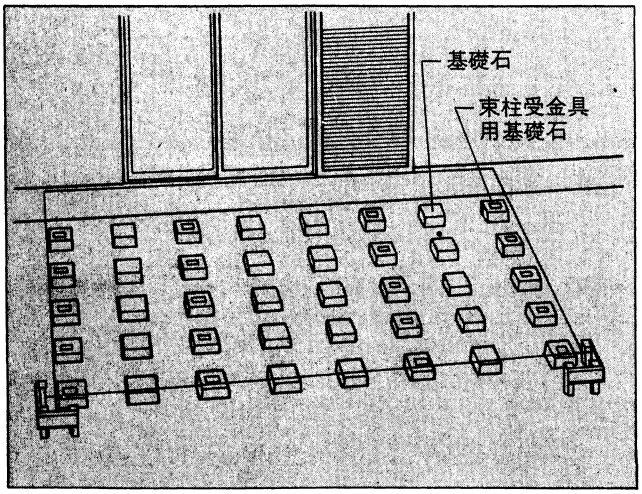
●前面・両側面の水糸に寸法出しをし、各基礎仕様により基礎伏図(P.31～38)を参照して基礎石の位置を決定して下さい。

柱埋込み式の場合、柱と基礎石がぶつかる箇所があります。その場合には、基礎を横に移動して下さい。

3 基礎施工

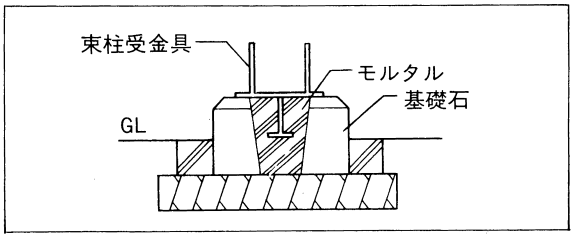
1.束柱仕様

■基礎石埋め込み



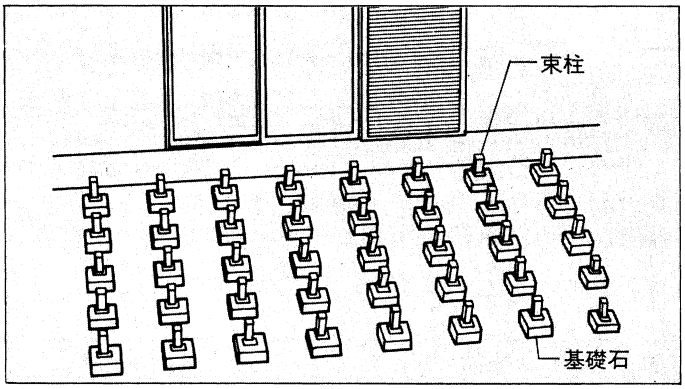
●各基礎石の位置を約40cm角、深さ10～20cmに掘り、栗石を敷き、基礎石を据えて下さい。
●基礎石のレベルを出して下さい。
●束柱受金具用基礎石にモルタルで束柱受金具を埋め込みして下さい。
●基礎石のまわりをコンクリートで固めて下さい。

基礎石の種類
1.束柱受金具用基礎石寸法は縦300×横300×高さ200㎜
2.束柱を置くだけの基礎石寸法は縦200×横200×高さ200㎜

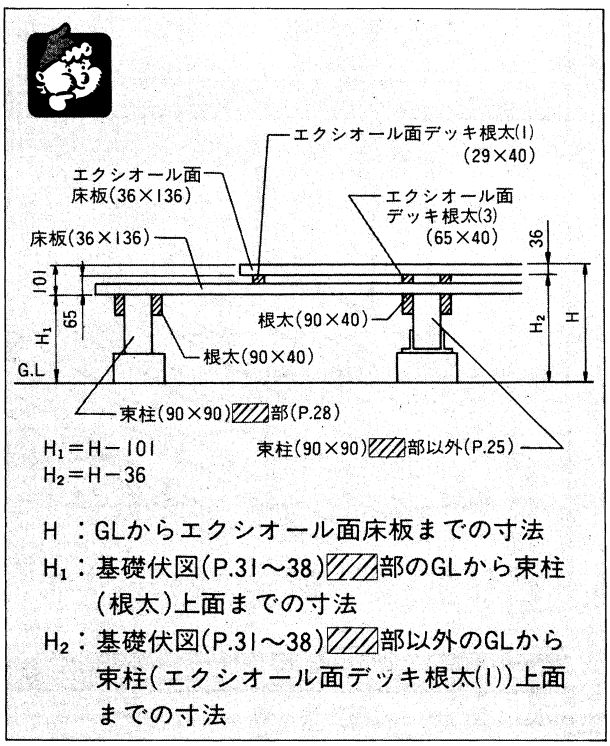


束柱受金具用基礎石(縦300×横300×高さ200)

■束柱の建て込み

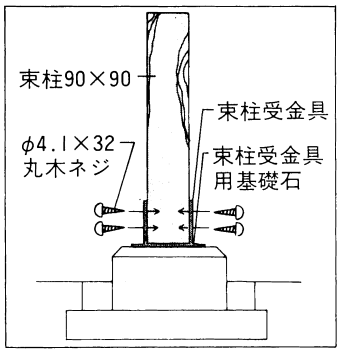


①下図を参考にして束柱の高さ寸法H_1、H_2を出して下さい。
②両端部に束柱を建てオートレベル器もしくは水盛器でレベルを出し水糸を張って残りの束柱を建てて下さい。
(この時束柱の上面が設定レベルH_1、H_2より上に出ないように注意して下さい。)



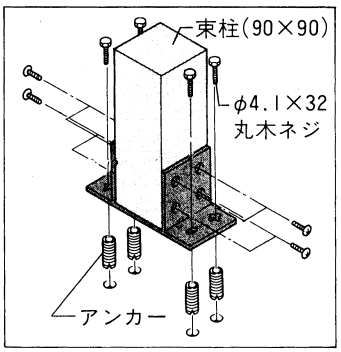
H ：GLからエクシオール面床板までの寸法
H_1：基礎伏図(P.31～38)▨部のGLから束柱(根太)上面までの寸法
H_2：基礎伏図(P.31～38)▨部以外のGLから束柱(エクシオール面デッキ根太(1))上面までの寸法

埋め込み式



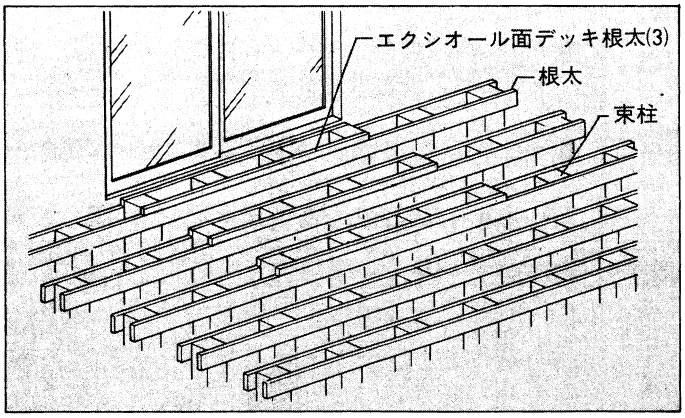
●束柱受金具を埋め込みました基礎石に束柱を建てネジで固定して下さい。

床直付式 基礎石を使わない場合

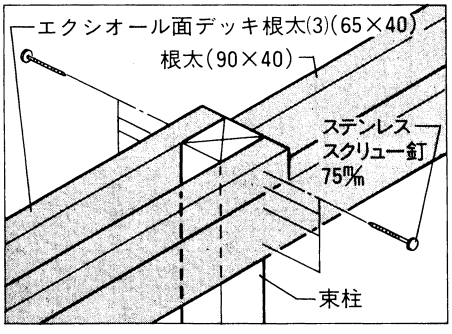


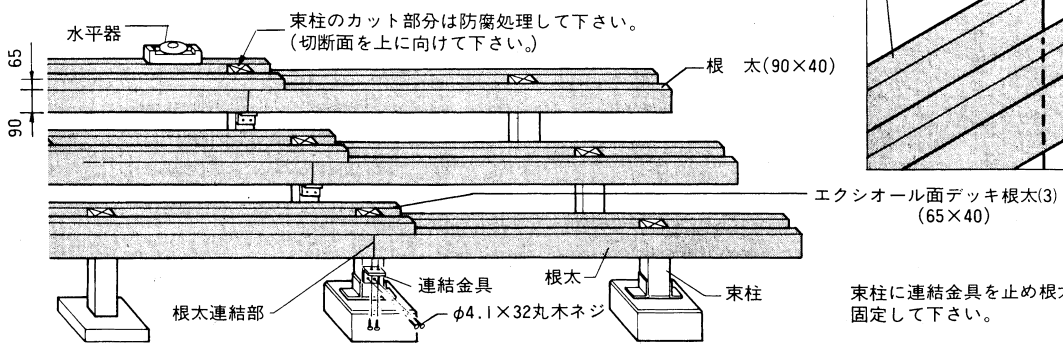
●床面がコンクリートもしくはタイル張りしてある場合、床にアンカーボルトを埋め込み、束柱と床面を金具で固定して下さい。

■根太及びエクシオール面デッキ根太(3)の取付け〔束柱仕様〕



①P.31～38を参照にしてレベルに合わせて根太を束柱に釘止めして下さい。根太のジョイントは束柱のセンターで行ない、連結金具で固定して下さい。
②P.31～38を参照してエクシオール面デッキ根太(3)を根太の上にのせて束柱に釘止めして下さい。
(束柱との固定はステンレススクリュー釘で打ちつけて下さい。)

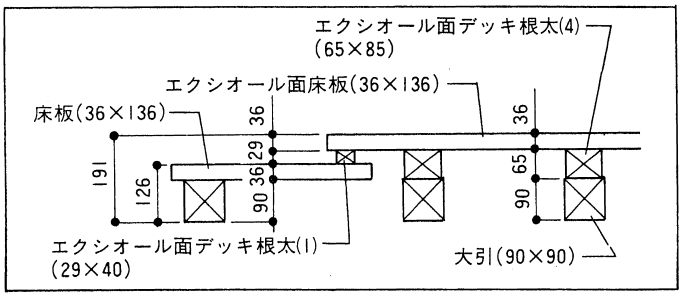




束柱に連結金具を止め根太と固定して下さい。

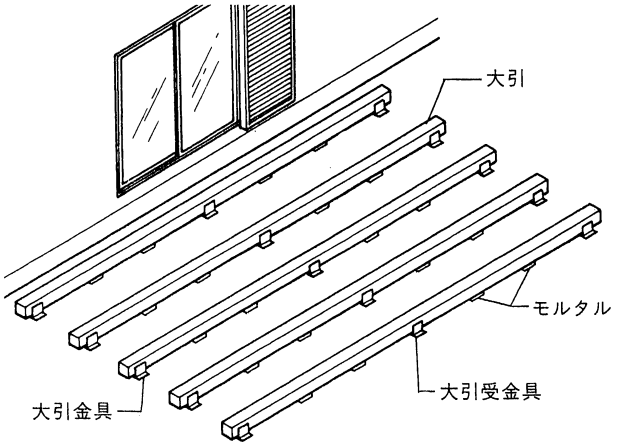
2.大引仕様

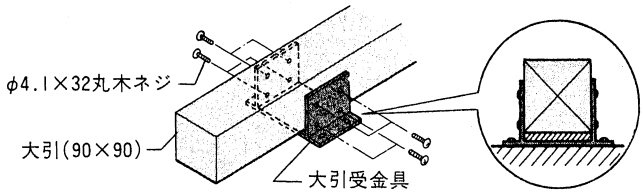
■基礎石、金具及び大引の施工



●大引の固定方法は下記表の3タイプの方法がありますので現場の状況により施工し易い方法で行なって下さい。
●G.Lよりエクシオール面床板の高さの出し方は左図を参照して下さい。

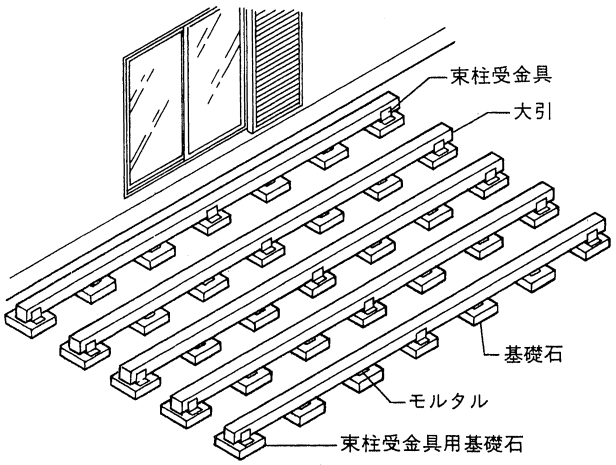
大引受金具使用の場合

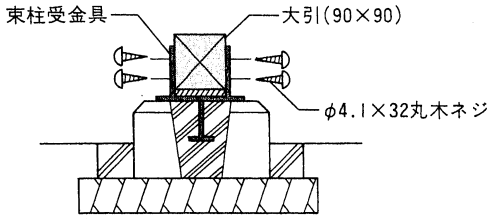




●P.31～38を参照して芯出しをした土間コンクリートに大引受金具をアンカーボルト又は、フィッシャー等を埋込みボルトで固定して下さい。
●大引きを大引受金具にのせて横からφ4.1×32丸木ネジ8本で固定して下さい。
※大引と大引受金具の間にスキ間が生じた場合モルタル等で補引して下さい。
注）大引受金具は束柱仕様の束柱受金具のある所に入れて下さい。

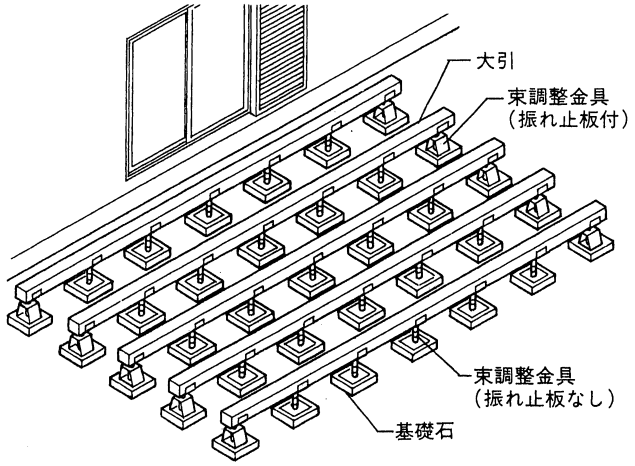
束柱受金具使用の場合

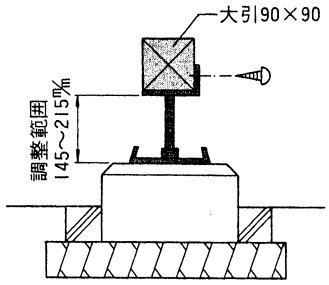




● P.31～38を参照して各々の基礎石のレベルと通り芯を合わせて束柱受け金具をモルタルで固定して下さい。
●大引のレベルを出し、束柱受金具に乗せて横からφ4.1×32丸木ネジ8本で固定して下さい。
注）基礎石の種類及び配置は束柱仕様に準じて下さい。

束調整金具を使用の場合

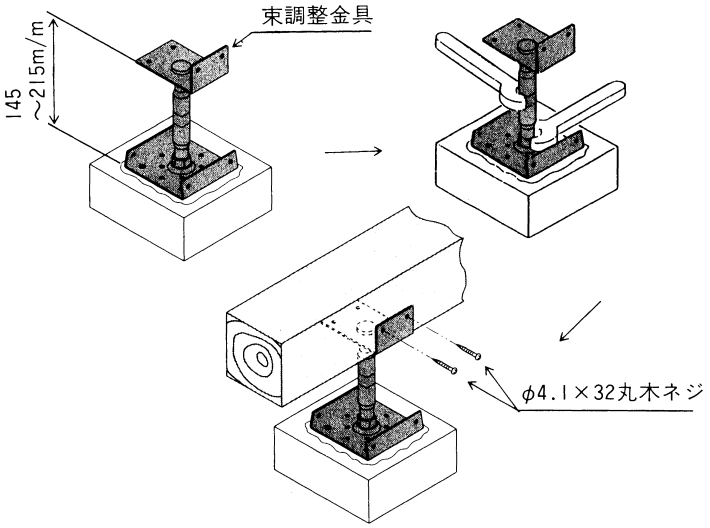




●基礎はすべて基礎石になります。
使用方法はP.26参照

■束調整金具の使用方法

金具下面より大引の下端まで、145m/m～215m/mまで調整可能。(下図参照)

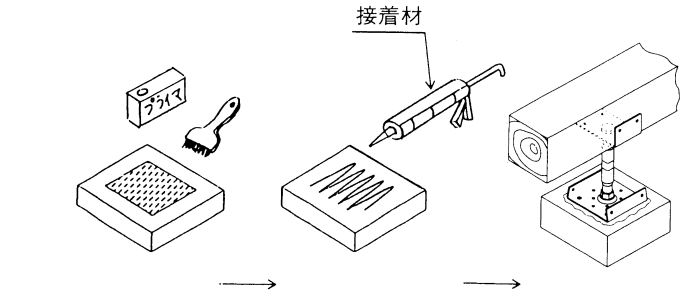


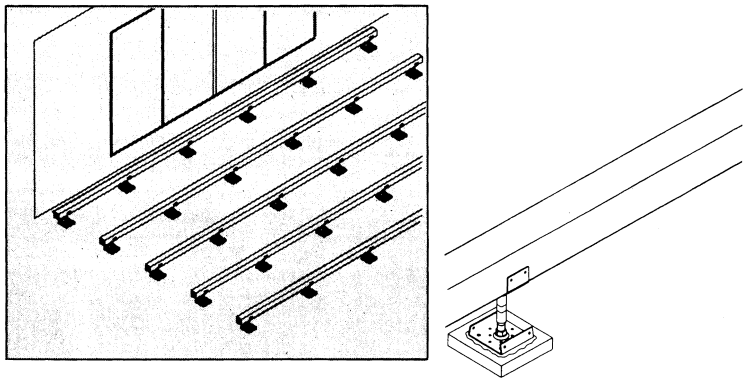
●芯出し(P.31参照)をした土間コンクリート或は基礎石に、束調整金具をアンカー又は、接着剤にて固定して下さい。

●束調整金具の各々のレベル調整を行い、上下のW1/2六角ナットを締めて固定して下さい。(シャフト中央を固定しつつナットを回し締めます。)

●大引材を束調整金具に乗せて、横からφ4.1×32丸木ネジ2本で固定して下さい。
(大引のジョイントは束調整金具のセンターで行なって下さい。)

■接着方法





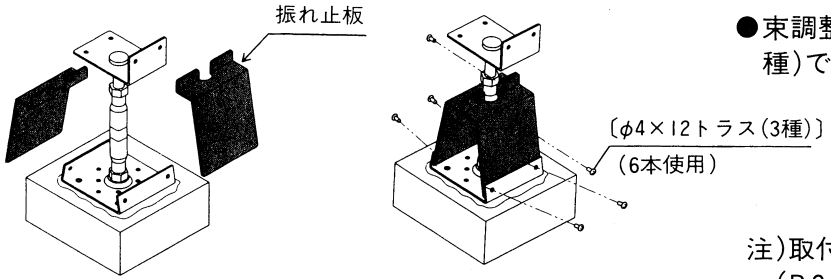
●束調整金具取付け位置に、あらかじめ※専用プライマーをハケにて塗布して下さい。
(厚く塗る必要ありません。)

●プライマー塗布後(乾燥時間20℃で10～30分)、接着剤をその上にカートリッジガンを用いて塗布して下さい。

●ヘラで接着剤を均し、束調整金具を圧着して下さい。

注)プライマー塗布後30分～4時間以内に接着作業を終えて下さい。
注)接着後は束調整金具を動かさないようにして下さい。
※プライマー、接着剤は副資材にて用意してあります。

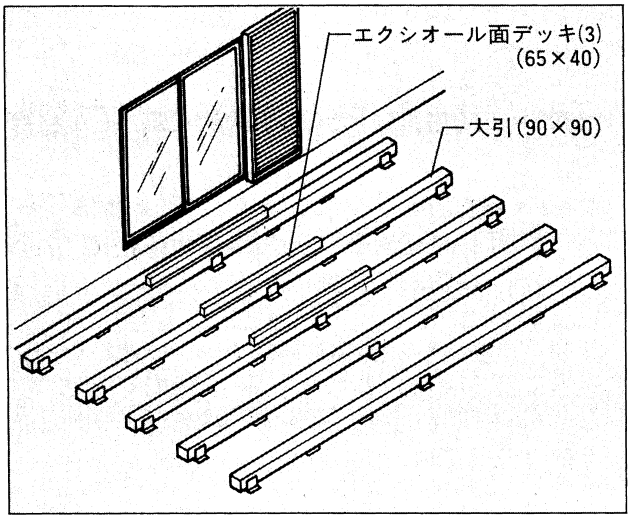
■振れ止板の取付け方法



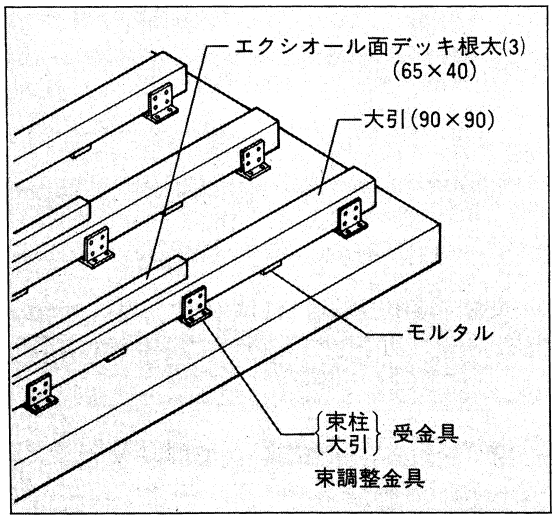
●束調整金具の調整終了後、φ4×12トラス(3種)で取付けして下さい。

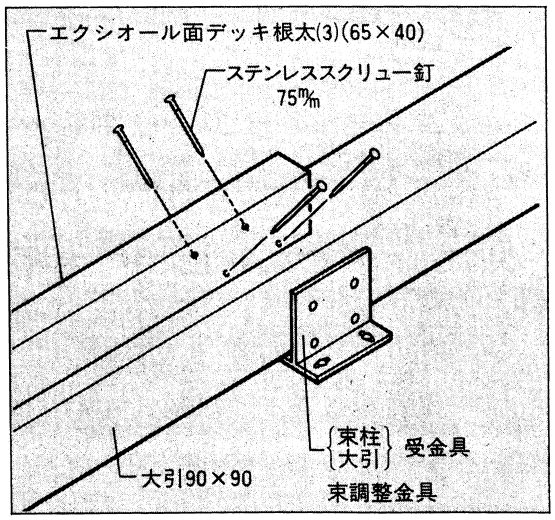
注)取付場所は基礎端部全箇所です。
(P.31～38参照)

■調整根太の取付〔大引仕様〕



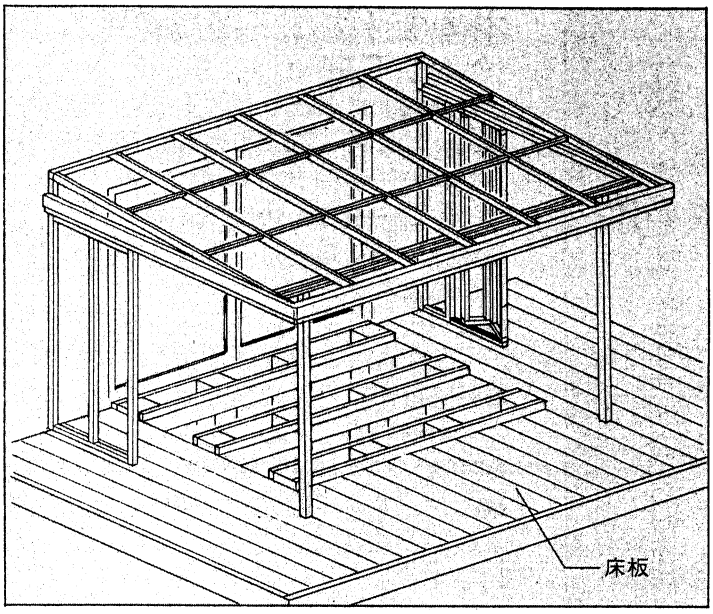
●エクシオール面デッキ床板をウッドデッキ床板より65㎜上げるため、大引の上にエクシオール面デッキ根太(3)(65×40)をP.31～38を参照にして取り付けて下さい。





●大引の上にエクシオール面デッキ根太(2)〔65㎜×40㎜〕を乗せてステンレススクリュー釘75㎜で斜め打ちして固定して下さい。

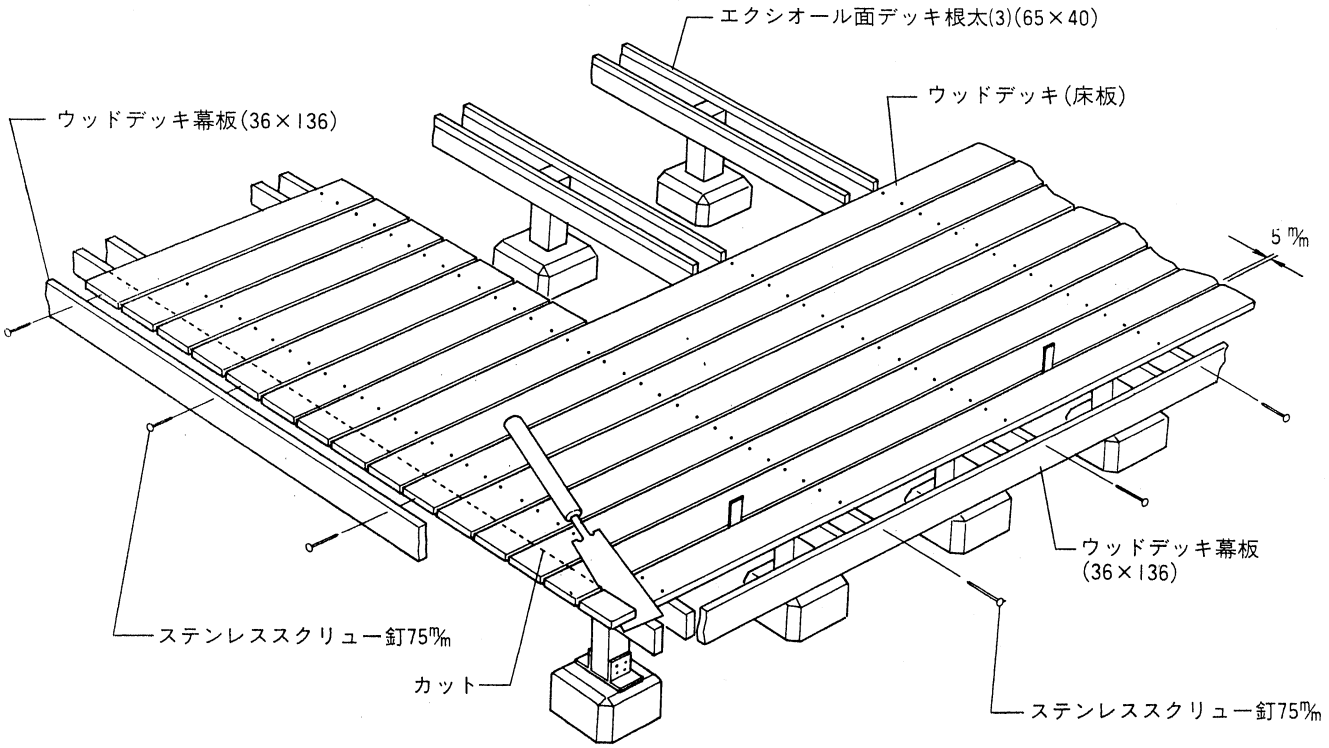
4 床板(P.31～38▨部)の貼り方



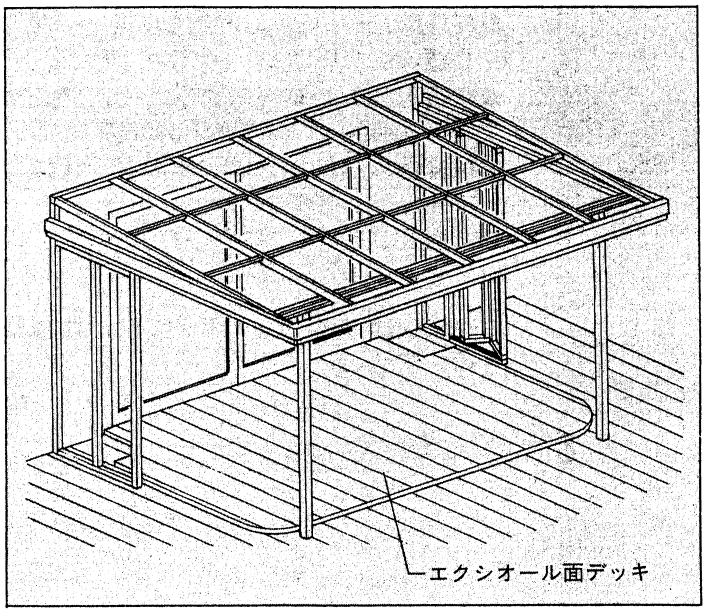
●床板の貼り込みは中間柱の芯から左右に貼り込みして下さい。(P.31～38参照)
●床板をステンレススクリュー釘で止めて下さい。目地ピッチは5㎜あけて下さい。
●柱埋込み式の場合は、床部を形状に合わせてカットして下さい。
●側面及び前面に幕板を釘で止めて下さい。

前面床板のラインをそろえてから前面幕板を止めて下さい。

■詳細図



5 エクシオール面の床板貼り

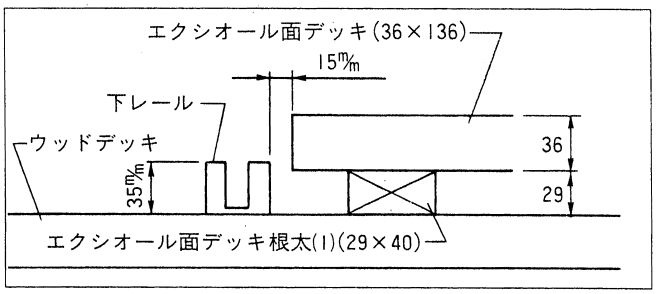


本体組付後に下図を参照して貼り付けて下さい。

取付手順

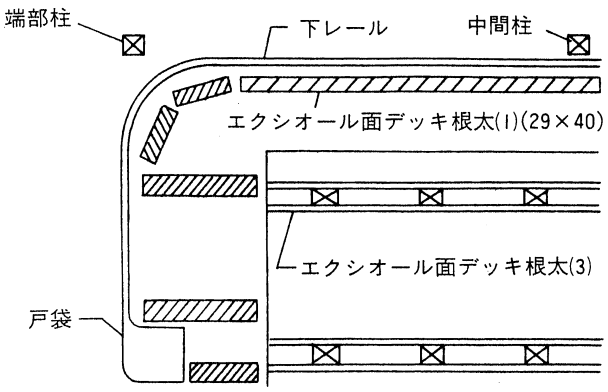
- ●エクシオール面デッキ根太図に合わせてエクシオール面デッキ根太(1)をステンレススクリュー釘で止めて下さい。
- ●床板の貼り込みは中間柱を中心に左右に貼り込んで下さい。
- ●コーナーは、P.41のタイル仕上と同様にゲージプレートを使って加工して下さい。
- ●戸袋は下レールに合わせて各サイズに現場合わせでカットして下さい。
- ●目地ピッチは5㎜あけて下さい。
- ●エクシオール面デッキ根太(1)は現場で加工して下さい。

エクシオール面断面図

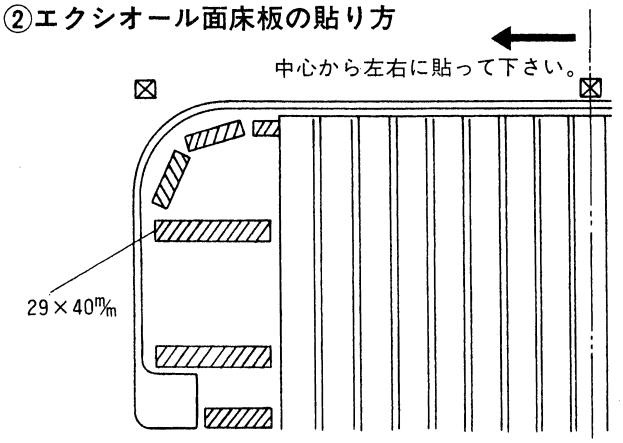


取付手順

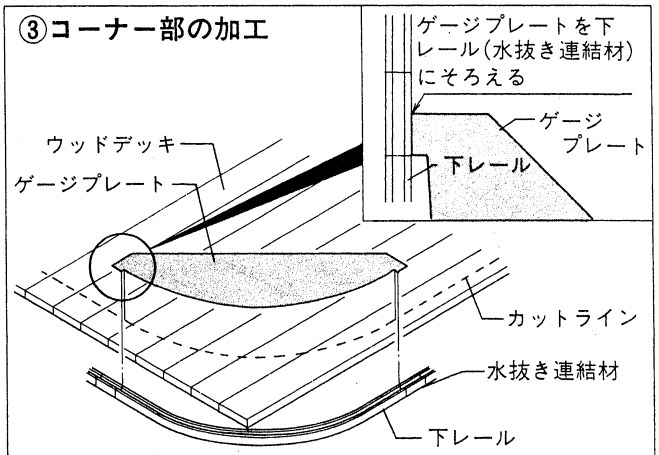
①エクシオール面デッキ根太(1)(29×40)の取付け



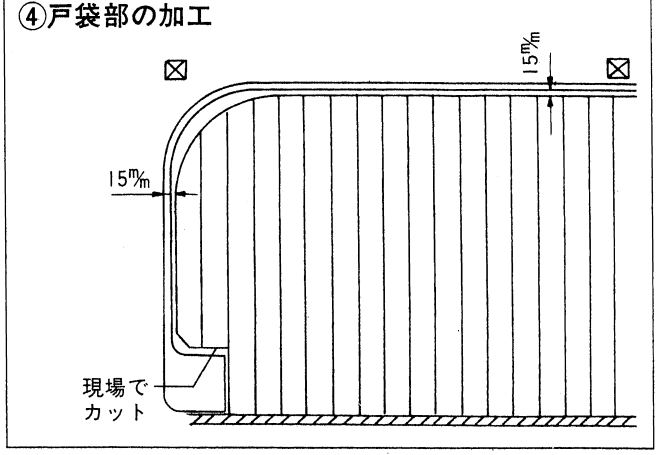
②エクシオール面床板の貼り方



③コーナー部の加工



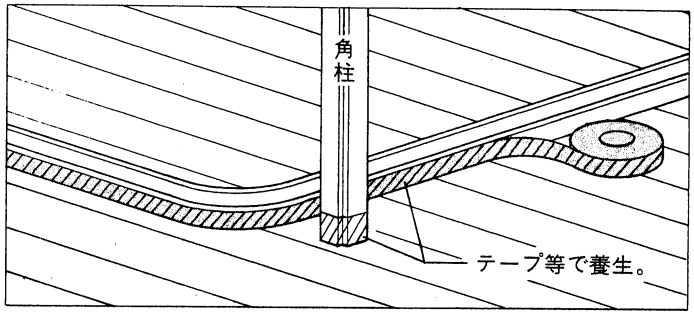
④戸袋部の加工



6 ウッドデッキの塗装方法

下地処理

●ゴミ・ほこりなどは除去、清掃して下さい。
●下レールや柱などにかかる場合は必らず養生して下さい。特にアクリル板に注意して下さい。



塗　装

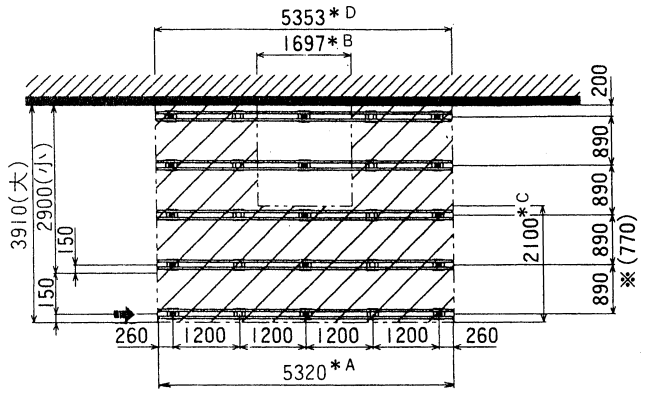
●塗る前に塗料をよく振って攪拌して下さい。
●刷毛塗りは、サドリン又はキシラデコールで2回～3回塗って下さい。
塗り面積1㎡当り150～200mℓ(牛乳びん約1本分が目安です。)1ℓで5～7㎡塗装できます。
●均一な透明塗装を行なうためには、サドリン又はキシラデコール塗布後、約10分～30分後を目安に乾燥した刷毛、ウエス、スポンジなどで後拭きして下さい。

塗　料	作　業	塗り重ね乾燥時間
サドリン又は、キシラデコール	●ハケ塗り　2～3回塗り ※サドリン又はキシラデコールの顔料が分離・沈降しますので塗装の際はよく攪拌して下さい。	24時間以上 ※低温、多湿時は3～4日。

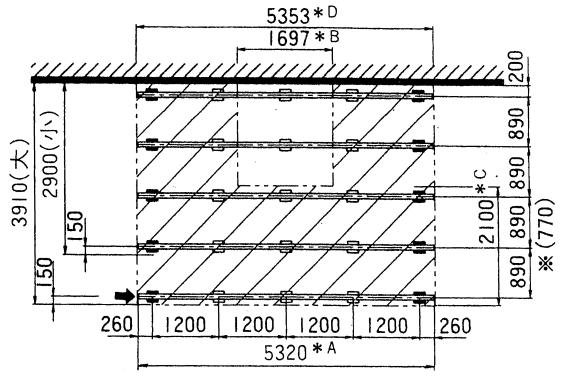
■束柱仕様及び大引仕様の位置出し図　　■束調整金具仕様の位置出し図

2間×7尺　基本型(大)(小)〔標準型・納め(1)・納め(2)・納め(3)〕

束柱仕様及び大引仕様の場合

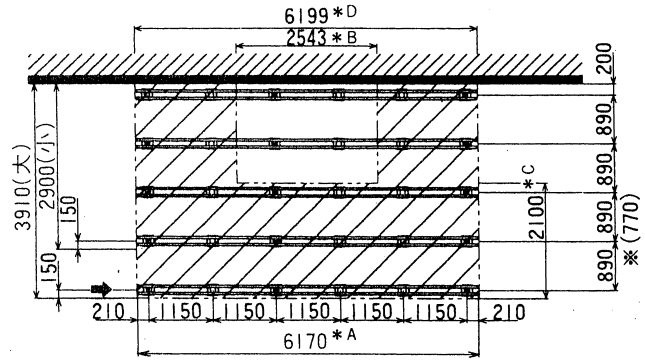


束調整金具仕様の場合

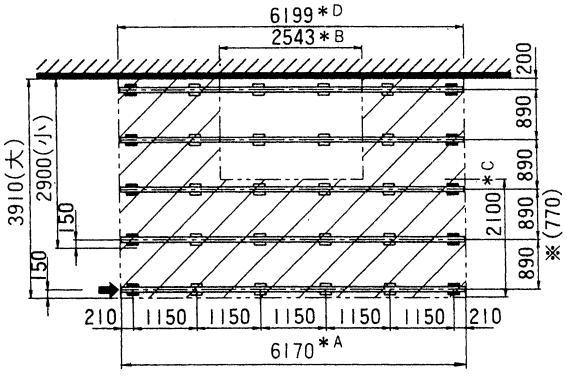


2.5間×7尺　基本型(大)(小)〔標準型・納め(1)・納め(2)〕

束柱仕様及び大引仕様の場合

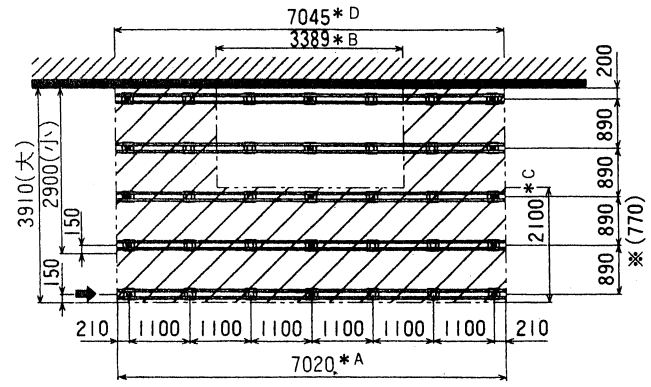


束調整金具仕様の場合

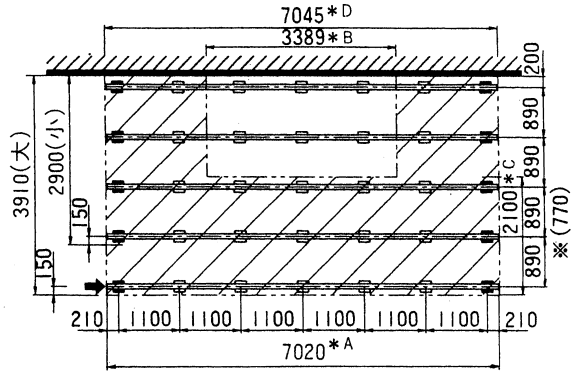


3間×7尺　基本型(大)(小)〔模準型・納め(1)・納め(2)〕

束柱仕様及び大引仕様の場合



束調整金具仕様の場合



束柱受金具用基礎石　　束柱用基礎石　　振れ止板付取付け位置(束調整金具の場合)　　振れ止無し(束調整金具の場合)

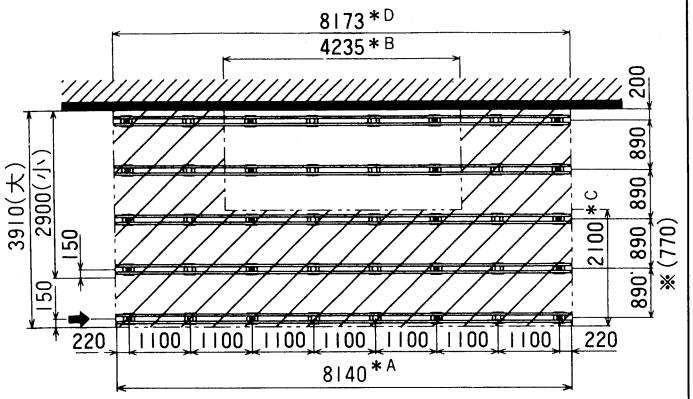
注) 基本型(小)の場合、出幅方向が1列小さくなります。
図中➡の部材1列分不要。
注) デッキ材の張り出し方向は、根太に対して直角方向です。
注) 間口方向の柱ピッチは、1200㎜以内である事。
注) 出幅方向の柱ピッチは、900㎜以内である事。

注) 基本型(小)の場合、※印(　)内寸法に変わります。
注) ＊Aは根太・大引寸法です。
注) ＊Bはエクシオール面デッキ根太(3)寸法です。
注) ＊Cは床板寸法です。
注) ＊Dは床外々寸法です。(幕板は除く)

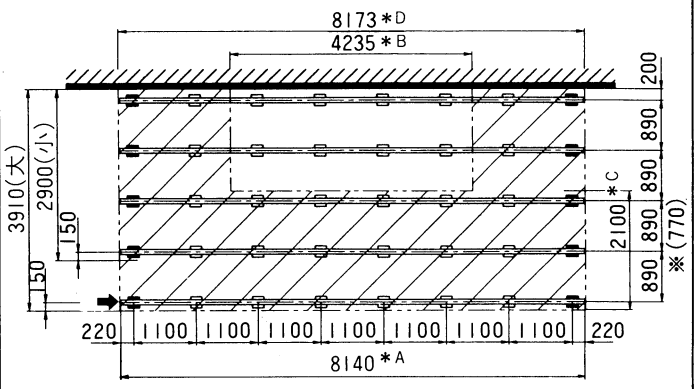
■束柱仕様及び大引仕様の位置出し図　　■束調整金具仕様の位置出し図

3.5間×7尺　基本型(大)(小)〔標準型〕

束柱仕様及び大引仕様の場合

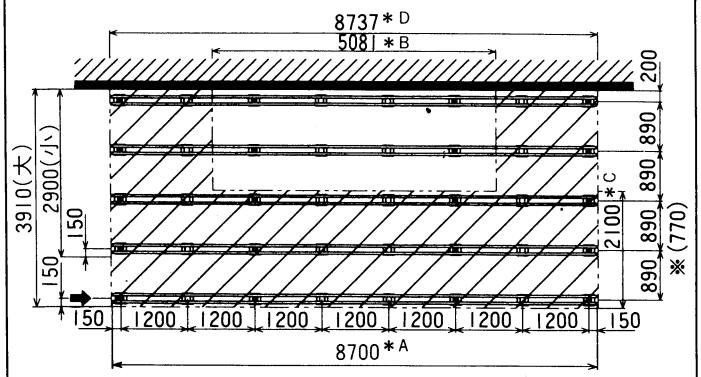


束調整金具仕様の場合

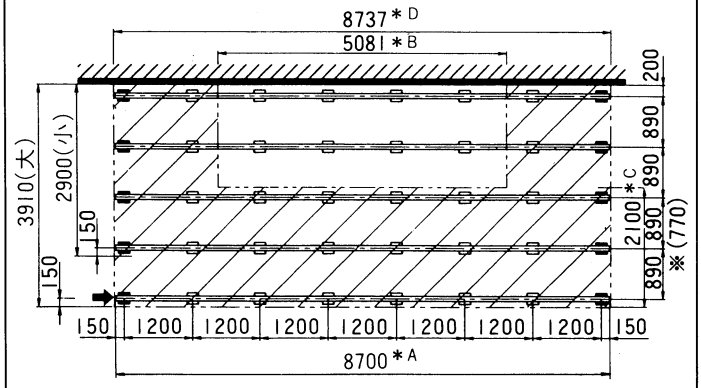


4間×7尺　基本型(大)(小)〔標準型〕

束柱仕様及び大引仕様の場合



束調整金具仕様の場合

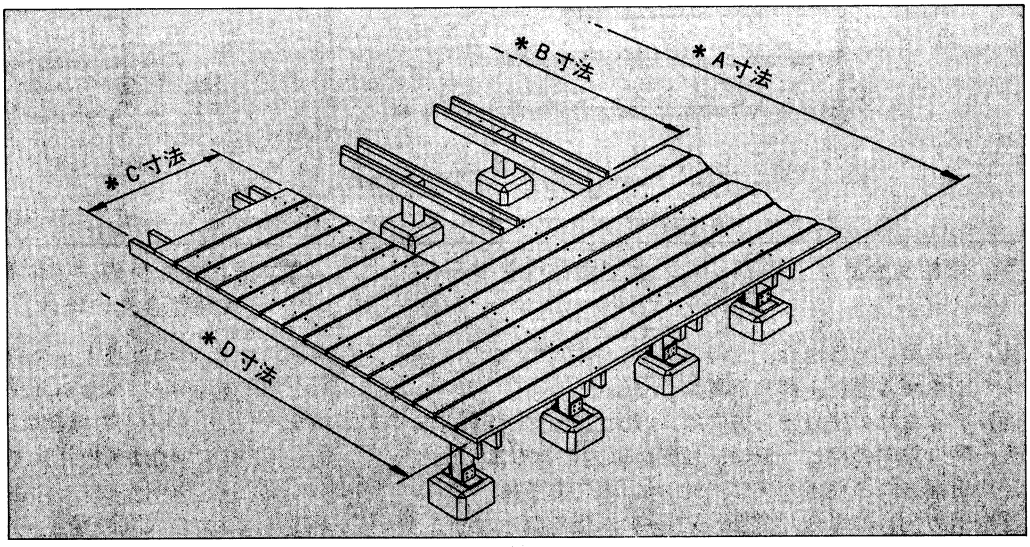


束柱受金具用基礎石　　束柱用基礎石　　振れ止板付取付け位置(束調整金具の場合)　　振れ止無し(束調整金具の場合)

注) 基本型(小)の場合、出幅方向が1列小さくなります。
図中➡の部材1列分不要。
注) デッキ材の張り出し方向は、根太に対して直角方向です。
注) 間口方向の柱ピッチは、1200㎜以内である事。
注) 出幅方向の柱ピッチは、900㎜以内である事。

注) 基本型(小)の場合、※印(　)内寸法に変わります。
注) *Aは根太・大引寸法です。
注) *Bはエクシオール面デッキ根太(3)寸法です。
注) *Cは床板寸法です。
注) *Dは床外々寸法です。(幕板は除く)

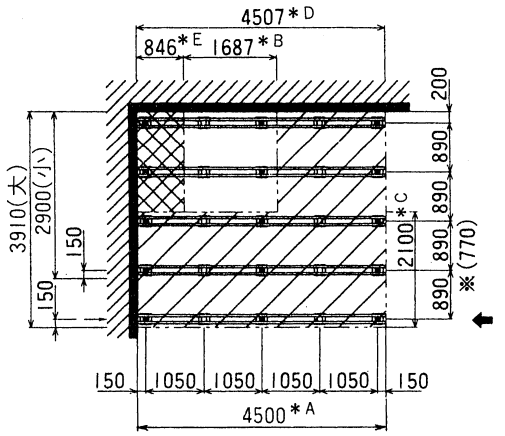
■ウッドデッキ



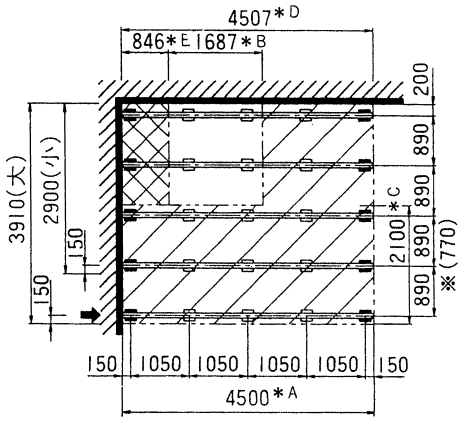
■束柱仕様及び大引仕様の位置出し図　　■束調整金具仕様の位置出し図

2間×7尺　入隅型(大)(小)〔納め(1)・納め(2)〕

束柱仕様及び大引仕様

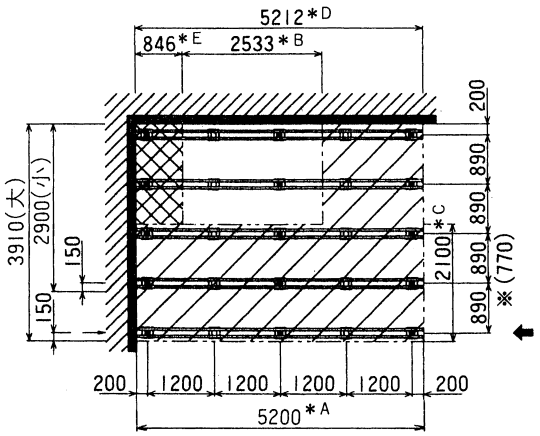


束調整金具仕様の場合

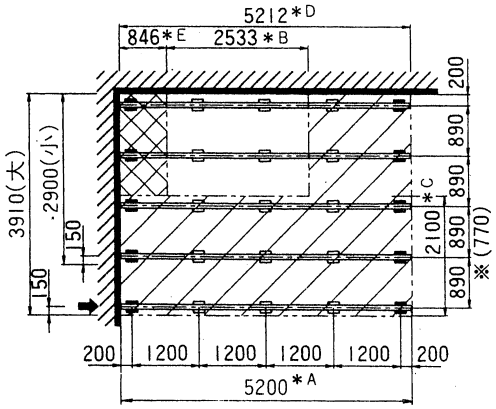


2.5間×7尺　入隅型(大)(小)〔納め(1)・納め(2)〕

束柱仕様及び大引仕様の場合

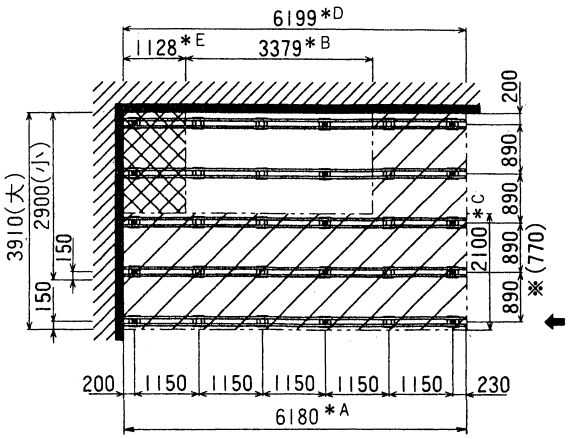


束調整金具仕様の場合

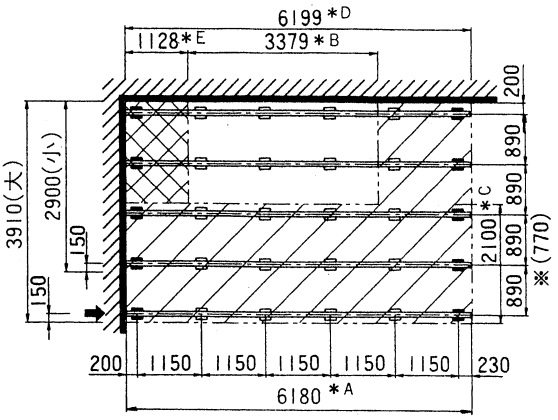


3間×7尺　入隅型(大)(小)〔納め(1)・納め(2)〕

束柱仕様及び大引仕様の場合



束調整金具仕様の場合



束柱受金具用基礎石　　束柱用基礎石　　振れ止板付取付け位置（束調整金具の場合）　　振れ止無し（束調整金具の場合）

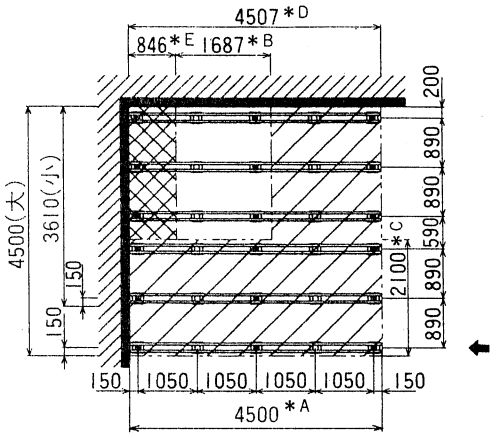
注）基本型(小)の場合、出幅方向が1列小さくなります。
　　図中➡の部材1列分不要。
注）デッキ材の張り出し方向は、根太に対して直角方向です。
注）間口方向の柱ピッチは、1200㎜以内である事。
注）出幅方向の柱ピッチは、900㎜以内である事。
注）納め(1)の場合、▨の部分の床板不要となります。
注）基本型(小)の場合、※印(　)内寸法に変わります。

注）＊Aは根太・大引寸法です。
注）＊Bはエクシオール面デッキ根太(3)寸法です。
　　納め(1)の場合はE寸法をプラスして下さい。
注）＊Cは床板寸法です。
注）＊Dは床外々寸法です。(幕板は除く)
注）右入隅の場合、左右を反転して位置出しして下さい。

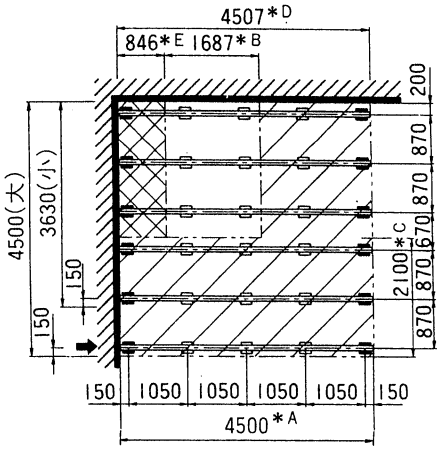
■束柱仕様及び大引仕様の位置出し図　　■束調整金具仕様の位置出し図

2間×9尺　入隅型(大)(小)〔納め(1)・納め(2)〕

束柱仕様及び大引仕様の場合

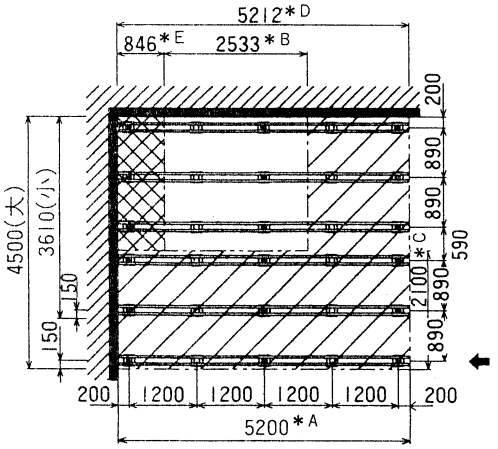


束調整金具仕様の場合

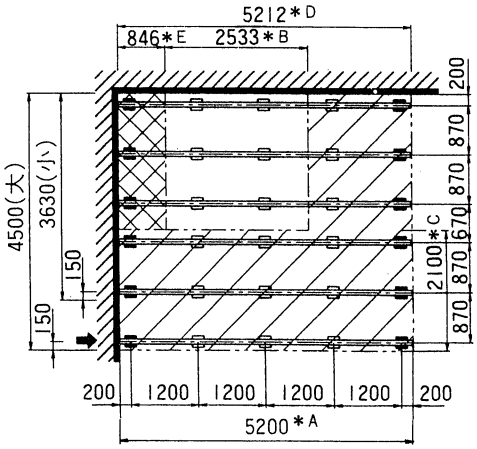


2.5間×9尺　入隅型(大)(小)〔納め(1)・納め(2)〕

束柱仕様及び大引仕様の場合

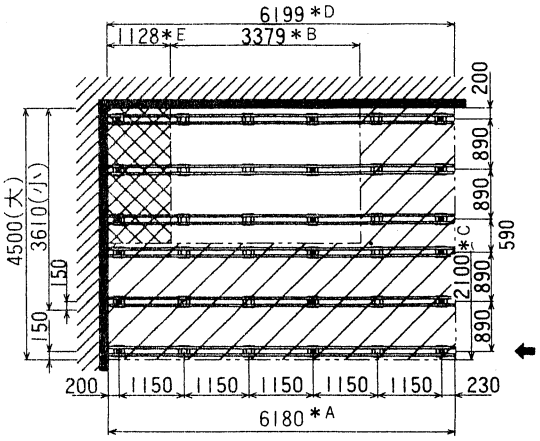


束調整金具仕様の場合

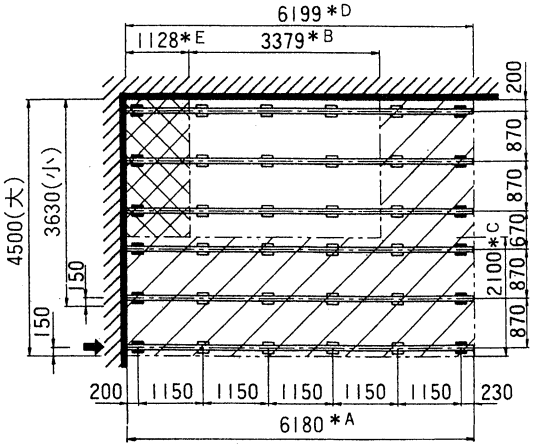


3間×9尺　入隅型(大)(小)〔納め(1)・納め(2)〕

束柱仕様及び大引仕様の場合



束調整金具仕様の場合



束柱受金具用基礎石　　束柱用基礎石　　振れ止板付取付け位置(束調整金具の場合)　　振れ止無し(束調整金具の場合)

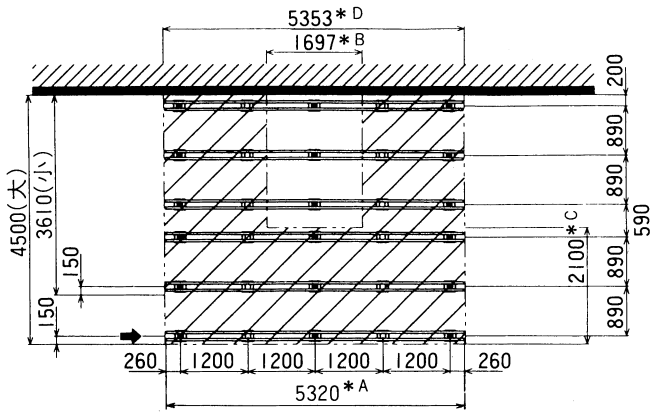
注) 基本型(小)の場合、出幅方向が1列小さくなります。
図中➡の部材1列分不要。
注) デッキ材の張り出し方向は、根太に対して直角方向です。
注) 間口方向の柱ピッチは、1200㎜以内である事。
注) 出幅方向の柱ピッチは、900㎜以内である事。
注) 納め(1)の場合、▨の部分の床板不要となります。
注) 基本型(小)の場合、※印(　)内寸法に変わります。

注) ＊Aは根太・大引寸法です。
注) ＊Bはエクシオール面デッキ根太(3)寸法です。
納め(1)の場合はE寸法をプラスして下さい。
注) ＊Cは床板寸法です。
注) ＊Dは床外々寸法です。(幕板は除く)
注) 右入隅の場合、左右を反転して位置出しして下さい。

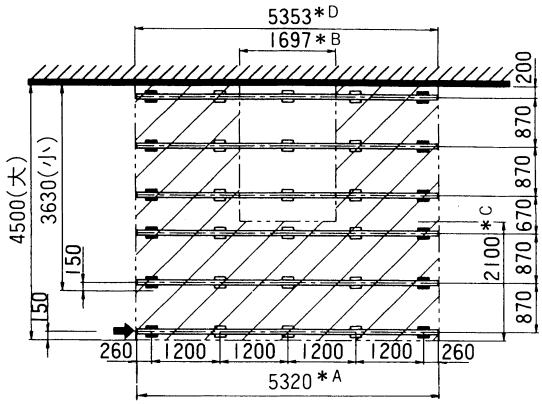
■束柱仕様及び大引仕様の位置出し図　　■束調整金具仕様の位置出し図

2間×9尺　基本型(大)(小)〔標準型・納め(1)・納め(2)〕

束柱仕様及び大引仕様の場合

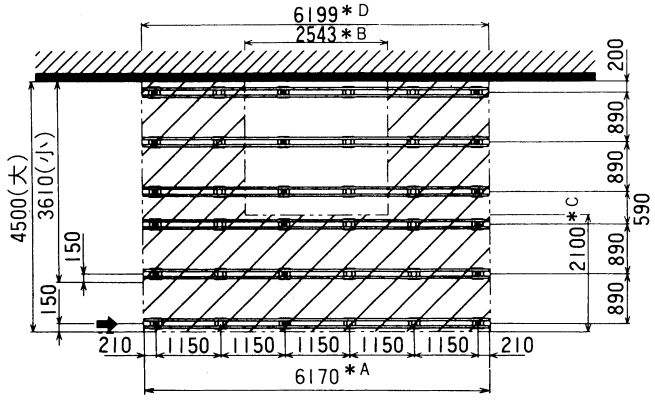


束調整金具仕様の場合

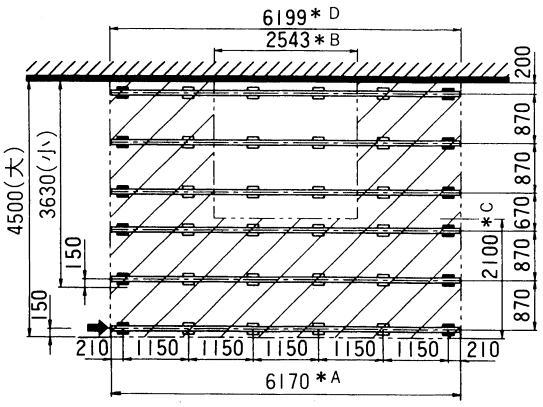


2.5間×9尺　基本型(大)(小)〔標準型・納め(1)・納め(2)〕

束柱仕様及び大引仕様の場合

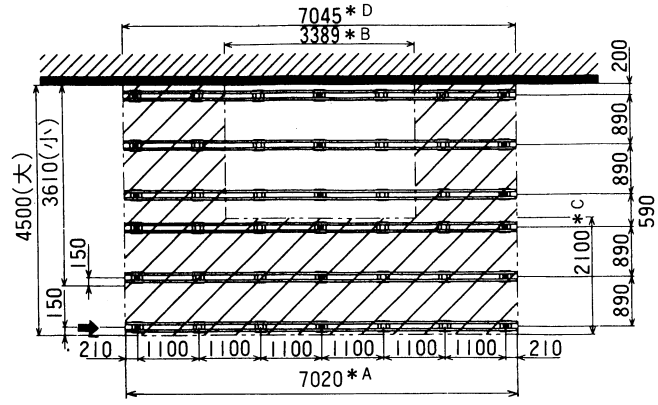


束調整金具仕様の場合

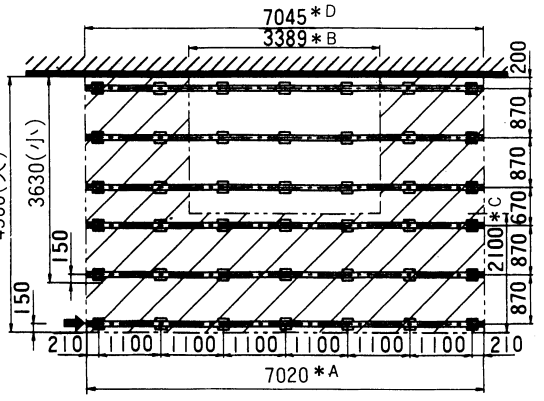


3間×9尺　基本型(大)(小)〔標準型・納め(1)・納め(2)〕

束柱仕様及び大引仕様の場合



束調整金具仕様の場合



束柱受金具用基礎石　　束柱用基礎石　　振れ止板付取付け位置(束調整金具の場合)　　振れ止無し(束調整金具の場合)

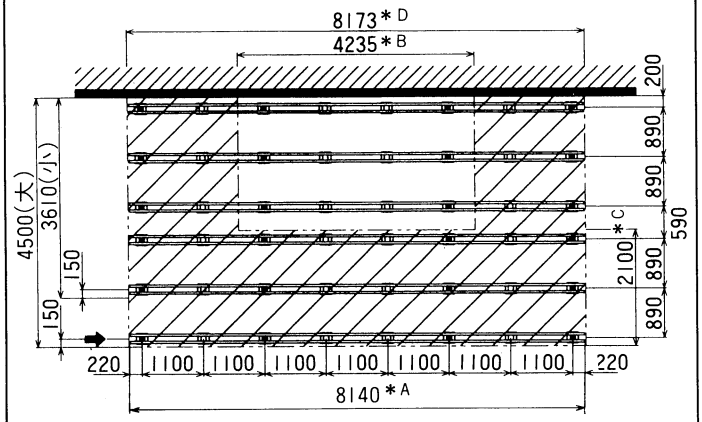
注) 基本型(小)の場合、出幅方向が1列小さくなります。
図中➡の部材1列分不要。
注) デッキ材の張り出し方向は、根太に対して直角方向です。
注) 間口方向の柱ピッチは、1200㎜以内である事。
注) 出幅方向の柱ピッチは、900㎜以内である事。

注) 基本型(小)の場合、※印(　)内寸法に変わります。
注) ＊Aは根太・大引寸法です。
注) ＊Bはエクシオール面デッキ根太(3)寸法です。
注) ＊Cは床板寸法です。
注) ＊Dは床外々寸法です。(幕板は除く)

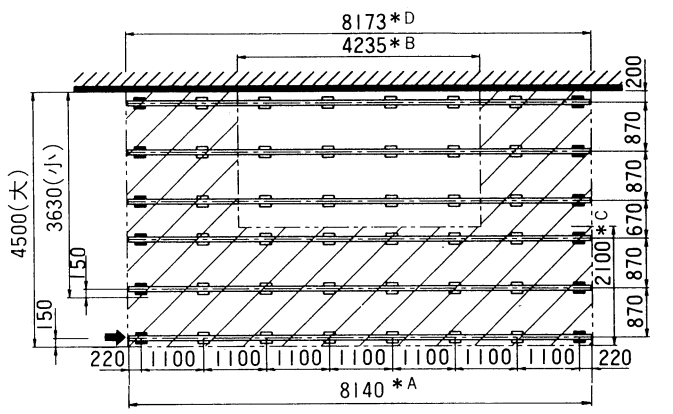
■束柱仕様及び大引仕様の位置出し図　　■束調整金具仕様位置出し図

3.5間×9尺　基本型(大)(小)〔標準型〕

束柱仕様及び大引仕様の場合

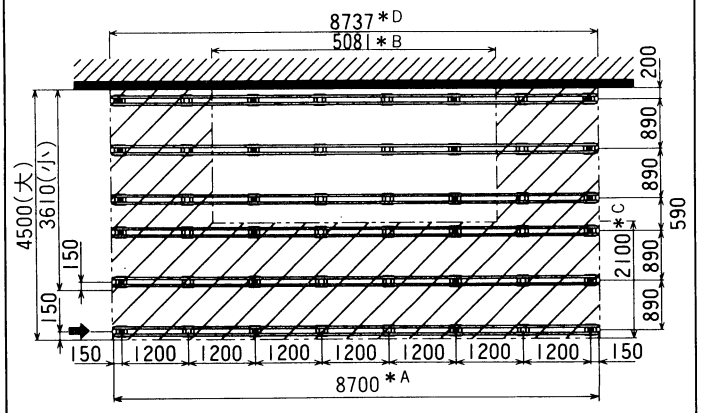


束調整金具仕様の場合

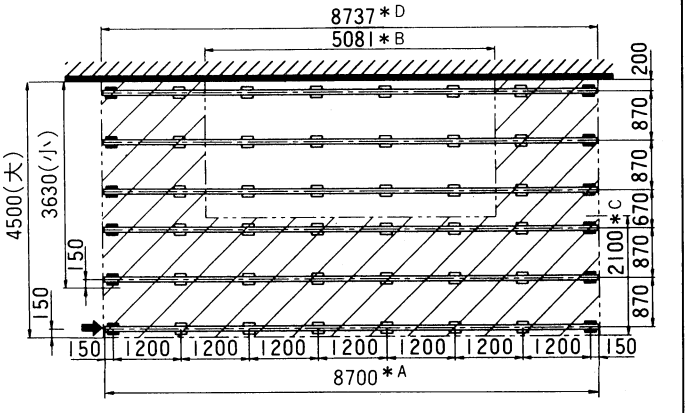


4間×9尺　基本型(大)(小)〔標準型〕

束柱仕様及び大引仕様の場合



束調整金具仕様の場合

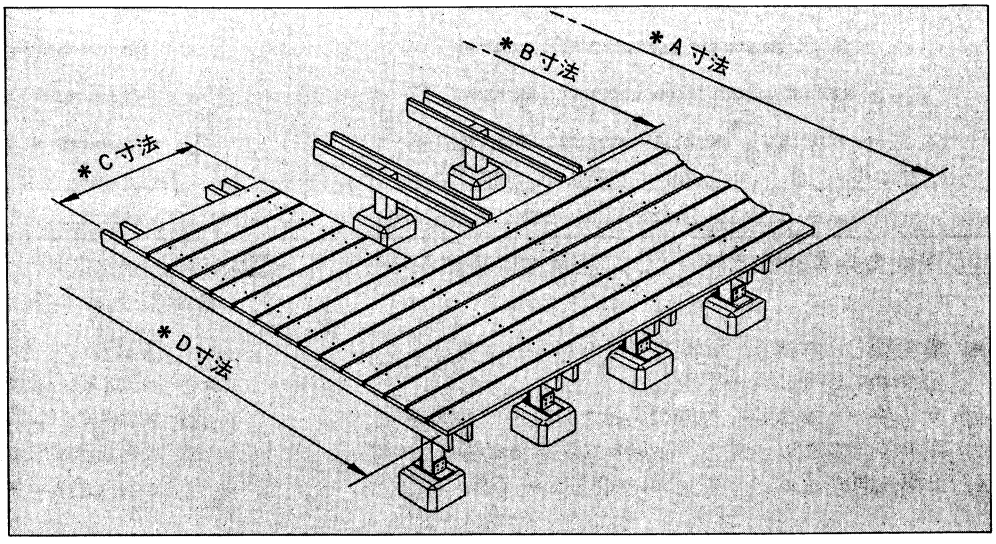


束柱受金具用基礎石　　束柱用基礎石　　振れ止板付取付け位置(束調整金具の場合)　　振れ止無し(束調整金具の場合)

注) 基本型(小)の場合、出幅方向が1列小さくなります。
図中➡の部材1列分不要。
注) デッキ材の張り出し方向は、根太に対して直角方向です。
注) 間口方向の柱ピッチは、1200㎜以内である事。
注) 出幅方向の柱ピッチは、900㎜以内である事。

注) 基本型(小)の場合、※印(　)内寸法に変わります。
注) *Aは根太・大引寸法です。
注) *Bはエクシオール面デッキ根太(3)寸法です。
注) *Cは床板寸法です。
注) *Dは床外々寸法です。(幕板は除く)

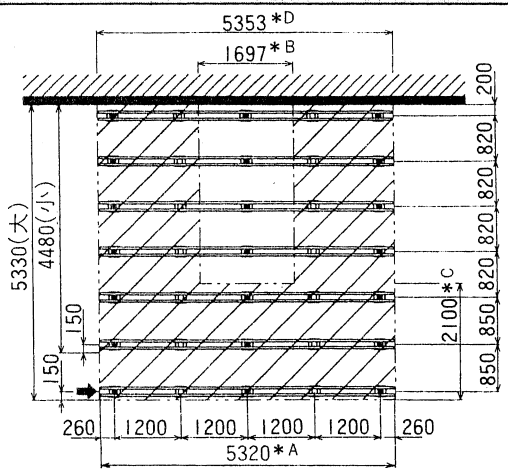
■ウッドデッキ



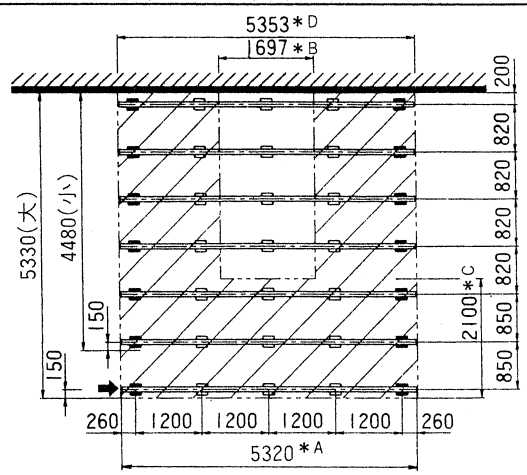
■束柱仕様及び大引仕様の位置出し図　　■束調整金具仕様の位置出し図

2間×12尺　基本型(大)(小)〔標準型・納め(1)・納め(2)〕

束柱仕様及び大引仕様の場合

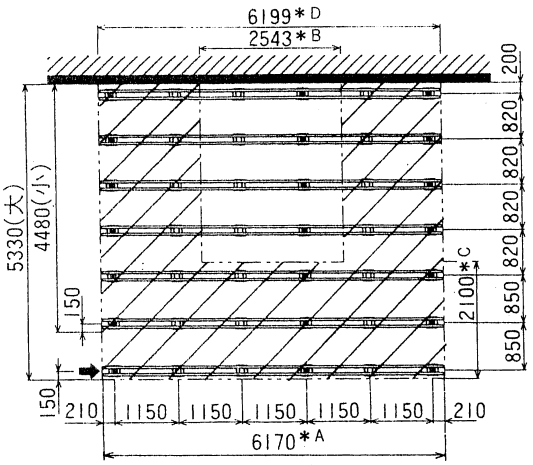


束調整金具仕様の場合

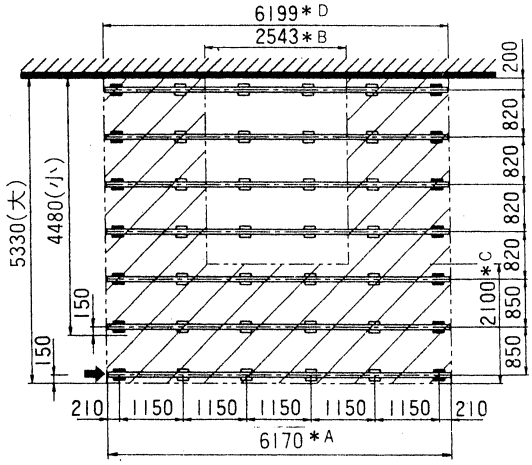


2.5間×12尺　基本型(大)(小)〔標準型〕

束柱仕様及び大引仕様の場合

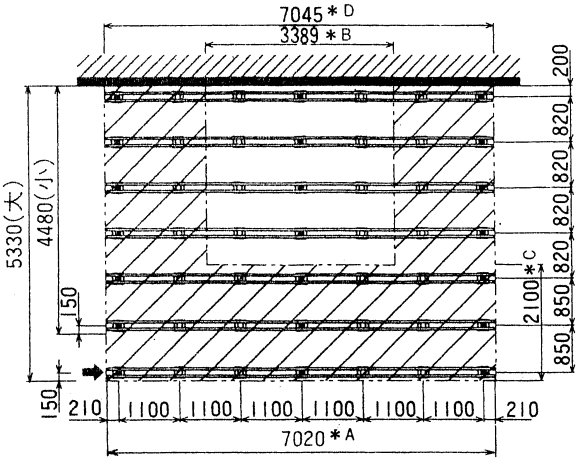


束調整金具仕様の場合

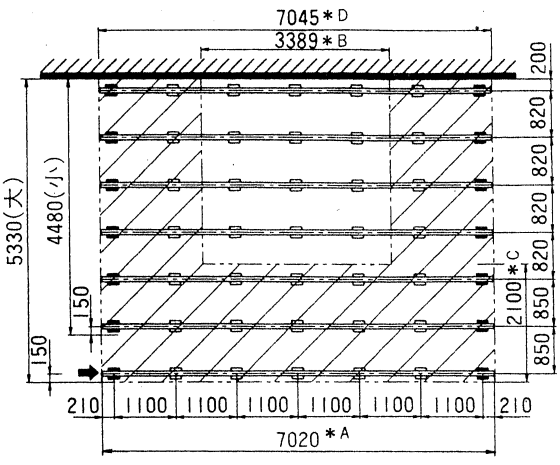


3間×12尺　基本型(大)(小)〔標準型〕

束柱仕様及び大引仕様の場合



束調整金具仕様の場合



束柱受金具用基礎石　　束柱用基礎石　　振れ止板付取付け位置(束調整金具の場合)　　振れ止無し(束調整金具の場合)

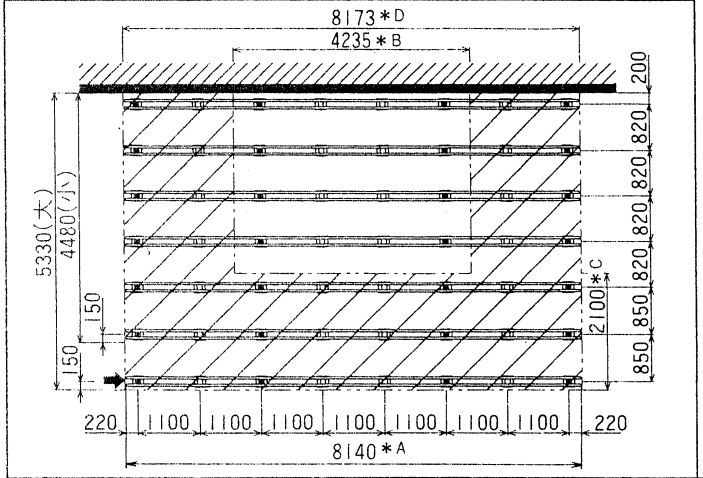
注) 基本型(小)の場合、出幅方向が1列小さくなります。
図中➡の部材1列分不要。
注) デッキ材の張り出し方向は、根太に対して直角方向です。
注) 間口方向の柱ピッチは、1200㎜以内である事。
注) 出幅方向の柱ピッチは、900㎜以内である事。

注) 基本型(小)の場合、※印(　)内寸法に変わります。
注) ＊Aは根太・大引寸法です。
注) ＊Bはエクシオール面デッキ根太(3)寸法です。
注) ＊Cは床板寸法です。
注) ＊Dは床外々寸法です。(幕板は除く)

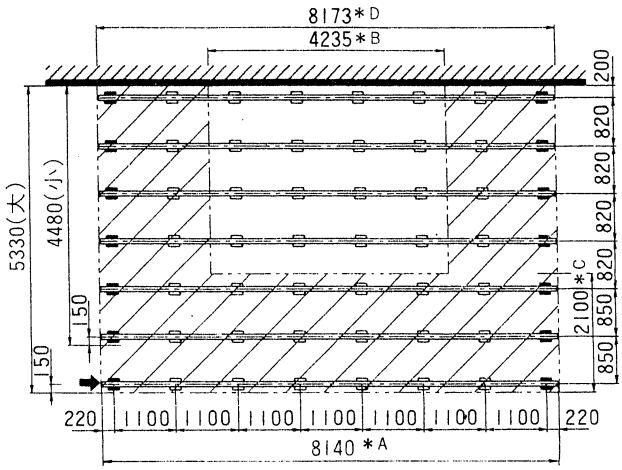
■束柱仕様及び大引仕様の位置出し図　　■束調整金具仕様の位置出し図

3.5間×12尺　基本型(大)(小)〔標準型〕

束柱仕様及び大引仕様の場合

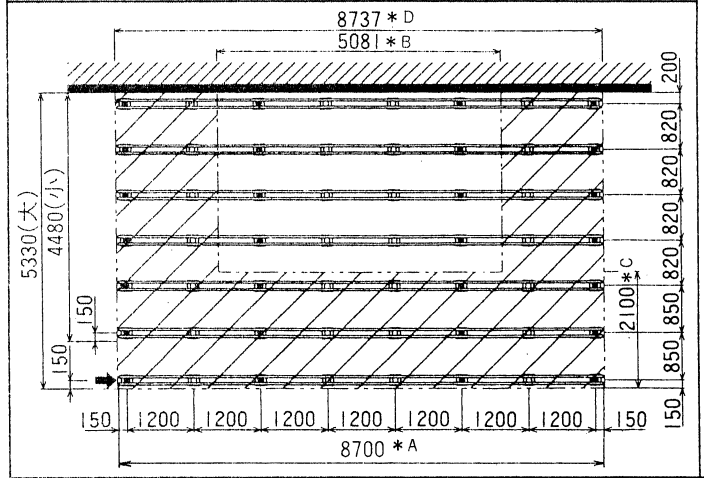


束調整金具仕様の場合

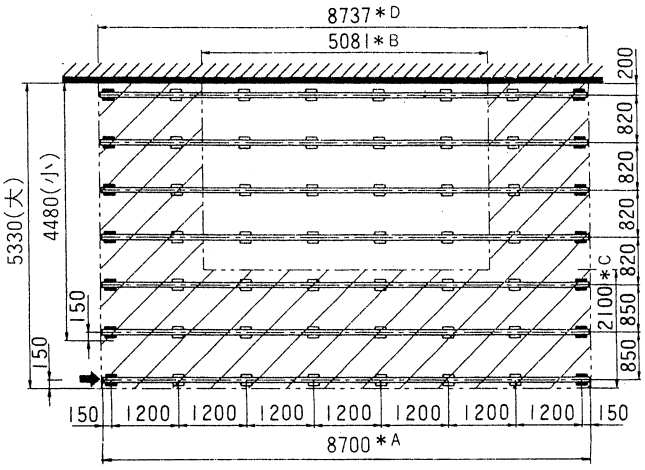


4間×12尺　基本型(大)(小)〔標準型〕

束柱仕様及び大引仕様の場合

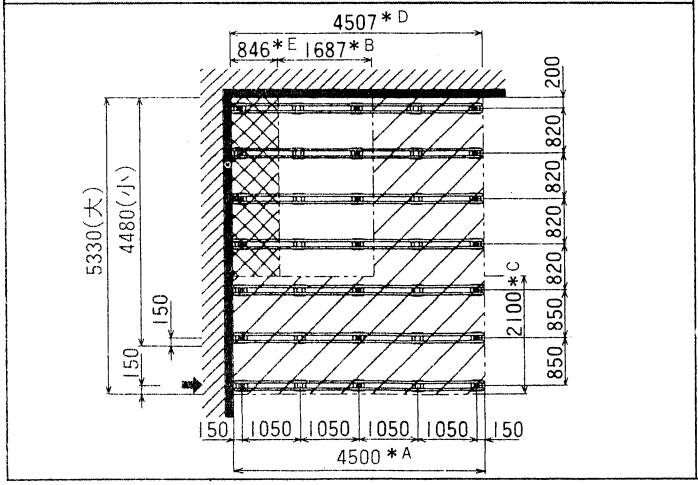


束調整金具仕様の場合

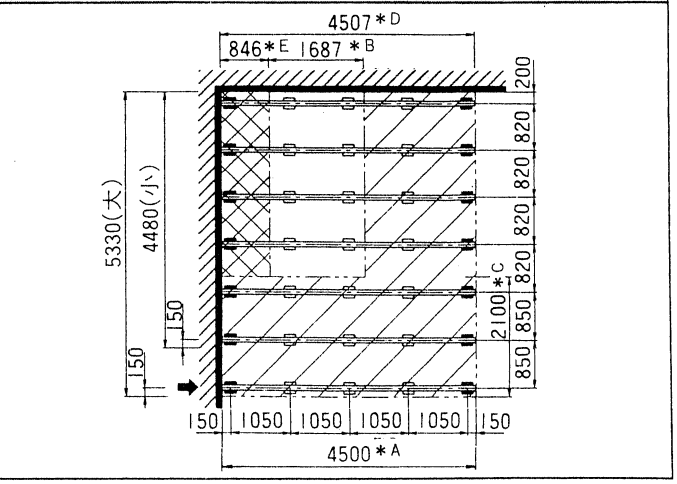


2間×12尺　入隅型(大)(小)〔納め(1)・納め(2)〕

束柱仕様及び大引仕様の場合



束調整金具仕様の場合

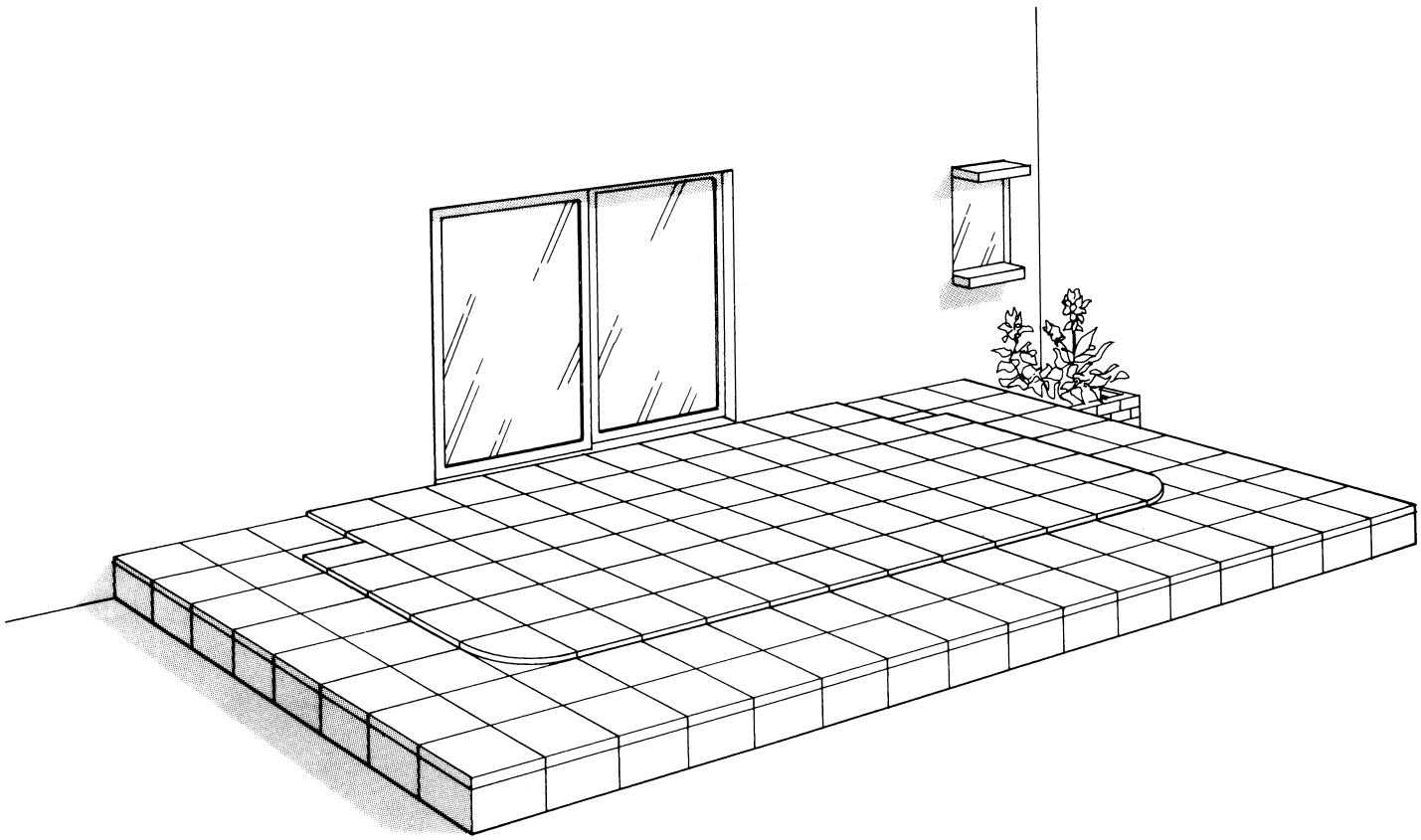


束柱受金具用基礎石　　束柱用基礎石　　振れ止板付取付け位置（束調整金具の場合）　　振れ止無し（束調整金具の場合）

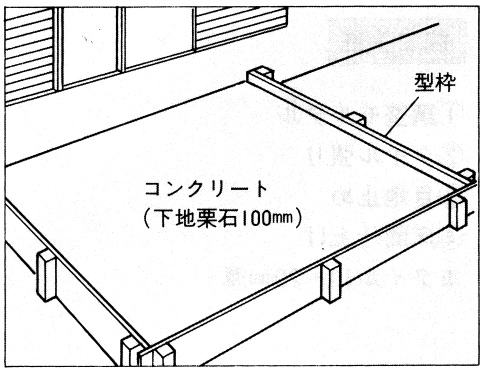
注）基本型(小)の場合、出幅方向が1列小さくなります。
　　図中➡の部材1列分不要。
注）デッキ材の張り出し方向は、根太に対して直角方向です。
注）間口方向の柱ピッチは、1200㎜以内である事。
注）出幅方向の柱ピッチは、900㎜以内である事。
注）納め(1)の場合、▨の部分の床板不要となります。
注）基本型(小)の場合、※印(　)内寸法に変わります。

注）＊Aは根太・大引寸法です。
注）＊Bはエクシオール面デッキ根太(3)寸法です。
　　納め(1)の場合はE寸法をプラスして下さい。
注）＊Cは床板寸法です。
注）＊Dは床外々寸法です。(幕板は除く)
注）右入隅の場合、左右を反転して位置出しして下さい。

パティオ TYPE テラス仕様の床施工方法



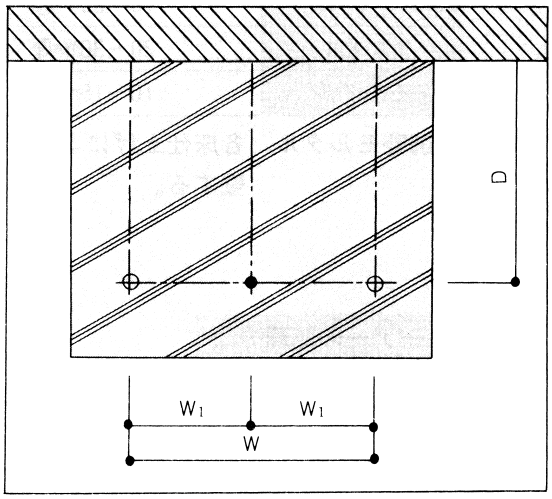
1 土間コンクリート下打ち



テラスの下地作成

●水盛器で床レベルを合わせてから下地栗石を敷きコンクリートを下打ちする。

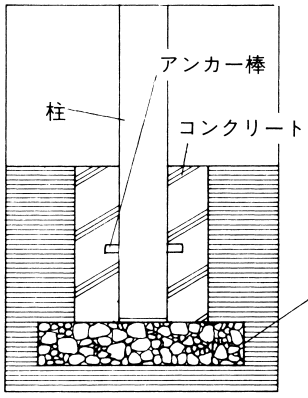
2 柱位置出し



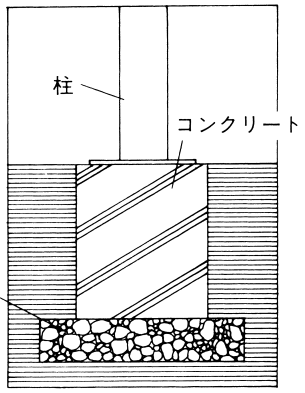
※間口３間、3.5間、４間タイプは●印の中間柱が必要。

テラス仕様の場合、「柱位置出し・レベル出し」してから、本体の組立て、下レール位置出し取付後、床の施工をして下さい。

埋め込み式の場合



床直付式の場合



■柱位置出し寸法

柱位置出し寸法								
間口×出幅 / タイプ	出幅12尺D＝3,615㎜		出幅9尺D＝2,715㎜		出幅7尺D＝2,115㎜		出幅4尺D＝1,050㎜	
	W寸法	W1寸法	W寸法	W1寸法	W寸法	W1寸法	W寸法	W1寸法
間口２間〔標準型・納め(1)・納め(2)・納め(3)〕	3,570㎜		3,570㎜		3,570㎜		3,400㎜	
間口2.5間〔標準型・納め(1)〕	3,600㎜		3,600㎜		3,600㎜			
間口2.5間〔納め(2)〕			※4,035㎜		※4,035㎜		3,950㎜	
間口３間〔標準型・納め(1)・納め(2)〕	5,370㎜	2,685㎜	5,370㎜	2,685㎜	5,370㎜	2,685㎜	5,200㎜	2,600㎜
間口3.5間〔標準型〕	6,270㎜	3,135㎜	6,270㎜	3,135㎜	6,270㎜	3,135㎜		
間口４間〔標準型〕	7,170㎜	3,585㎜	7,170㎜	3,585㎜	7,170㎜	3,585㎜		

※間口2.5間納め(2)の場合、柱芯はセンター振分けになりませんので、10・12頁の基本寸法図を参照して下さい。

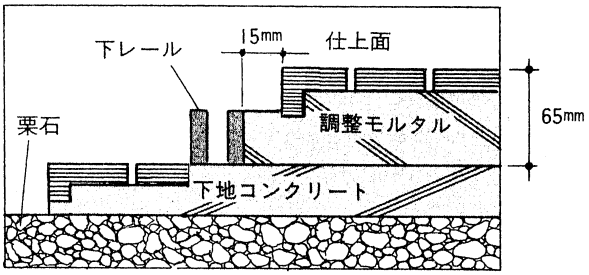
注1）納め(3)は間口２間×出幅７尺タイプのみです。

注2）出幅４尺タイプは、納め(2)のみです。

注3）出幅12尺タイプの納め(1)と納め(2)は２間のみです。

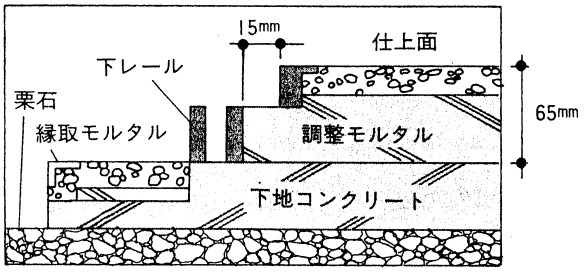
3 テラス面仕上げ

■タイル張り仕上げの場合



■洗い出し仕上げの場合

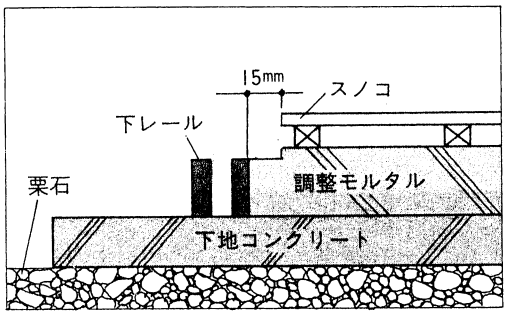
仕上げ断面



※洗い出し20～30㎜厚

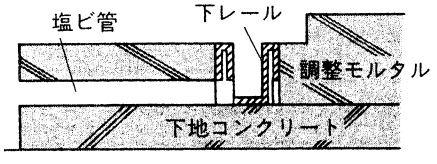
■コンクリート+スノコ仕上げの場合

仕上げ断面



排水管を取付ける場合

●下レールの底面に10㎜の穴を開け、その位置より下地コンクリートをはつり、エンビ管を埋め込む。



施工手順

①調整モルタル
②タイル張り
③目地止め
④床面仕上げ
※タイル10～20㎜厚

床仕上げ面

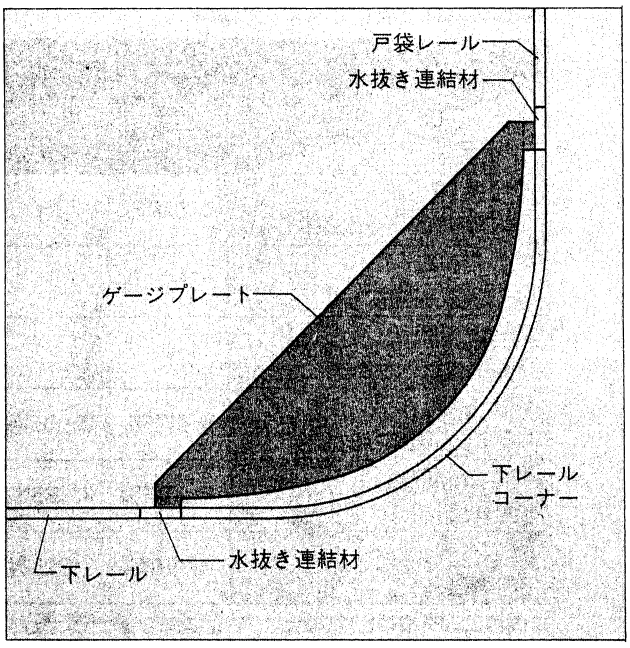
タ イ ル	10～20㎜厚
洗い出し	20～30㎜厚
モルタル	10～15㎜厚

※調整モルタル　各床仕上げにより厚みを調整する。

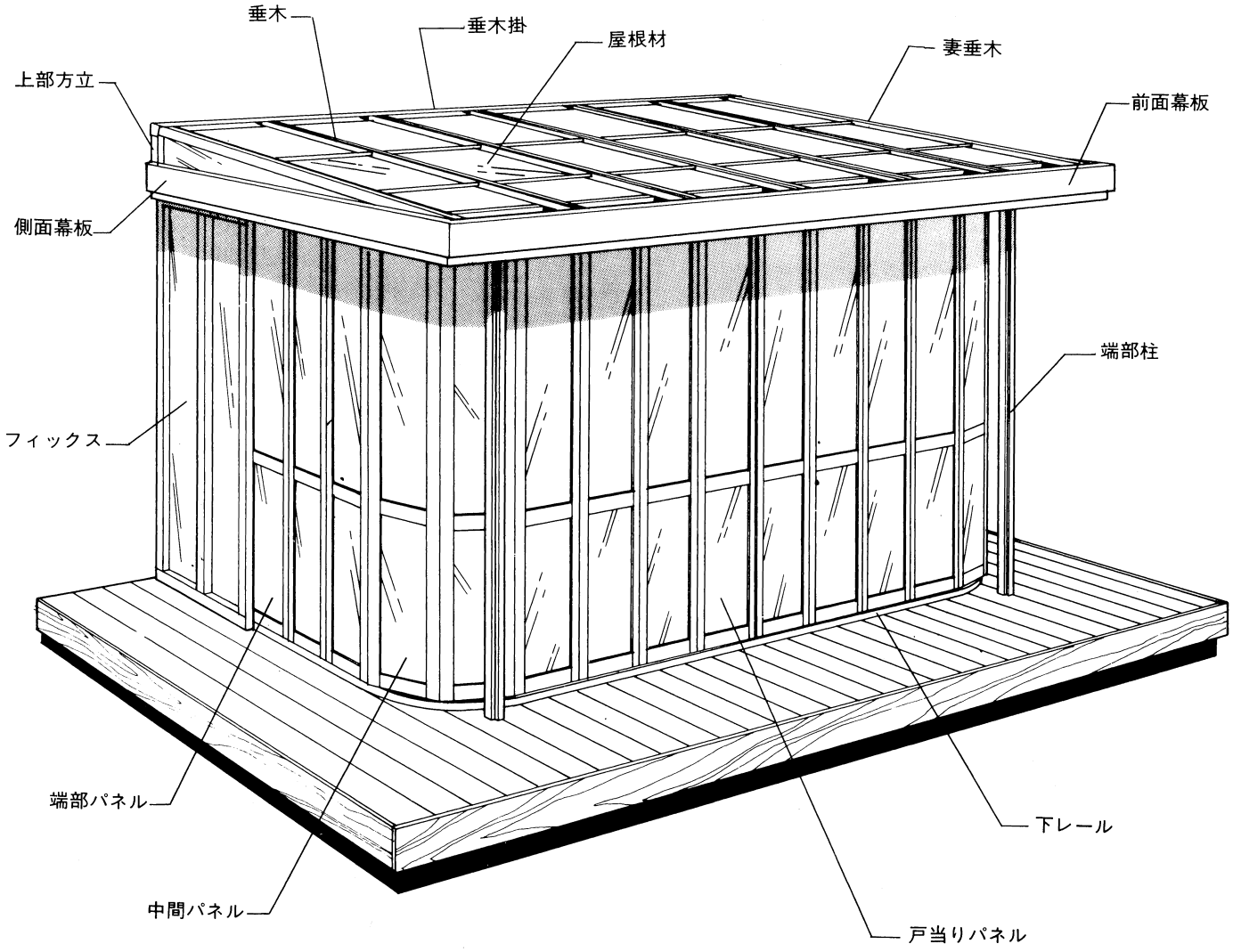
コーナーの処理方法

●部品箱に入っている型紙を下レールコーナーのつなぎ目に合わせ、竹ベラ等に墨をつけてコーナーRに沿ってラインを引いて下さい。
●ラインに合わせてコーナーをカットして下さい。

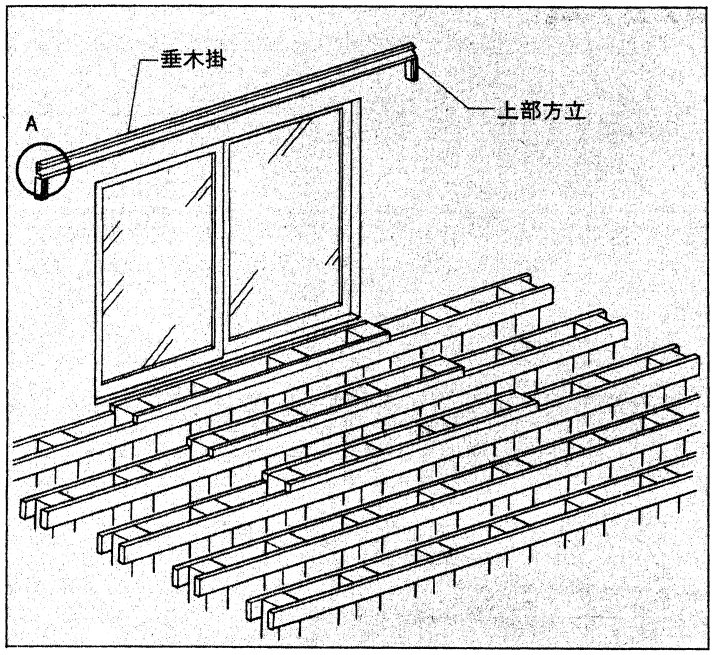
ゲージプレート



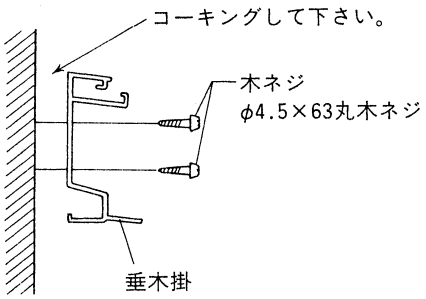
パティオ TYPE 本体の施工方法



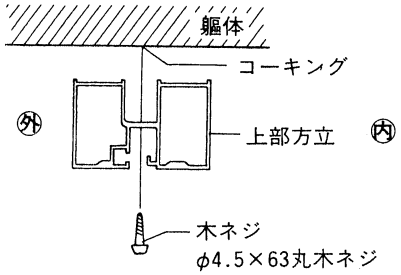
1 垂木掛・上部方立の取付け



●垂木掛の水平を出し丸木ネジで躯体の補強部に止めて下さい。



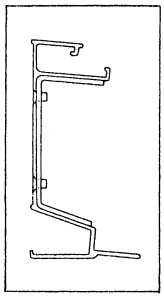
●上部方立の垂直を出し丸木ネジで躯体の補強部に止めて下さい。
※躯体の下穴はコーキングで充てんします。

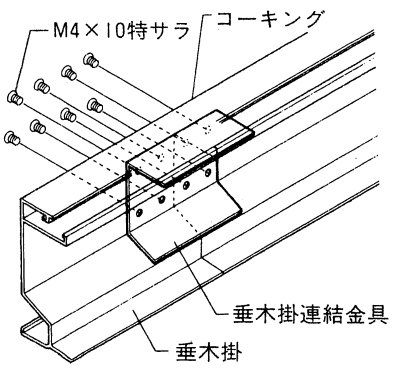


■垂木掛の連結(間口3.5間、4.0間タイプ)

●垂木掛連結金具をネジ止めしてから、躯体へ垂木掛を取付けて下さい。

連結断面図





●P.92を参照して垂木掛を各サイズごとに位置出しをして躯体の補強部材のある箇所にφ5の孔をV溝部に2列あけネジ止めして下さい。

●上部方立に方立キャップを取付け、垂木掛上部方立組付金具と上部方立を組付けた後、躯体に取付けて下さい。

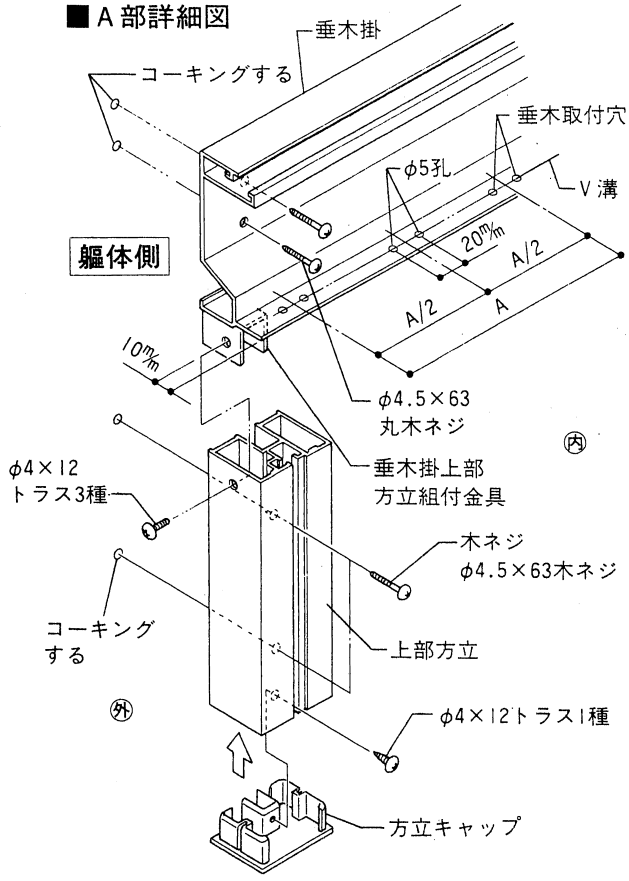
1「垂木掛、上部方立組付ネジ(φ4×12トラス3種)」「垂木掛取付ネジ(φ4.5×63丸木ネジ)」「上部方立取付ネジ(φ4.5×63丸木ネジ)」を使用します。

1．上部方立の「内」「外」に注意して下さい。
2．「垂木掛」「上部方立」の「水平」「垂直」に注意して下さい。
3．躯体と垂木掛のスキ間にコーキングして下さい。

※12尺タイプ及び積雪対応型タイプ(1)、(2)の場合は垂木掛にあいている垂木取付穴のピッチの中間のV溝部(裏側)に垂木取付穴φ5を同様にあけて下さい。

間口	2間	2.5間	3間	3.5間	4間
A	724	753	677.5	729	748

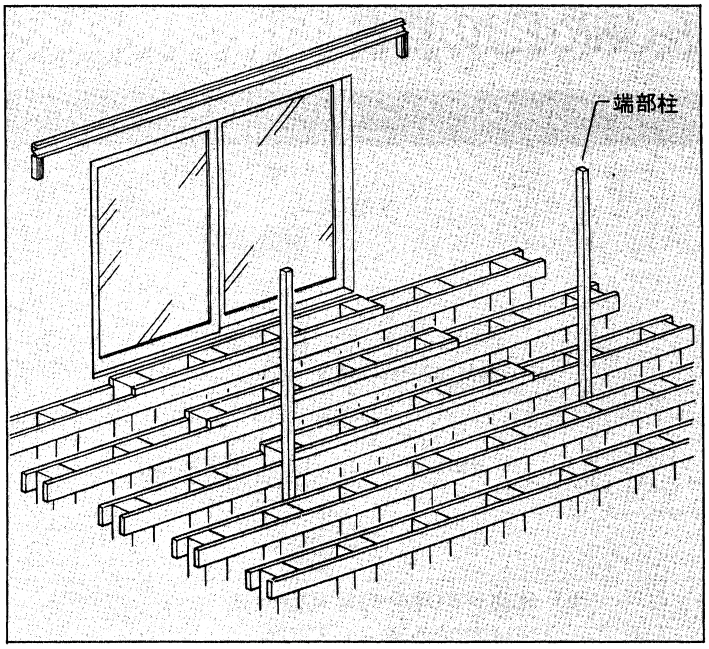
■A部詳細図



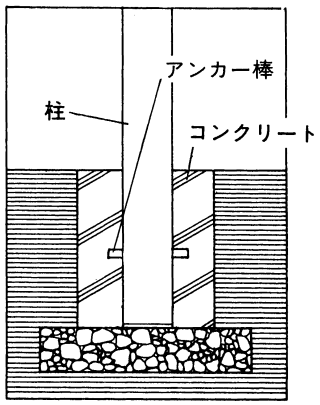
入隅仕様の場合

●垂木掛けの入隅側に垂木掛けキャップを取り付け、躯体の入隅側へ垂木掛けキャップをつき当てて、垂木掛けを躯体にネジ止めして下さい。

2 柱の建て込み



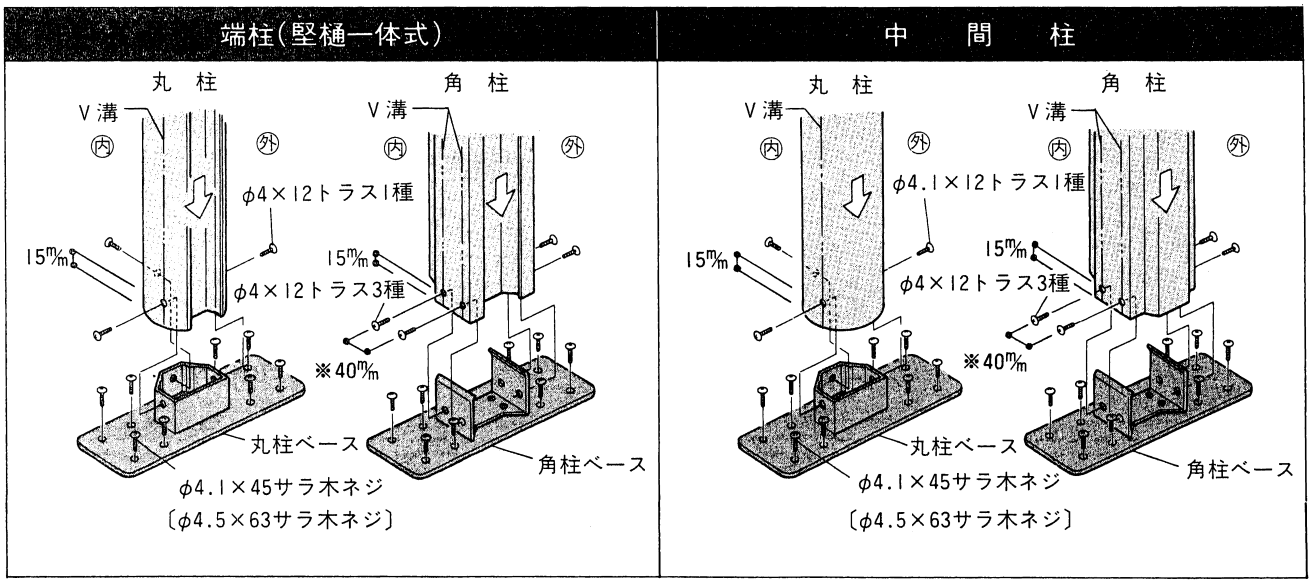
●柱位置を出し約30㎝四方深さ40㎝の穴を掘り、柱を建て込んで下さい。



角柱100㎜□
丸柱100㎜φ

床直付式の場合は先に床板を貼って下さい。

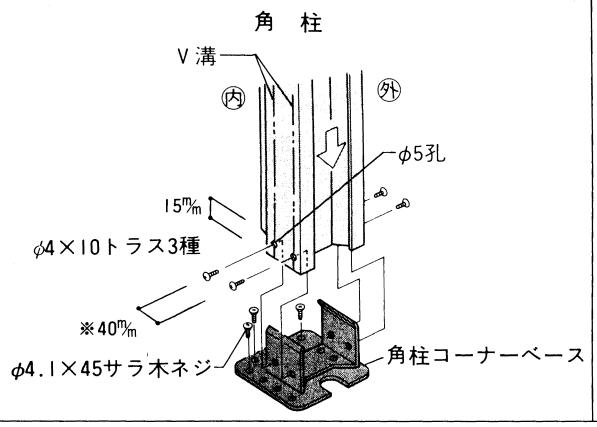
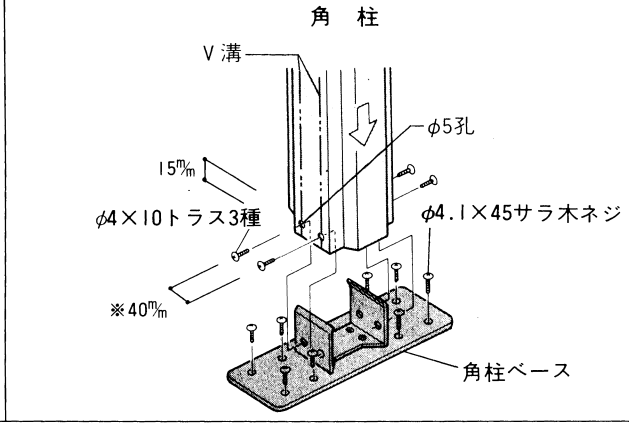
■床直付式の場合の建て込み〔標準型・納め(1)・納め(3)〕の場合



※V溝を基準にして柱取付け穴φ5をあけて下さい。(下部より15㎜)
※φ4.5×63サラ木ネジはウッドデッキの場合で根太に打ちつける時に使用します。

図中〔　〕で示してあるネジは梱包の中に入っています。

■床直付式の場合の建て込み〔納め(2)〕の場合

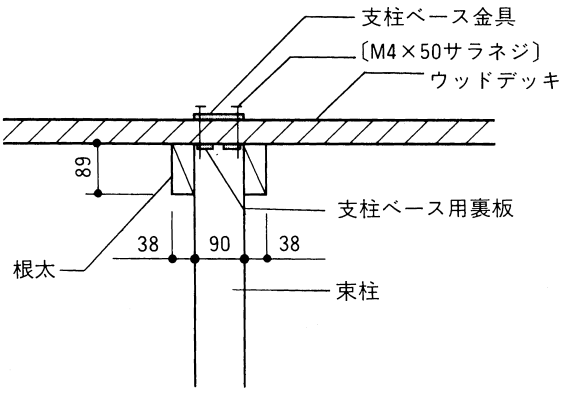
端柱(竪樋一体式)	中　間　柱
	

※V溝を基準にして柱取付け穴をあけて下さい。
(下部より15㎜)

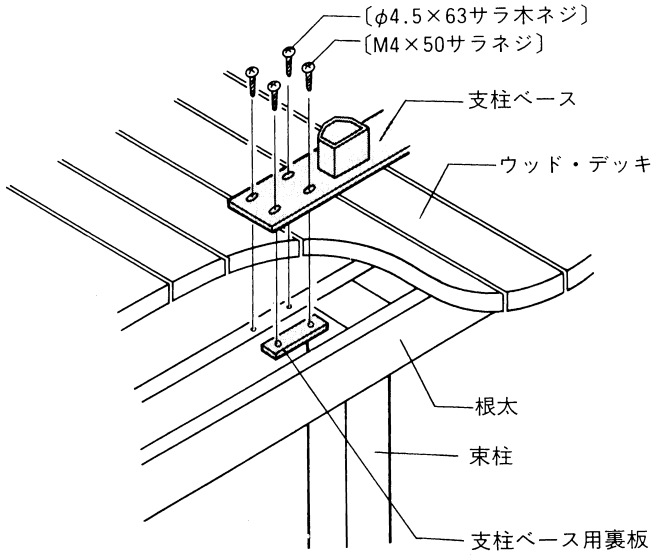
注) 床直付の場合の柱切断寸法
H＝2300の時……2237㎜
H＝2100の時……2037㎜
H＝1900の時……1837㎜

※床仕様がウッドデッキにおいて、支柱ベース金具取付に際し、取付ネジが根太に打ち付けることが出来ない場合に、支柱ベース用裏板を使用して下さい。
尚、支柱ベース用裏板を使用した時は、M4×50サラネジで固定して下さい。(下図参照)

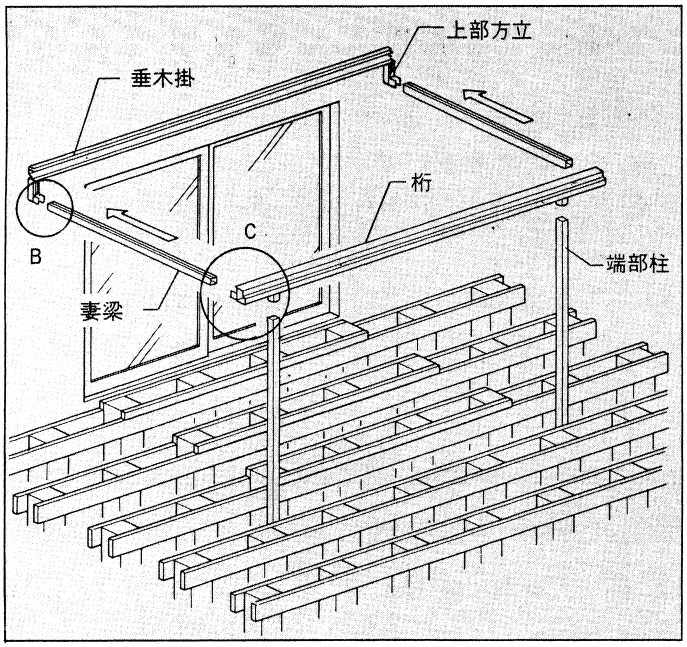
ネジが両方、根太に当らない場合



ネジが片方だけ根太に当る場合



3 妻梁・桁の取付け



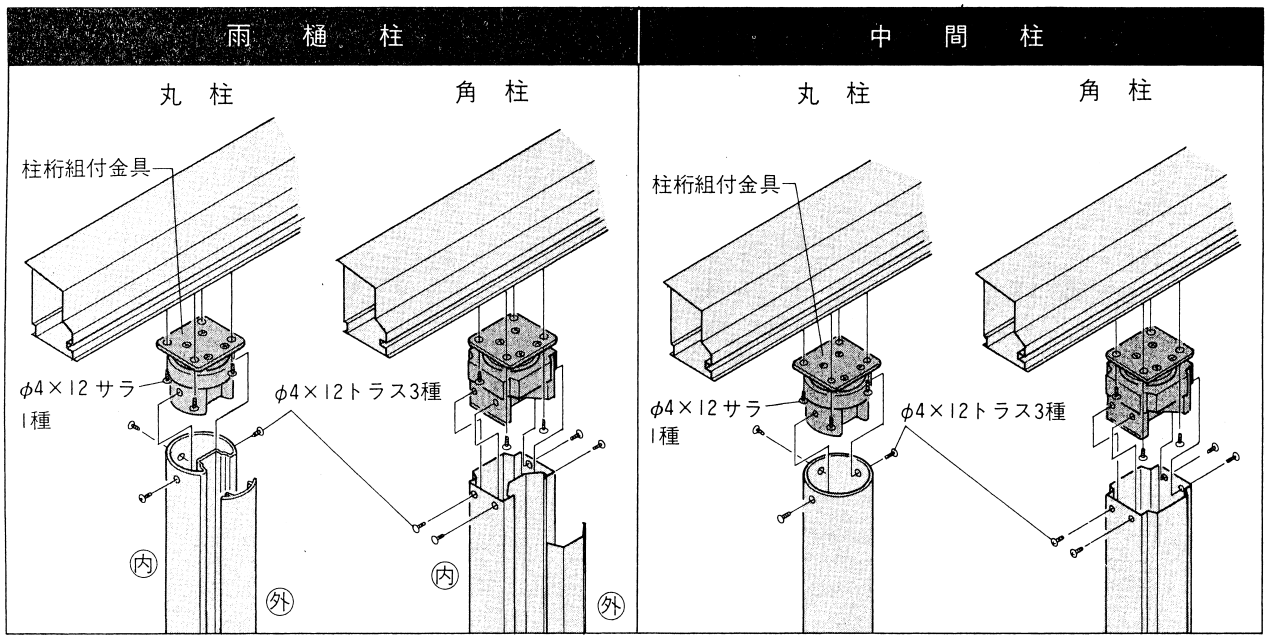
●柱桁ジョイント金具を桁に取付けて下さい。
●「柱」と「桁」を組付け後「妻梁」を「上部方立」及び「桁」へ同時に組付けて下さい。

1 柱桁ジョイント金具取付ネジ（φ4×12トラス1種）「柱組付けネジ（φ4×12トラス3種）」及び「妻梁組付けネジ（φ4×12トラス3種）」を使用します。

●標準タイプの間口2間、2.5間、3間及び出幅12尺タイプ、積雪地対応型タイプには桁に現場加工が必要です。(P.47参照)

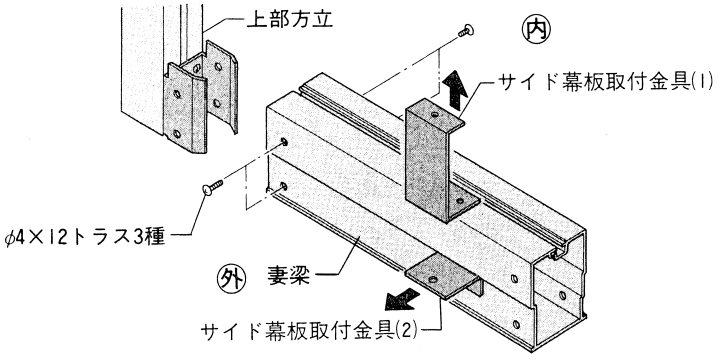
1．妻梁の「内」「外」に注意して下さい。「妻梁」、「桁」、「柱」の「水平」「垂直」に注意して下さい。
2．柱の長さは現場合わせで加工して下さい。

■柱と桁の組付け

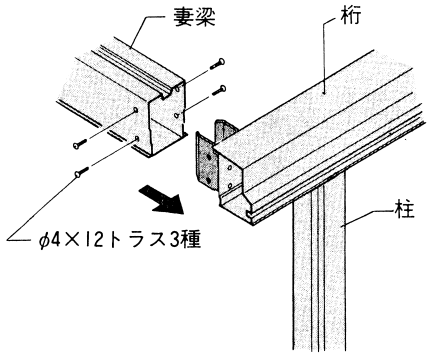


■妻梁の取付け

■B部詳細図



■C部詳細図



入隅仕様の場合

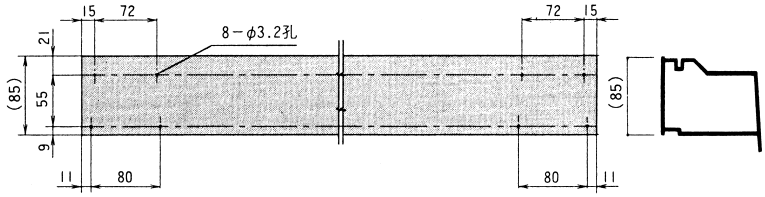
サイド幕板取付金具(1)(2)が躯体にあたる場合はとりはずして下さい。
（取付孔はコーキング等でふさいで下さい。）

■桁の孔あけ加工

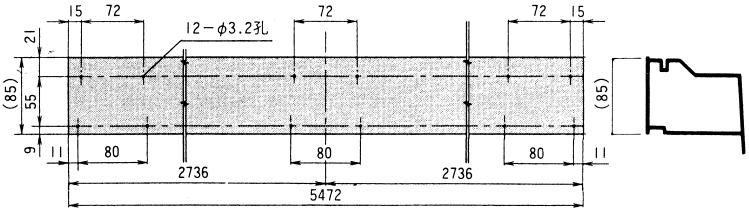
1．底面の加工

(1)標準タイプにおける間口、２間、2.5間、３間の場合、桁底面の下記寸法のＶ溝部に柱・桁ジョイント金具取付用の穴(φ3.2)をあけて下さい。

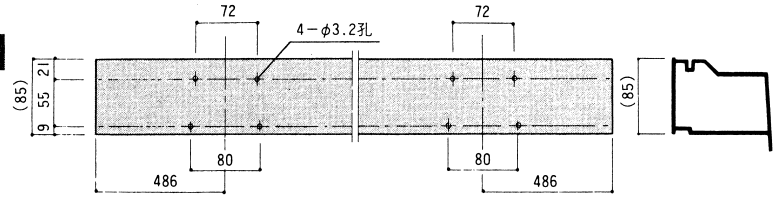
2間



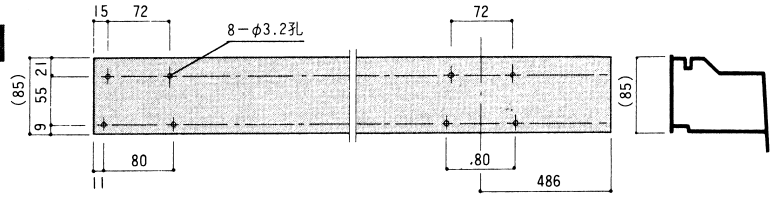
3間



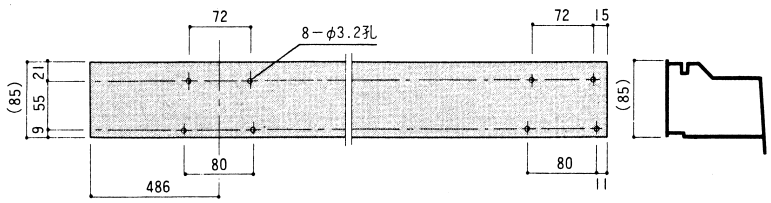
2.5間（標準型、納め1の場合）



（納め2左収納の場合）

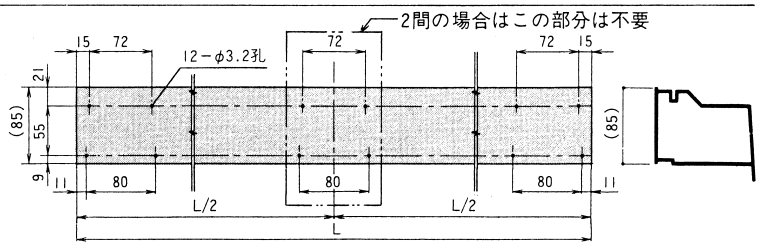


（納め2右収納の場合）



---

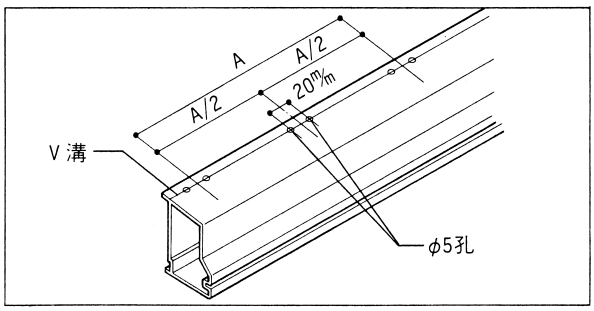
(2)積雪対応型タイプ(1)、(2)における間口 、２間、2.5間、３間の場合、桁底面に柱・桁ジョイント金具取付用穴(φ3.2)をあけて下さい。



2．フィン部の加工

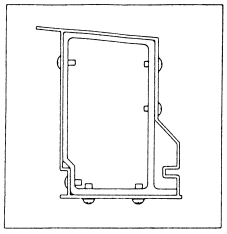
(1)標準タイプにおける出巾12尺及び積雪地対応型タイプ(1)、(2)の場合、桁フィンＶ溝に垂木(サブ垂木)取付用穴(φ5)を追加してあけて下さい。(垂木・サブ垂木追加の為)

間口	2間	2.5間	3間	3.5間	4間
A	724	753	677.5	729	748

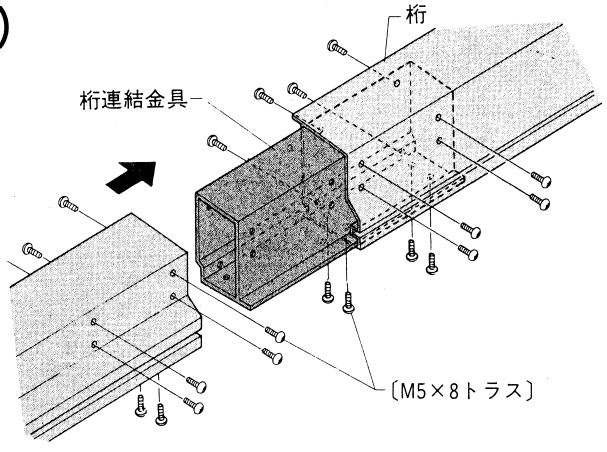


■桁の連結(間口3.5間、4間タイプ)

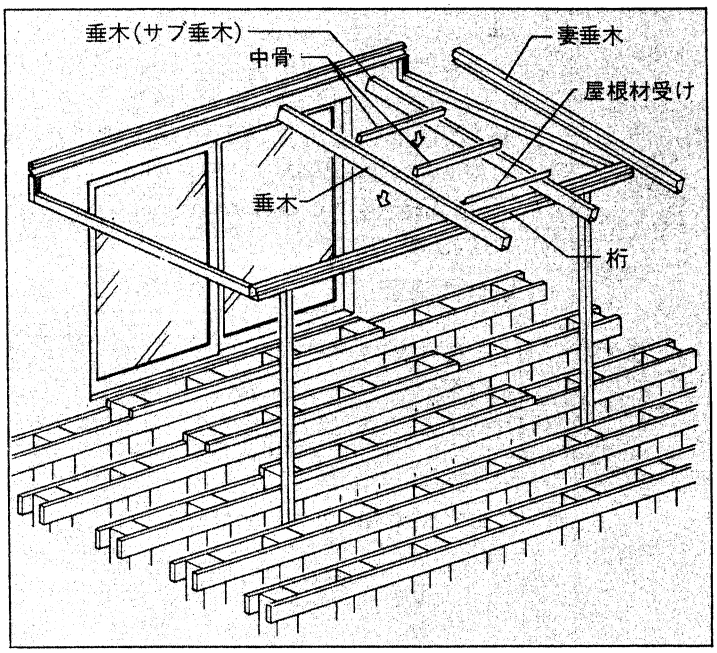
●片側の桁に桁連結金具をネジ止めしてから差し込んで固定して下さい。
(取付ネジM5×8トラス)



断面図



4 垂木・妻垂木及び中骨・屋根材受けの取付け

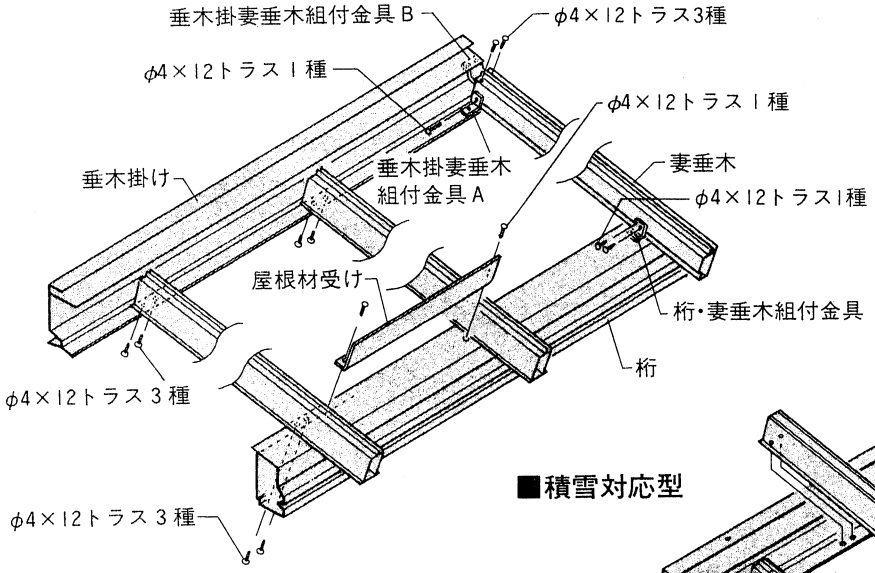


●取付ネジにて、垂木・妻垂木を桁及び垂木掛に取付けて下さい。積雪対応型タイプの場合垂木の間にサブ垂木を取付けて下さい。

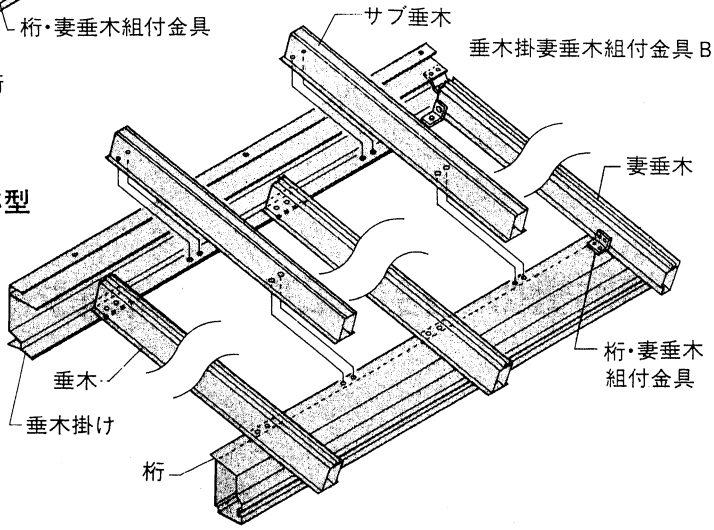
●屋根材受けを桁に取付けて下さい。

1「垂木取付ネジ(φ4×12トラス3種)」
「妻垂木取付ネジ(1)(φ4×12トラス3種)(φ4×12トラス1種)」
「屋根材受組付ネジ(φ4×12トラス1種)」を使用します。

■標準タイプ

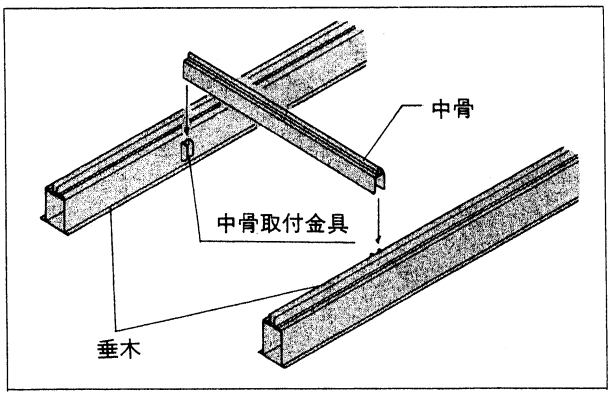


■積雪対応型



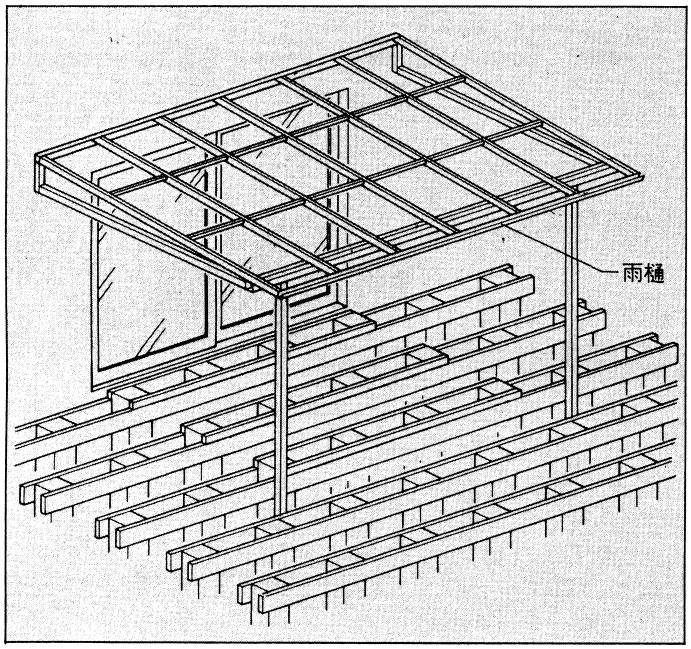
■中骨の取付け
(出幅12尺及び積雪対応型は除く)

●右図の様に垂木に付いている中骨取付金具に中骨を上から押し込んで下さい。



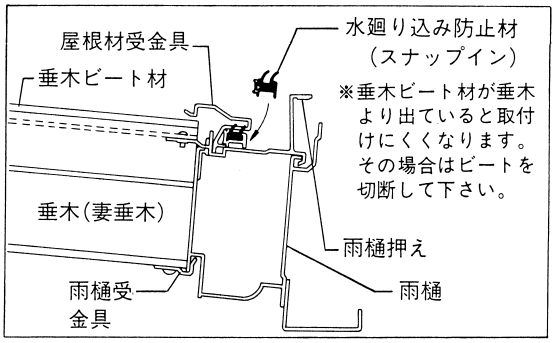
※中骨を差し込んで下さい。

5 雨樋の取付け

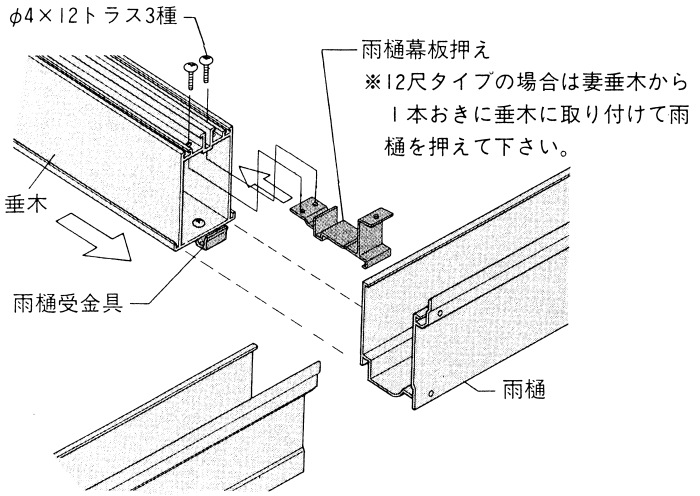


●12尺の場合、各屋根スパンのセンターの屋根材受金具(3ヶ所のまん中)を取りはずして下さい。(孔はコーキング等でうめて下さい。)
●「雨樋受け金具」に「雨樋」をのせ「雨樋押え」で「垂木」と固定して下さい。
1「雨樋組付ネジ(φ4×12トラス3種)」を使用します。

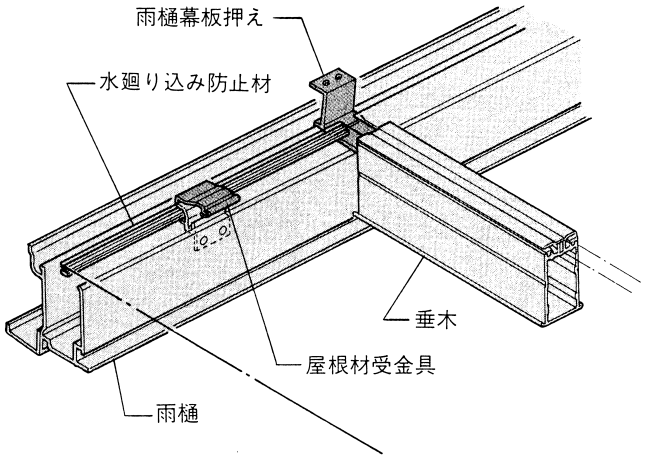
組付断面図



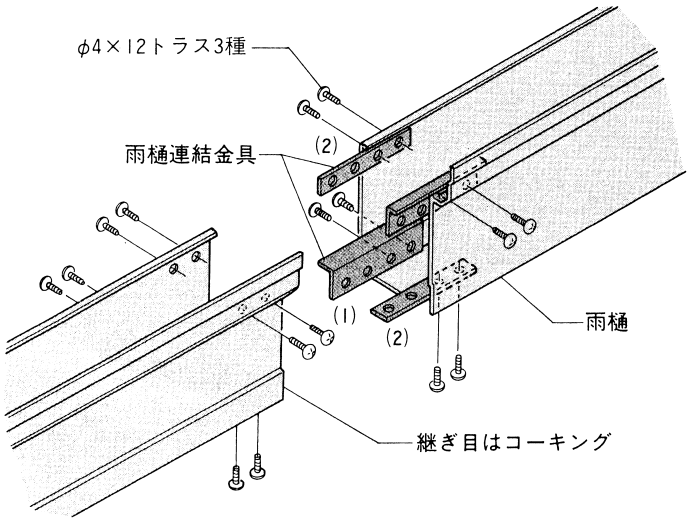
■部詳細図



●水廻り込み防止材の取付け(スナップイン)
(積雪対応型は除く)

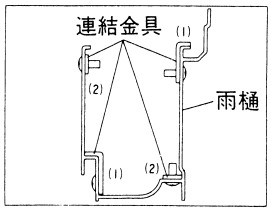


■雨樋の連結(間口3.5間、4間タイプ)



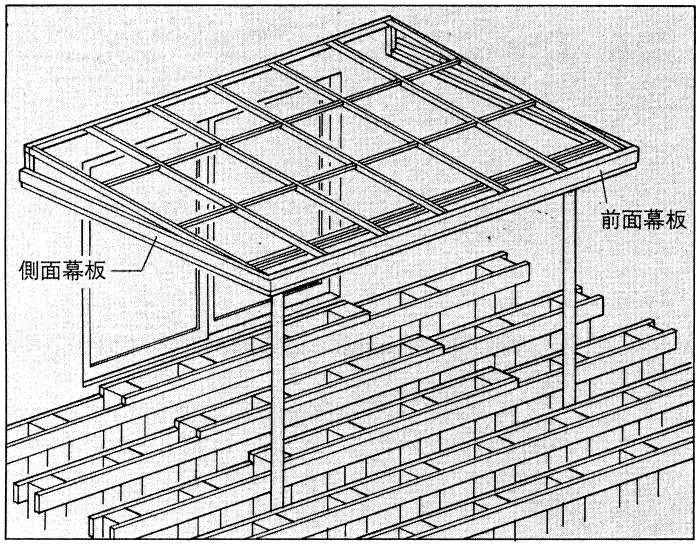
●雨樋に連結金具を取付けてネジで止めて下さい。取付ネジ(φ4×12トラス3種)

継ぎ目は必らずコーキングして下さい。



断面図

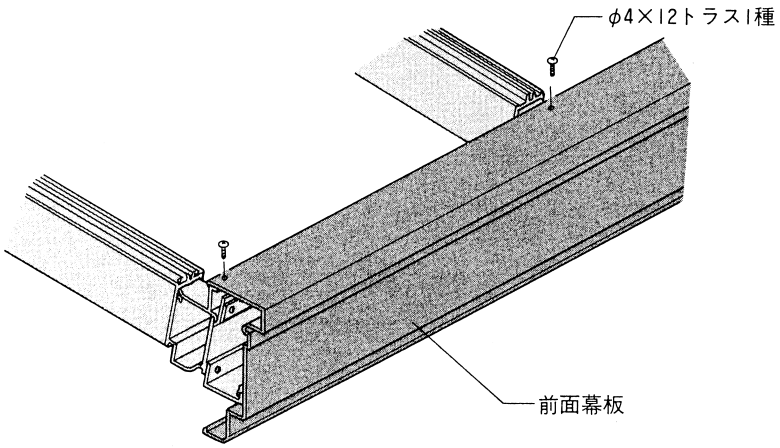
6 幕板の取り付け



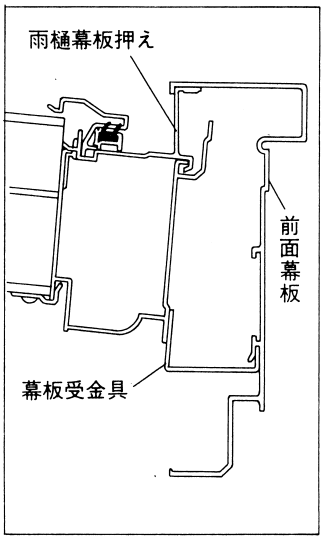
取付手順

①前面幕板を幕板受金具にのせ雨樋幕板押えにかぶせてネジで止めて下さい。
②側面幕板にコーナーキャップをネジで止めて下さい。
③コーナーキャップを前面幕板に差し込みながら側面幕板取付金具にのせネジで止めて下さい。
※(3.5間、4間は前面幕板を連結後取付けて下さい。)

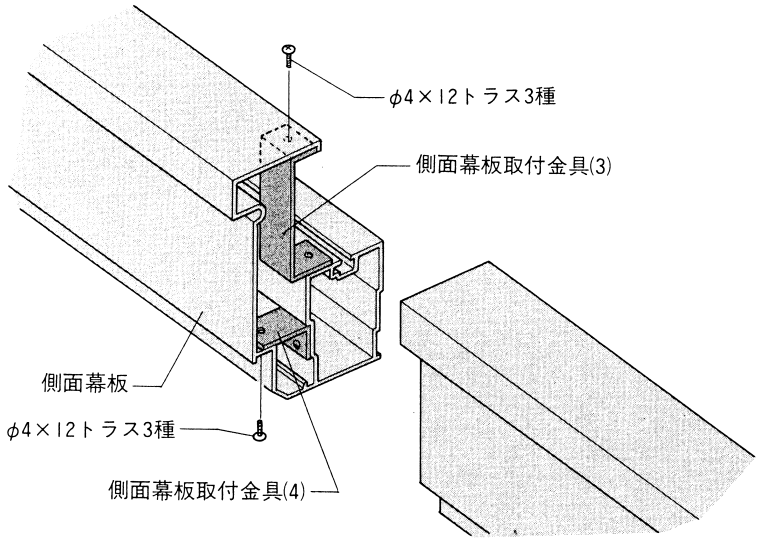
■前面幕板の取付け



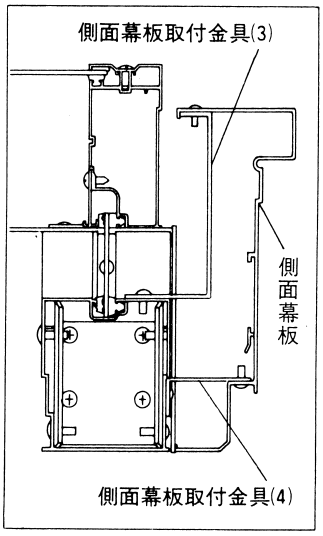
前面幕板断面図



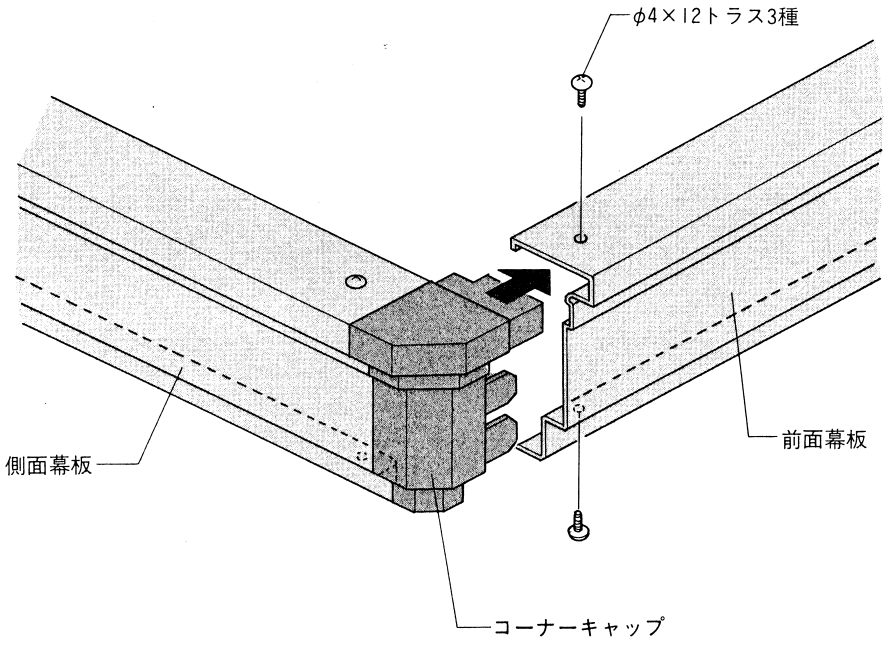
■側面幕板の取付け



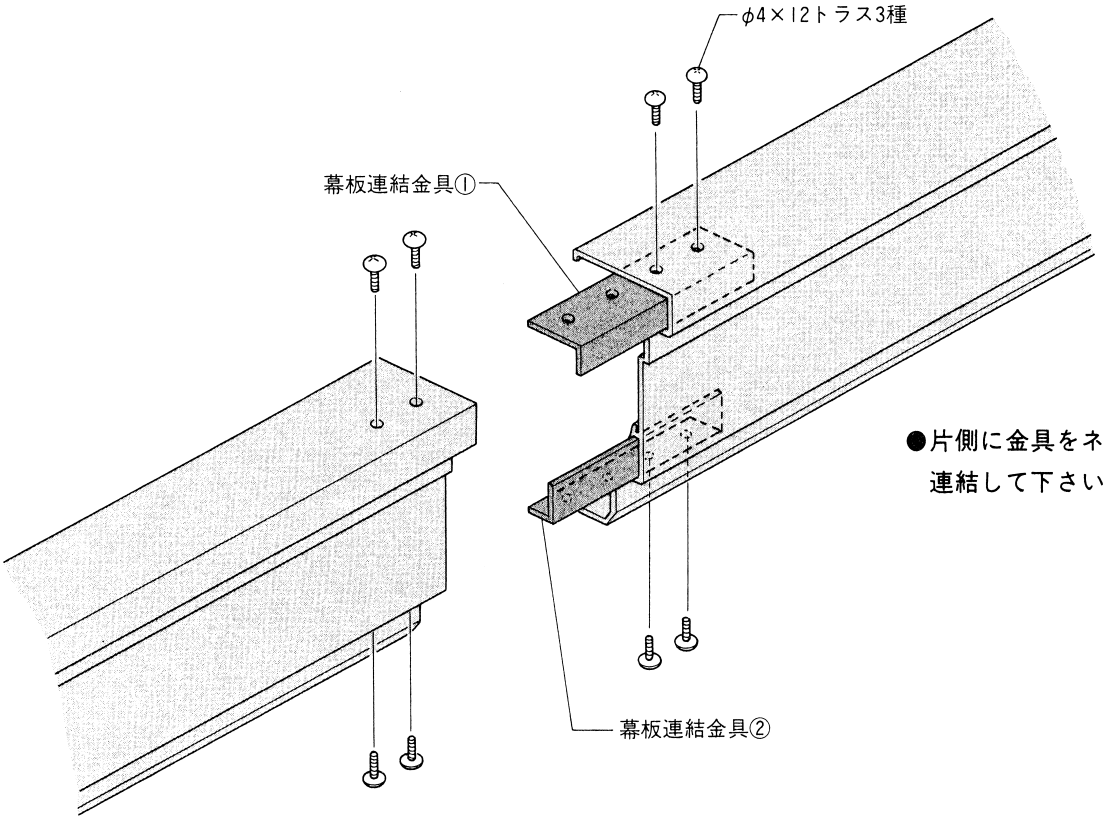
側面幕板断面図



■幕板コーナー部取付図

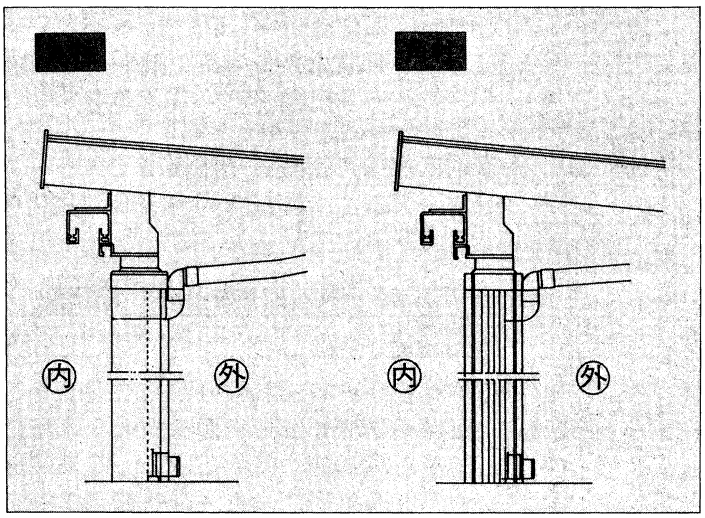


■前面幕板の連結(間口3.5間・4.0間)



●片側に金具をネジ止め後、
連結して下さい。

7 前面格子のない場合の竪樋の取付け



取付手順

①上部カバーを柱にネジ止めし、下部カバーの位置を決め取付孔に合わせて柱にφ3.5の孔をあけて下さい。上・下部カバーに合わせて、雨樋柱のフタをカットして取付けて下さい。

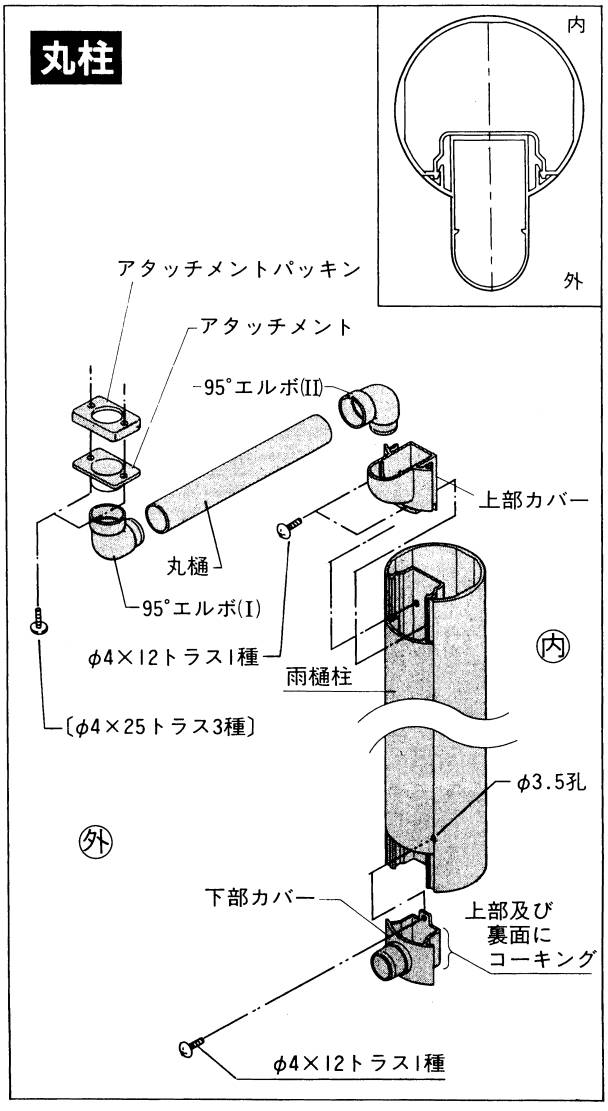
②アタッチメントパッキンとアタッチメントを雨樋にネジで止めて下さい。

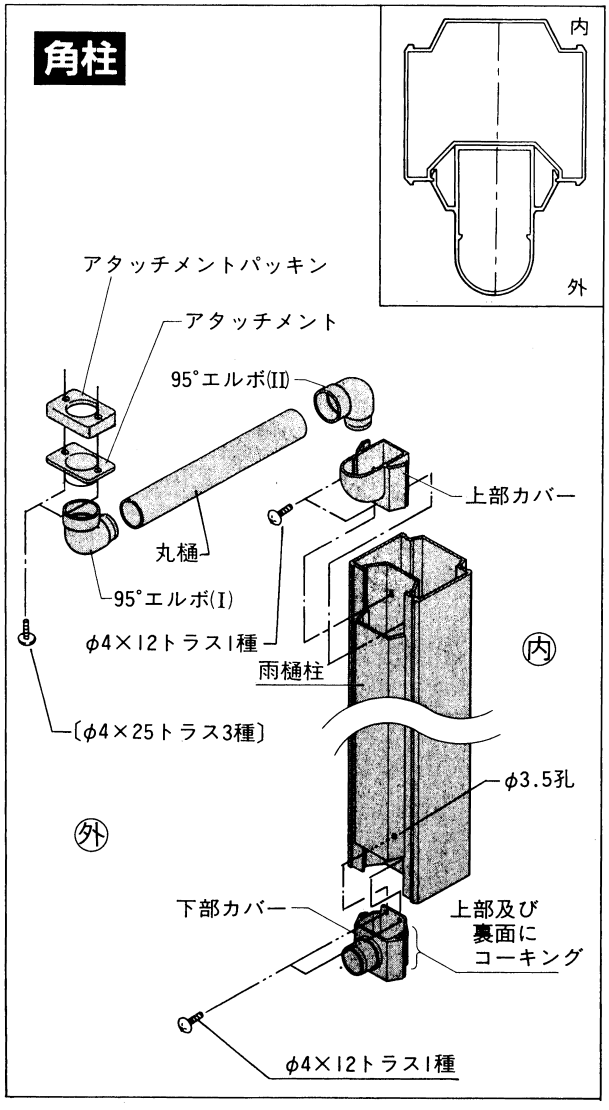
③丸樋(小)を長さ調整及びカットして両端にエルボを付けて下さい。

④アタッチメントと95°エルボ(I)は、接着剤でジョイントして下さい。

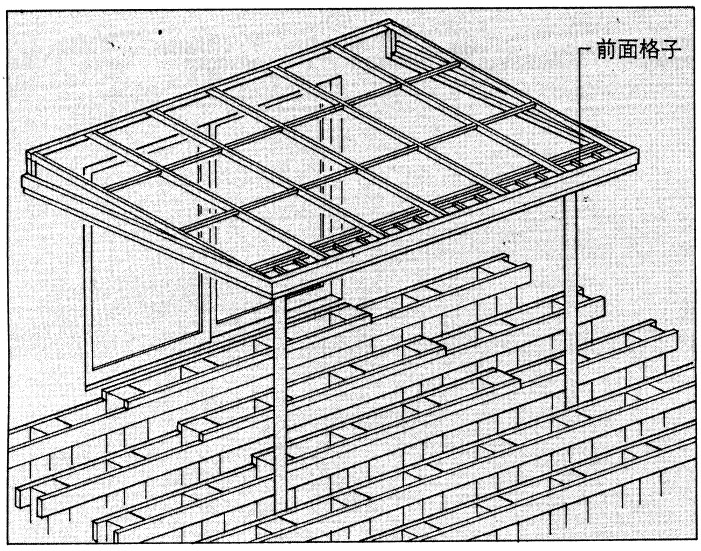
1．アタッチメントと雨樋ジョイント部及び取付ネジ部は必らずコーキングして下さい。

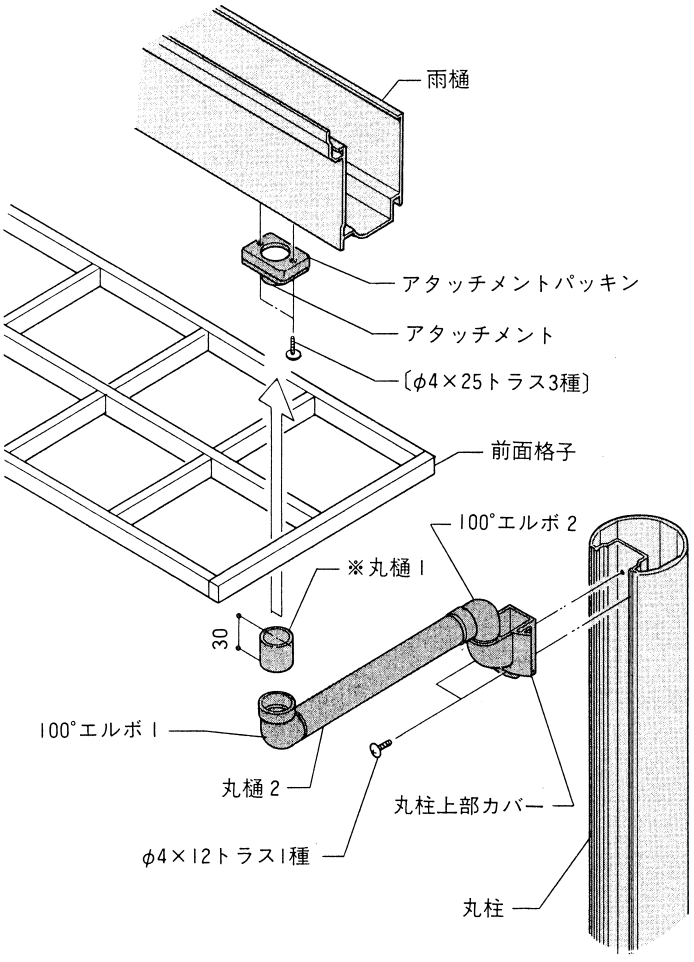
■詳細図





8 前面格子を取付る場合の竪樋及び前面格子の取付





①雨樋にアタッチメントパッキンとアタッチメントを仮止めします。(前面格子位置決めの為) ネジを締め付けますと前面格子が納まらなくなります。

②前面格子の片側の横額縁のセンターV溝部に下記の表に従って両端部及び中間部にφ5の穴をあけて下さい。

サイズ	2間	2.5間	3間	3.5間	4間
穴　数	3ヶ所	3ヶ所	4ヶ所	4ヶ所	5ヶ所

③穴をあけた額縁を桁側にして図のように前面格子を斜めにし桁側を先に入れ桁と前面幕板の間に納めてください。この際前面格子の小桟がアタッチメントに当たりますのでアタッチメントを傾けて入れて下さい。

④次に下図のように前面格子の縦桟とアタッチメントの隙間が約2㎜位の位置にし先にあけた穴を使って桁の溝部にネジ止めして下さい。

⑤前面幕板の下部V溝部に上記表と同数の、(前面格子のセンター及び両端部)φ5の穴をあけ格子押え金具で固定して下さい。

⑥仮止めしてあったアタッチメントを外側によせて止めて下さい。

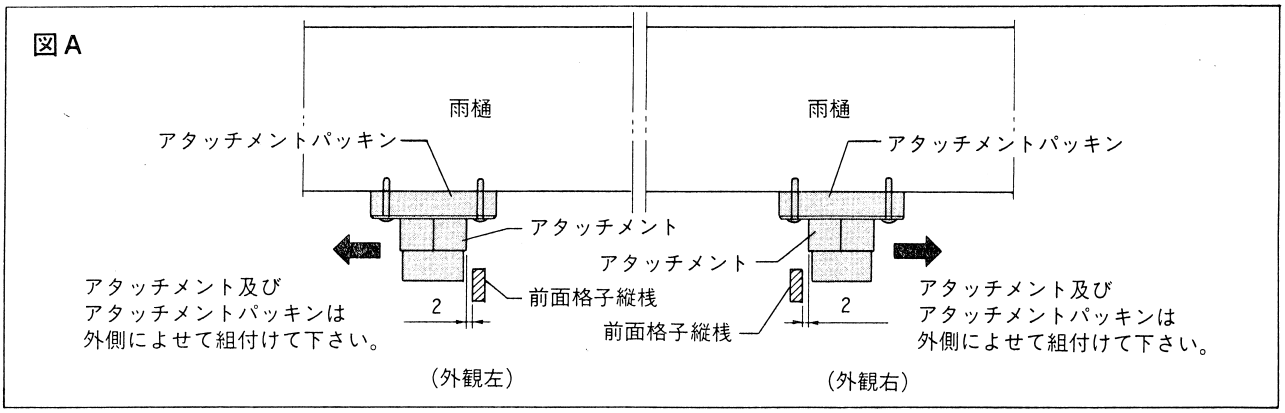
⑦柱に上部カバーを取り付けて下さい。

⑧雨樋・前面幕板セットの中にある丸樋を使って丸樋1、2を作り図のようにエルボと組付けて下さい。(丸樋1は30㎜、丸樋2は現場合わせ)

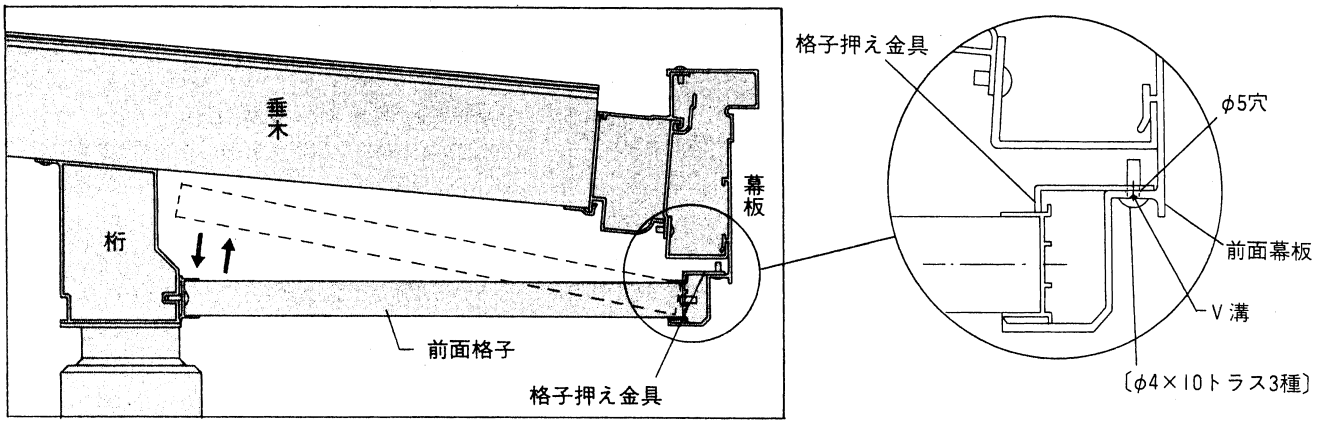
⑨以下前面格子のない場合と同様にして下部カバー、雨樋柱フタをとりつけて下さい。

⑩反対側も同様におこなって下さい。

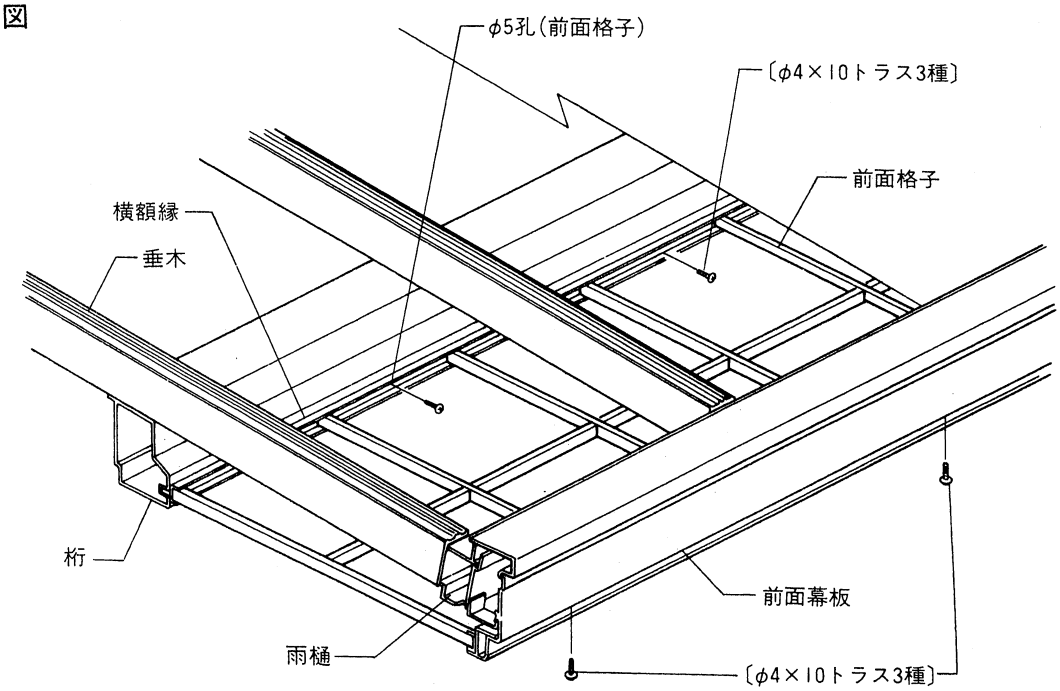
図A



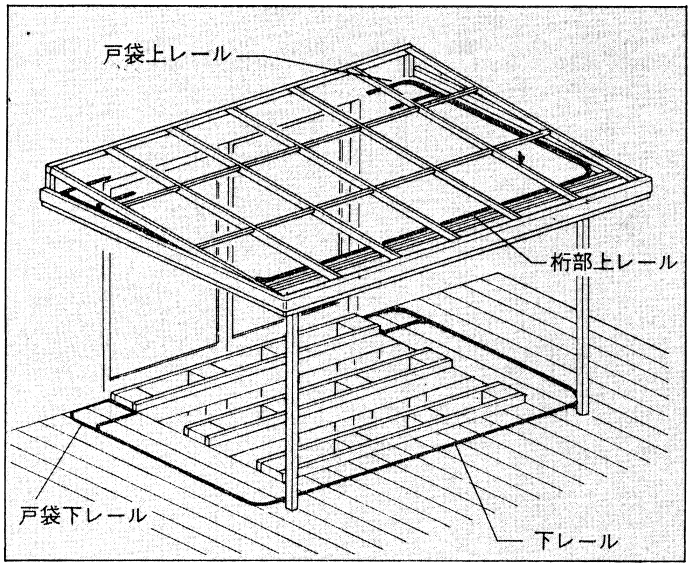
前面格子側面図



■部詳細図



9 上・下レールの取付け

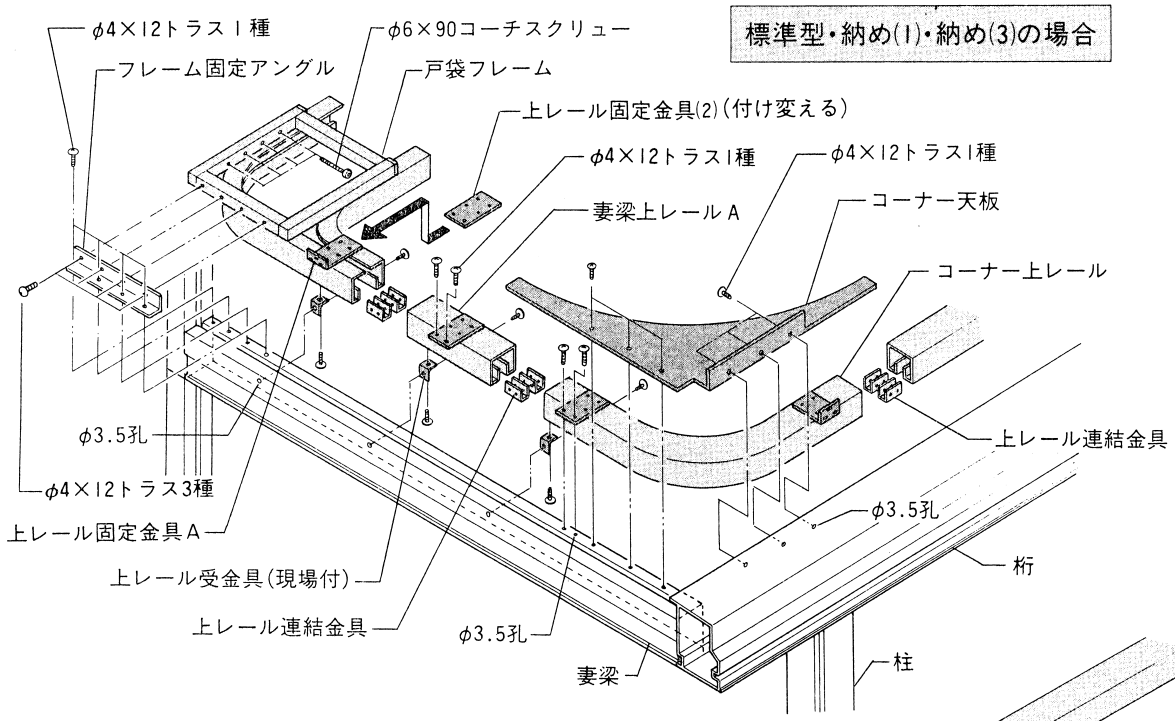


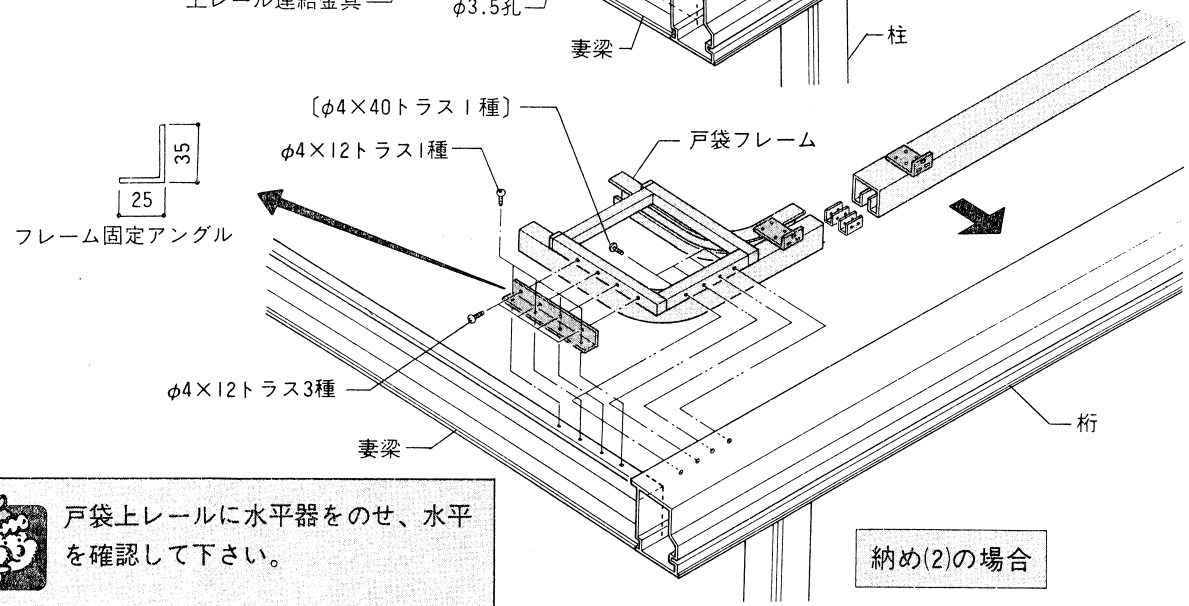
取付手順

①戸袋上レールに付いている上レール固定金具Aを納め(2)以外の場合は上レール固定金具(2)に付け変えて下さい。
②下図の様に各納めによりフレーム固定アングルを戸袋フレームに取付けて下さい。
③戸袋上レール、妻梁上レールB、コーナー上レール、桁部上レールを躯体妻梁、桁にそれぞれネジ止めし、上レール連結金具でジョイントして下さい。
④妻梁側の上レール固定金具(2)の下の孔に上レール受け金具の孔をあわせ妻梁側の孔にあわせて妻梁のV溝部にφ3.5の孔をあけネジ止めして下さい。
⑤上レールと上レール受金具の間に水切りを差し込んでネジ止めして下さい。
⑥標準型以外では、桁上レールの中央に付いているストッパーを外し、中央ストッパー部水切りを付けて下さい。

■戸袋上レールとコーナー上レール 妻梁上レールAの取付け

標準型・納め(1)・納め(3)の場合



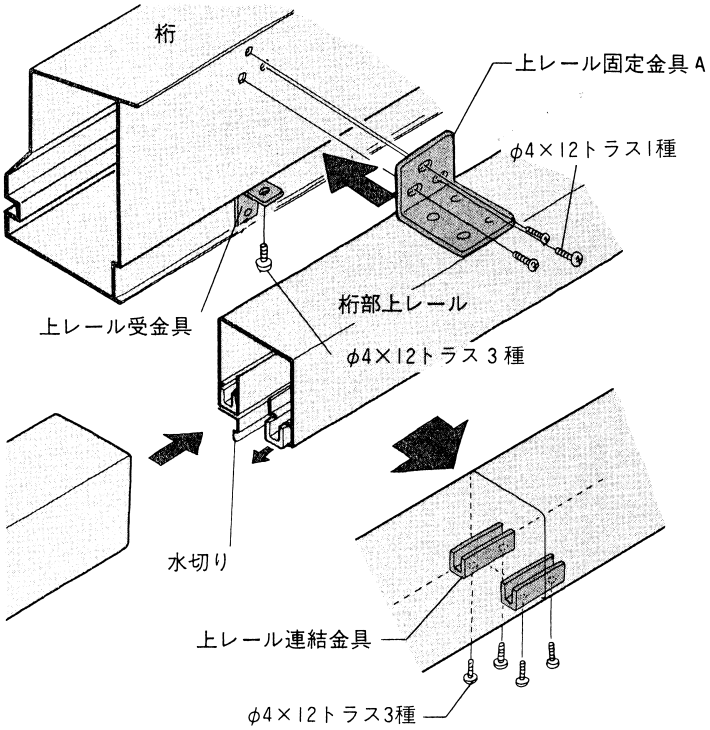


納め(2)の場合



戸袋上レールに水平器をのせ、水平を確認して下さい。

■桁部上レールの取付け

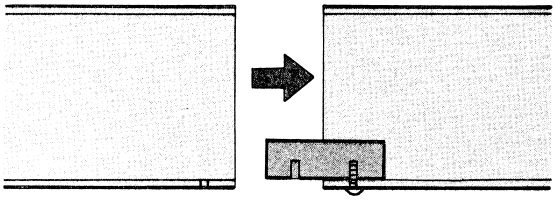


●桁部上レールに水切りを当て（ネジ止めはしない）上レール受金具にのせ。上レール固定金具A及び上レール受金具に仮止めして下さい。
●上レール連結部をすき間のないように組付けして下さい。
●上レール取付け完了後、ネジを締めつけて下さい。

1「上レール固定金具A（φ4×12トラス1種）」
「上レール受金具（φ4×12トラス3種）」
「上レール連結金具（φ4×12トラス3種）」
を使用します。

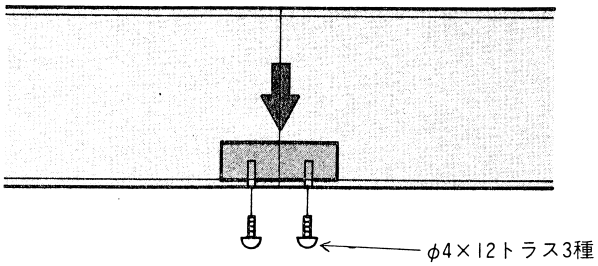
■連結部詳細

レール接続方法①



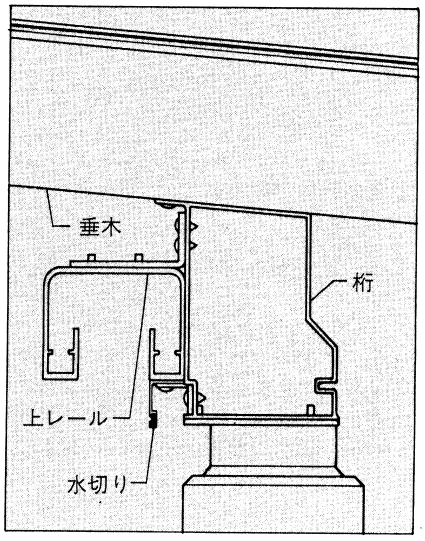
●片側の連結金具を止めてから、スライドさせてネジで止めて下さい。

レール接続方法②

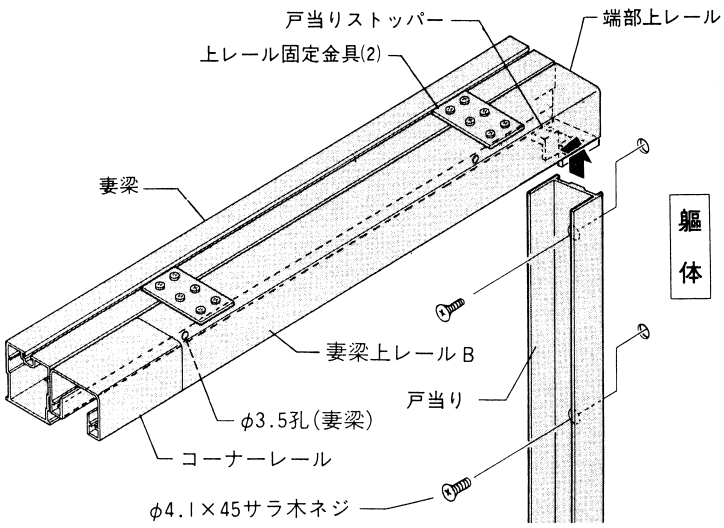


●上レールをつき合わせてから、連結金具を上から差し込んでネジ止めして下さい。

断面図

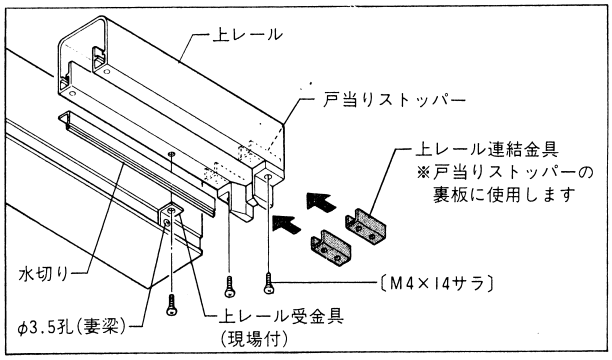


■妻梁上レールBの取付け〔納め(2)、納め(3)の場合〕

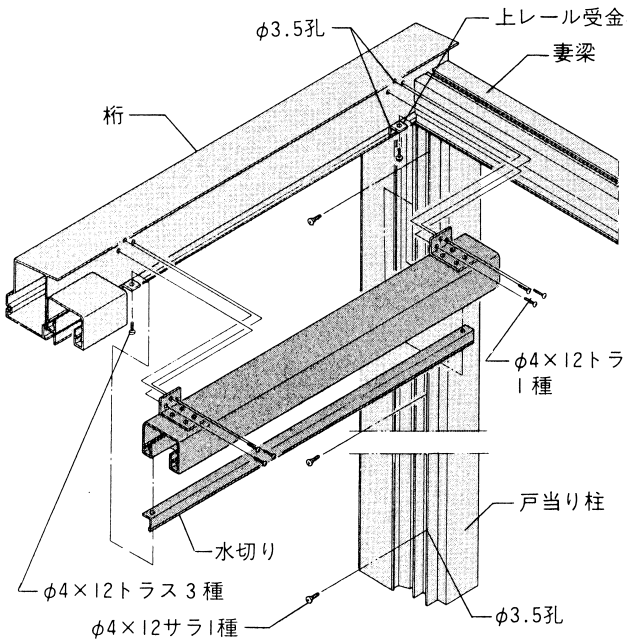


※本図は右収納の場合

●下図の方法で戸当りストッパーを上レールの戸当り側にネジ止めして下さい。
●上レール固定金具(2)の下の孔に上レール受金具の孔をあわせ妻梁側の孔にあわせて妻梁のV溝部にφ3.5の孔をあけネジ止めして下さい。
●上レールと上レール受金具の間に水切りを差し込んでネジ止めして下さい。
●躯体に戸当りをネジで止めて下さい。

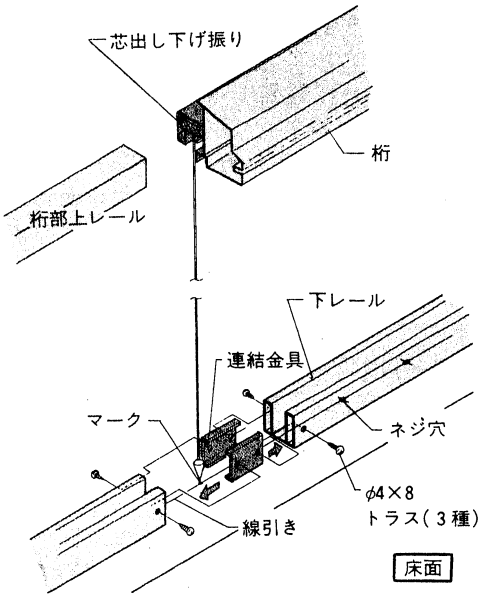


■桁延長上レールの取付け〔納め(1)の場合〕



①70角戸当り柱を取付けて下さい。
(P.60参照)
②上図のように戸当りストッパーを桁延長レールの戸当り側にネジ止めして下さい。
③桁延長レールを桁にあて上レール固定金具Aの取り付け穴に合せて桁のV溝に印をつけてφ3.5の穴をあけてネジ止めして下さい。
④上レール固定金具Aの下に上レール受金具を上レールの取付孔に合わせて妻梁のV溝にφ3.5の穴をあけネジ止めして下さい。
⑤水切りを上レールと上レール受け金具の間に入れてネジ止めして下さい。
⑥戸当り柱に戸当りの取付孔に合わせてφ3.5の孔をあけてネジ止めして下さい。

■下レールの位置出し

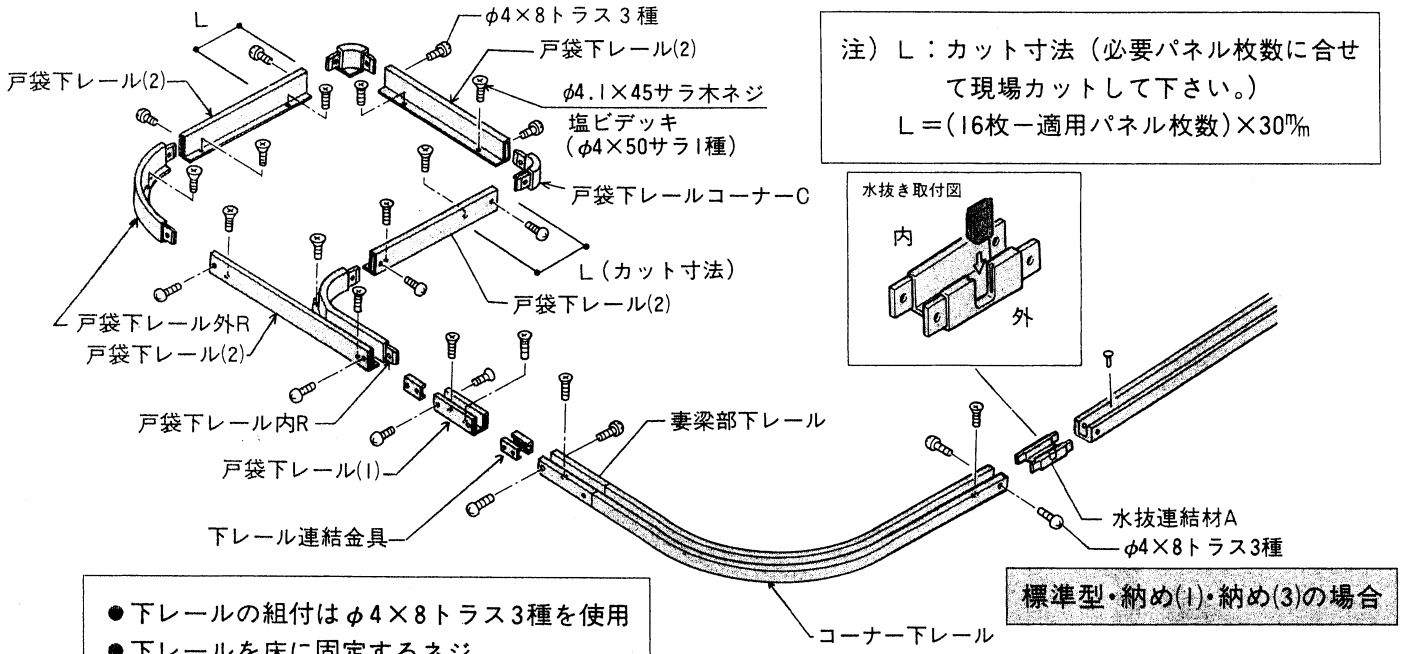


●桁部上レールから芯出し下げ振りにより床面にマーク。
※2点以上のマークをつけ、マーク間を線引き。

●マーク間を結んだ線が下レールのネジ穴のセンターに来るように固定し、ネジ止めして下さい。
※戸袋下レール部も同様に。

テラス仕様の場合は、ネジ穴にドリルで穴あけ後アンカーを埋め込んでネジ止めして下さい。

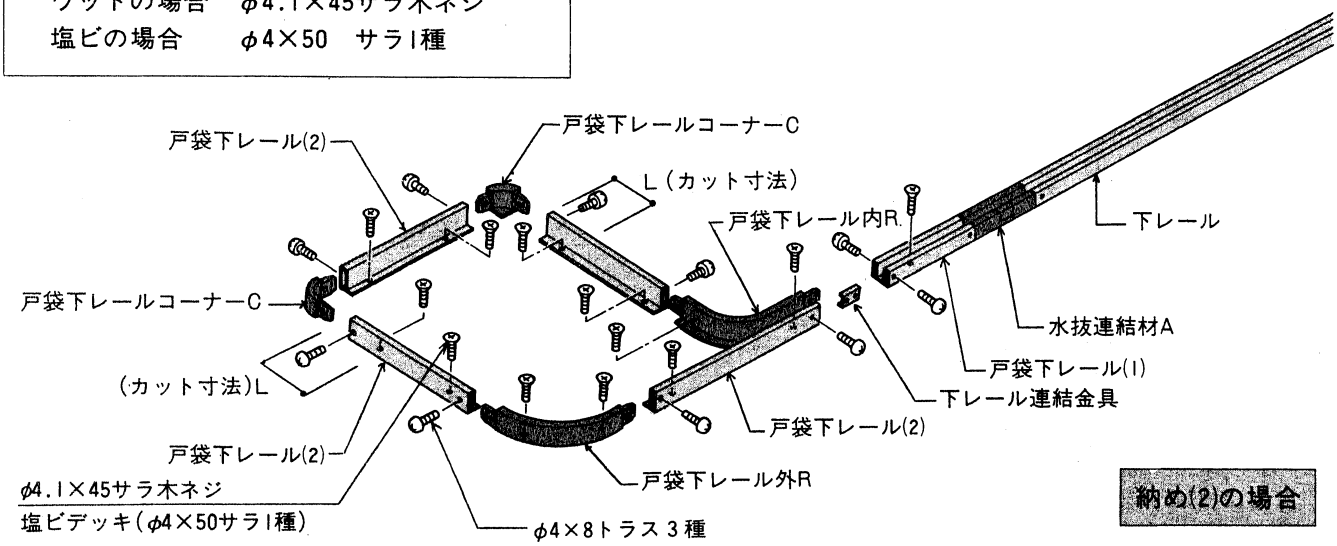
■戸袋下レールとコーナー下レールの取付け



注) L：カット寸法（必要パネル枚数に合せて現場カットして下さい。）
L＝(16枚ー適用パネル枚数)×30㎜

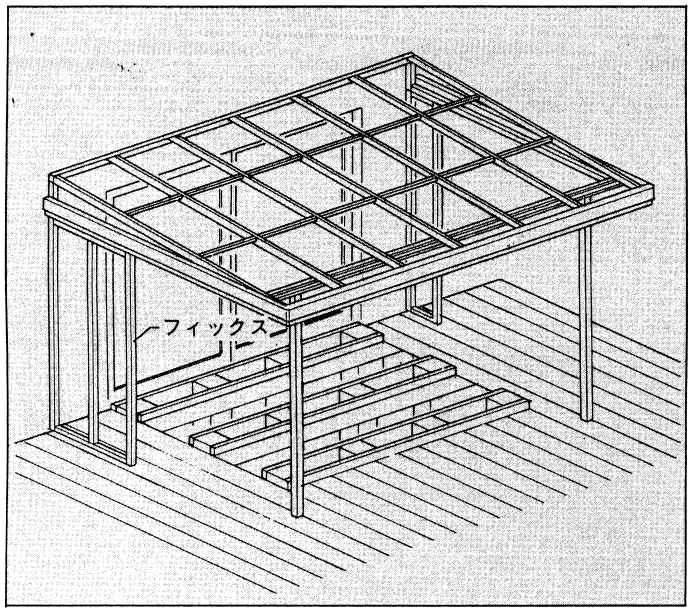
標準型・納め(1)・納め(3)の場合

●下レールの組付はφ4×8トラス3種を使用
●下レールを床に固定するネジ
ウッドの場合　φ4.1×45サラ木ネジ
塩ビの場合　φ4×50　サラ1種



納め(2)の場合

10 戸袋Fixの取付け



①方立の凹部センターＶ溝部に@400㎜で、φ5の孔をあけ上部方立の下に垂直に立て、ネジ止めして方立溝ブタをはめ込んで下さい。(内・外に注意して下さい。 P.43参照)

②Fix取付枠ＡとＢを下記の寸法に切断して、Fix取付枠Ｂを方立の内面に合わせてFix取付枠Ｂの穴に合わせて穴をあけ取り付けて下さい。(孔のある方が内側になります)

Ｈ＝2300時切断必要なし
Ｈ＝2100　ℓ＝2100
Ｈ＝1900　ℓ＝1900

③Fix取付枠Ｃを下記の式にて寸法を出し切断(２本)して妻梁と床に取り付けて下さい。

ℓ＝パネルＤの枚数×302.5＋
パネルＥの枚数×372.5＋
パネルＦの枚数×434.5－40.8

ℓ＝1,150以上の場合は
１本どりとしFix取付枠Ａセットを使用して下さい。

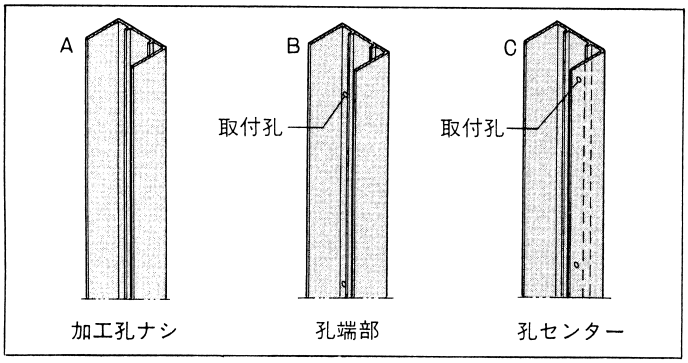
④パネルを入れて下さい。
２枚以上の場合は、方向性がありますので同じ向きに入れて下さい。

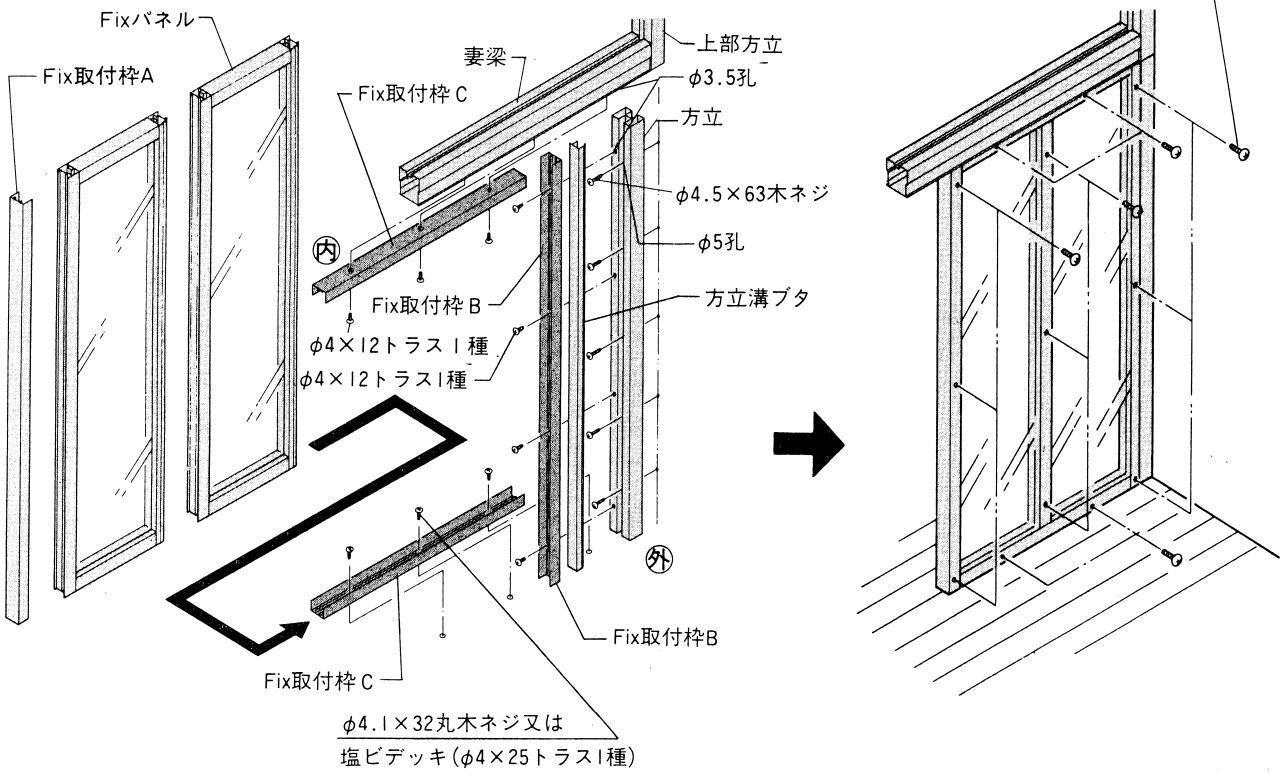
⑤最後にFix取付枠Ａをあて Fix取付枠ＣのＶ溝部にてFixパネル上・下桟と(パネル1枚で上・下各１ヶ所)、Fix取付枠B、Cとφ4×14バインドピアスでともじめして下さい。

⑥パネル２枚以上の場合は各々のパネルのフィンＶ溝部にて上・中・下にて穴をあけともじめして下さい。

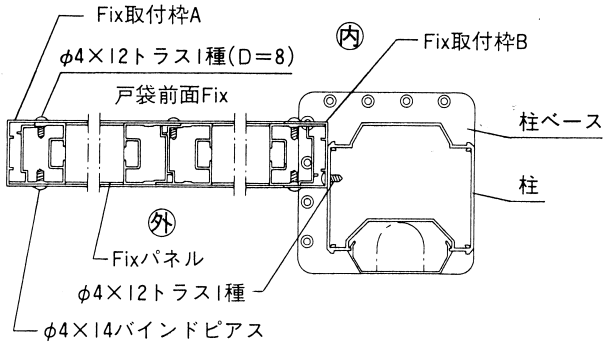
■戸袋Fixの取付け
1）戸袋が躯体側にある場合

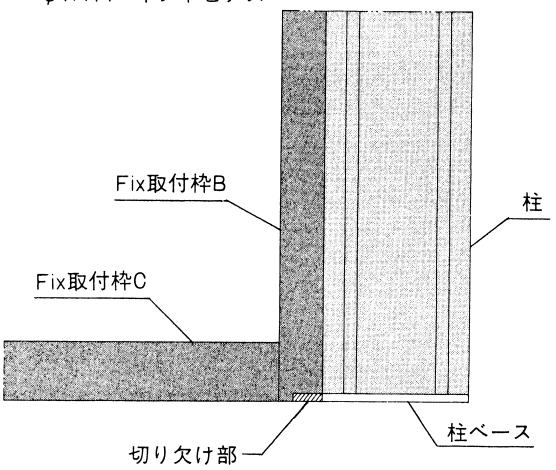
■Fix取付枠A・B・C





2）戸袋が前面にある場合



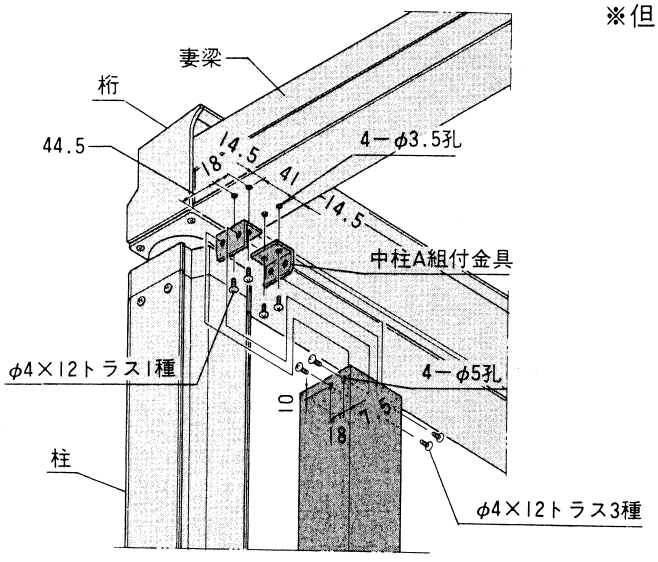


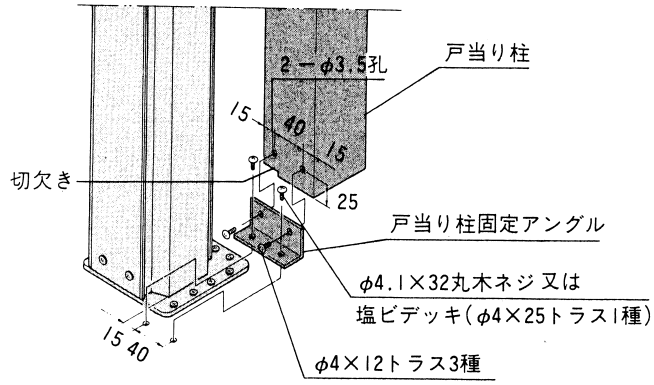
①戸袋が躯体側にある場合同様にFix取付枠Bを加工し左図のように柱(桁)の内面に合わせ、Fix取付枠Bの取付穴に合わせて柱に孔(φ3.5)をあけネジ止めして下さい。
注：柱ベース使用の場合、ベース部分を切り欠いて下さい。

②以下P.59と同様に組み付けて下さい。

■70角戸当り柱の取付け　〔納め(1)、納め(2)の場合〕

※但し、納め(2)の折戸仕様の時は除きます。





①戸当り柱をH寸法に合わせて切断して下さい。

H＝2300	切断必要なし
H＝2100	ℓ＝2100
H＝1900	ℓ＝1900

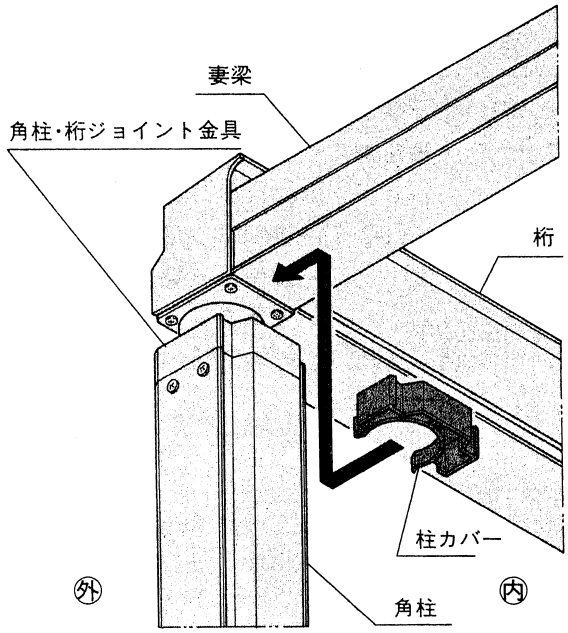
②戸当り柱に左図の加工して戸当り柱固定アングルをとりつけて下さい。

③妻梁に左図の加工をして中柱A組付金具をとりつけて下さい。

④戸当り柱を挿入しネジ止めし下もアングルを床にネジ止めして下さい。

注）柱ベース使用の場合、戸当り柱の下部を切り欠いて下さい。

■サイドFixの取付け
1）すべてFixの場合（出幅12尺、9尺、7尺、4尺）



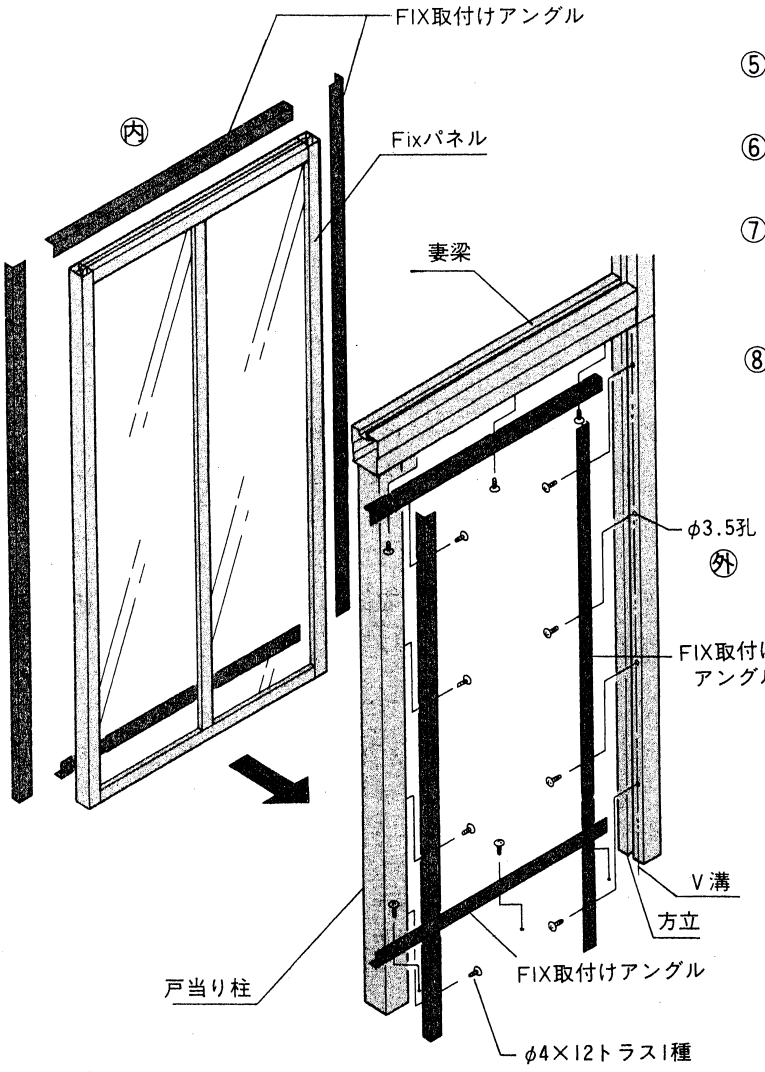
①柱カバーを角柱・桁ジョイント金具の内側から挿入して下さい。
②戸当り柱を取付けて下さい（P.60参照）
③たて枠及び横枠に使用するFix取付アングルを切断して下さい。

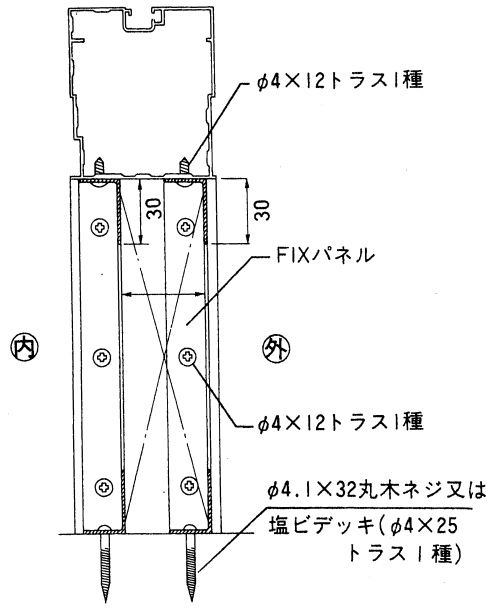
たて枠　H＝2300の時切断の必要なし
　　H＝2100 〃 ℓ＝2100
　　H＝1900 〃 ℓ＝1900
　　} 4本

横　枠　出幅4尺の時 ℓ＝ 827……4本
　　出幅7尺の時 ℓ＝ 1892……4本
　　出幅9尺の時 ℓ＝ 2300……4本
　　ℓ＝ 192……4本
　　出幅12尺の時 ℓ＝ 2300……4本
　　※ℓ＝ 1092……4本

※ℓ＝2300アングルよりℓ＝1092アングル2本切断

④切断したFix取付アングルのたて枠の取付穴を方立の外側のV溝に合わせて穴（φ3.5）をあけネジ止めして下さい。
⑤横枠の取付孔を妻梁の一番外側のV溝に合わせて穴（φ3.5）をあけねじ止めして下さい。
⑥戸当り柱、床にも同じ様に同レベルで取り付けて下さい。
⑦Fixパネルをたて込み、Fix取付アングルをパネルにあてて方立、妻梁、戸当り柱、床に固定して下さい。
⑧Fixパネルと枠、Fixパネルどうしを戸袋Fixと同じようにネジ止めして下さい（P.59参照）

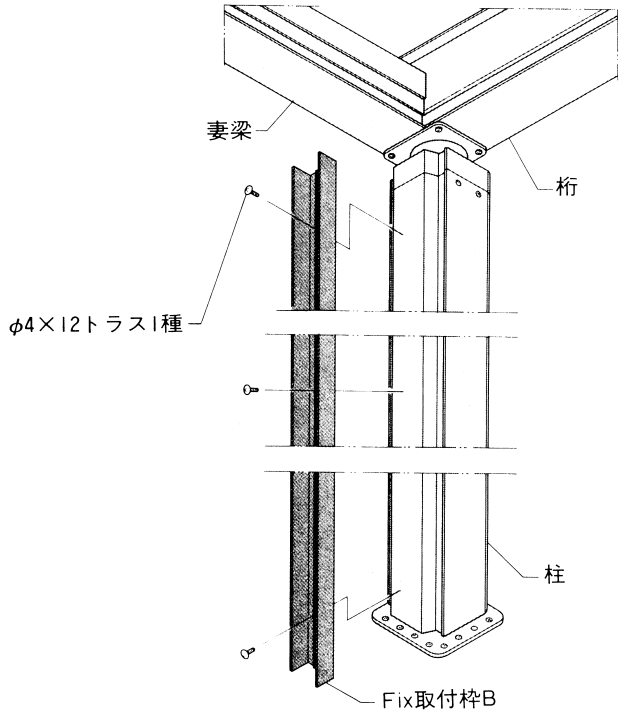




断面図

2）Fix＋折戸の場合（出幅9尺・7尺）

注）この場合必ずFixを先につけて下さい。



①納め(1)の場合、戸当り柱をつけて下さい。
（P.60参照）

②納め(2)の場合柱カバーをつけて下さい。
（P.61参照）

③戸袋Fix同様にFix取付枠Bを切断し、折戸が内折れの場合は妻梁(柱)の外面に合わせ(外折れの場合は妻梁の内面に合わせて)、Fix枠Bの穴に合わせて柱(戸当り柱)に孔(φ3.5)をあけネジ止めして下さい。

④以下戸袋Fix（躯体側）と同様に組み付けて下さい。

⑤Fix取付枠Aを組付後折戸戸当りを内側(外折れの面）を合わせてV溝部に穴をあけてネジ止めして下さい。

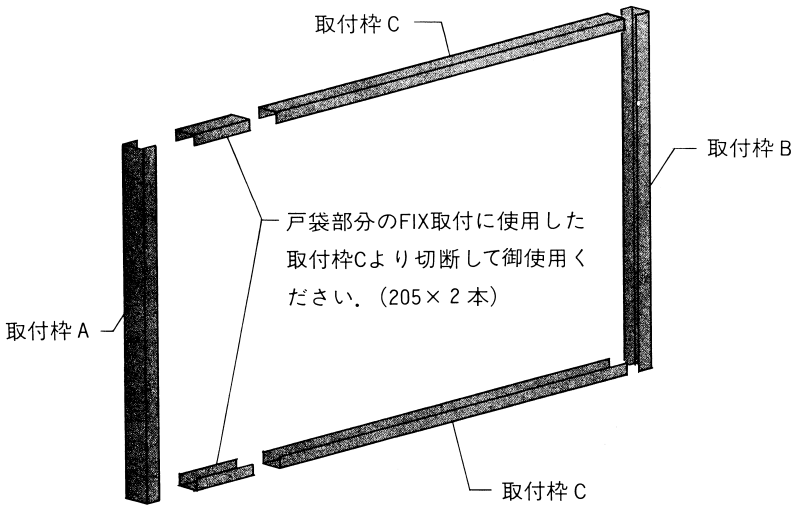
⑥折戸戸当り部水切りを内折れの場合Fix取付枠Aの外側から2番目（外折れの場合内側から2番目）のV溝に穴を合わせ穴（φ3.5)をあけネジ止めして下さい。(P.63参照)

注）柱ベース使用の場合、取付枠Bの下部を切り欠いて下さい。

3）Fix＋折戸の場合(出幅12尺)

注）この場合必ずFixを先につけて下さい。

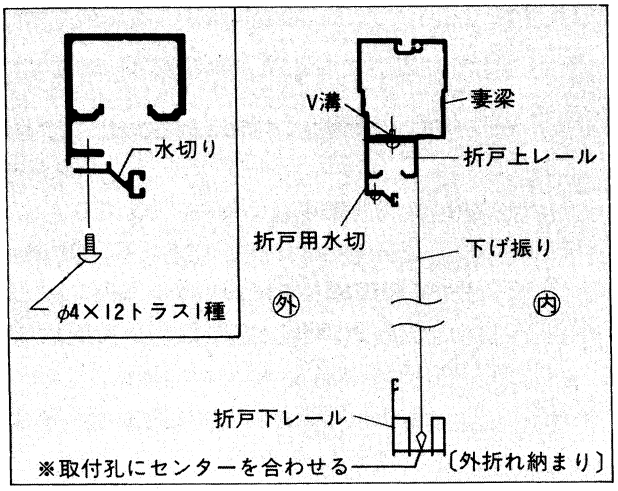
〈FIX部分 取付枠の納まり〉



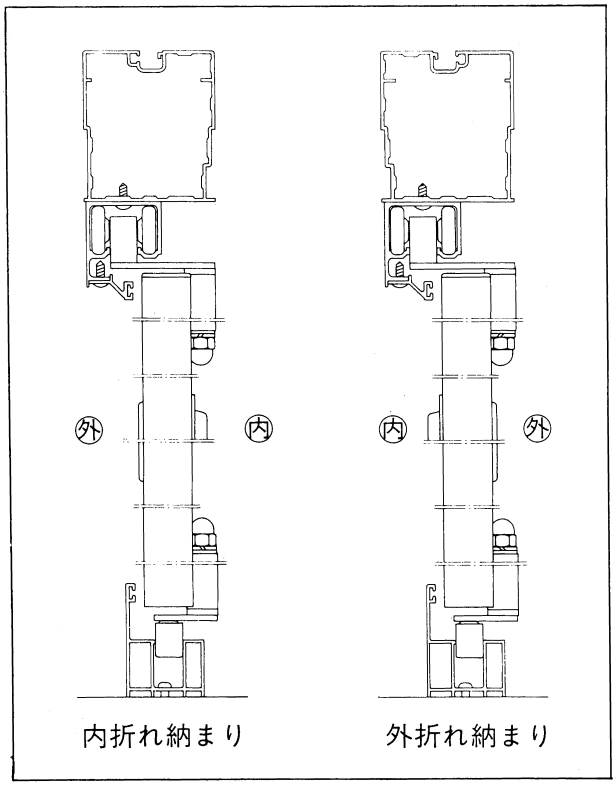
①戸当り柱をつけて下さい。
（P.60参照）

②戸袋FIX部材の取付枠Cの切断
ℓ＝2300の取付枠Cから
261.7×2本(戸袋FIX用)
205×2本(折戸FIX用)
以上切断してください

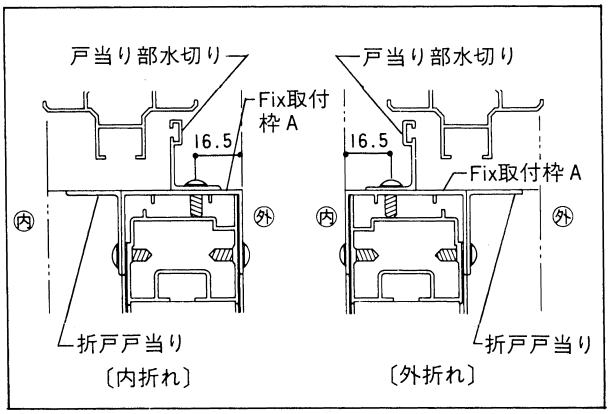
11 折戸の取付け



■納め(2)の側面部材を折戸にした場合の納まり。



■折戸戸当りの戸当り部水切りの納まり



※エクシオール面デッキがある場合は内折れはできません。

①納め(2)の折戸の出幅7尺と9尺以外の場合、戸当り柱を付けて下さい。 (P.60参照)

②フィックス先をに付けて下さい。 (P.59参照)

③方立を組付けて下さい。(P.59参照)

④折戸上レール(長)を方立につき当てて下さい。妻梁の下面のV溝(外折れの場合、内側より2番目のV溝、内折れの場合1番外側のV溝)に折戸用上レールのセンター(孔)を合わせて、両端部の孔に合わせて妻梁に印を付けてドリルでφ3.5の孔あけし、折戸上レールをネジ止めして下さい。

⑤上レールより下げ振りで床面に芯出しをして(左図参照)片側を方立につけあて、下レールの両端部及びセンター(3ヶ所止め)の孔に合わせネジ止めして下さい。

⑥折戸パネルに落し棒つまみ(内側)を取付け、反対側にストッパーカバーを切り欠部に合わせてφ3.5の孔を中間框にあけネジ止めして下さい。

⑦折戸を下図の様に上下レールへ釣り込んで下さい。

⑧折戸上レール(短)を折戸上レール(長)につきあて上レール取付孔(2ヶ所)を使って同様に組付けて下さい。

⑨上部ストッパー及び折戸スプリングを取付孔に合わせて、妻梁にφ3.5の孔をあけネジ止めして下さい。

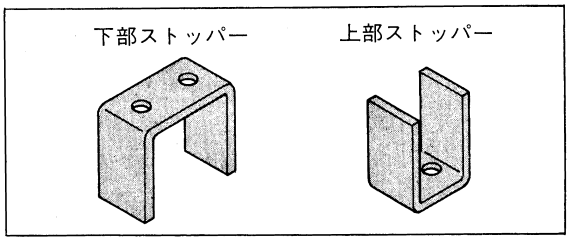
⑩下部ストッパーを下レールの取付孔部にネジ止めして下さい。

⑪下レールの水切りの間に折戸目隠しをはめ、方立の内側のV溝と合わせてφ3.5の取付孔をあけネジ止めして下さい。

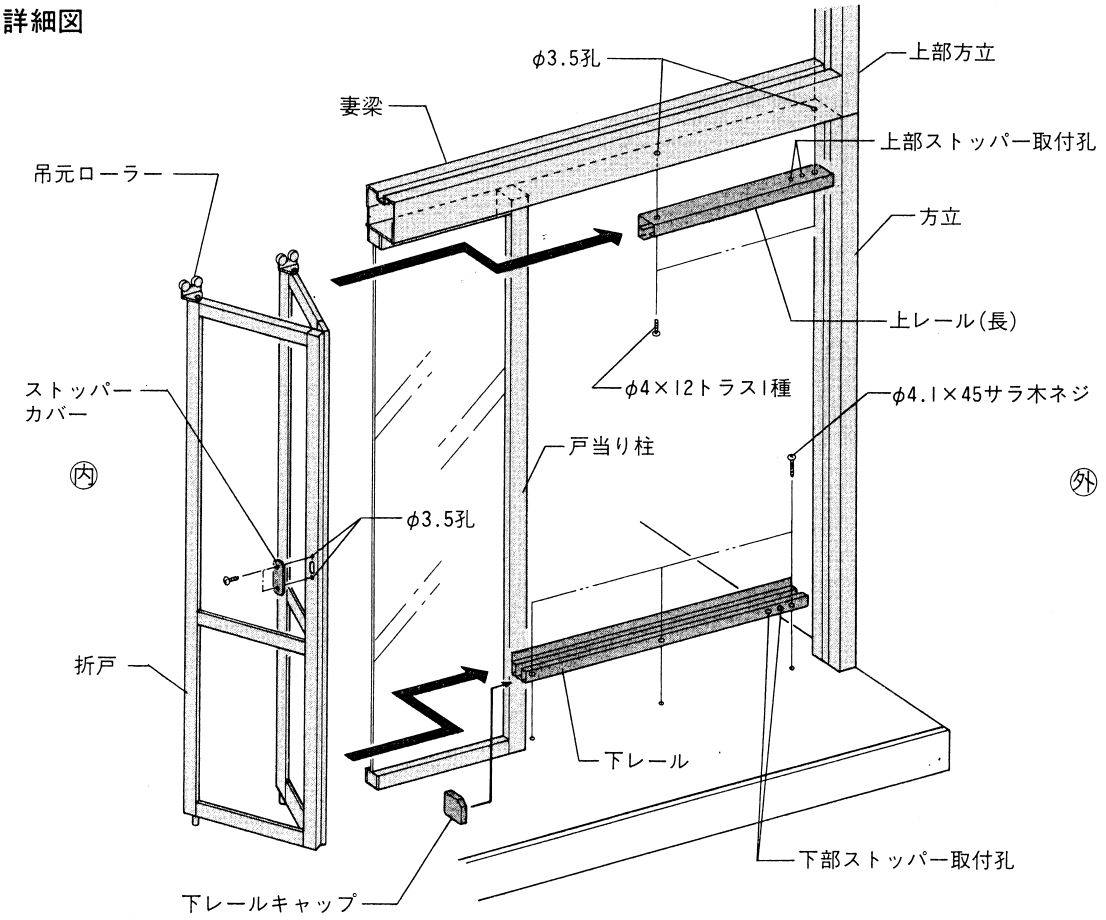
⑫戸当り部水切り及び折戸戸当りをFix取付枠AのV溝部(左下図参照)にφ3.5の孔をあけネジ止めして下さい。

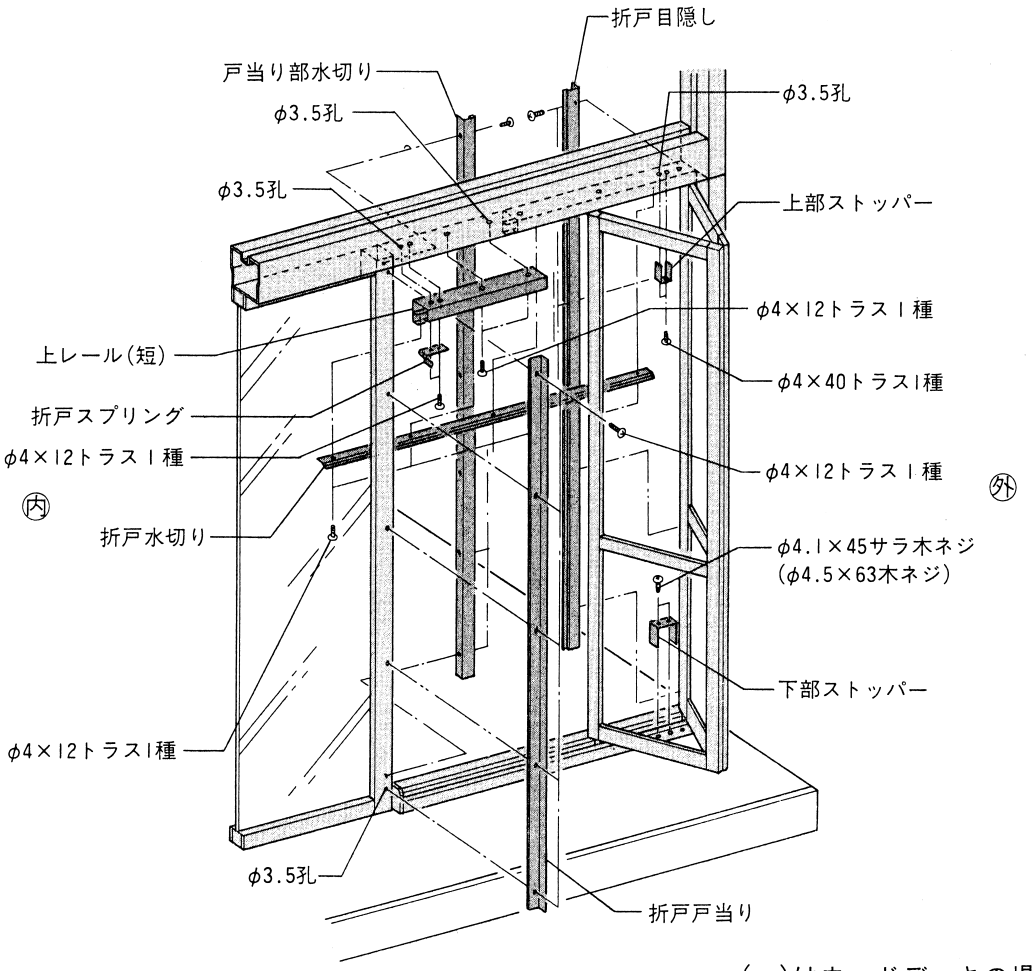
下レールの位置出しをする場合は、下振りで2ヶ所以上マークして、チョークで線をつけて下さい。

■上・下ストッパーの取付に注意して下さい。



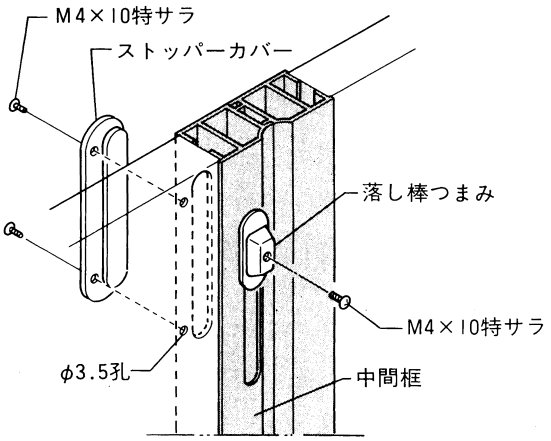
■詳細図



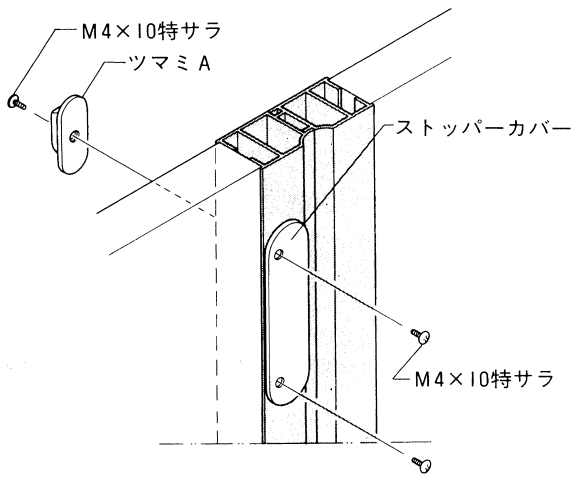


(　)はウッドデッキの場合です。

■折戸落し棒つまみ及びストッパーの取付け

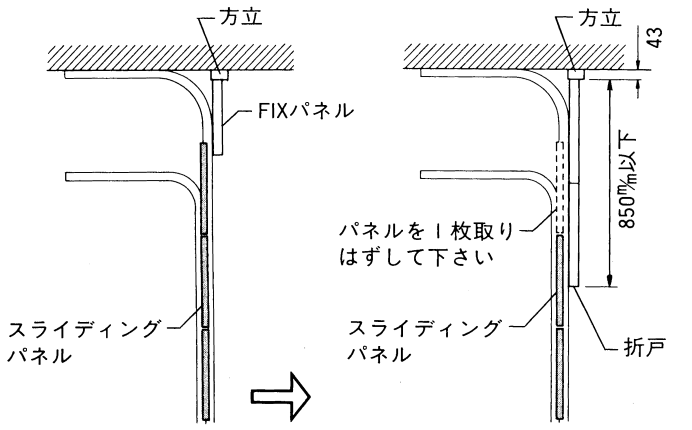


内折れの場合



外折れの場合

■標準タイプの側面FIX部を折戸仕様にする場合

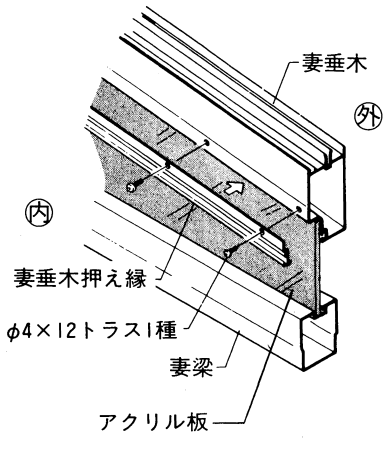


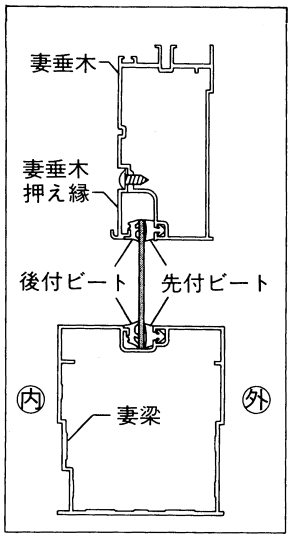
側面FIXの場合　　折戸仕様に変える場合

取付手順

①方立、折戸を取付けて下さい。(P.59参照)
②折戸上レールキャップをはめて下さい。
③スライディングパネルを閉めている時、折戸部分から出入りできるようにパネルの枚数を調整して下さい。
(ただし、端部パネルの後面が躯体より850㎜以下に納まるようにして下さい。)

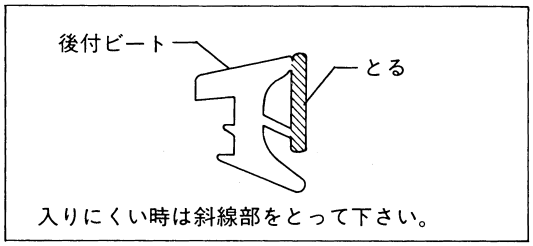
■三角アクリル板の取付け



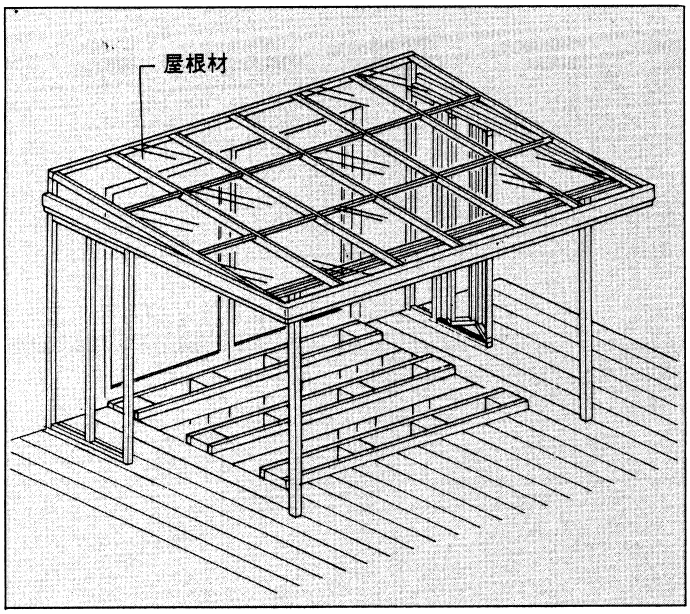


取付手順

①上部方立、妻梁、妻垂木の溝部に先付ビートを切って入れて下さい。
②アクリル板を入れ妻垂木に妻垂木押え縁をネジ止めして下さい。
③後付ビートをはめ込んで下さい。
入れづらい場合は、後付ビートのフィンをはがして使用して下さい。下図参照



12 屋根材の取付け

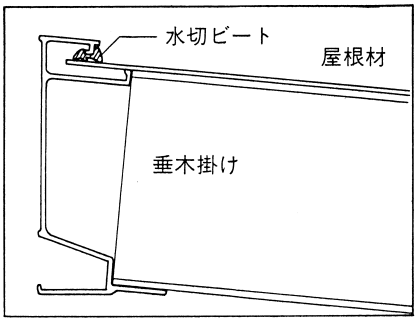


●左右どちらかの妻垂木より1スパンごと順に取付けて下さい。
●雨樋の屋根材受金具の先端まで屋根材を差し込み垂木掛けの溝に押し込んで下さい。
●垂木の上から垂木カバーをネジで止めて下さい。(φ4×12トラス3種平座金パッキン付)
●垂木掛水切りビートを垂木カバーの内々寸法に合わせて切断し、下図のように垂木掛けと屋根材の間に入れて下さい。

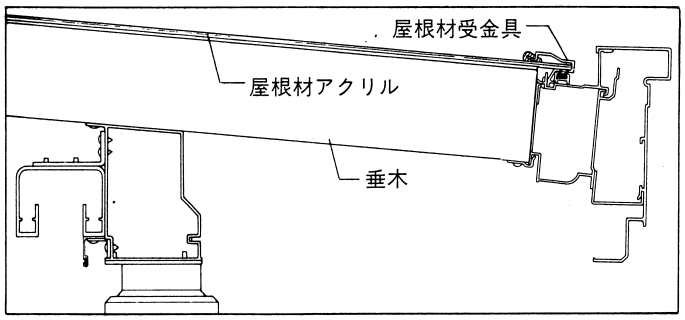


1.屋根材のマスキングシートは取付け前に貼がして下さい。
2.戸袋側の屋根材は電動装置を取付てからにして下さい。
(電動装置を取付ける場合のみ)

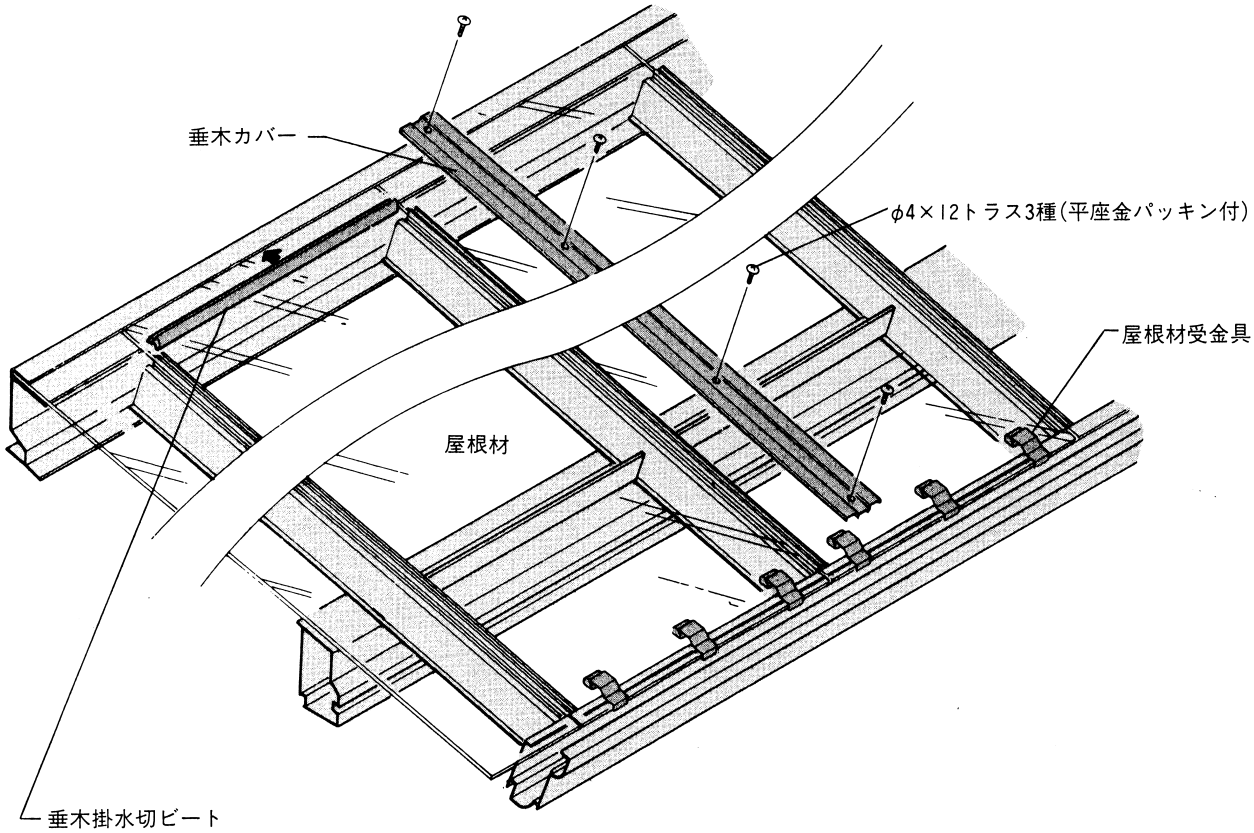
垂木掛断面図



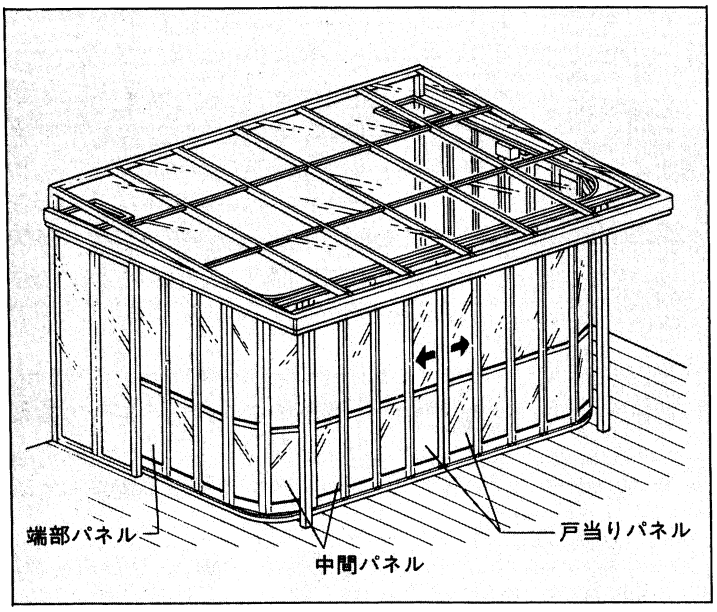
屋根材側面図



■詳細図

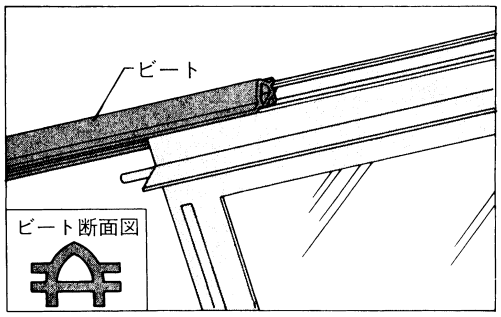


13 パネル釣り込みと連結

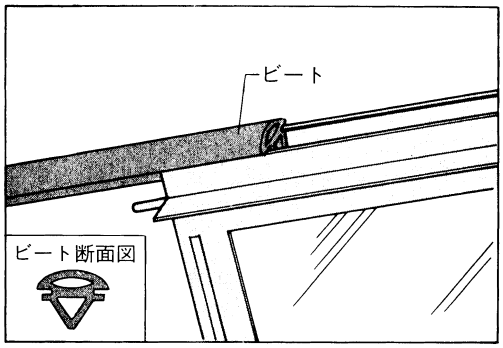


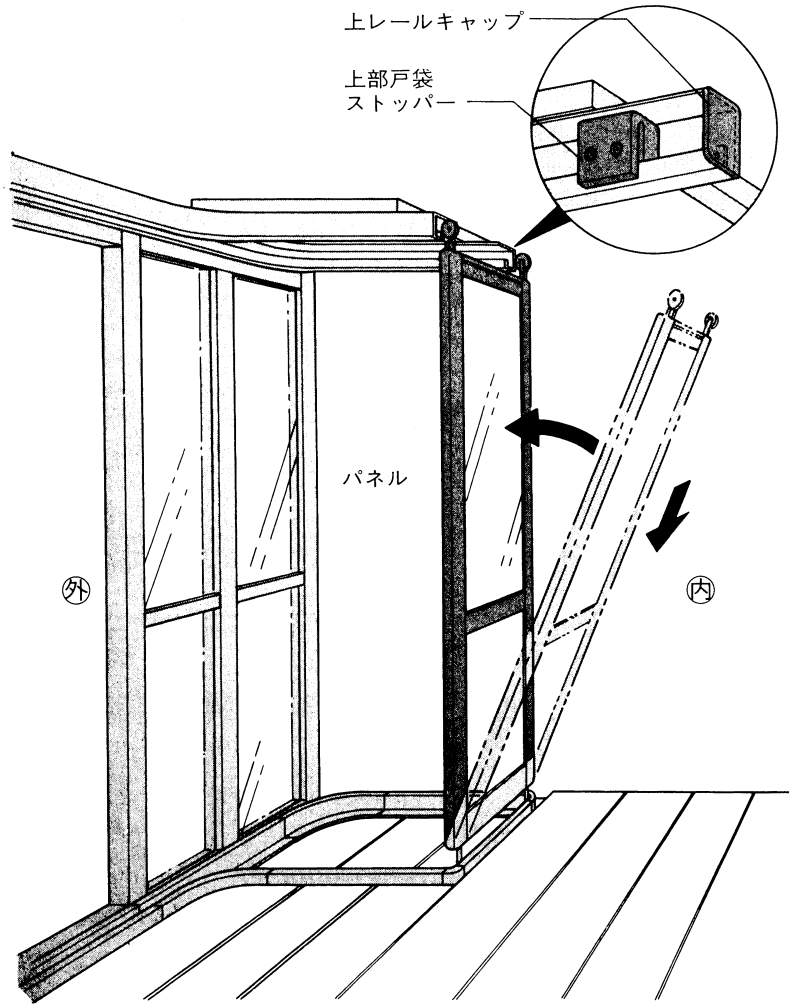
●左右どちらか一方の戸当りパネルにビート材を入れて下さい。

両開きの場合



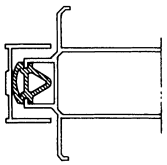
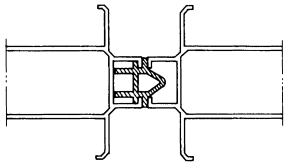
片開きの場合



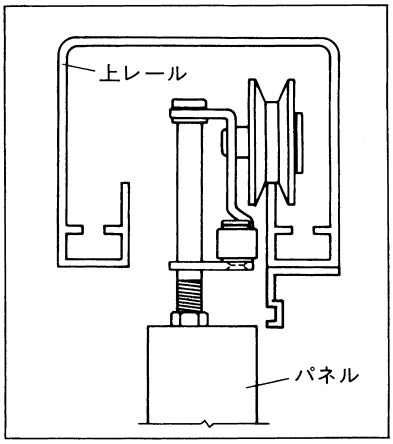


●戸袋部の上レールに、戸当りパネルを釣り込んで下さい。その際、パネルの表裏を確認しながら先に下ローラーを戸袋下レールに入れてから、上ローラーを上部戸袋の溝に合わせて入れて下さい。
●次に、中間パネル、端部パネルを順番に入れて下さい。
●パネル釣り込み後、上部戸袋にストッパーと上レールキャップを取付けて下さい。

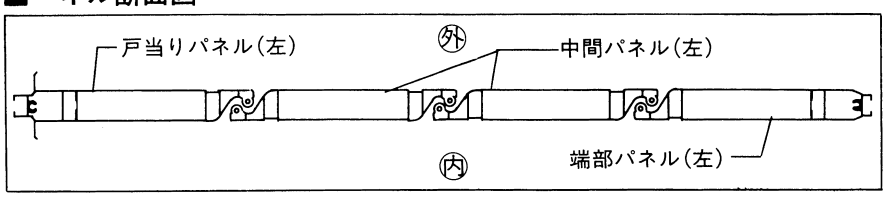
■ビート材断面図

片開き	両開き
	

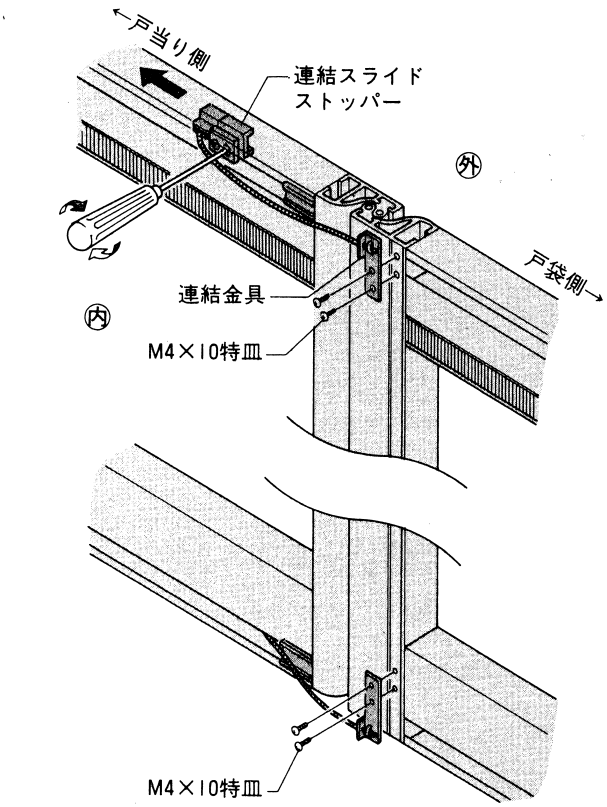
■ローラー詳細図



■パネル断面図

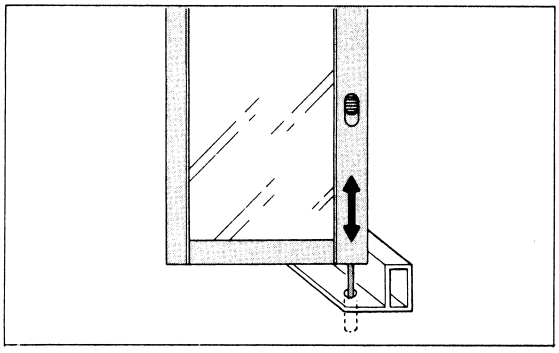


■連結部詳図



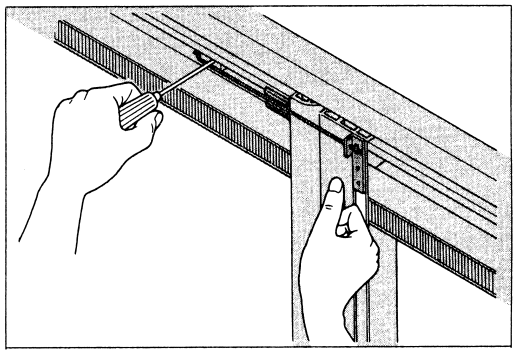
納品時、連結スライドストッパーは固定されています。釣り込み前に必ずゆるめる様にして下さい。

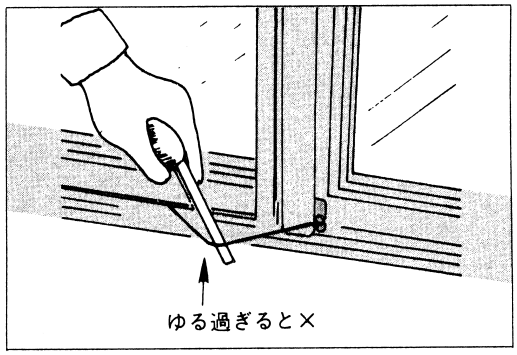
■落し棒加工図



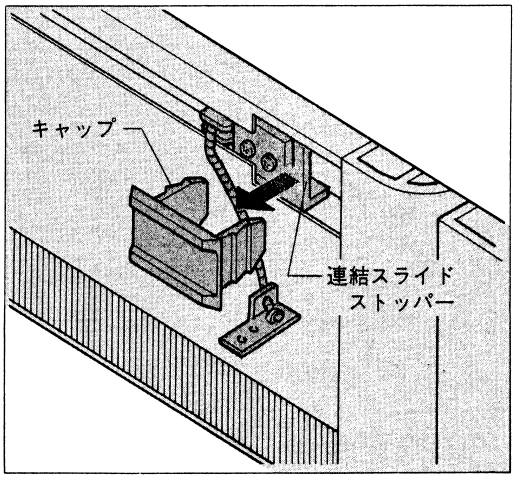
■端部パネルの落し棒の位置に合わせて、下レールにφ10孔をドリルであけて下さい。
(孔位置はパネルを押した状態で合わせて下さい。)
折戸も同様に下レールにφ10の孔を穴あけて下さい。

●連結金具を隣パネルの取付部にネジ止め(上下共) して下さい。(左図参照)
●ワイヤーの張り具合の調整が必要な場合は片側パネルを図のように親指で押えながらパネルの上下桟の框の中に入っている連結スライドストッパーのネジ(2ヶ所)をゆるめドライバーで左右に動かして下さい。
調整後は必ずネジを締めつけて下さい。





●連結ワイヤー交換の際は、上・下桟のキャップを取はずし連結スライドストッパーをぬいて下さい。

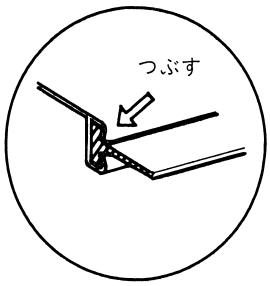


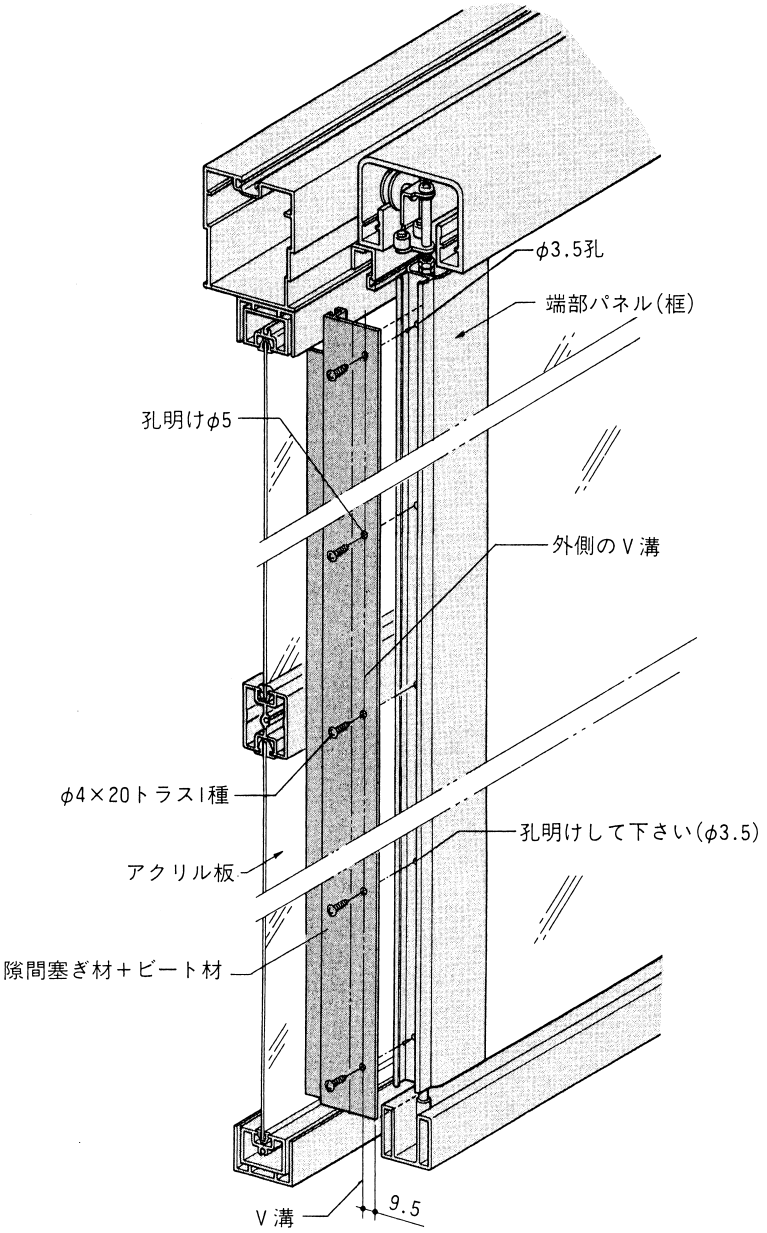
14 Fix隙間塞ぎ材と隙間隠し材の取付け

■Fix隙間塞ぎ材の取付け

●隙間塞ぎ材を下記サイズに合わせ切断して下さい。(Ｖ溝部５ヶ所φ5孔明け)
●隙間塞ぎ材を右図の様に端部パネル部に当て下孔をあけて下さい。(φ3.5)
●ビート材を隙間塞ぎ材に入れネジ止めして下さい。(φ4×20トラス1種)

パネル高(mm)	隙間塞ぎ材切断寸法(mm)
2300	2240
2100	2040
1900	1840





■Fix部隙間隠し材の取付け

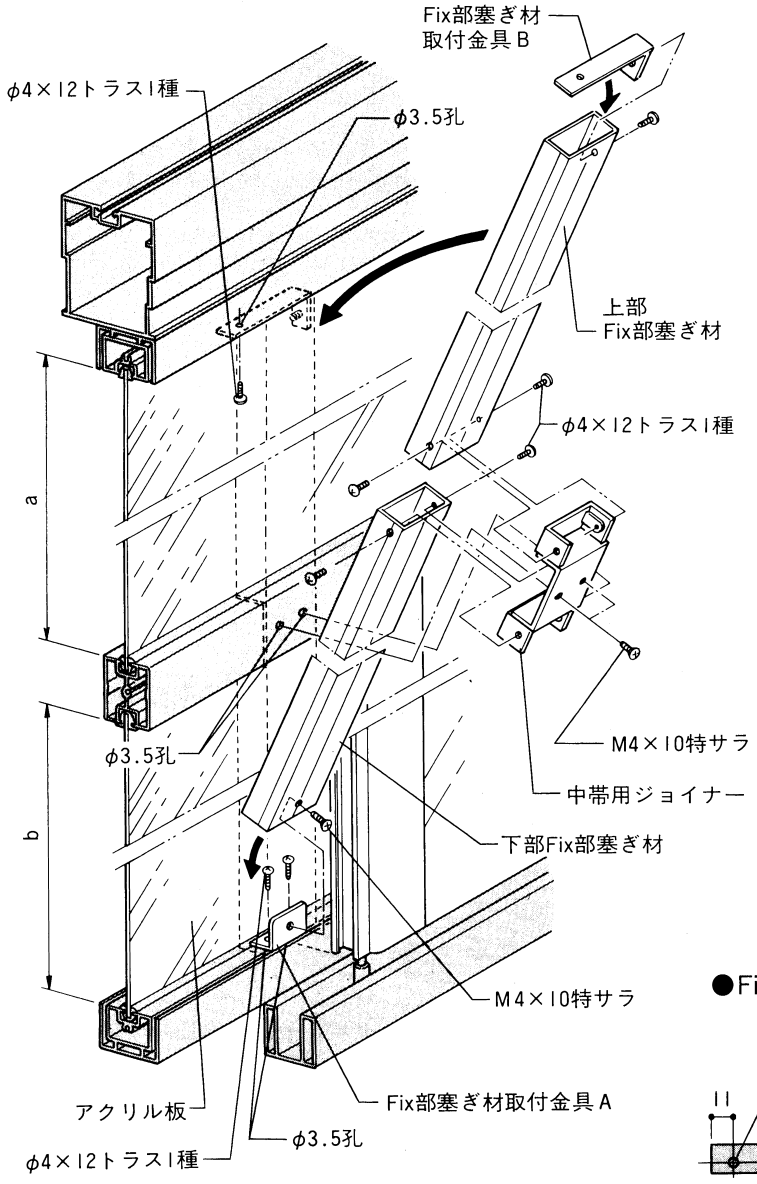
①Fixパネルのａ・ｂ寸法を測り下記計算にて上・下部のFix用隙間塞ぎ材の長さを出し、切断して図のようにＶ溝部に孔加工して下さい。

上部＝ａ－４㎜

下部＝ｂ－４㎜

②パネルを閉めた時、端部パネルに取付けた隙間塞ぎ材がくる位置にFix部塞ぎ材取付金具Aを下桟に組付けて下さい。

③上下Fix用隙間塞ぎ材と中帯用ジョイナー及びFix部塞ぎ材取付金具Bを組み付け先に取付けた取付金具に組付け、中桟・上桟に孔あけをしてネジ止めして下さい。
折戸を使用した場合は隙間塞ぎ材＋ビート材のみとなります。(ビートは折戸用を使用して下さい。)



●Fix部塞ぎ材取付金具AをFixパネル下桟にネジ止めして下さい。

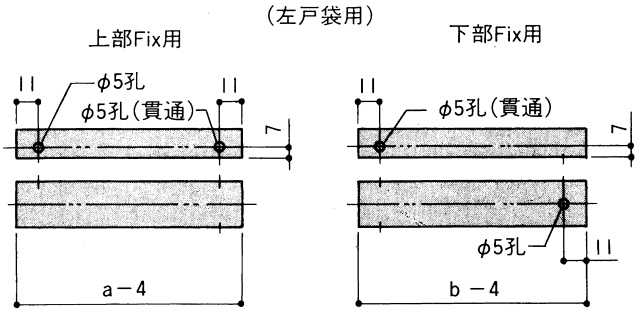
●Fix部塞ぎ材取付金具BをFix部塞ぎ材にネジ止めして下さい。

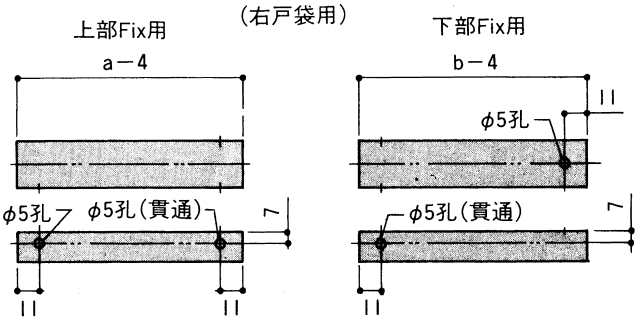
●Fix部塞ぎ材を取付けネジ止めして下さい。

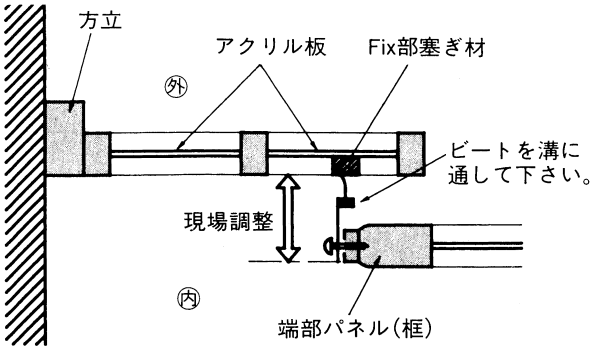
●以後の取付は(1)と同様に行って下さい。

※Fix部塞ぎ材取付金具ＢがFixたて框に当たる時は金具の向きを逆にして下さい。

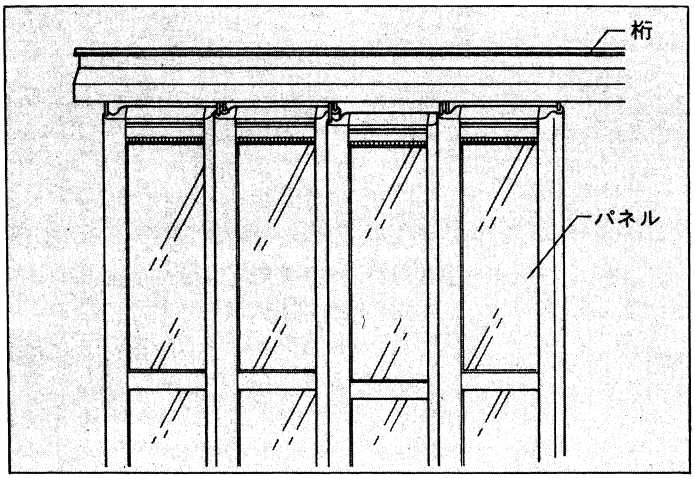
●Fix部塞ぎ材に孔明けして下さい(φ5)







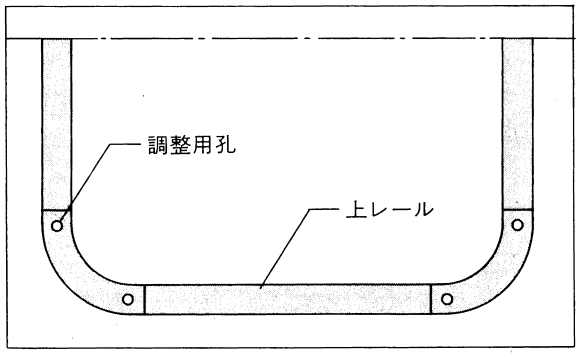
15 パネル部の作動性の調整

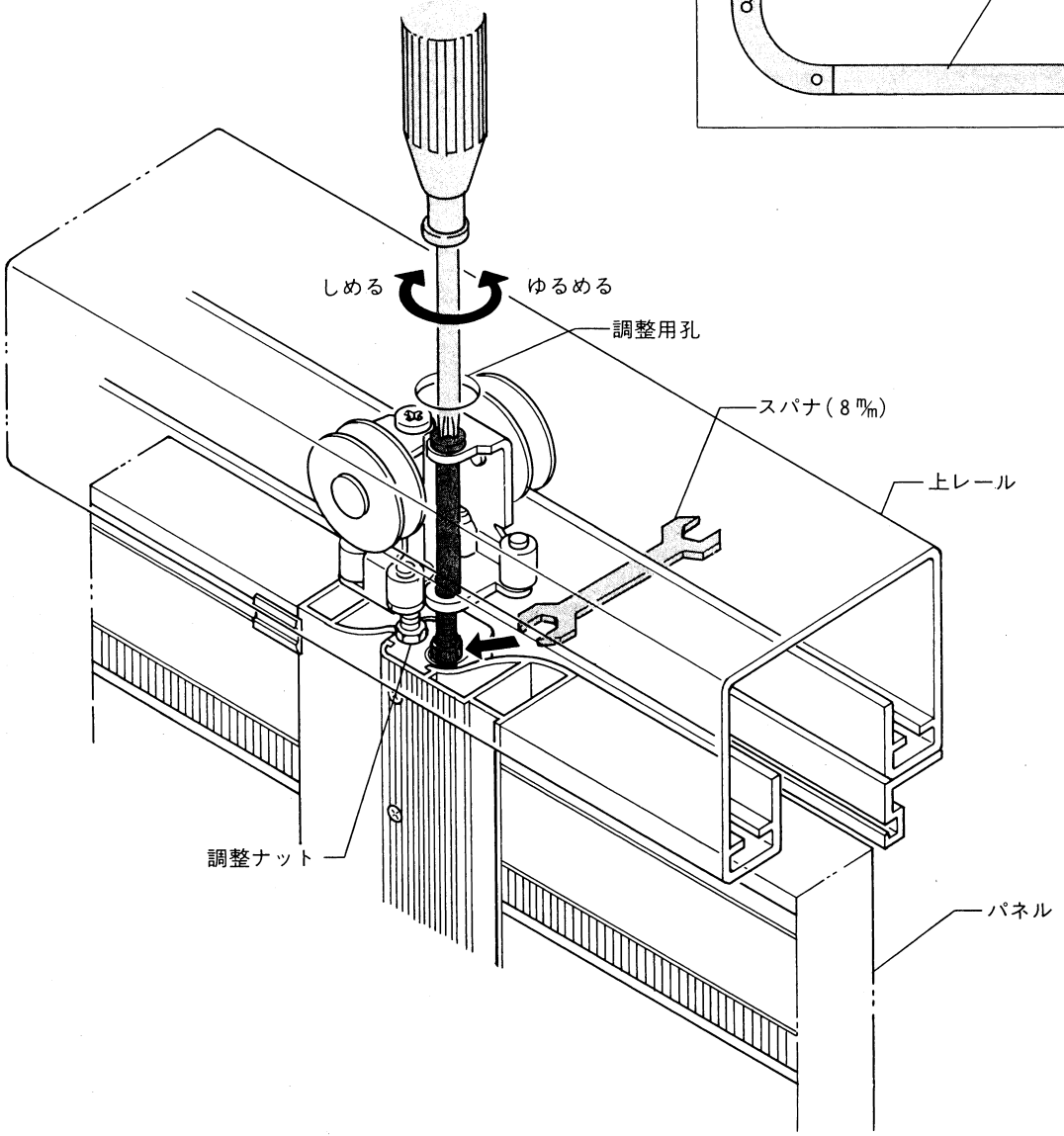


■パネルのバランス（上下位置・咬合部の調整）

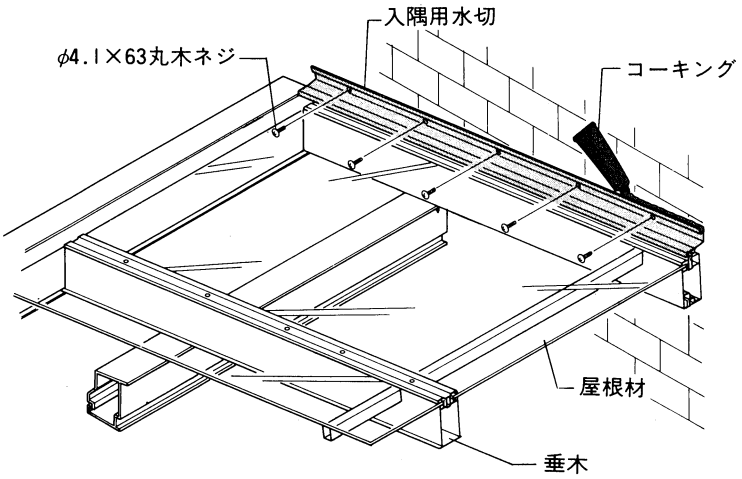
●調整ナットをスパナ（8㎜）でゆるめて、上ローラーのネジを調整後、必らず調整ナットを締めて下さい。

※上レール下図の位置に調整用孔があいています。





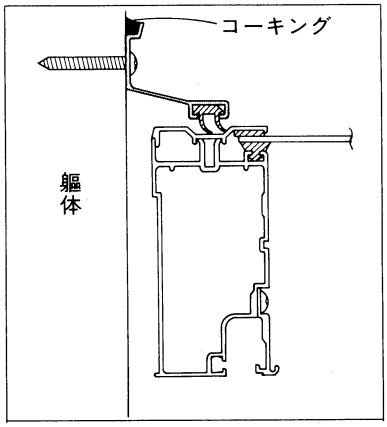
16 入隅用水切りの取付け



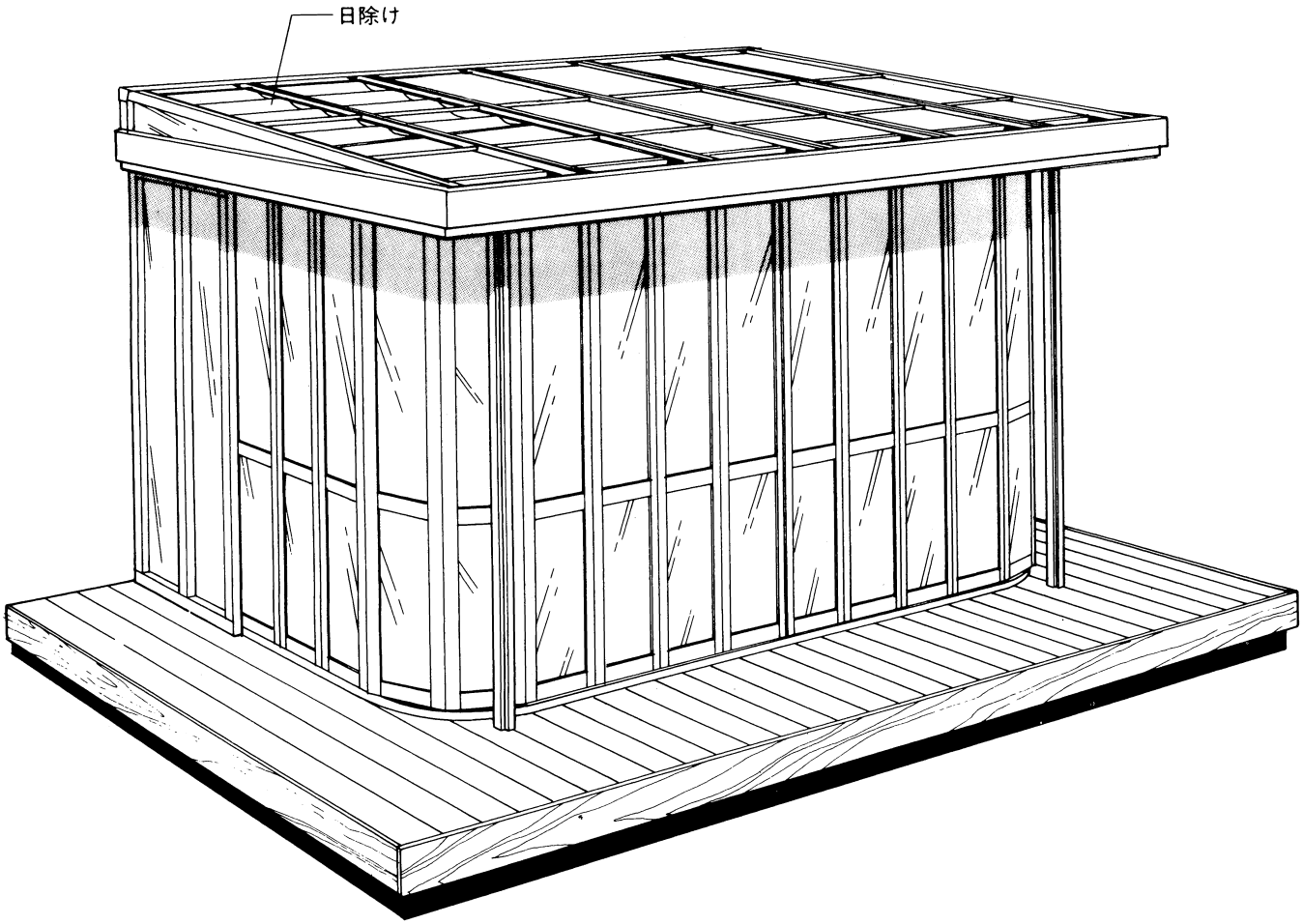
※なお、妻梁の側面幕板取付金具(1)、(2)を外して下さい。

●躯体側に取付けた妻垂木の上部に入隅用水切りを穴明し躯体にネジで止めて下さい。
●躯体と入隅用水切りのすき間に必ずコーキングをして下さい。

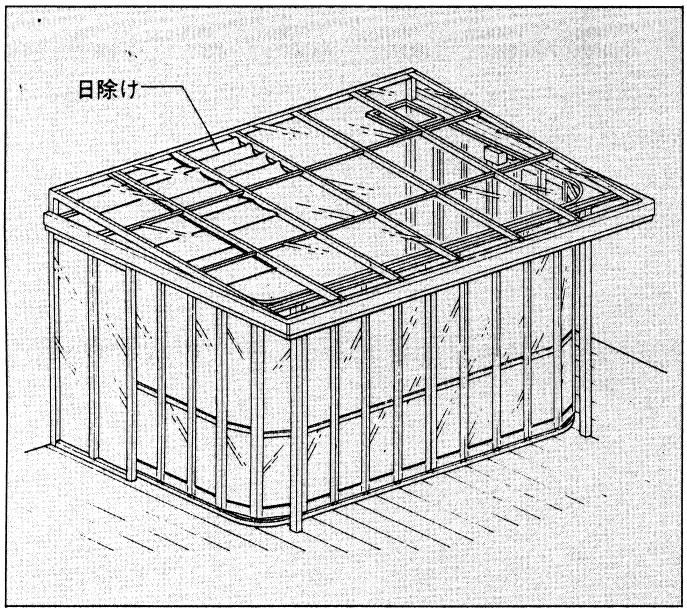
断面図



パティオ TYPE | その他のオプション施工方法



日除けの取付け



①各タイプ(サイズ)により下記のように日除けレールのＶ溝(詳細図参照)へ、下記表Ⅰのようにφ5の孔をドリルであけて下さい。(12尺タイプの場合、標準タイプのＶ溝の位置と違うので注意して下さい)

②垂木掛側に先頭のランナーを入れるスペース(45㎜)をあけ、日除けレールを垂木にあてレールの孔に合わせてφ3.5の孔を垂木にドリルであけネジ(φ4×12トラスⅠ種)止めて下さい。

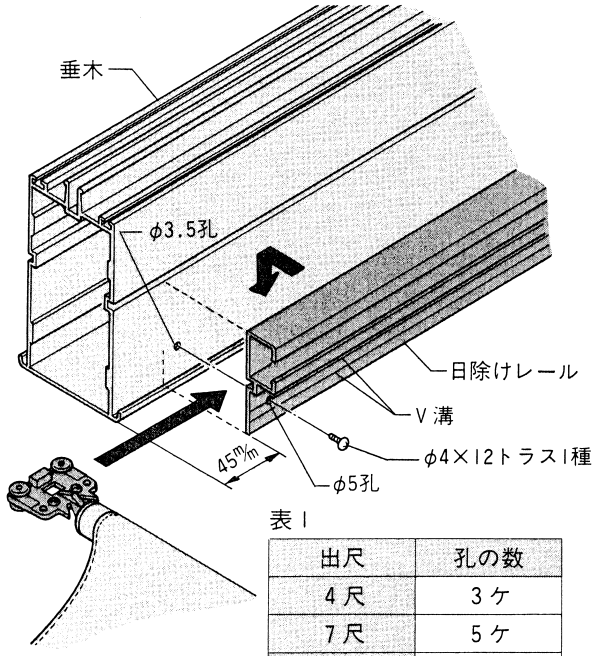
③日除けレールの桁側先端にストッパーを取付けて下さい。日除けレールに日除けを先端ランナーから入れて下さい。日除けをセットしたら、日除けレールの垂木掛け側にストッパーを取付け、Ｓ管をストッパーに組付けて下さい。

注) 日除けレールの組付けは、垂木の組付けと同時に施工されることをおすすめします。

●電動日除けサンルーフの取付けに関しては、別冊エクシオール電動日除けサンルーフ取付説明書をご覧下さい。

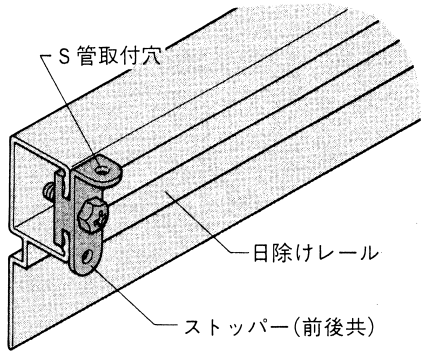
■詳細図

標準タイプ (12尺はのぞく)

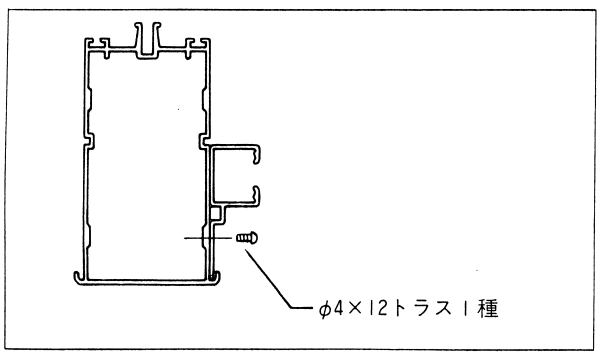


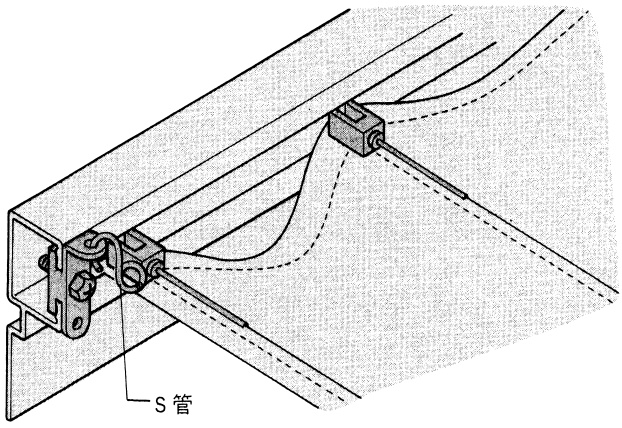
表Ⅰ

出尺	孔の数
4尺	3ケ
7尺	5ケ
9尺	5ケ
12尺	7ケ

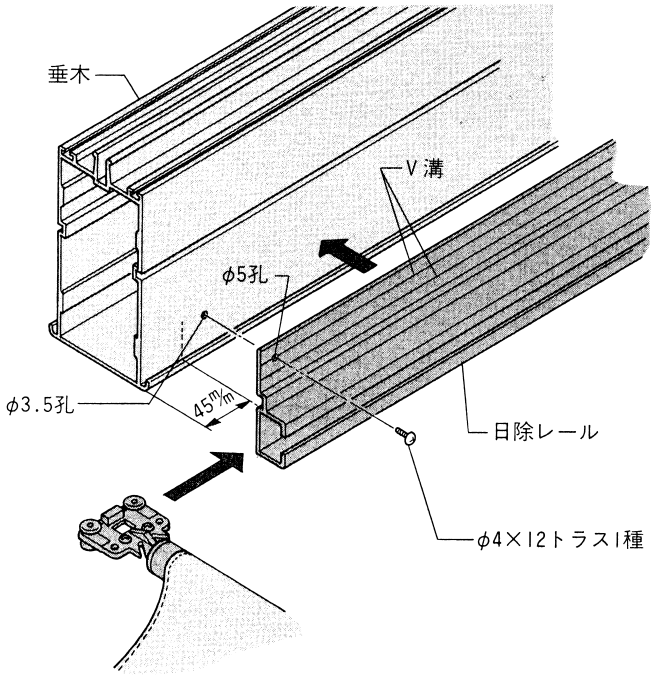


断面図

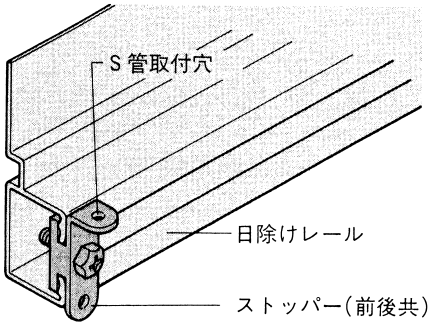


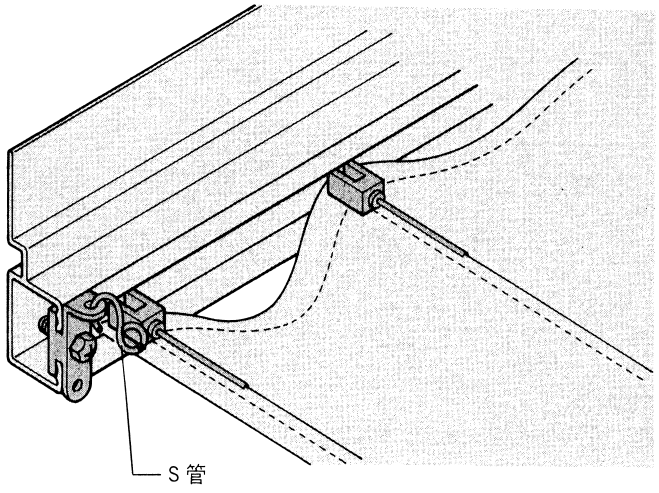


標準タイプ(12尺)

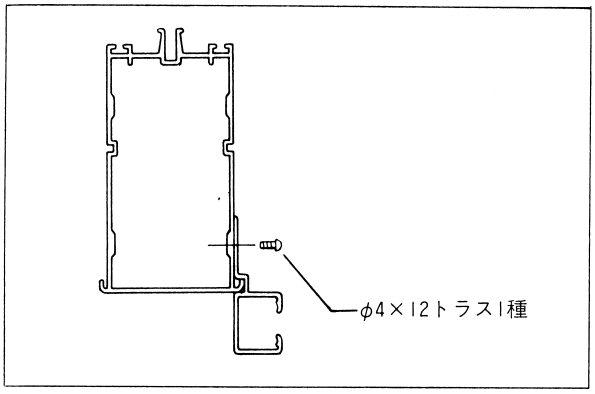


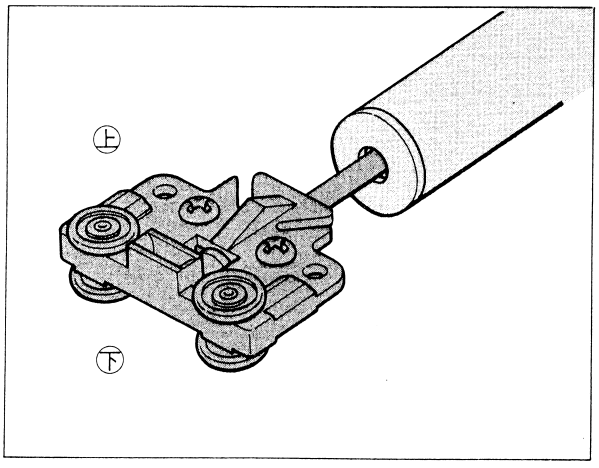
積雪地対応型タイプ1





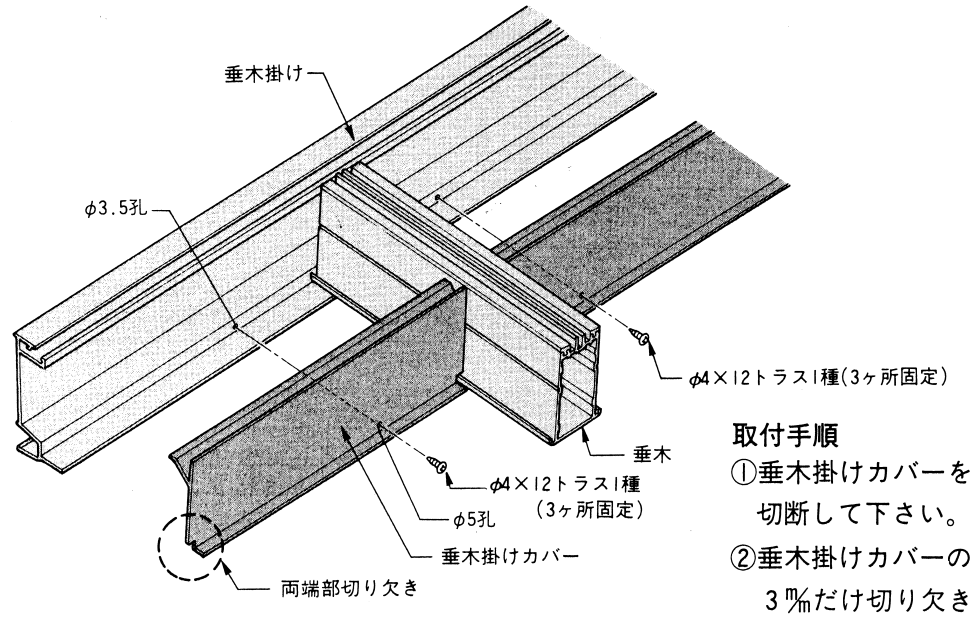
断面図





注) 日除け本体を合わせる時、先端ランナーにおいて上下の確認をして下さい。

■垂木掛けカバーの取付け（ℓ＝711㎜）



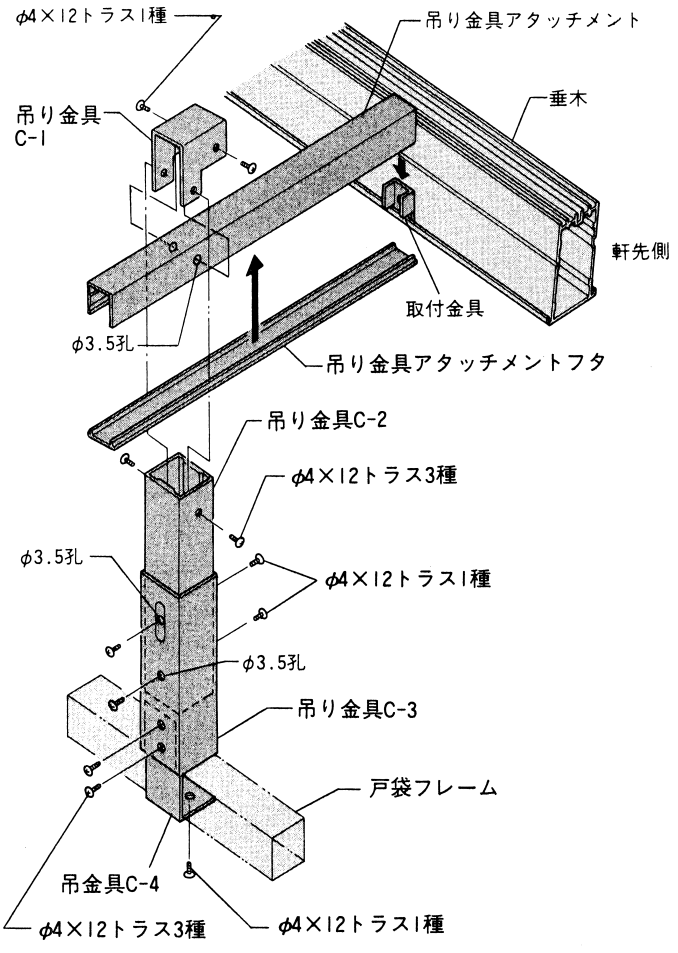
取付手順

①垂木掛けカバーを各垂木間の寸法に合せて切断して下さい。

②垂木掛けカバーの両端下部を高さ4㎜、巾3㎜だけ切り欠き、V溝部にφ5の孔(3ヶ所)をあけて下さい。

③垂木掛けカバーを垂木掛けにあてがい、垂木掛けカバーの孔に合わせて垂木にφ3.5の孔をφ4×12トラス1種で固定して下さい。

■戸袋吊り金具Cの取付け



取付手順

①戸袋吊り金具Cの取付位置を現場に合せて決め、合い対する垂木に1個づつ取付金具を図のようにネジ止めして下さい。
吊り金具アタッチメントを上から差し込み吊り金具アタッチメントフタをして下さい。
※パネル枚数を増すなどして強度が必要な場合には、戸袋吊り金具Cを2本使用して下さい。

②吊り金具C-4と吊り金具C-3をネジ止めして、吊り金具C-2を吊り金具C-3の中に通して、吊り金具C-1を吊り金具アタッチメントの上から差して、吊り金具C-2とネジ止めして下さい。

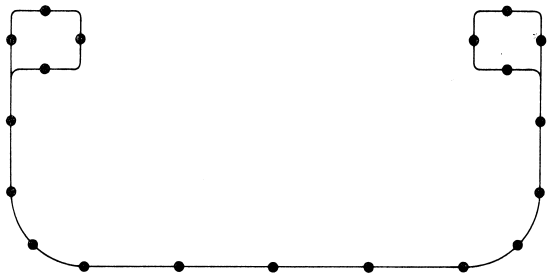
③吊り金具C-3の垂直を確認して、吊り金具C-4を戸袋フレームに、吊り金具C-1を吊り金具アタッチメントにそれぞれφ3.5の穴をあけてネジ止めして下さい。

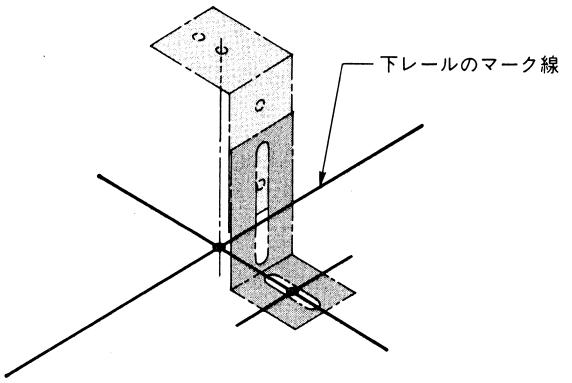
④吊り金具C-3と吊り金具C-2の呑み込みを調整して、戸袋フレームの水平を出して、吊り金具C-3の長穴センター部にφ3.5の穴をあけφ4×12トラス1種ネジで固定して下さい。

⑤パネルを戸袋に収納して、戸袋フレームの水平を再確認した後、吊り金具C-3の丸穴部に合せて吊り金具C-2にφ3.5の穴をあけてφ4×12トラス3種ネジで固定して下さい。

■下レール調整金具の取付け(10ヶ入)

床をテラス仕様にする際、下レールと下地コンクリート面の間を浮かして仮止め施工する場合にご利用下さい。





①桁部上レールから芯出し下げ振りにより下地コンクリート床面にマーキングして下さい。(P.58参照)

※2点以上のマークをつけマーク間を線引きして下さい。

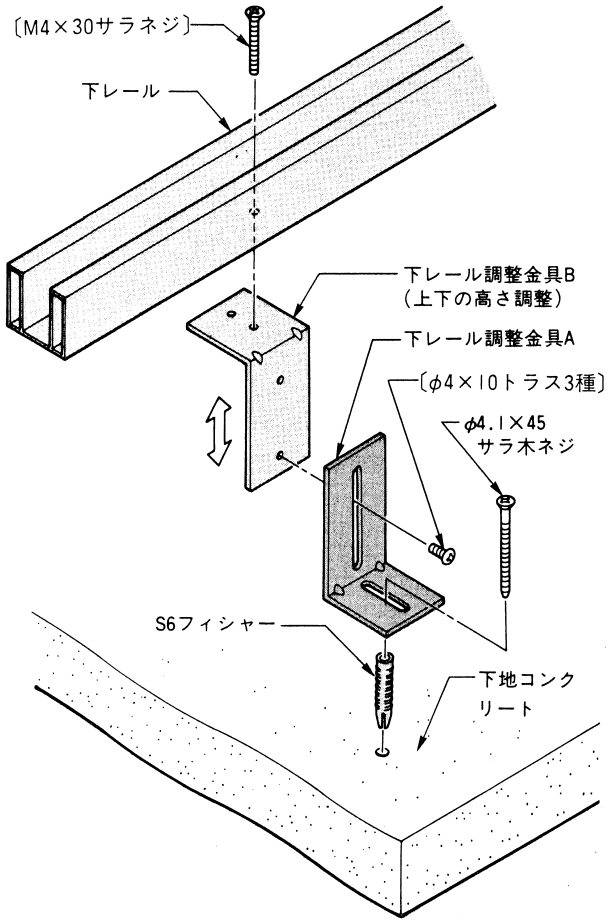
②あらかじめ下レールは組付してセットしておいて下さい。

③下レールの孔位置を床面にマークして下さい。

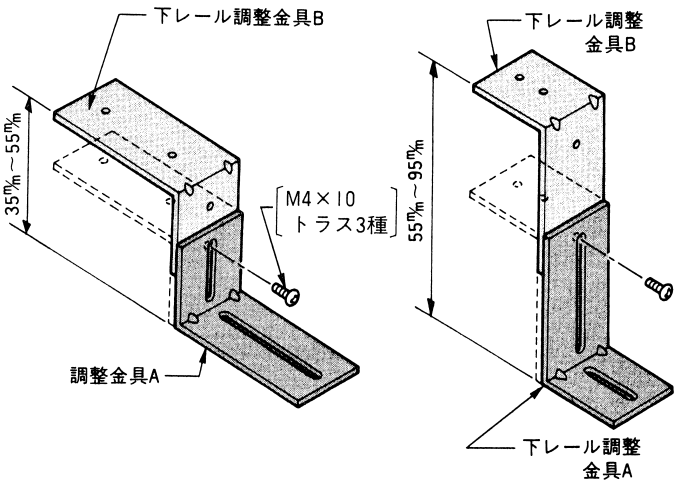
④次に下レール調整金具Bと下レール調整金具Aを φ4 ×10トラス3種で仮止めして下さい。

⑤下レールの孔と下レール調整金具Aの2ヶの孔の内一方を合せ、調整金具Aの長孔のセンターに印をしてφ6の孔を下地コンクリートにあけS6フィッシャーを入れてネジで固定して下さい。

⑥最後に調整ネジで高さを調整して下さい。

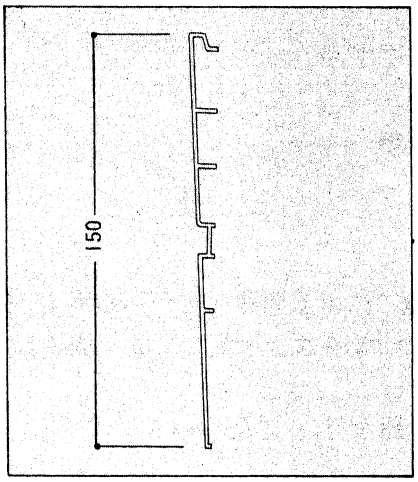


※下レールの調整金具のA、Bを下図の様に、組変えすることにより、35㎜～95㎜の範囲で高さ調整が出来ます。

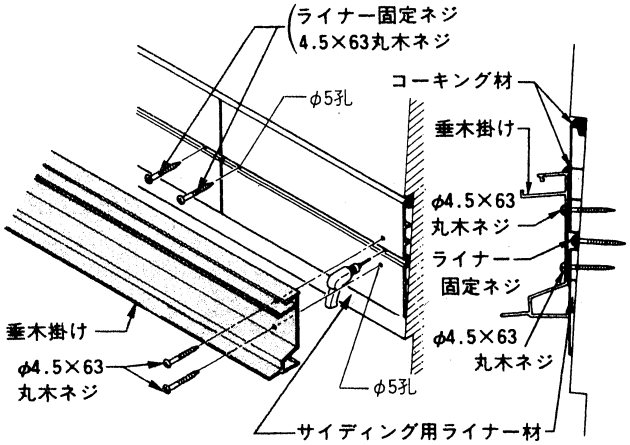


■サイディング用ライナー材の取付け（ℓ＝1,850㎜）

サイディング用ライナー材断面図



●躯体が不陸のある横張りサイディング等の場合、オプションのサイディング用ライナー材を使用して下さい。

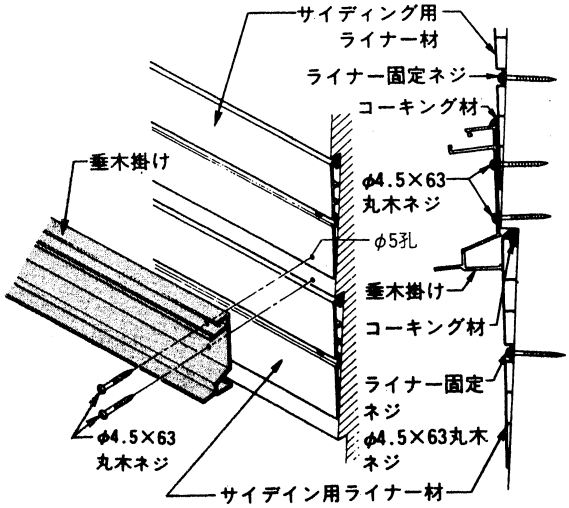


取付手順

①ライナー材はℓ＝1,850㎜が定尺のため、間口及び垂木掛けの長さに合せて何本か用意して下さい。
（ライナー材は1本単位の梱包です）

②ライナー材をドリルにて、φ5の孔明後木ネジ（φ4.5×63丸木ネジ）にて仮固定して下さい。

③その上から垂木掛けをマニュアル通りに取付けて下さい。
尚軀体とライナー及び、ライナー材と垂木掛けの上部にはコーキングをして下さい。



④垂木掛けが左図の様に、サイディングの段差の重なり部分になる場合には、ライナー材を上下2段に取り付けると、安定します。

○ パティオFタイプをバルコニーに設置する場合の施工上の確認と注意事項

建物の構造についての確認

①取付けバルコニーに強度上問題はないか、又は補強材は必要か検討して下さい。
②柱建て式の場合、基礎は十分であるか。(補修の必要性の有無)
③屋根置き式の場合、屋根面はしっかりしているか。(補修の必要性の有無)

施工上のご注意

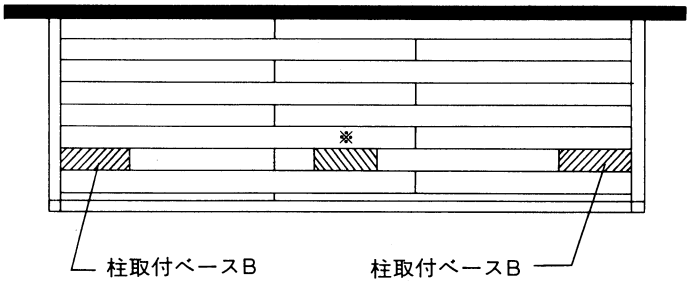
①バルコニーがJIS製品でも、バルコニーの建屋への取付け不良、特殊施工による問題などがある場合、又は屋根部分に重量物をのせると危険だと思われる場合等の問題が考えられる時は、手直し又は、補強して取付けて下さい。
②柱建て式バルコニーにおいて「基礎が十分しっかりしているか」の確認を行なって下さい。
不十分な基礎であれば基礎を補強する必要があります。
③既存のバルコニーは対角・レベルが出てない場合があります。
施工前に必ず調整を行なって下さい。
④エクシオールの柱が取付く所のバルコニー床は必ず補強して下さい。
(補強用のバルコニー補強根太(オプション)は、根太高さ50㎜と60㎜に対応できます)

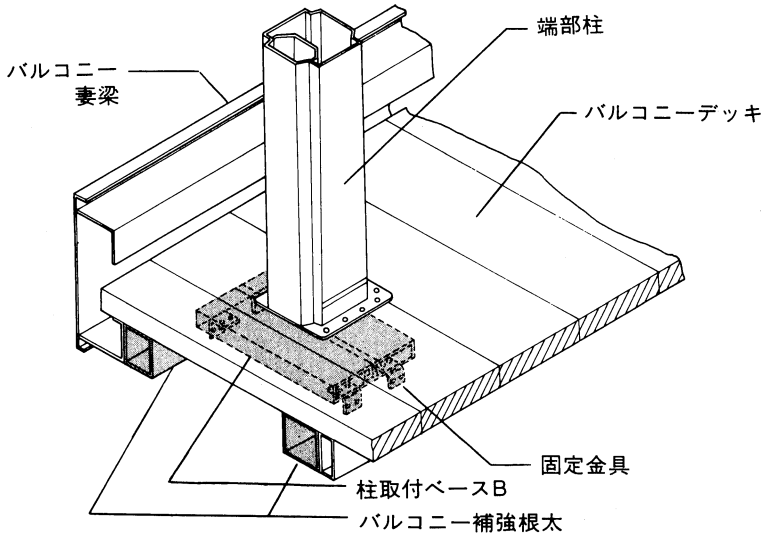
○ パティオFタイプのバルコニー設置用オプション(柱取付部補強材)の取付け

○施工方法については、下記の3方法より現場に適した方法を選んで下さい。

■方法―1) 柱取付ベースセットBを使っての補強方法

(バルコニーの床下での作業スペースが確保出来る場合)





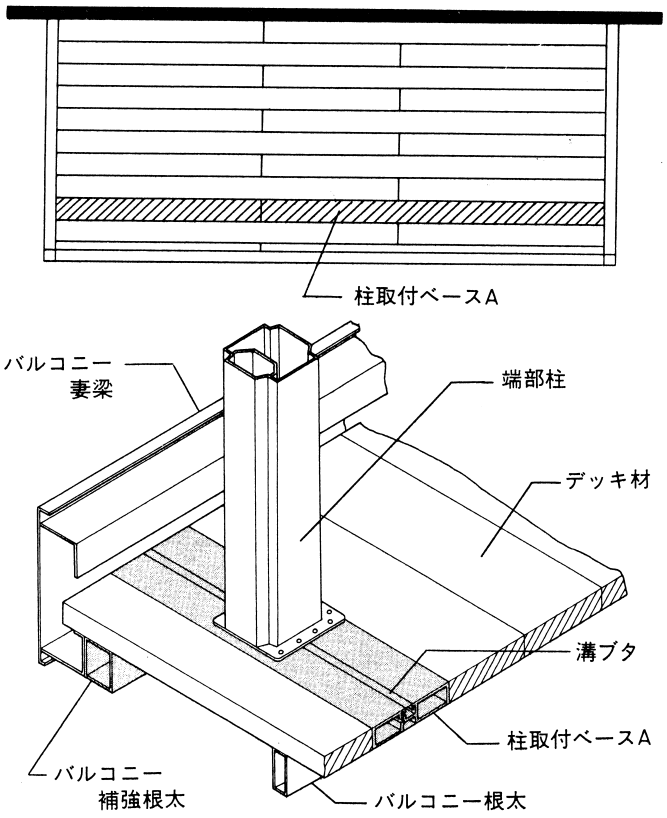
①バルコニー補強根太(50×60)をバルコニーの根太と同じ長さに切断して、根太の高さに合せた方向で、エクシオールの柱位置の所に入れ、根太掛けと桁にネジ止めして下さい。

②柱取付ベースB(ℓ=500)を補強根太の内々寸法に合せて切断し、固定金具を取り付け、デッキ材の下面に当てて補強根太にネジ止めして下さい。

※間口3間の場合は、中間柱用の柱取付ベースBが一ヶ余分に必要になります。

■方法―2）柱取付ベースセットAを使っての補強方法

（バルコニー床下での作業スペースが確保出来ない場合）



①デッキ材を付ける前(既存の場合は、はがして下さい）にバルコニー妻梁部に補強根太をバルコニーの根太の長さに合せ切断し、根太の高さに合う方向でバルコニー端部に入れ根太掛と桁にネジ止めして下さい。

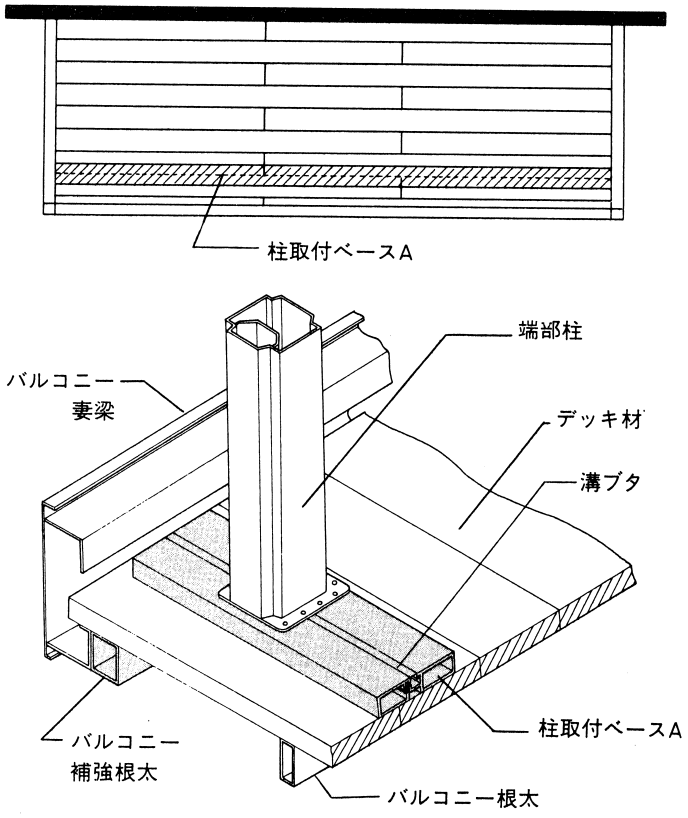
②柱取付ベースＡをバルコニーのデッキ材の長さに合せて切断し、エクシオールの柱の位置でバルコニー根太及び補強根太に溝部でネジ止めして下さい。

③溝部に溝ブタをして下さい。

④デッキ材を付けて端部は加工して合わせて下さい。

※この方法は、下に水がたれると支障をきたす場合には避けて下さい。

■方法―3）柱取付ベースセットAを使っての補強方法

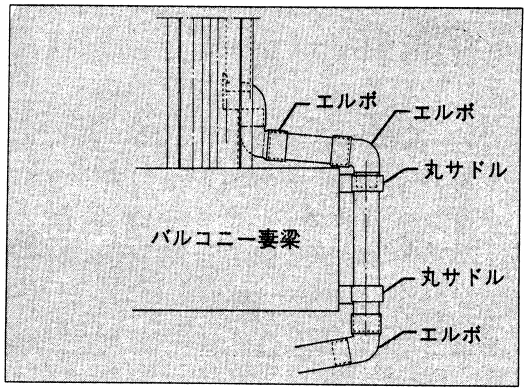


①床下に作業スペースが有る場合はデッキ材を、はがさずに組付けが出来ます。
上記と同じ方法で補強根太を切断し、バルコニーの端部妻梁部に入れ、根太掛と桁にネジ止めして下さい。
作業スペースが無い場合はデッキ材をはがして固定金具を使用して上から桁及び根太掛けにネジ止めして下さい。

②柱取付ベースＡをバルコニーの幅に合せて加工し、エクシオールの柱位置にのせ、補強根太及びバルコニー根太にデッキ材の上からネジ止めして下さい。

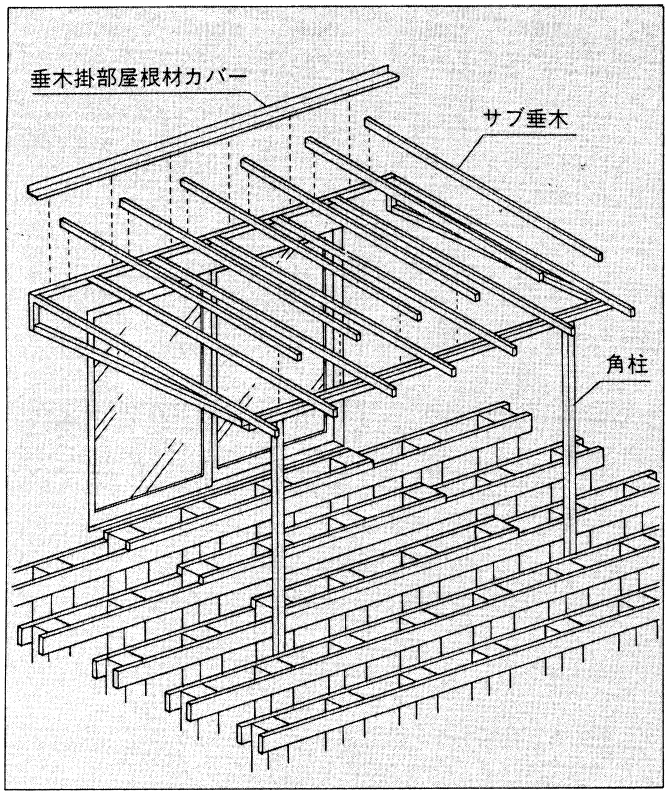
③溝部に溝ブタをして下さい。

雨樋の延長



注）雨水が下にたれると支障をきたす場合
穴明部にコーキングをして下さい。

パティオ タイプ　積雪対応型 タイプ1



注1）間口2.5にも、中間柱が必要になります。
注2）間口2間、2.5間、3間の場合、桁底面に柱桁ジョイント金具取付の穴(φ3.2)をあけて下さい。(P.47参照)

■垂木掛の加工

●垂木掛を躯体に取り付ける前に現在垂木掛にあいている垂木取り付け穴ピッチの中間にサブ垂木取り付け孔を同様に穴あけして下さい。

■桁の加工

●柱の取り付け穴加工についてはP.47を参照下さい。

●サブ垂木取り付け穴を垂木掛の加工同様に行って下さい。

■垂木掛部屋根材カバーの取り付け

※1　垂木掛の上部に障害物がない場合

●屋根材をアーチカバーで止めたのち垂木掛の長さに合わせ切断し、上部よりネジ止めして下さい。

※2　垂木掛の上部に障害物がある場合

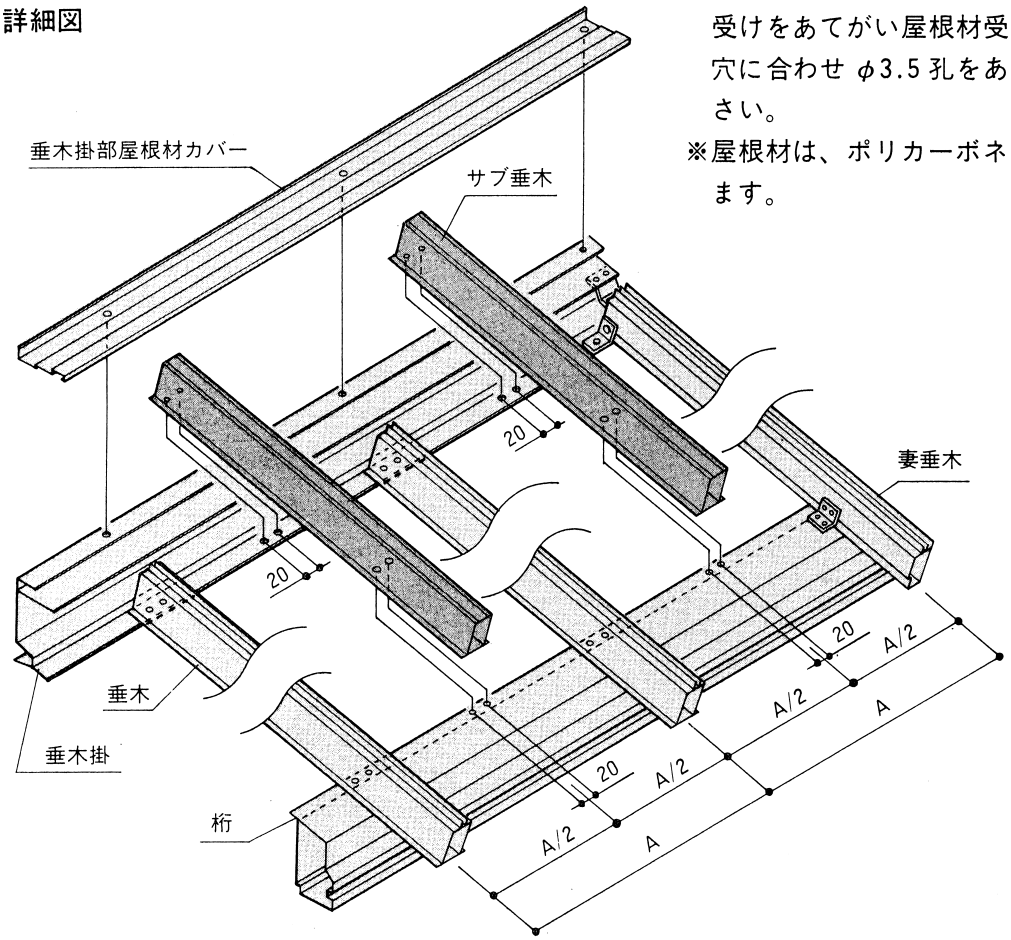
●垂木掛を取り付ける前に垂木掛の長さに合わせ切断し垂木掛とネジ止めして下さい。

■屋根材受けの取り付け

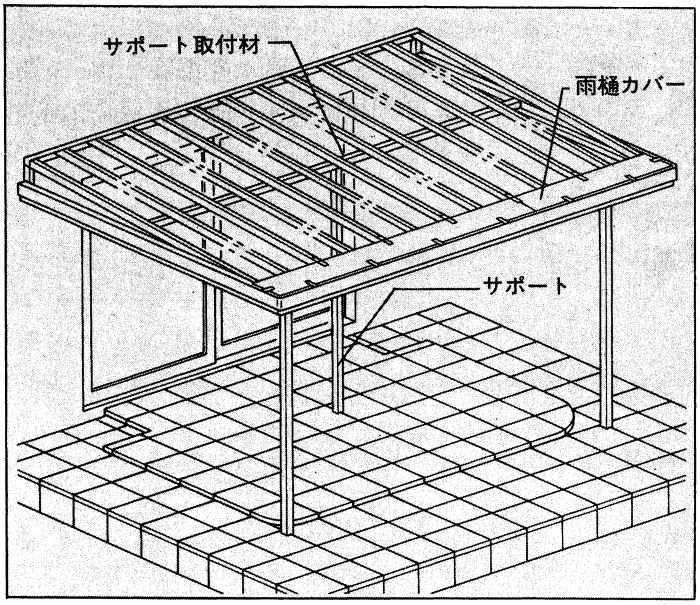
●垂木・サブ垂木を取り付けたのち、屋根材受けをあてがい屋根材受けのサブ垂木側の穴に合わせ φ3.5 孔をあけネジ止めして下さい。

※屋根材は、ポリカーボネイト複層板となります。

■詳細図



パティオ タイプ　積雪対応型 タイプ2

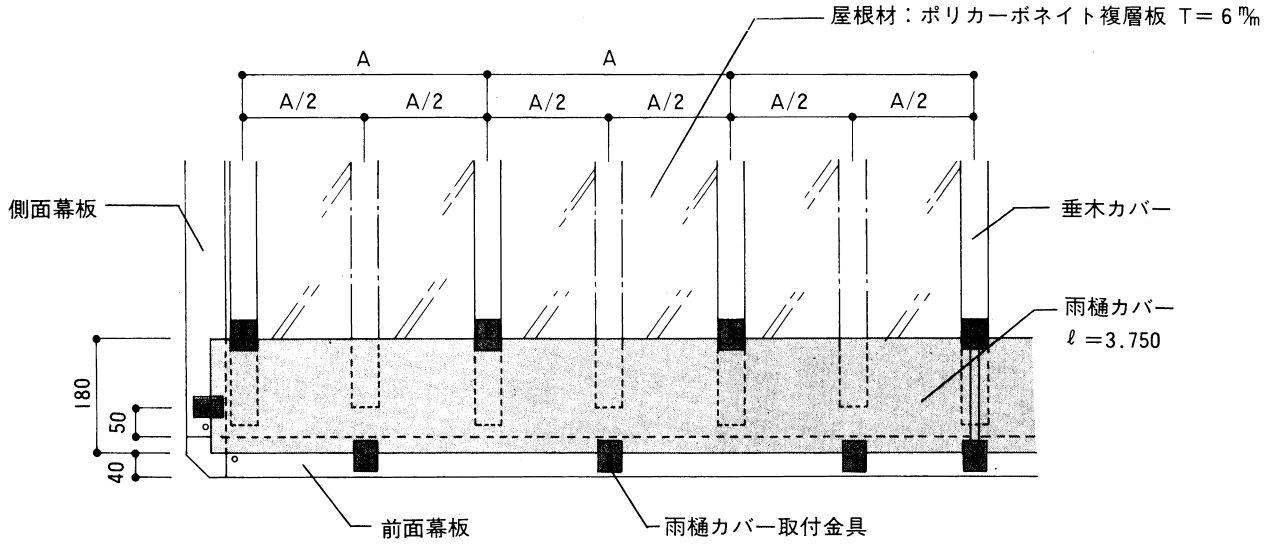


■妻垂木・垂木・前面幕板に下図寸法に基き雨樋カバー取り付け金具をネジ止めして下さい。
アクリル板を(間口に合わせカットし)横からスライドさせて入れたのち、側面幕板に図の様に雨樋カバー取り付け金具を取り付けて下さい。

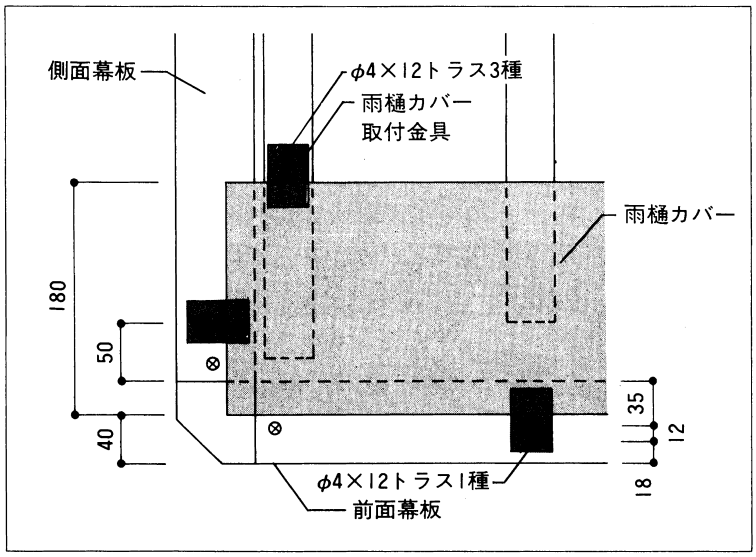
注1）間口2.5間にも、中間柱が必要になります。

注2）間口2間、2.5間、3間の場合、桁底面に柱桁ジョイント金具取付の孔(φ3.2)をあけて下さい。(P.47参照)

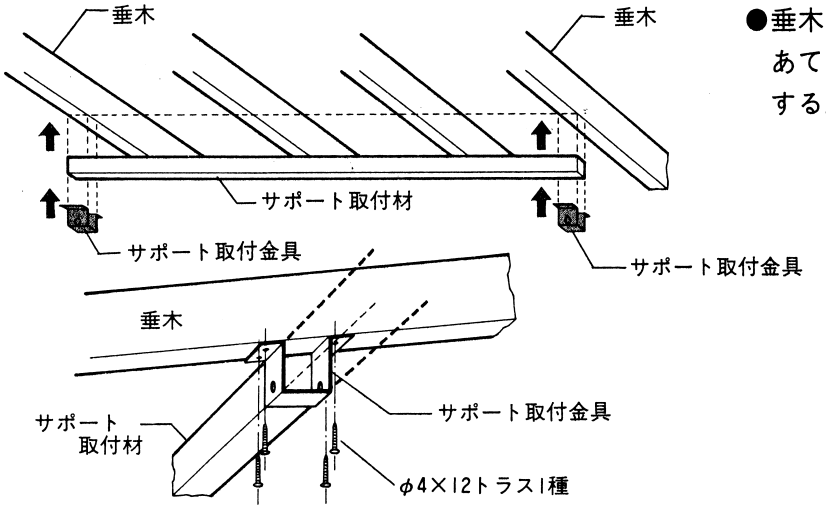
■雨樋カバーの取り付け



■雨樋カバー取付金具位置出し図

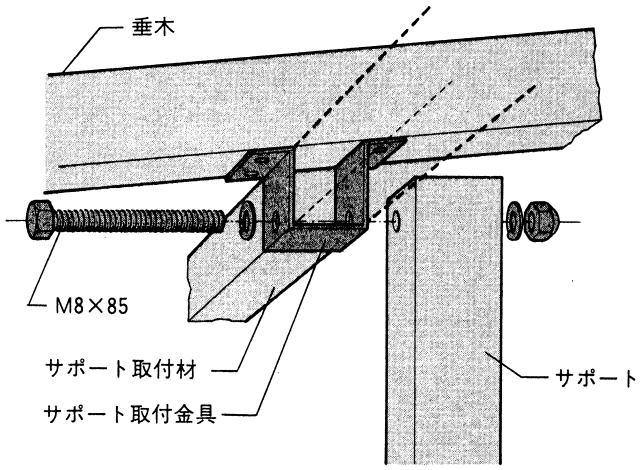


■サポート取付材の取付け



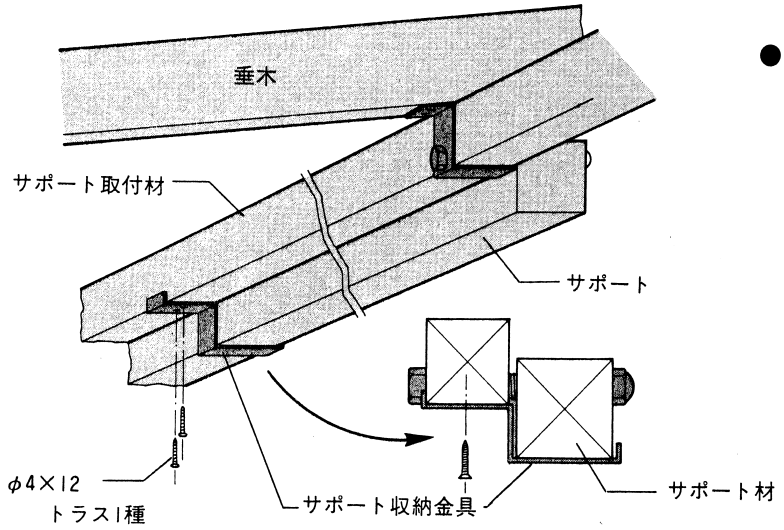
●垂木の出幅方向の中程にサポート取付材をあてがいサポート取付金具にて垂木に固定する。

■サポートの取付け



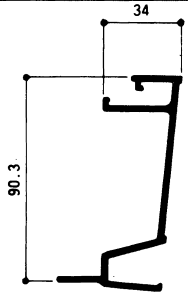
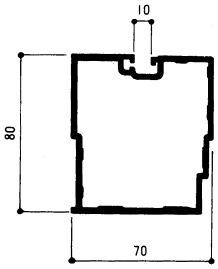
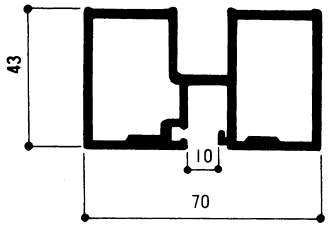
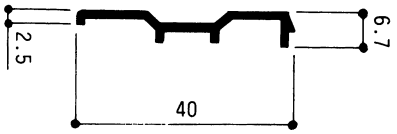
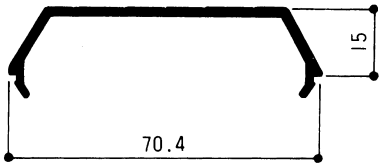
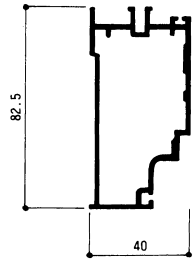
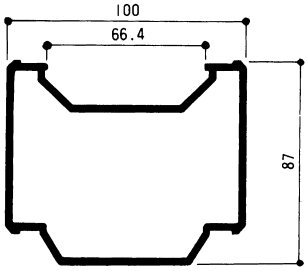
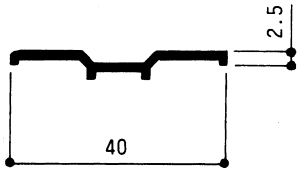
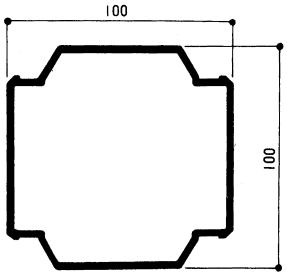
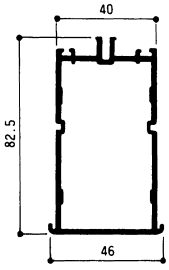
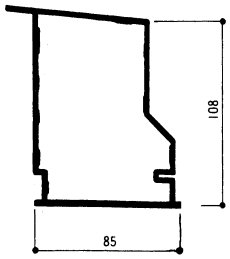
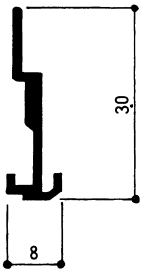
①サポート取付金具の穴に合わせφ8.5の孔をあけて下さい。
②サポートをM8×85の通しボルトで組み付けて下さい。

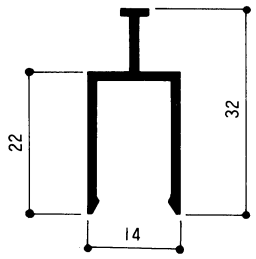
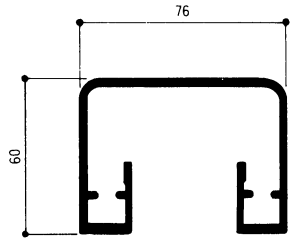
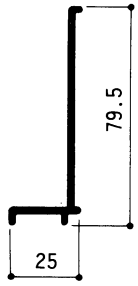
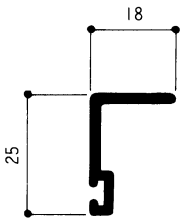
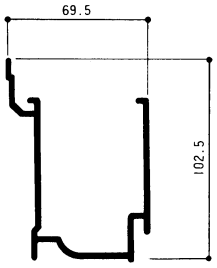
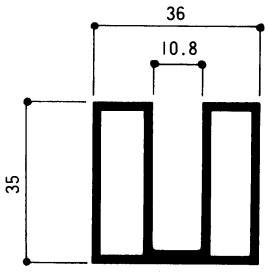
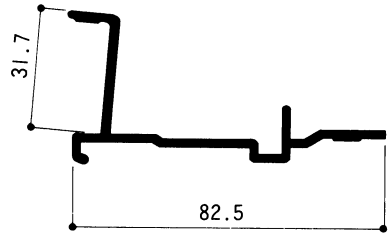
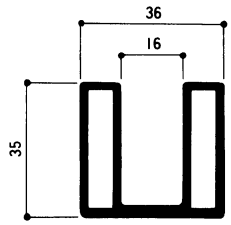
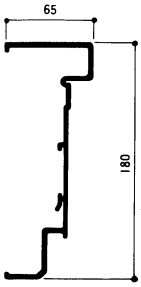
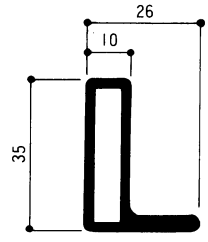
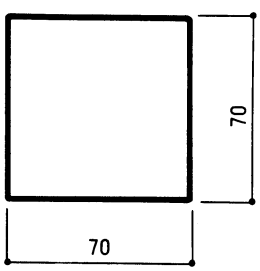
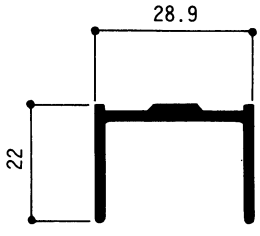
■サポート収納金具の取付け



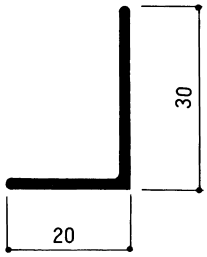
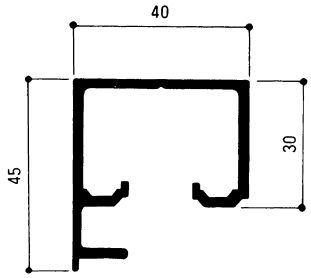
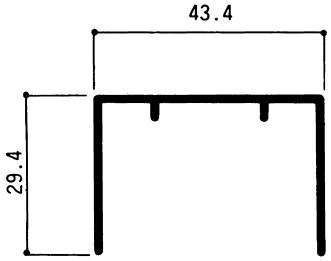
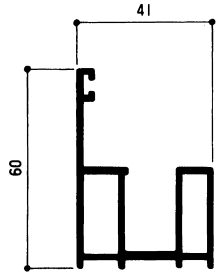
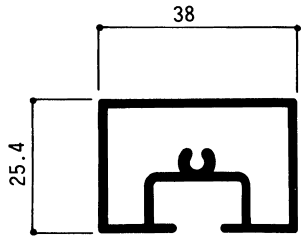
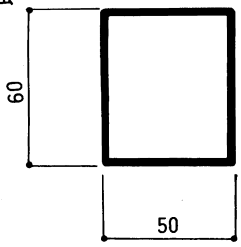
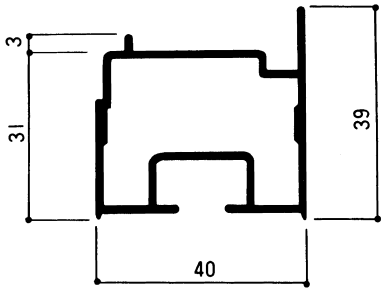
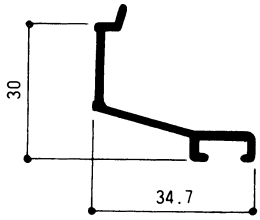
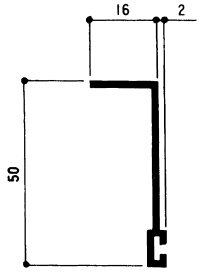
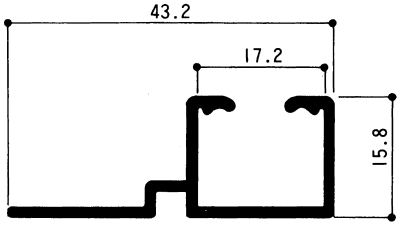
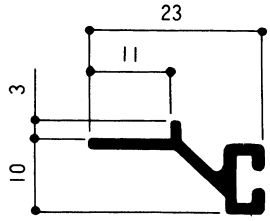
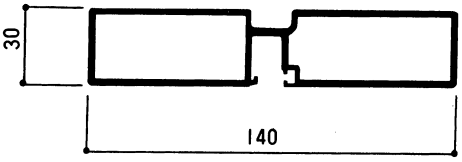
●サポート収納金具を取り付ける場所を決めφ4×12トラス1種でネジ止めして下さい。

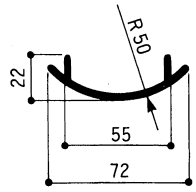
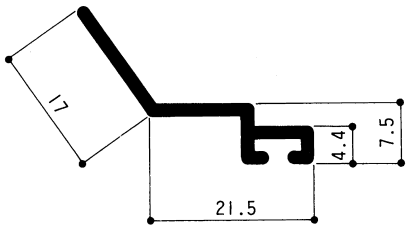
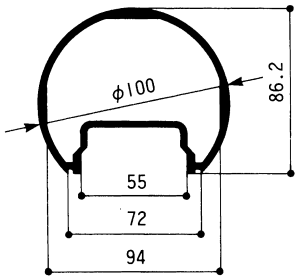
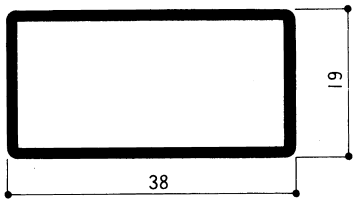
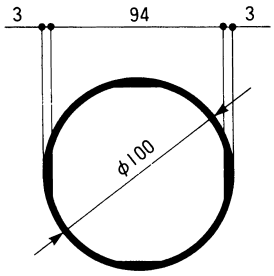
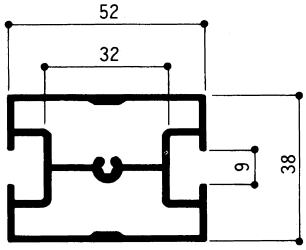
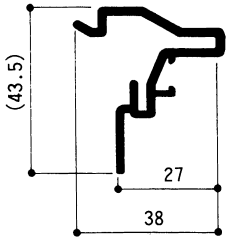
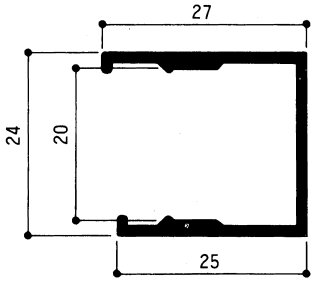
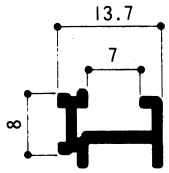
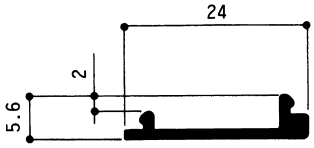
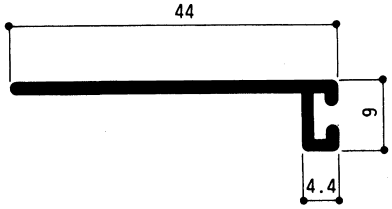
形材一覧表

形　　図	形　　図
垂木掛け(5°) 	妻　　梁 
方　　立 	妻垂木カバー 
雨樋柱(角)押え縁 	妻 垂 木 
雨樋柱(角) 	垂木カバー 
角　　柱 	垂　　木 
桁 	妻垂木押え縁 

形　　図	形　　図
中　　骨 	桁部上レール 
屋根材受け 	スライディングタイプ 水切り 
雨　　樋 	直線下レール 
雨樋･幕板押え 	下レール 
幕　　板 	下レール(戸袋) 
戸当り柱 	戸 当 り 

形材一覧表

形　　図	形　　図
FIX取付アングル 	折戸上レール 
FIX取付枠 	折戸下レール 
FIX上下枠 	バルコニー補強 根太 
FIXたて枠 	入隅用水切り 
目　隠　し 	日除けレール 
折戸水切り 	柱取付ベースA・B 

形　　図	形　　図
雨樋柱(丸)押え縁 	隙間塞ぎ材B 
雨樋柱(丸) 	FIX部隙間塞ぎ材 
丸柱 	FIX中帯 
屋根材先端受部材 	戸袋吊り金具 アタッチメント 
雨樋水回込み防止材 	戸袋吊り金具 アタッチメント フタ 
隙間塞ぎ材A 	

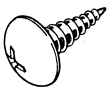
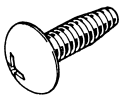
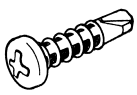
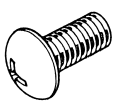
■使用工具一覧表

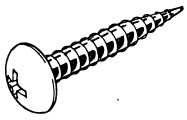
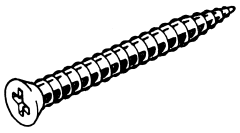
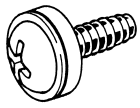
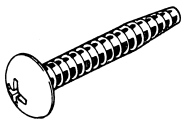
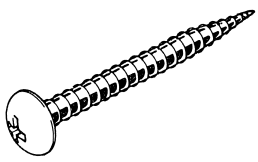
必要なもの	あると便利なもの
●水　　糸	●電気ドライバー
●水平器(500㎜前後のもの)	●電気ドライバー(⊕ビット２号)
●⊖ドライバー	●ボックス・ドライバー(８㎜)
●下げ振り	●丸ヤスリ(荒目φ８㎜)
●ボックス・レンチ(8、13、14㎜)	●ラチェット・スパナ
●スパナ13㎜、８㎜	●シャベル
●金切りのこ	●こて
●電気ドリル(チャックφ13㎜)	●ジャッキ
●クギ	●金づち
●延長コード	●平のみ
●⊕ドライバー(２号)	●ハンドリベッター
●木ハンマー(握りのなるべく太いもの)	●ローラー(先付ビート、後付ビート押え用)
●ドリル	
●脚立	
●丸のこ切断機	

■使用ドリル一覧表

φ3.2	φ４タッピンネジ下穴(桁)	
φ3.5	φ４タッピンネジ下穴	
φ5.0	φ４タッピンネジバカ穴	
φ6.0	φ５タッピンネジバカ穴	
φ6.5	φ６タッピンネジバカ穴	
φ4.5	コーチネジ下穴	コンクリート用
φ4.3	φ６タッピンネジ下穴	
φ10.0	φ８ボルトバカ穴、¼"シャンク小ノス型	
φ3.6	φ4 3種タッピンネジ下穴	

■使用ネジ一覧表

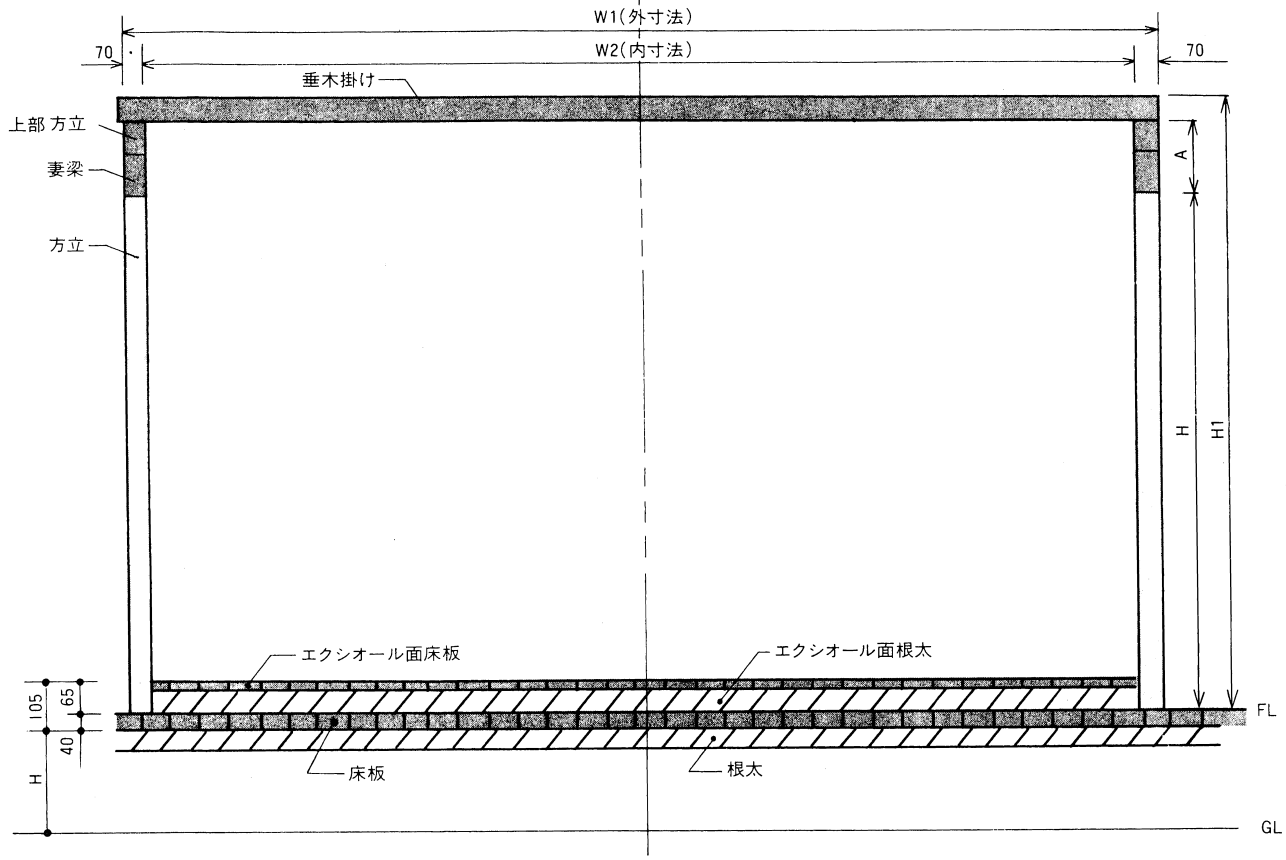
名　称	形　状	色	使　用　部
φ4×10トラス3種 (D=8)SUS304		W MB	前面格子
φ4×12トラス1種 (D=8)SUS304		W MB	妻垂木押え縁、屋根材受け、前面幕板、 妻垂木組付、上レール、コーナー天板、 戸袋上レール組付、折戸水切、折戸上レール、 目隠し、方立キャップ、妻梁レールA・B組付、 戸当り水切り、折戸スプリング、柱桁組付金具、 柱・柱ベース組付(丸柱)、日除けレール、 角柱(下部)組付、サポート材、 FIX上枠、FIXたて枠、雨樋上部カバー、 雨樋下部カバー、戸袋フレーム固定アングル、
φ4×12トラス3種 (D=8)SUS304		W MB	垂木掛・上部方立組付、上レール水切、 上レール連結、幕板コーナーキャップ、 側面幕板、柱(上部)組付、上レール・上レール 受金具組付、雨樋アタッチメント、妻梁・上部 方立組付、妻梁・桁組付、 フレーム固定アングル、戸当り柱、柱・柱ベース 組付(角柱)、柱・柱桁組付金具 垂木掛・垂木組付、桁・垂木組付 垂木掛・妻垂木組付、桁・妻垂木組付 雨樋幕板押え、幕板コーナーキャップ 幕板連結、戸袋フレーム固定アングル
φ4×14バインドピアス		W MB	Fix取付枠
φ4×8トラス3種 (D=8)SUS304		W MB	下レール連結
M5×8トラス SUS304		W MB	桁連結
M4×10特サラ (D=6)SUS304		W MB	パネル連結、折戸ツマミA、 折戸ストッパーカバー、 垂木掛連結、中帯用ジョイナー

名　称	形　状	色	使　用　部
φ4×25トラス1種 SUS304			バルコニー補強根太、 床塩ビの時の組付、 折戸下レール
φ4×50サラ1種		W MB	下レール取付塩ビ用
φ4×12トラス3種 平座金＋樹脂 ワッシャー付 SUS304		W MB	垂木カバー、妻垂木カバー
φ4×12サラ1種 SUS304		W MB	桁・柱桁組付金具組立
φ4.5×63丸木ネジ SUS304		W MB	垂木掛上部方立、方立、垂木掛 折戸(下部)ストッパー、 入隅用水切り(軀体側) サイディング用ライナー材
φ4.1×32丸木ネジ SUS304		W MB	折戸下レール、フィクス下枠
φ4.1×45サラ木ネジ SUS304		W MB	下レール、柱ベース金具、 片引き戸当り取付け(軀体部)
φ6×90コーチスクリュー SUS304		W MB	戸袋フレーム
φ4×25トラス3種		W MB	雨樋アタッチメント
φ4×40トラス1種		W MB	戸袋フレーム

パティオタイプ取付寸法図

基本型(出幅＝7尺、9尺、12尺)

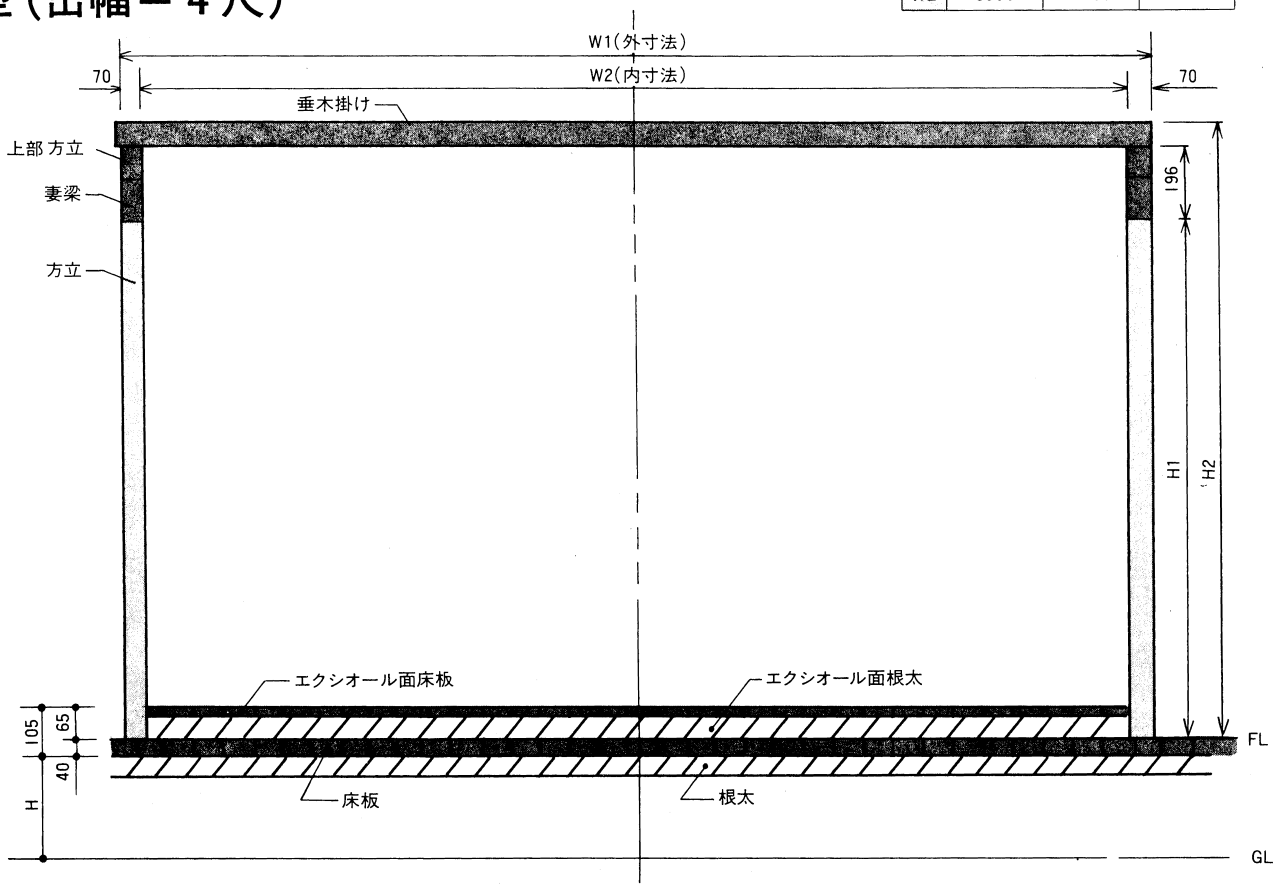
間口	2間	2.5間	3間	3.5間	4間
W1	3670	4570	5470	6370	7270
W2	3530	4430	5330	6230	7130



パティオFタイプ取付寸法図

基本型(出幅＝4尺)

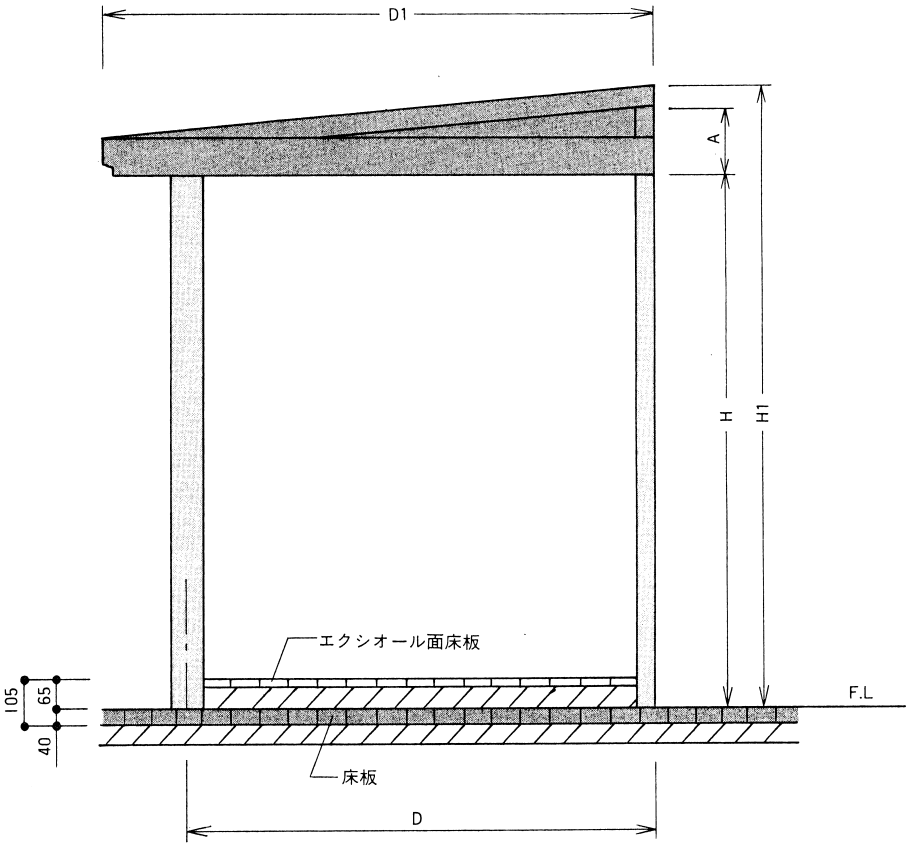
間口	2間	2.5間	3間
W1	3500	4400	5300
W2	3360	4260	5160



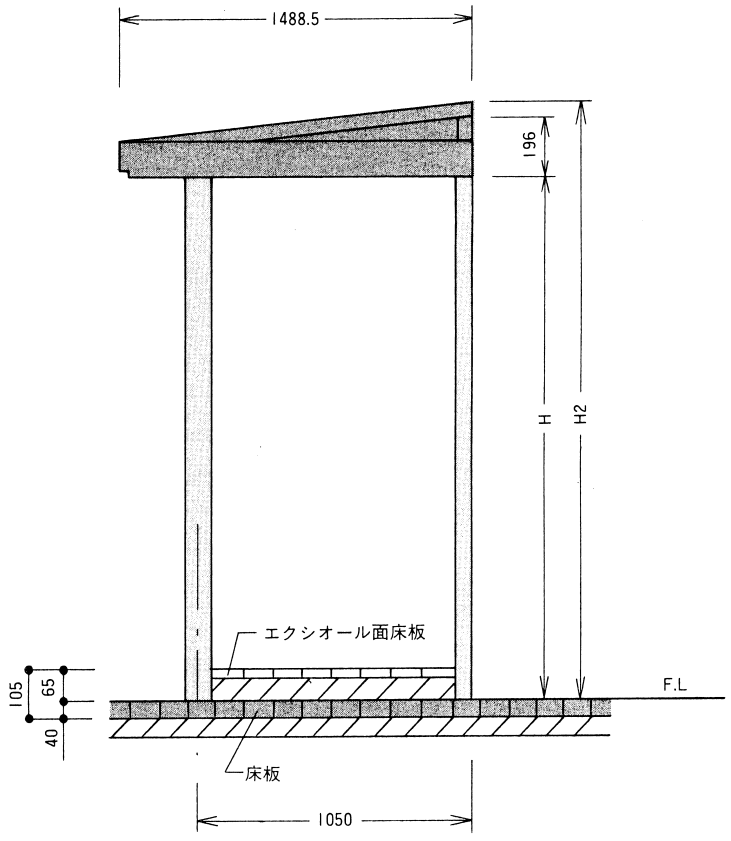
出幅7尺の場合				
H	H1	A	D	D1
2300	2684	289.2	2115	2553.5
2100	2484			
1900	2284			

出幅9尺の場合				
H	H1	A	D	D1
2300	2737	341.7	2715	3153.5
2100	2537			
1900	2337			

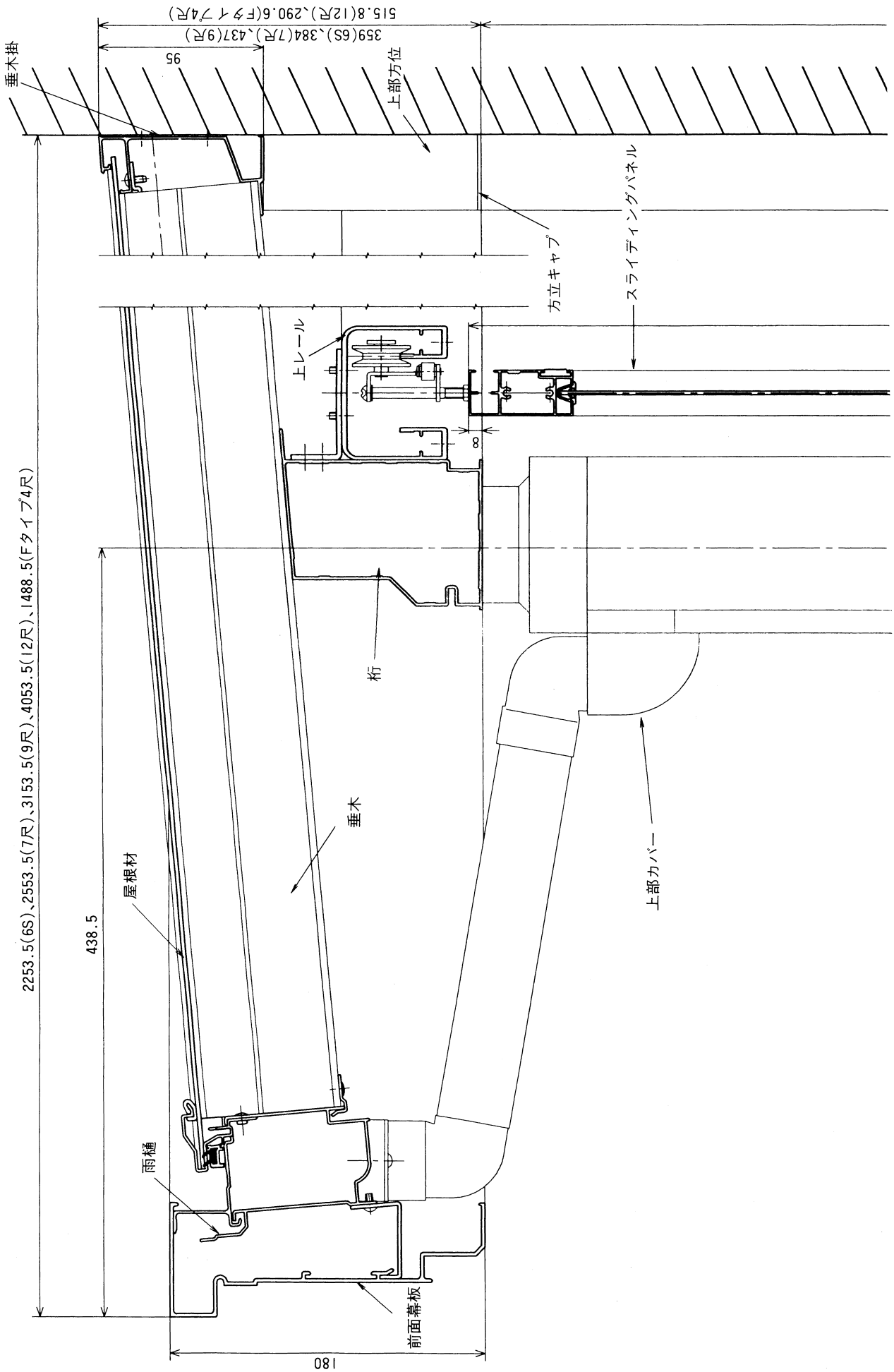
出幅12尺の場合				
H	H_1	A	D	D_1
2300	2816	420.5	3615	4053.5
2100	2616			
1900	2416			

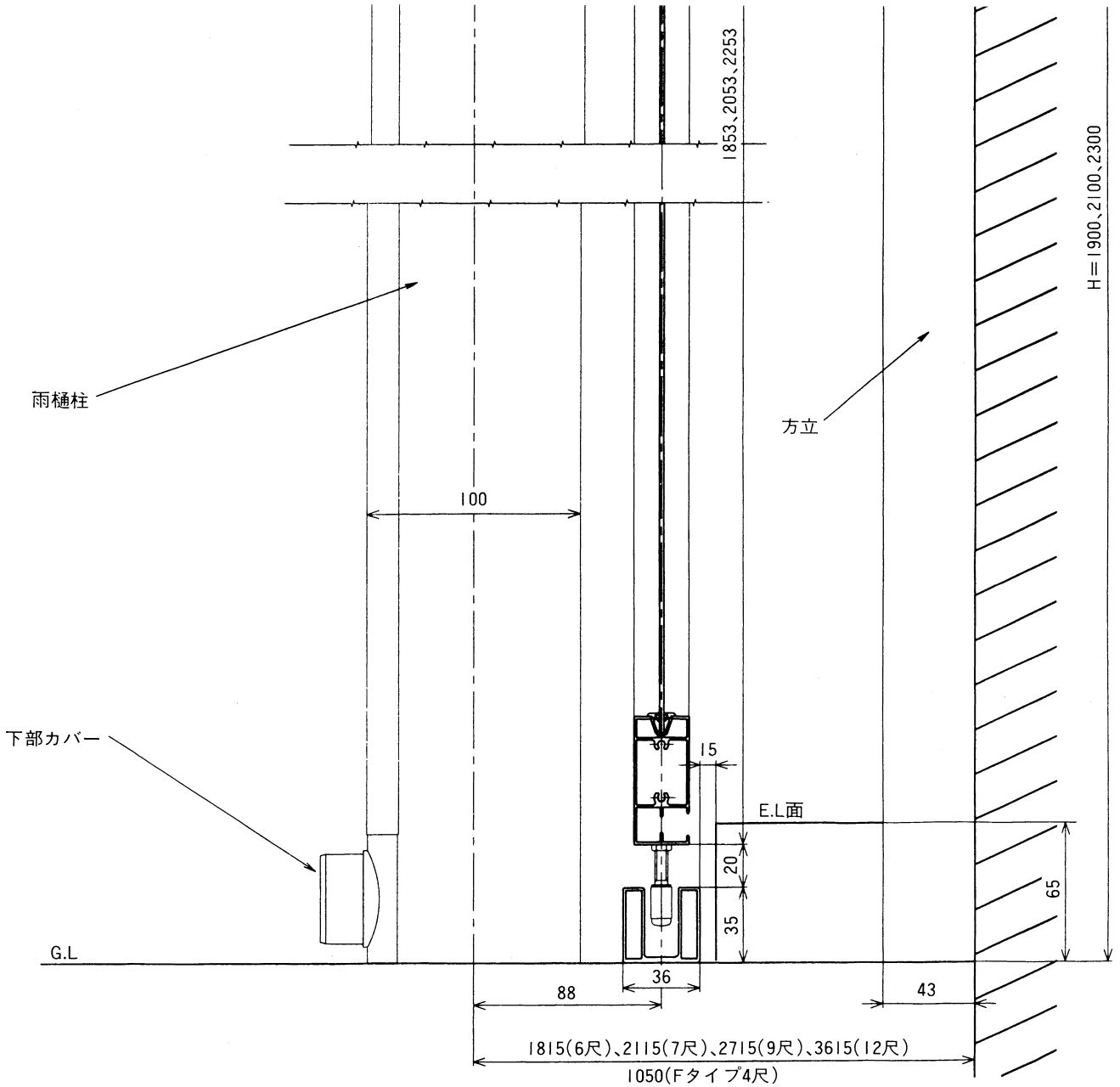


出幅4尺	
H	H2
2300	2590.6
2100	2390.6
1900	2190.6



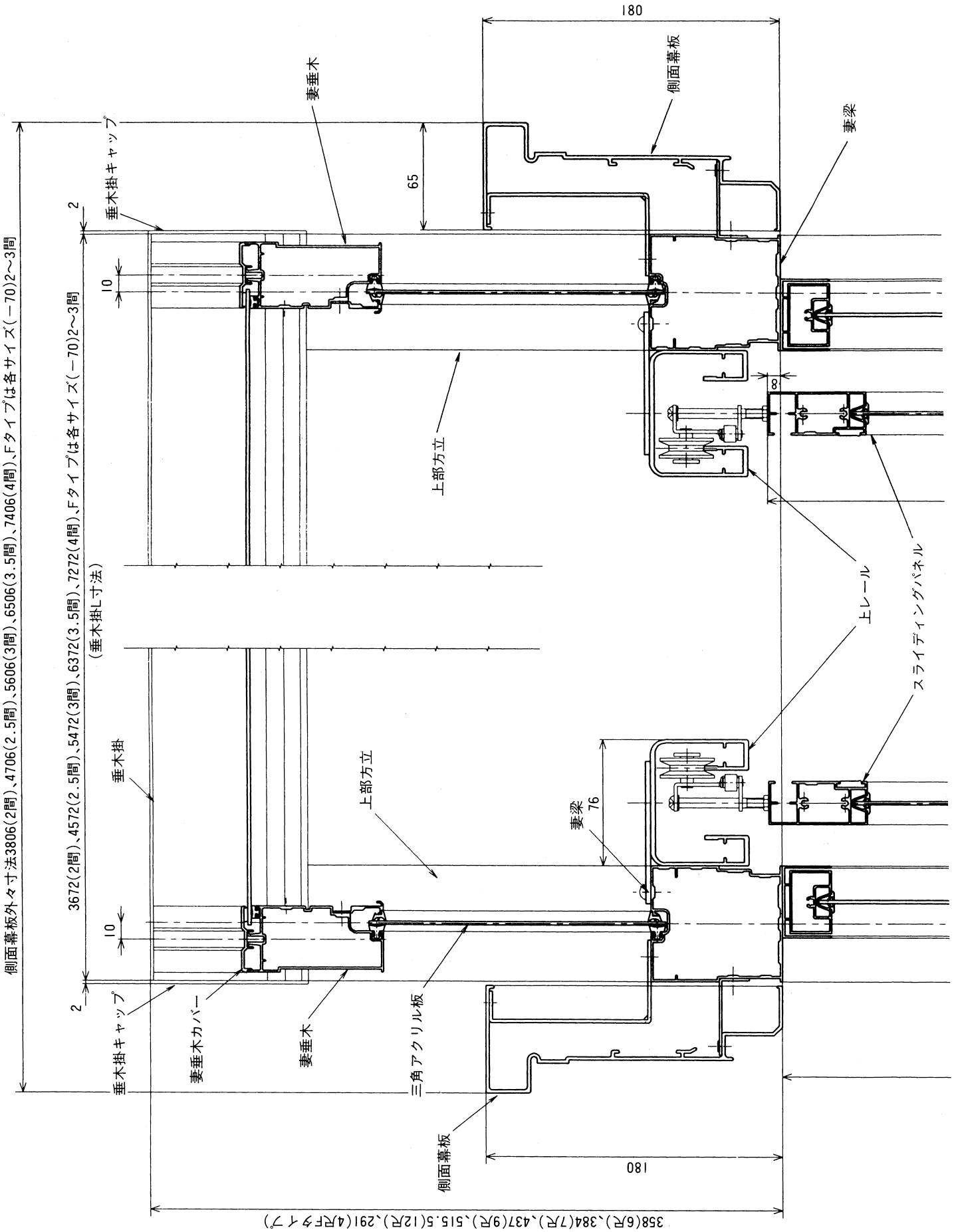
パティオタイプ出幅断面納まり図

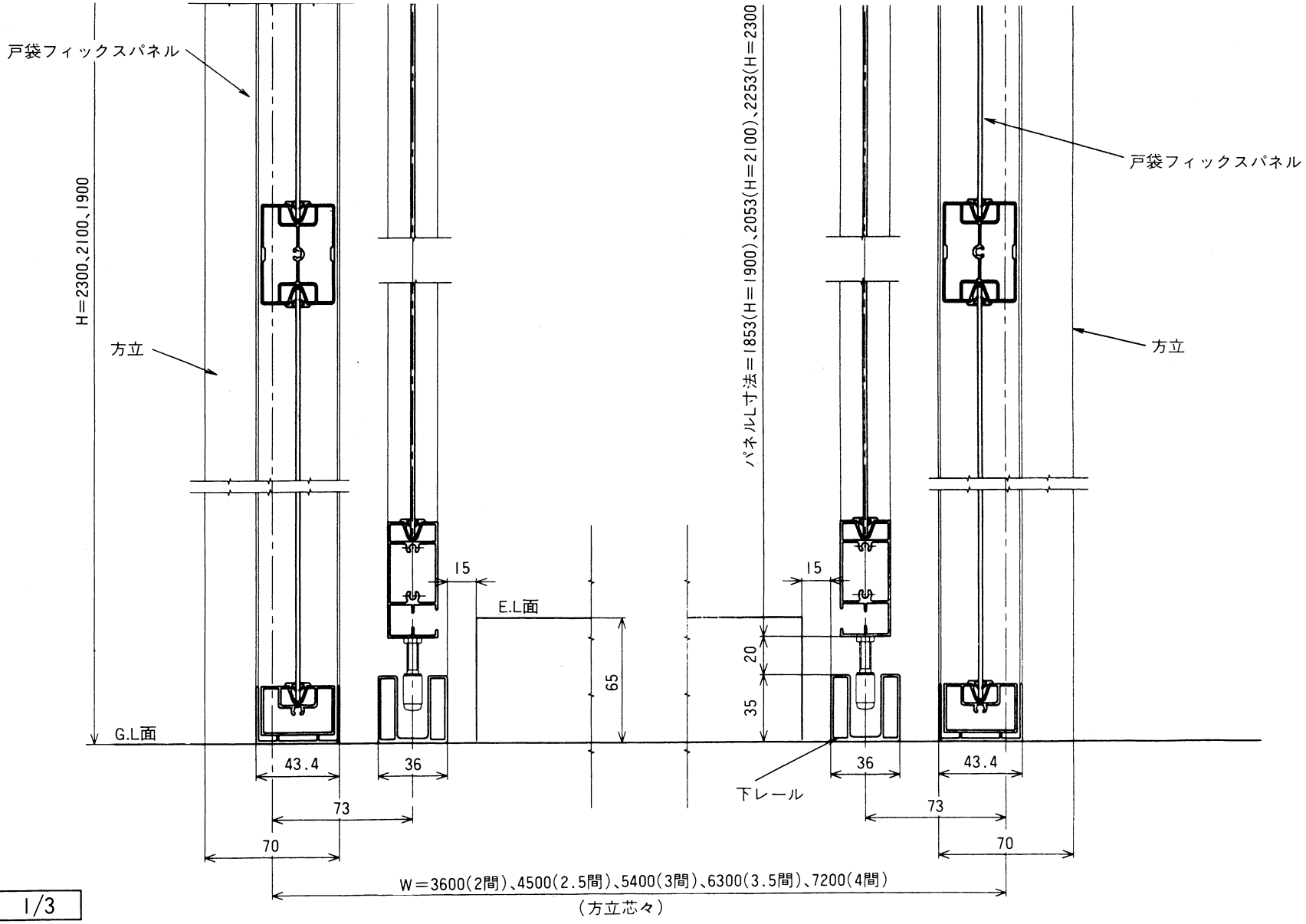



1853、2053、2253
H＝1900、2100、2300
雨樋柱
方立
100
下部カバー
15
E.L面
20
35
65
G.L
36
88
43
1815(6尺)、2115(7尺)、2715(9尺)、3615(12尺)
1050(Fタイプ4尺)

尺度	1/3

パティオタイプ間口断面納まり図




戸袋フィックスパネル
H=2300、2100、1900
方立
15
E.L面
65
G.L面
43.4
36
73
70
パネルL寸法=1853(H=1900)、2053(H=2100)、2253(H=2300
戸袋フィックスパネル
方立
15
20
35
下レール
36
43.4
73
70
W=3600(2間)、4500(2.5間)、5400(3間)、6300(3.5間)、7200(4間)
(方立芯々)

尺度	1/3

自然が未来

TOEX

東洋エクステリア

資料コード	05
S54	

エクシオール施工マニュアル

（パティオタイプ）

エクシオール普及協会編　定価￥2,000

94010005T-C